

令和4年度多可町在宅介護実態調査業務委託事業

在宅ケアとくらしの調査 報告書

令和5年3月

多可町

一般社団法人 日本老年学的評価研究機構

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の実施方法と回収状況	1
3. 調査結果を見る上での留意点	1
4. 用語の定義	2
第2章 単純集計	5
1. 基本調査項目（A票）	7
2. 主な介護者様用の調査項目（B票）	17
3. 要介護認定データ	22
第3章 クロス集計	29
1. 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	31
1. 1 集計・分析の狙い	31
1. 2 集計結果と着目すべきポイント	32
(1) 基礎集計	32
(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化	35
(3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化	38
(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係	43
(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係	50
(6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係	53
(7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係	57
2. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	64
2. 1 集計・分析の狙い	64
2. 2 集計結果と着目すべきポイント	65
(1) 基本集計	65
(2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み	70
(3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係	74

(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係	78
(5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況	81
(6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援	86
3. 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	91
3.1 集計・分析の狙い	91
3.2 集計結果と着目すべきポイント	92
(1) 基礎集計	92
(2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス	94
(3) 「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」	97
(4) 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」	102
4. 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	106
4.1 集計・分析の狙い	106
4.2 集計結果と着目すべきポイント	107
(1) 基礎集計	107
(2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」	109
(3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」	112
(4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」	118
5. 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	123
5.1 集計・分析の狙い	123
5.2 集計結果と着目すべきポイント	124
(1) 基礎集計	124
(2) 訪問診療の利用割合	127
(3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ	130
(4) 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無	131
6. サービス未利用の理由など	133
6.1 集計・分析の狙い	133
6.2 集計結果（参考）	134
(1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由	134
(2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由	138
(3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要なと感じる支援・サービス	142
(4) 本人の年齢別・主な介護者の年齢	146

(5) 要介護度別の抱えている傷病	147
(6) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病	148

※図表タイトルの「★」は、オプション調査項目であることを示しています。

第4章 独自項目の集計

日本老年学的評価研究（JAGES）による追加設問の集計結果	149
-------------------------------	-----

第5章 【資料】独自項目の単純集計結果

日本老年学的評価研究（JAGES）による追加設問の単純集計結果表	169
----------------------------------	-----

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、多可町の第9期介護保険事業計画の策定に向けて、基礎資料とすることを目的に、在宅で生活している要介護者及び介護をしている人を対象に、家族介護の実態、施設入所の検討状況、家族介護就労状況等を調査したものです。

2. 調査の実施方法と回収状況

調査対象者	調査方法	対象数	回収数 (回収率)
在宅で生活をしている要介護認定を受けている方のうち、「要介護認定の更新申請・区分変更申請」をされた方	郵送調査	764	429 (56.2%)

3. 調査結果を見る上での留意点

- ・図表中の「n」は、設問への回答者数を示しています。
- ・分析に際して、回答者数が極端に少ない場合は誤差が大きくなるため、分析対象から除外している場合があります。特に、第3章(クロス集計)においては、様々な分析軸の該当数(n)が非常に少ない場合があります。集計結果の比率を読む際には注意を要します。
- ・回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ・結果報告書内の「介護保険サービスの種別」、「障害高齢者の日常生活自立度」、「認知症高齢者の日常生活自立度」の定義については次のとおりです。

4. 用語の定義

○ 介護保険サービスの種別

本集計・分析では、介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計しています。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。

それぞれ、用語の定義は以下の通りです。

<サービス利用の分析に用いた用語の定義>

用語		定義
未利用		・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		・(介護予防)訪問介護、(介護予防)訪問入浴介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		・(介護予防)通所介護、(介護予防)通所リハビリテーション、(介護予防)認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		・(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	・(介護予防)小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

<サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義>

用語	定義
未利用	・上表に同じ
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ	・上表の「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「短期系」、「訪問系(もしくは定期巡回)」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計しています。

○ 障害高齢者の日常生活自立度

生活自立	J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。 1. 交通機関等を利用して外出する。 2. 隣近所へなら外出する。
準寝たきり	A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 2. 外出の頻度が少なく、日中に寝たり起きたりの生活をしている。
寝たきり	B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 2. 介助により車いすに移乗する。
	C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着換において介助を要する。 1. 自力で寝返りをうつ。 2. 自力では寝返りもうてない。

○ 認知症高齢者の日常生活自立度

I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
IIa	家庭外で上記IIの状態が見られる。
IIb	家庭内でも上記IIの状態が見られる。
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
IIIa	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。
IIIb	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

第2章

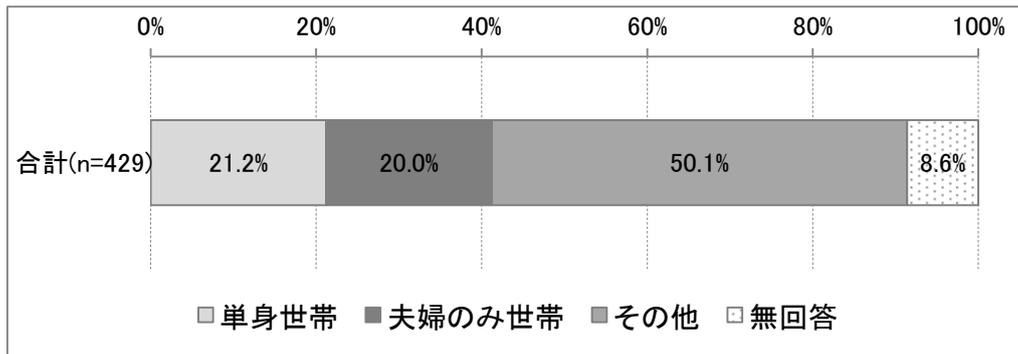
単純集計

1 基本調査項目（A票）

(1) 世帯類型

「その他」の割合が最も高く50.1%となっている。次いで、「単身世帯（21.2%）」、「夫婦のみ世帯（20.0%）」となっている。

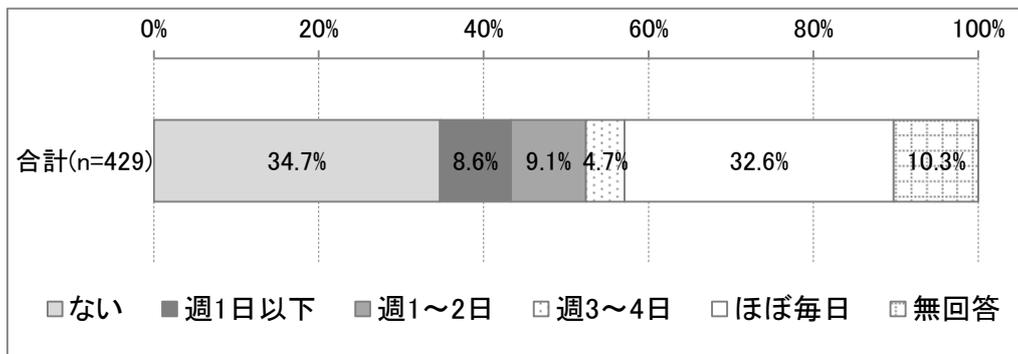
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



(2) 家族等による介護の頻度

「ない」の割合が最も高く34.7%となっている。次いで、「ほぼ毎日（32.6%）」、「週1～2日（9.1%）」となっている。

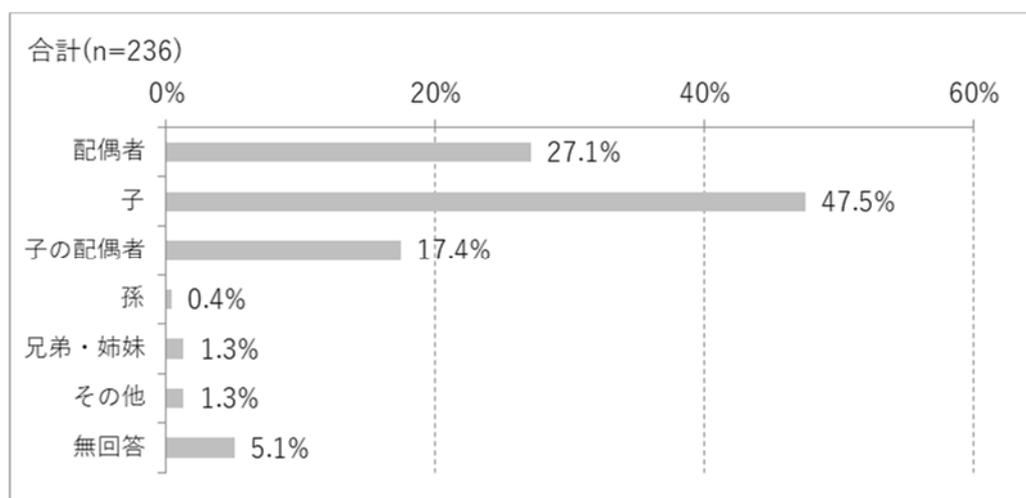
図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



(3) 主な介護者の本人との関係

「子」の割合が最も高く 47.5%となっている。次いで、「配偶者 (27.1%)」、「子の配偶者 (17.4%)」となっている。

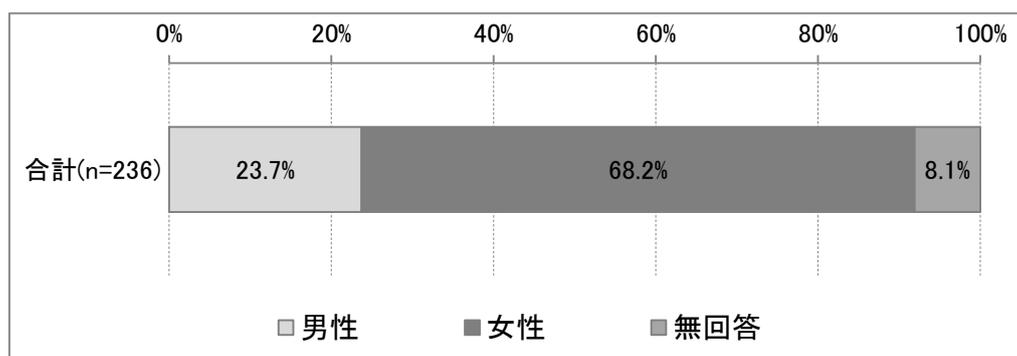
図表 1-3 ★主な介護者の本人との関係 (単数回答)



(4) 主な介護者の性別

「女性」の割合が最も高く 68.2%となっている。次いで、「男性 (23.7%)」となっている。

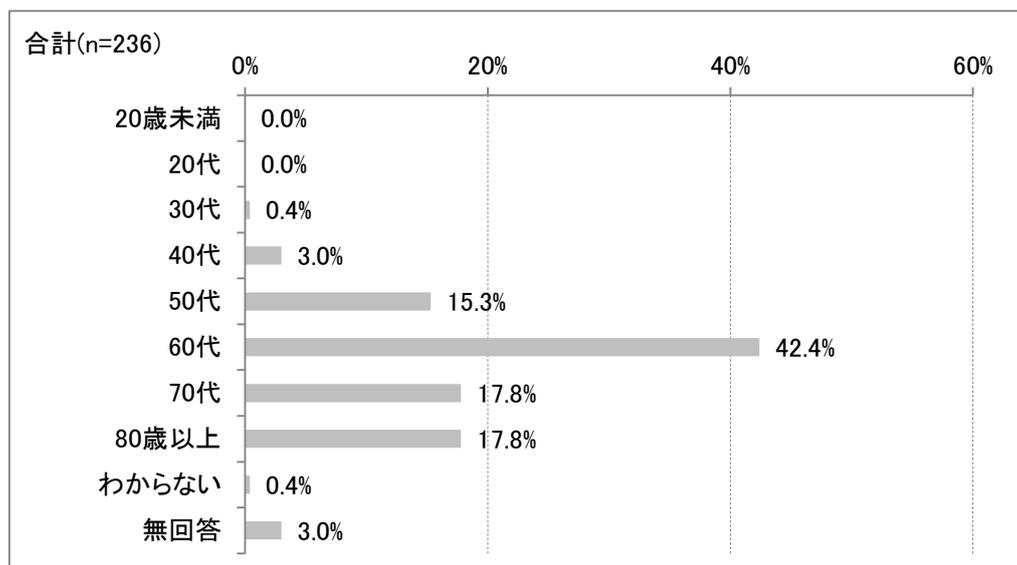
図表 1-4 ★主な介護者の性別 (単数回答)



(5) 主な介護者の年齢

「60代」の割合が最も高く42.4%となっている。次いで、「70代（17.8%）」、「80歳以上（17.8%）」、「50代（15.3%）」となっている。

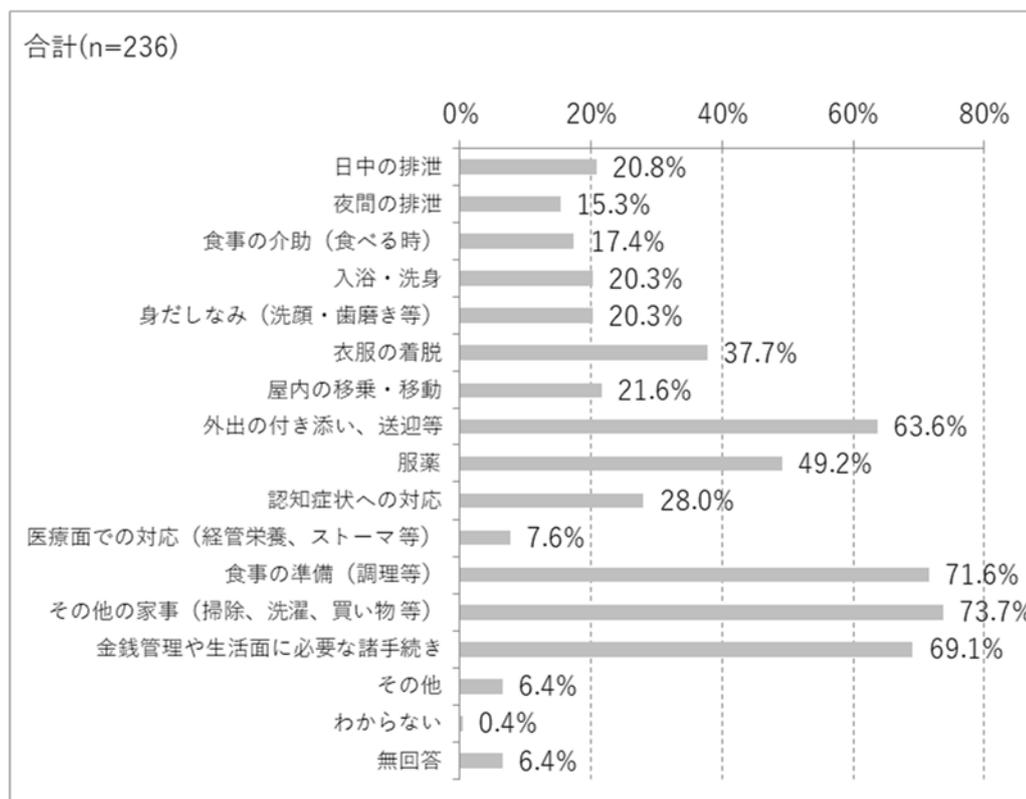
図表 1-5 主な介護者の年齢（単数回答）



(6) 主な介護者が行っている介護

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 73.7%となっている。次いで、「食事の準備（調理等）（71.6%）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（69.1%）」となっている。

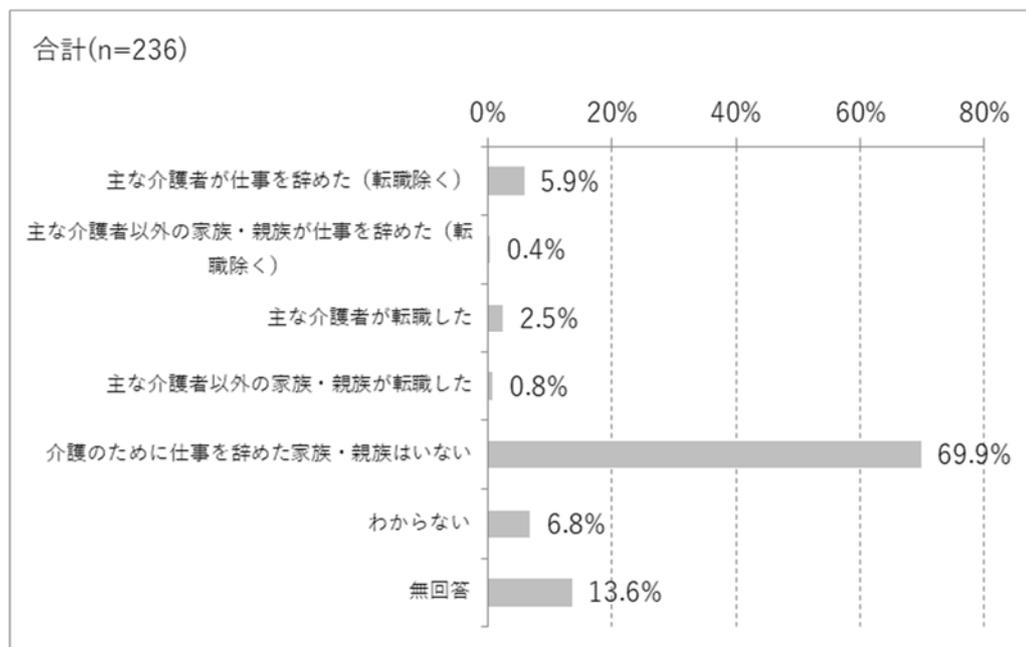
図表 1-6 ★主な介護者が行っている介護（複数回答）



(7) 介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 69.9%となっている。次いで、「わからない (6.8%)」、「主な介護者が仕事を辞めた (転職除く) (5.9%)」となっている。

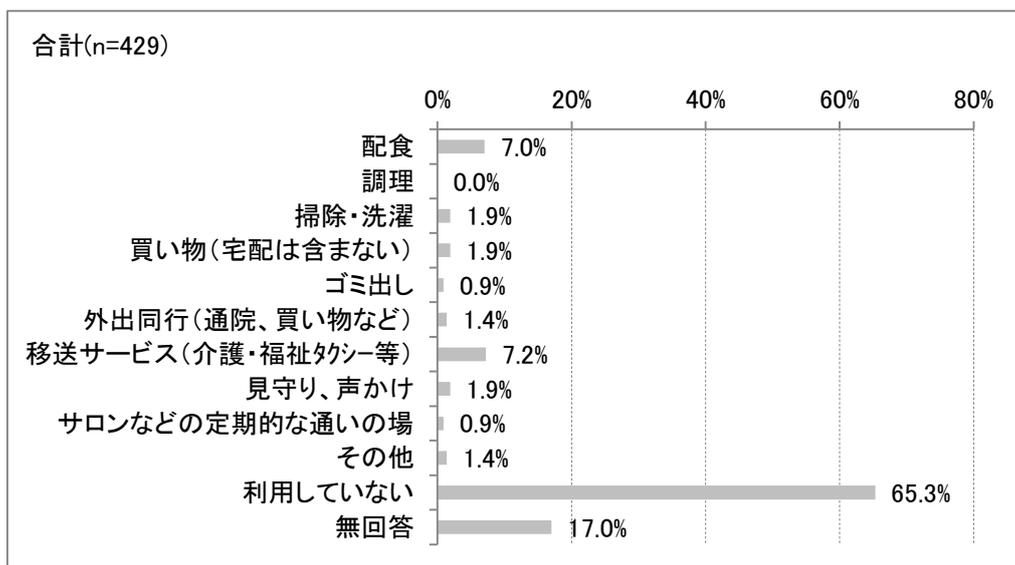
図表 1-7 介護のための離職の有無 (複数回答)



(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

「利用していない」の割合が最も高く 65.3%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（7.2%）」、「配食（7.0%）」となっている。

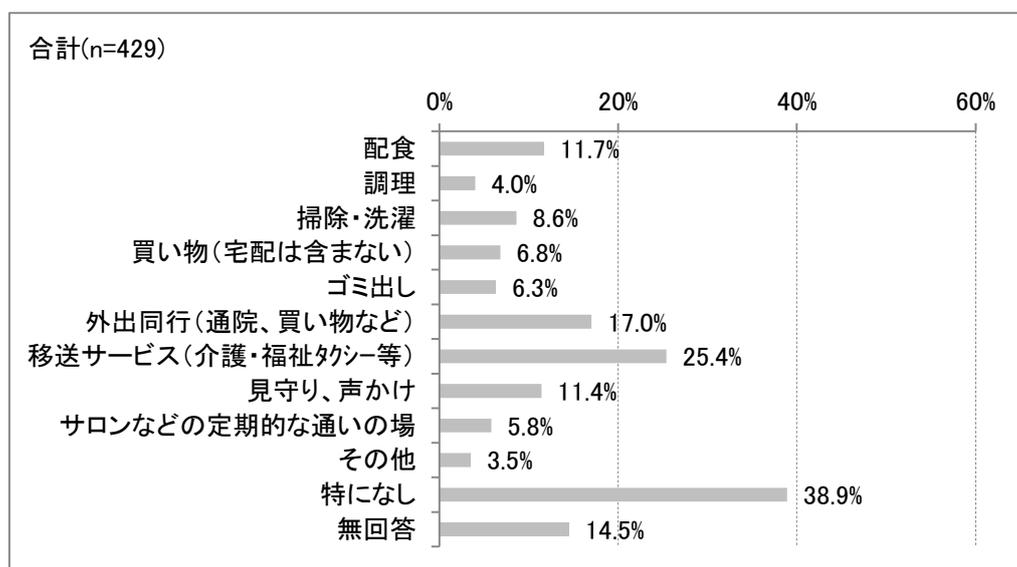
図表 1-8 ★保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

「特になし」の割合が最も高く 38.9%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（25.4%）」、「外出同行（通院、買い物など）（17.0%）」となっている。

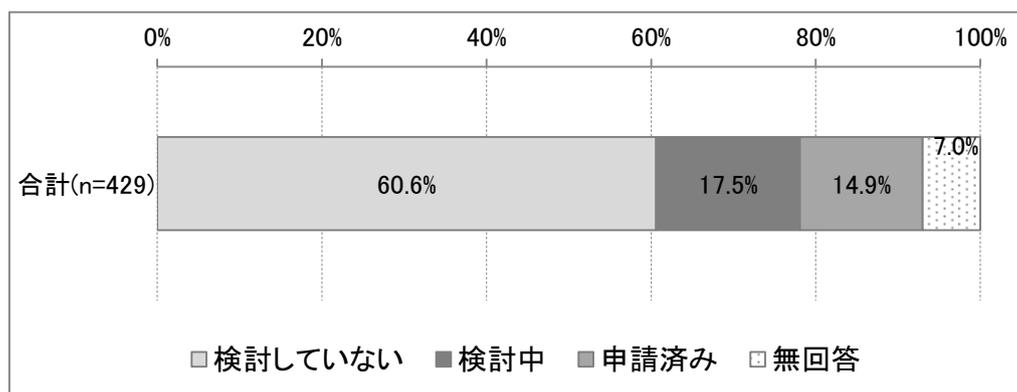
図表 1-9 ★在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



(10) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 60.6%となっている。次いで、「検討中（17.5%）」、「申請済み（14.9%）」となっている。

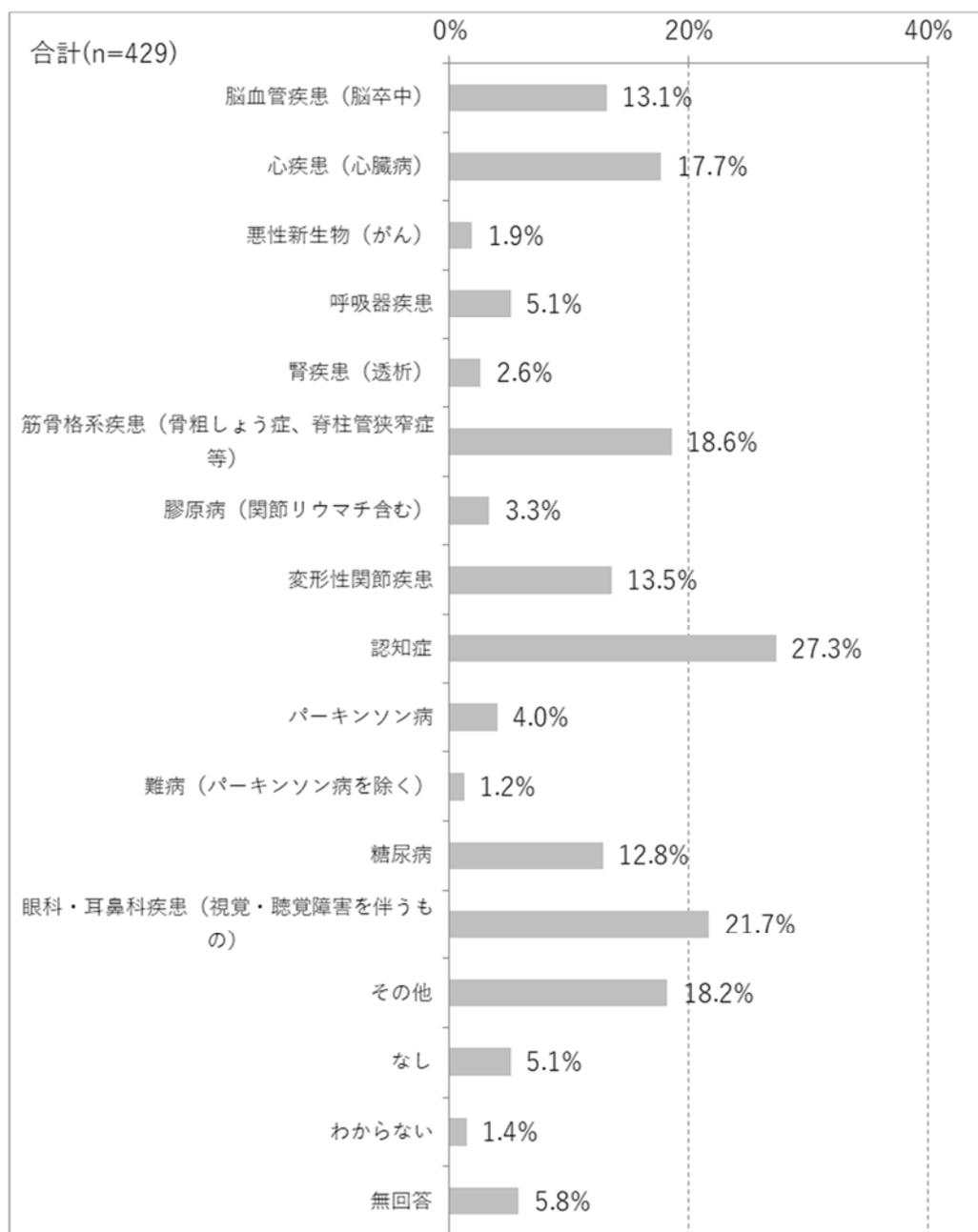
図表 1-10 施設等検討の状況（単数回答）



(11) 本人が抱えている傷病

「認知症」の割合が最も高く 27.3%となっている。次いで、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）（21.7%）」、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）（18.6%）」となっている。

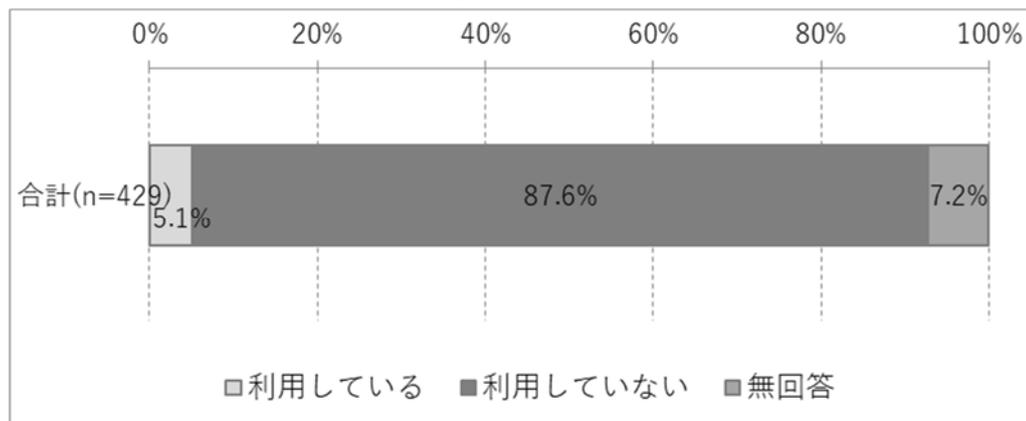
図表 1-11 ★本人が抱えている傷病（複数回答）



(12) 訪問診療の利用の有無

「利用していない」の割合が最も高く 87.6%となっている。次いで、「利用している (5.1%)」となっている。

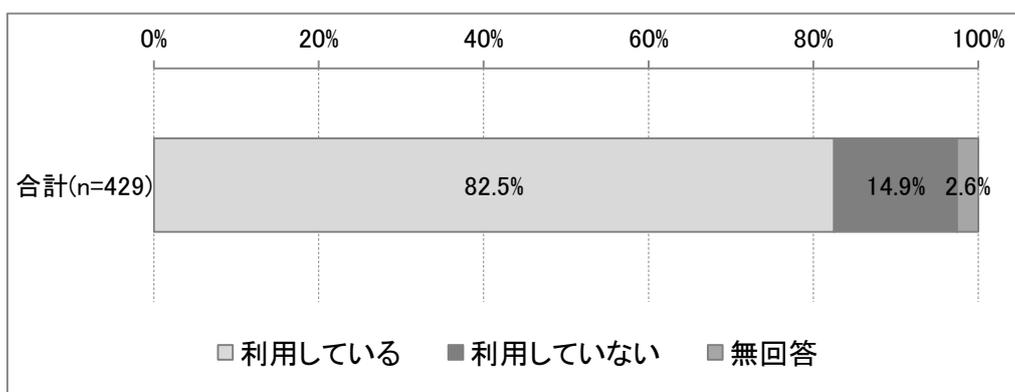
図表 1-12 ★訪問診療の利用の有無 (単数回答)



(13) 介護保険サービスの利用の有無

「利用している」の割合が最も高く 82.5%となっている。次いで、「利用していない (14.9%)」となっている。

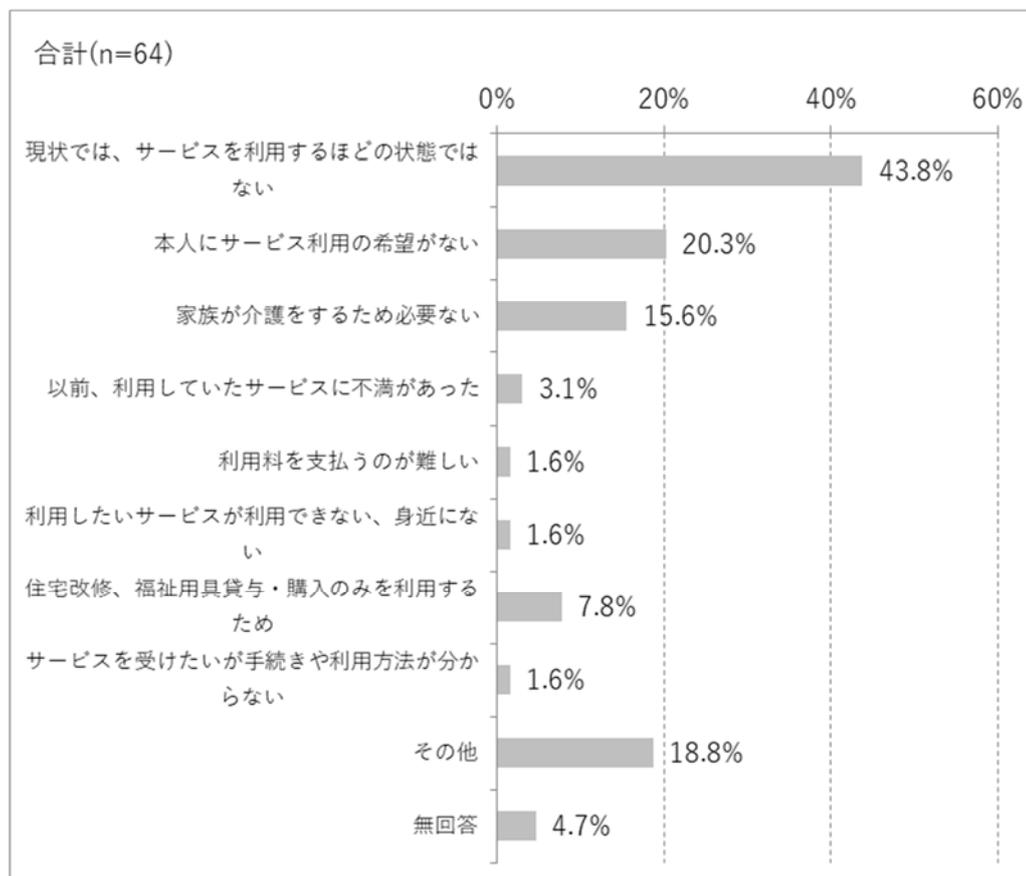
図表 1-13 ★介護保険サービスの利用の有無 (単数回答)



(14) 介護保険サービス未利用の理由

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が最も高く 43.8%となっている。次いで、「本人にサービス利用の希望がない (20.3%)」、「その他 (18.8%)」となっている。

図表 1-14 ★介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）

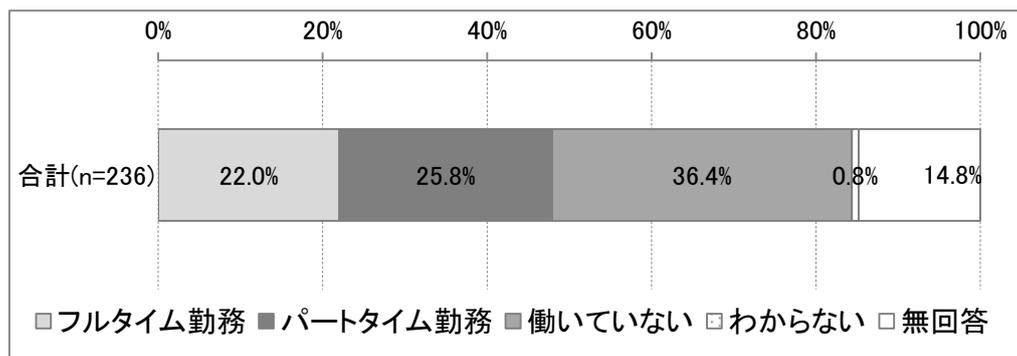


2 主な介護者様用の調査項目（B票）

(1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 36.4%となっている。次いで、「パートタイム勤務 (25.8%)」、「フルタイム勤務 (22.0%)」となっている。

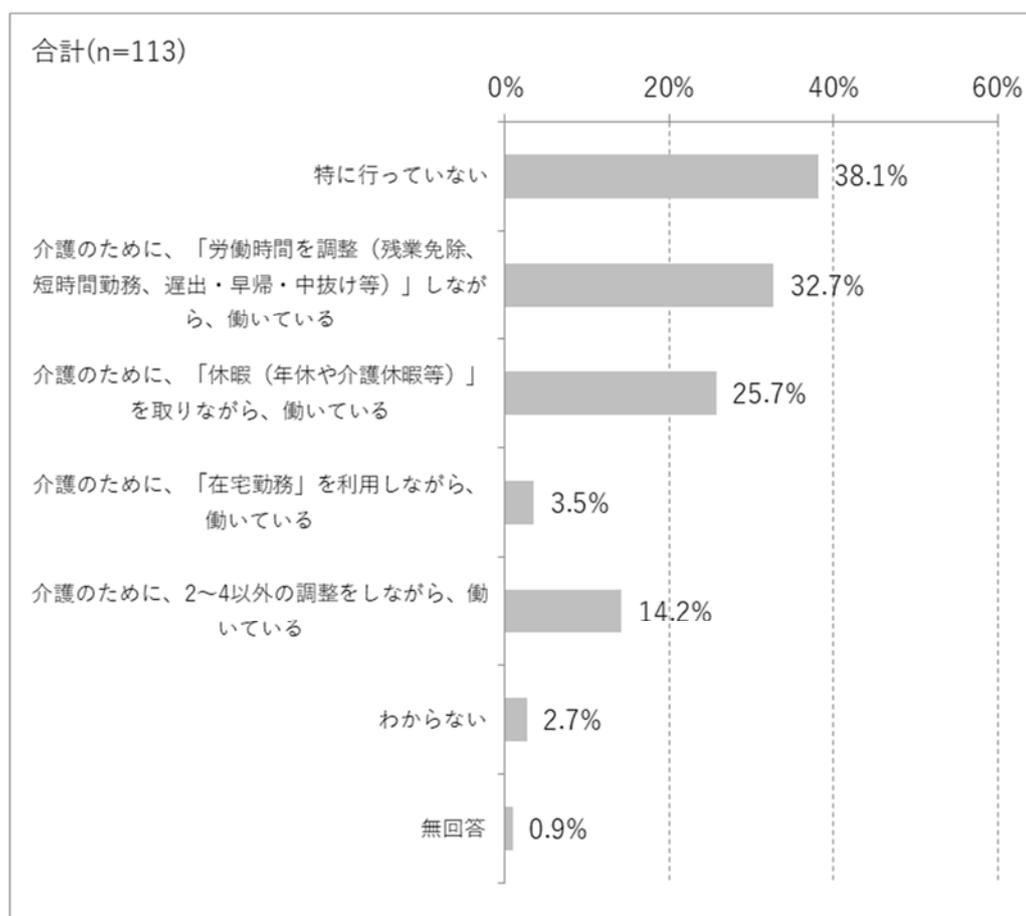
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「特に行っていない」の割合が最も高く 38.1%となっている。次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（32.7%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（25.7%）」となっている。

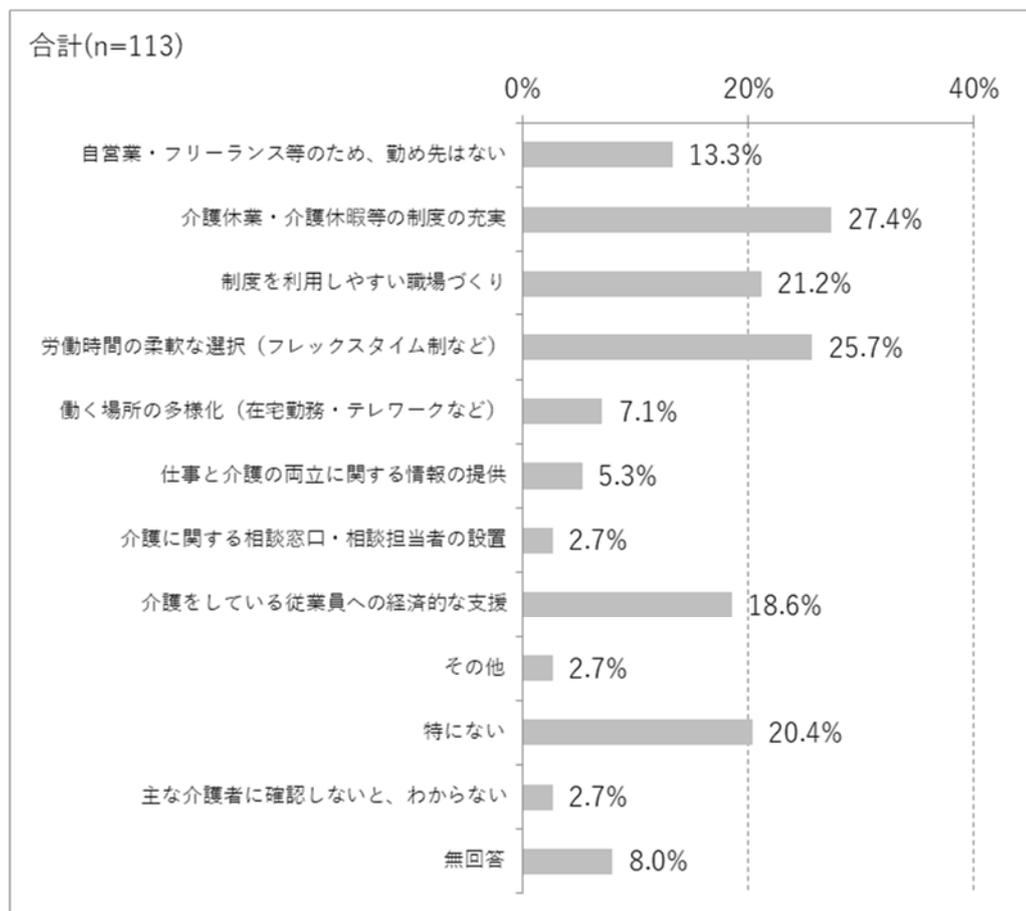
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が最も高く 27.4%となっている。次いで、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）（25.7%）」、「制度を利用しやすい職場づくり（21.2%）」となっている。

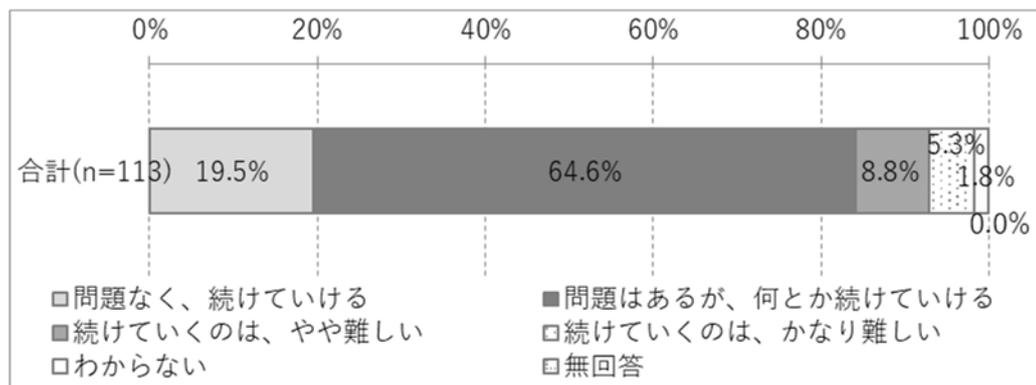
図表 2-3 ★就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）



(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 64.6%となっている。次いで、「問題なく、続けていける (19.5%)」、「続けていくのは、やや難しい (8.8%)」となっている。

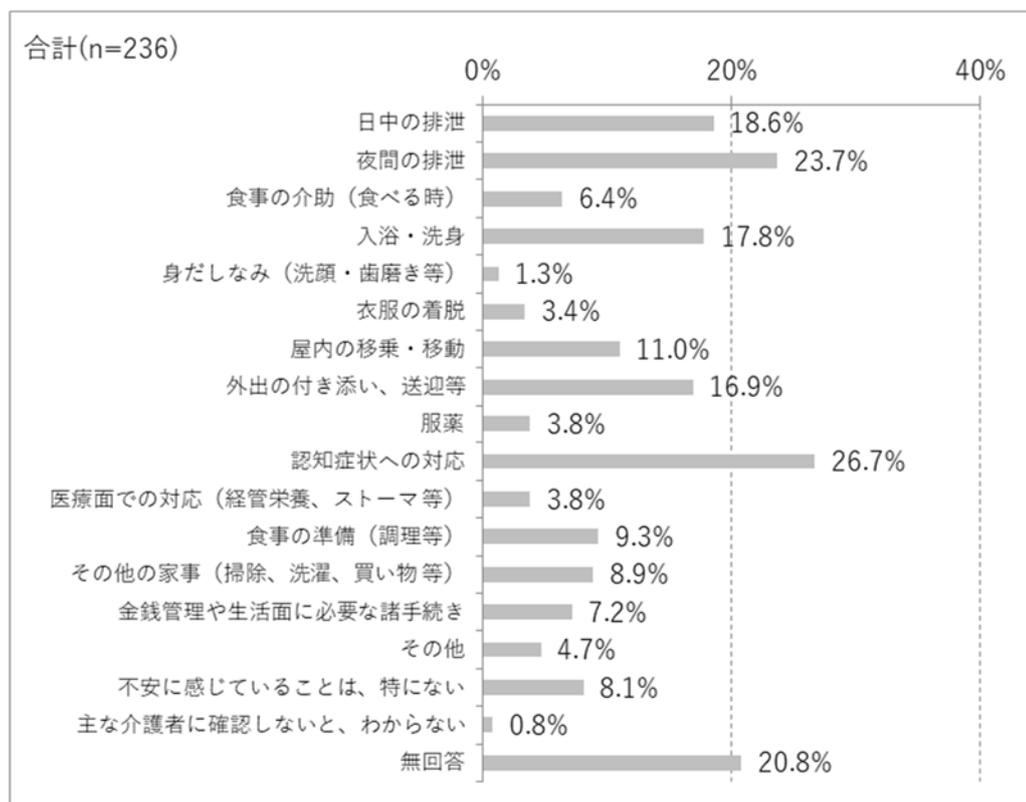
図表 2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 (単数回答)



(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「認知症状への対応」の割合が最も高く 26.7%となっている。次いで、「夜間の排泄 (23.7%)」、「日中の排泄 (18.6%)」となっている。

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）

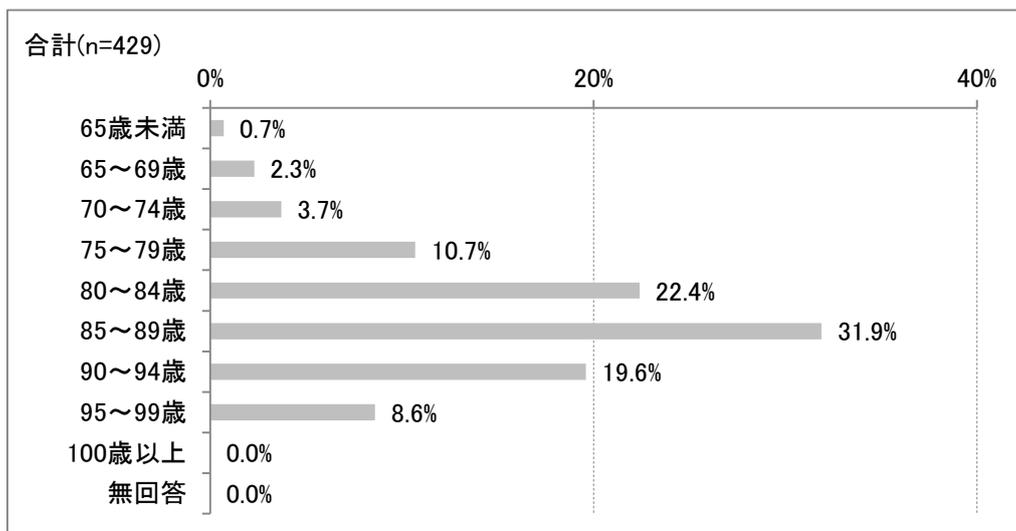


3 要介護認定データ

(1) 年齢

「85～89歳」の割合が最も高く31.9%となっている。次いで、「80～84歳（22.4%）」、「90～94歳（19.6%）」となっている。

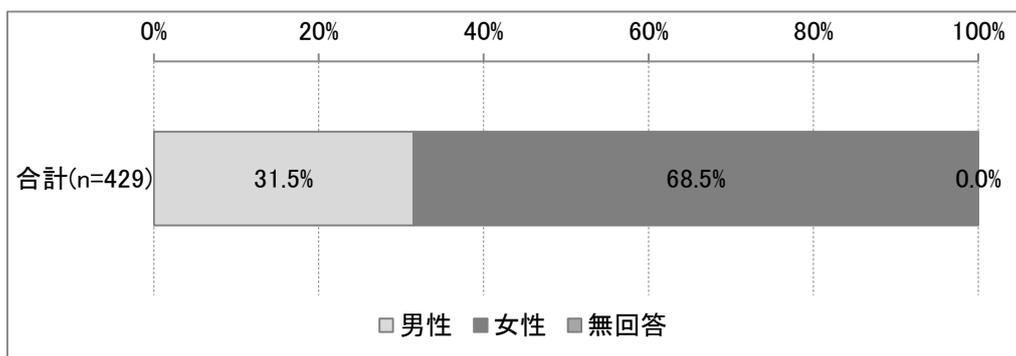
図表 3-1 年齢



(2) 性別

「女性」の割合が最も高く68.5%となっている。次いで、「男性（31.5%）」となっている。

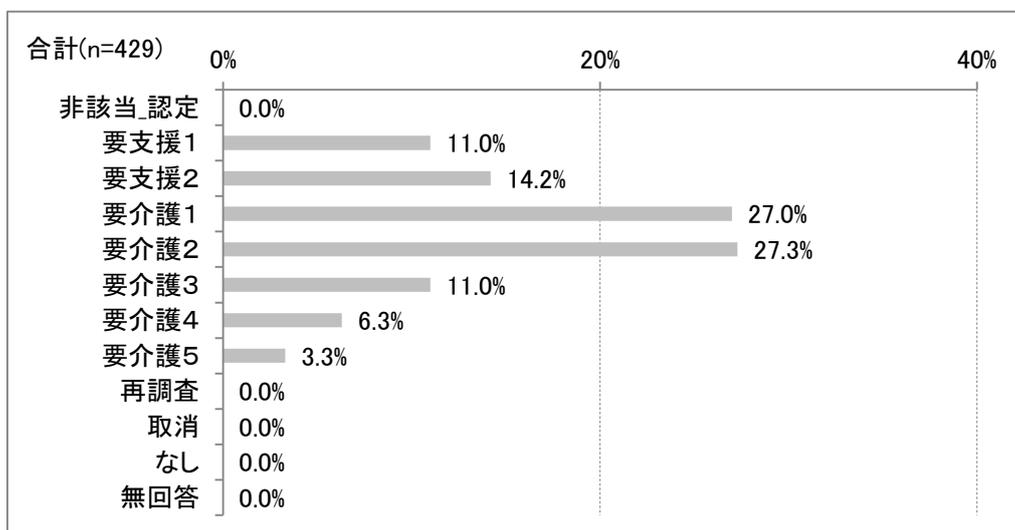
図表 3-2 性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

「要介護2」の割合が最も高く27.3%となっている。次いで、「要介護1（27.0%）」、「要支援2（14.2%）」となっている。

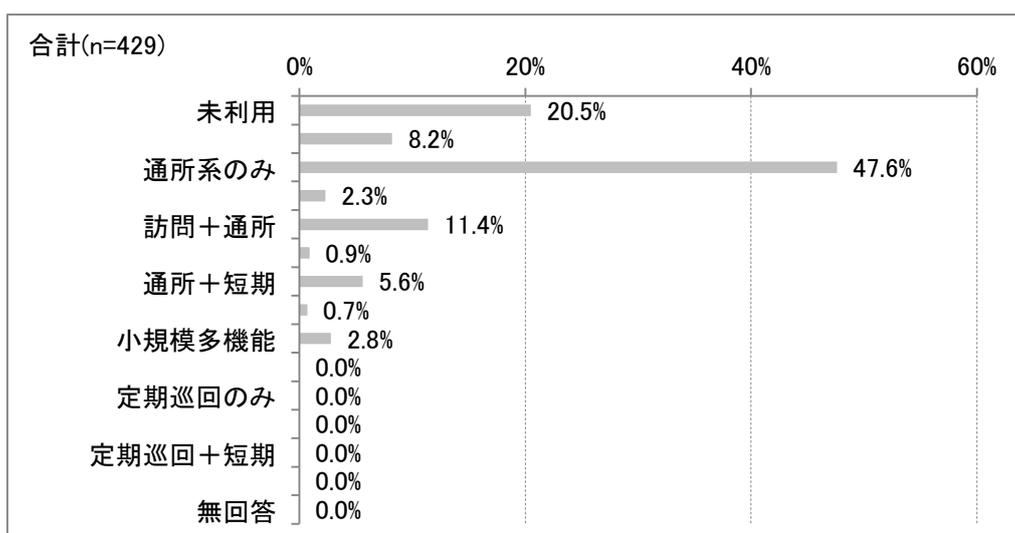
図表 3-3 二次判定結果



(4) サービス利用の組み合わせ

「通所系のみ」の割合が最も高く47.6%となっている。次いで、「未利用（20.5%）」、「訪問+通所（11.4%）」となっている。

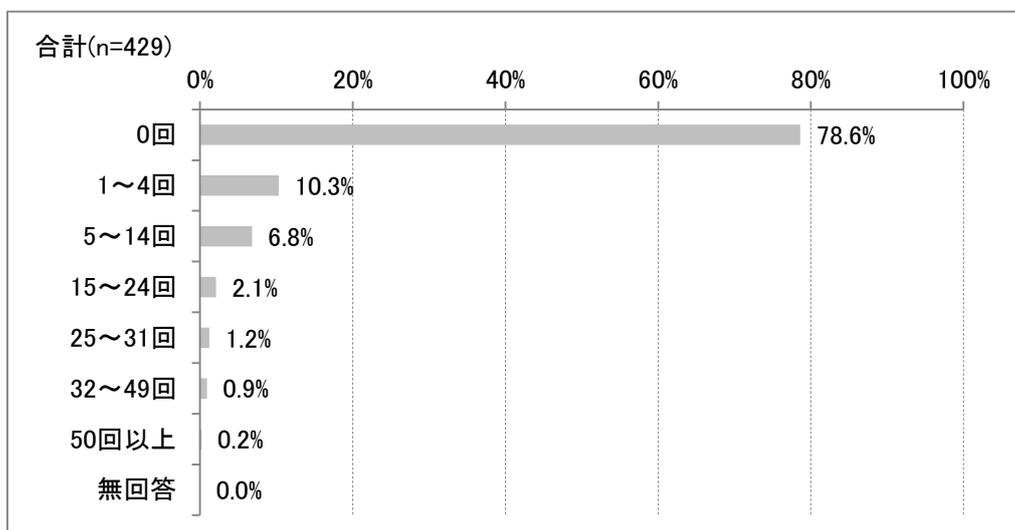
図表 3-4 サービス利用の組み合わせ



(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く78.6%となっている。次いで、「1～4回（10.3%）」、「5～14回（6.8%）」となっている。

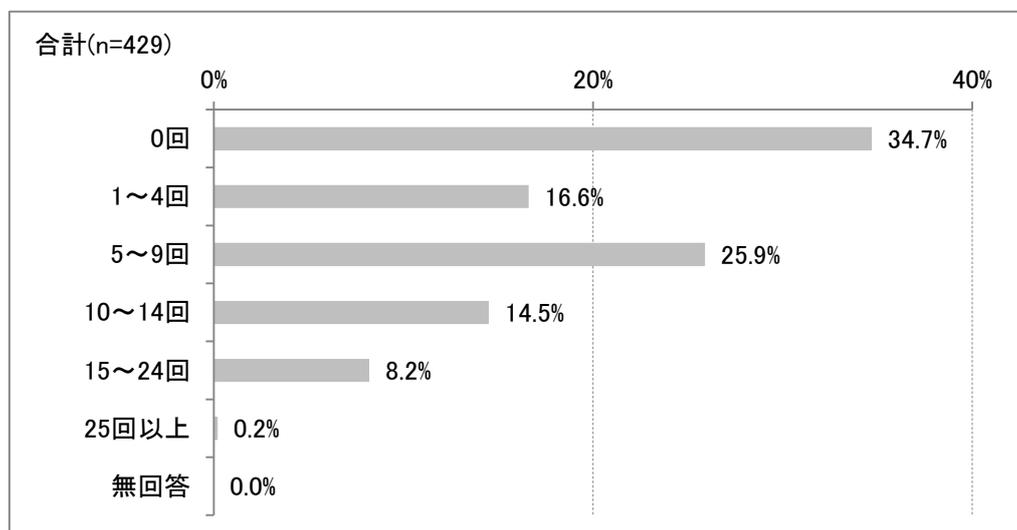
図表 3-5 サービスの利用回数（訪問系）



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く34.7%となっている。次いで、「5～9回(25.9%)」、「1～4回(16.6%)」となっている。

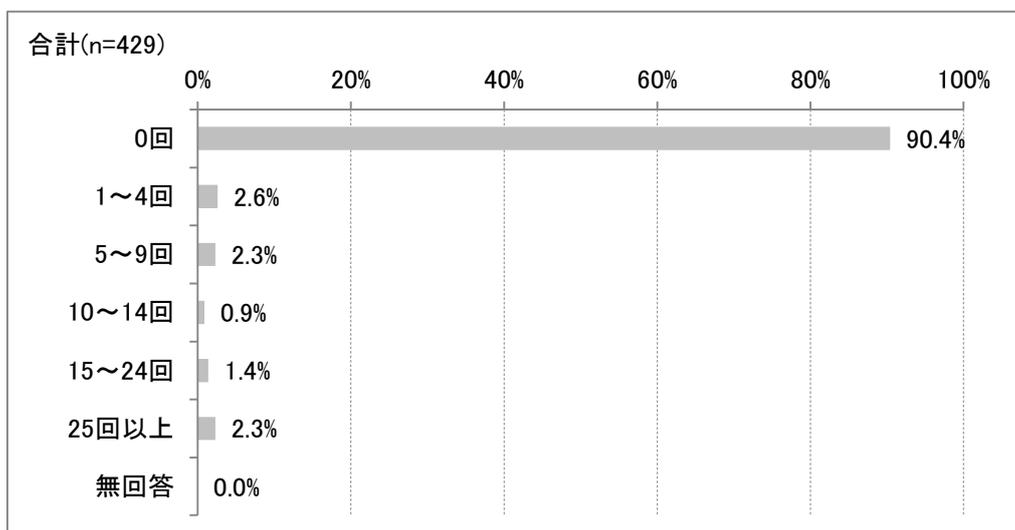
図表 3-6 サービスの利用回数（通所系）



(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く90.4%となっている。次いで、「1～4回(2.6%)」、「5～9回(2.3%)」、「25回以上(2.3%)」となっている。

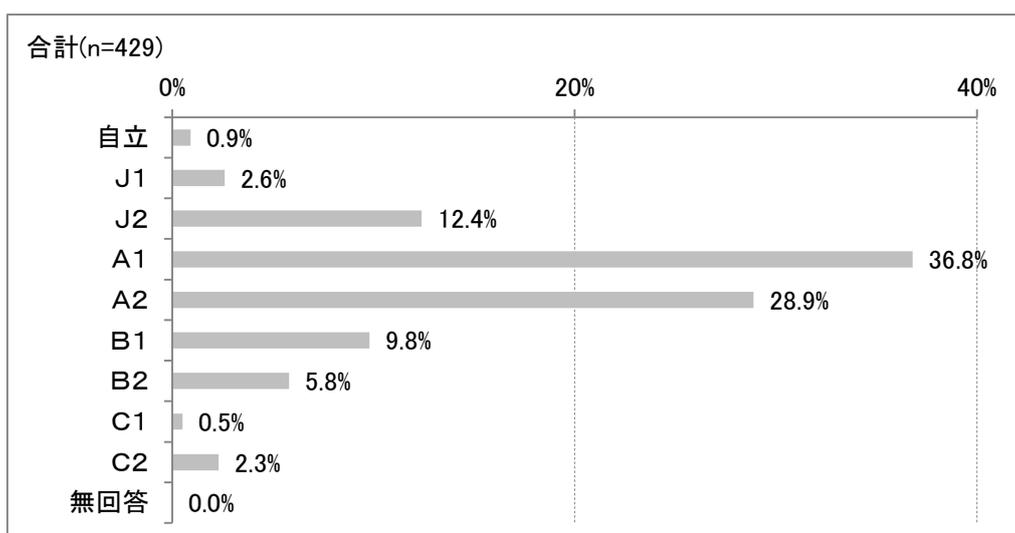
図表 3-7 サービスの利用回数（短期系）



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「A1」の割合が最も高く36.8%となっている。次いで、「A2(28.9%)」、「J2(12.4%)」となっている。

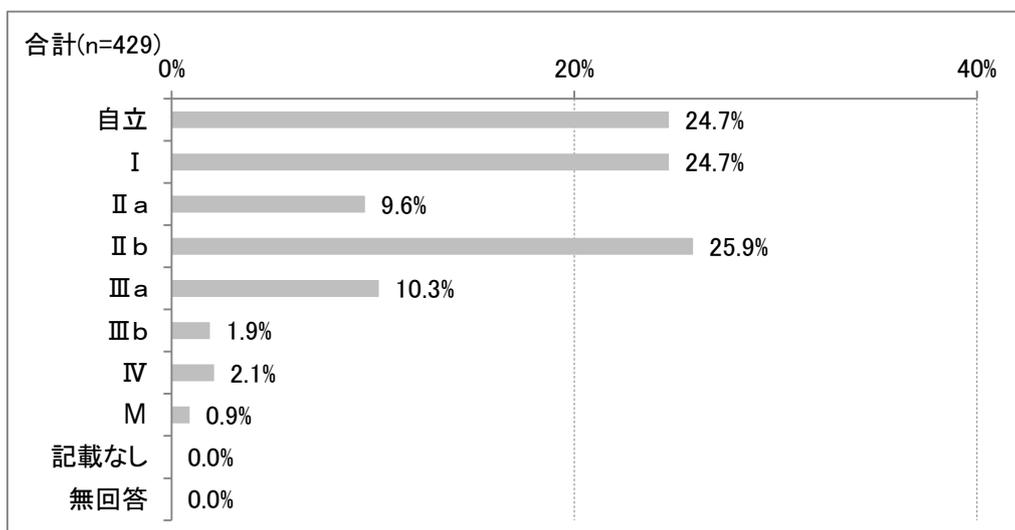
図表 3-8 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「Ⅱ b」の割合が最も高く 25.9%となっている。次いで、「自立 (24.7%)」、「Ⅰ (24.7%)」、「Ⅲ a (10.3%)」となっている。

図表 3-9 認知症高齢者の日常生活自立度



第3章

クロス集計

I 介護保険事業計画の策定に向けた検討

1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

1.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「在宅生活の継続」と「介護者不安の軽減」の2つの視点からの集計を行っています。
- それぞれ、「どのようなサービス利用パターンの場合」に、「在宅生活を継続することができるのか」、もしくは「介護者の不安が軽減されているのか」を分析するために、「サービス利用パターン」とのクロス集計を行っています。
- なお、「サービス利用パターン」は、「サービス利用の組み合わせ」と「サービス利用の回数」の2つからなります。
- また、在宅限界点についての分析を行うという主旨から、多くの集計は要介護3以上、もしくは認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方に限定して集計をしています。

1.2 集計結果と着目すべきポイント

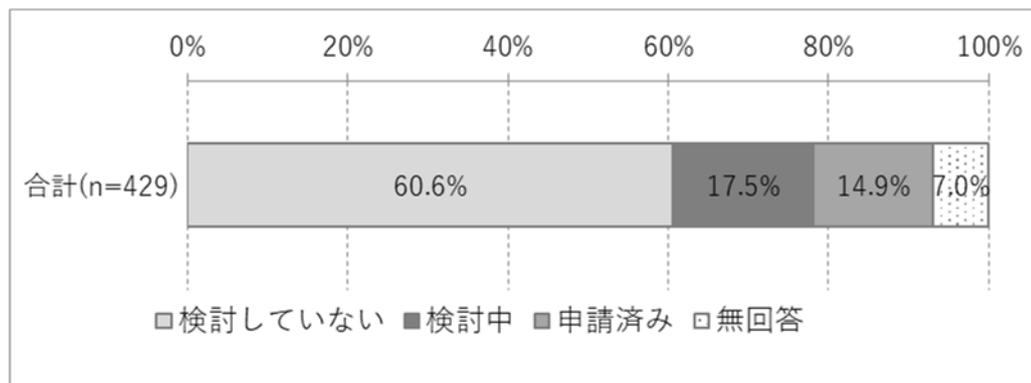
(1) 基礎集計

- 施設等の検討状況に係る、基礎的な集計を行っています（図表 1-1～図表 1-3）。
- 要介護度の重度化に伴う、施設等検討状況の変化や世帯類型ごとの施設等検討状況についてその状況を確認してください。

【施設等検討の状況】

「検討していない」の割合が最も高く 60.6%となっている。次いで、「検討中（17.5）」、「申請済み（14.9%）」となっている。

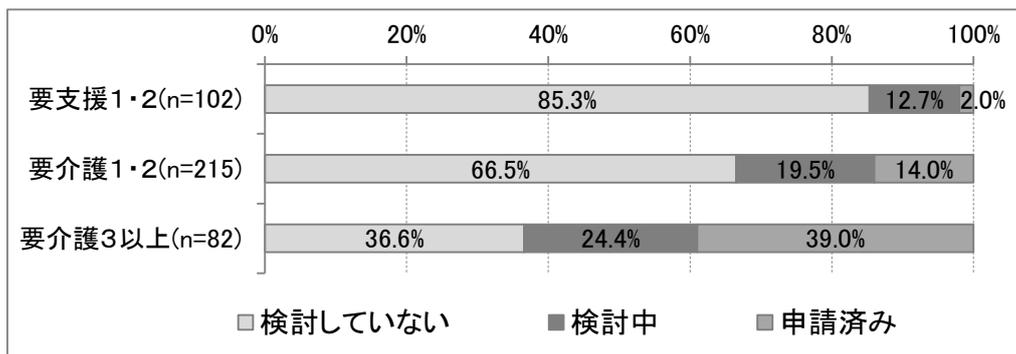
図表 1-1 施設等検討の状況



【要介護度別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が85.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が12.7%、「申請済み」が2.0%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が66.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が19.5%、「申請済み」が14.0%となっている。「要介護3以上」では「申請済み」が39.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が36.6%、「検討中」が24.4%となっている。

図表 1-2 要介護度別・施設等検討の状況<***>

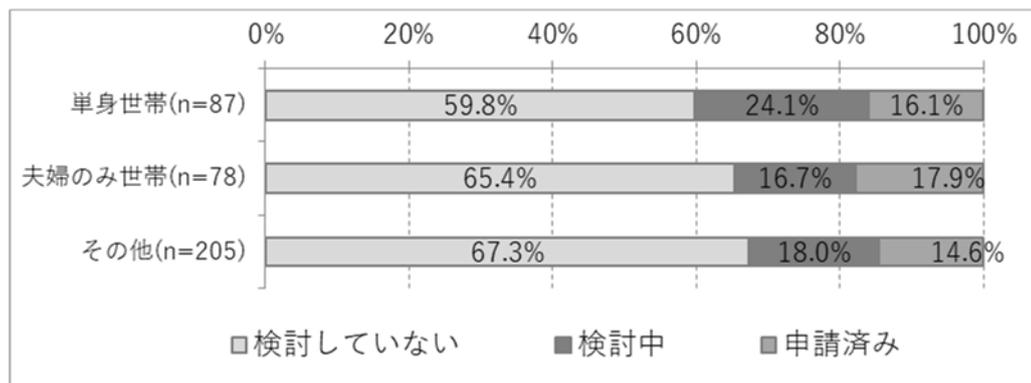


【世帯類型別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が59.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が24.1%、「申請済み」が16.1%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が65.4%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が17.9%、「検討中」が16.7%となっている。「その他」では「検討していない」が67.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が18.0%、「申請済み」が14.6%となっている。

図表 1-3 世帯類型別・施設等検討の状況



(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安を感じる介護」の変化

【着目すべきポイント】

- 要介護度と認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安を感じる介護」の変化について、集計分析をしています（図表 1-4、図表 1-5）。
- ここでの「主な介護者が不安を感じる介護」とは、「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安を感じる介護等」のことです。なお、ここで選択される介護は、現状で行っている介護であるか否かは問われていません。
- ここから、要介護度・認知症自立度別の、主な介護者が不安を感じる介護等を把握することができます。
- また、主な介護者の不安が相対的に大きな介護や、重度化に伴い主な介護者の不安が大きくなる介護等に注目することで、在宅限界点に大きな影響を与えると考えられる「主な介護者が不安を感じる介護」を推測することも可能になります。

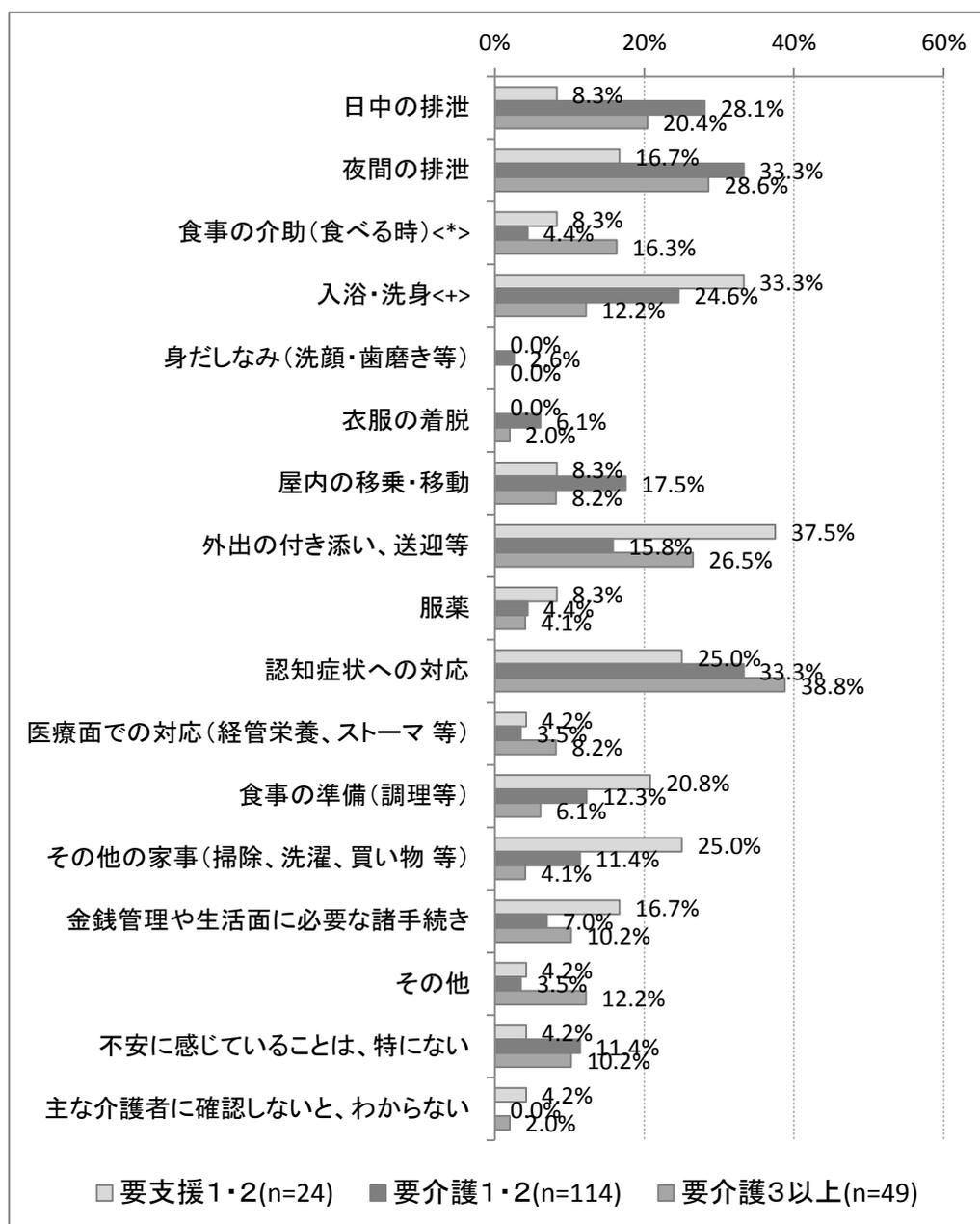
【留意事項】

- なお、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」については、特に、実際に行われている割合が低い可能性が高いと考えられます。したがって、仮に選択した回答者が少ない場合でも、実際に医療ニーズのある要介護者を介護しているケースでは、主な介護者の不安は大きいことも考えられます。
- そのような観点から、在宅限界点に与える影響が過小評価される項目もあると考えられることから、注意が必要です。

【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が37.5%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が33.3%、「認知症状への対応」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が25.0%となっている。「要介護1・2」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が28.1%、「入浴・洗身」が24.6%となっている。「要介護3以上」では「認知症状への対応」が38.8%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が28.6%、「外出の付き添い、送迎等」が26.5%となっている。

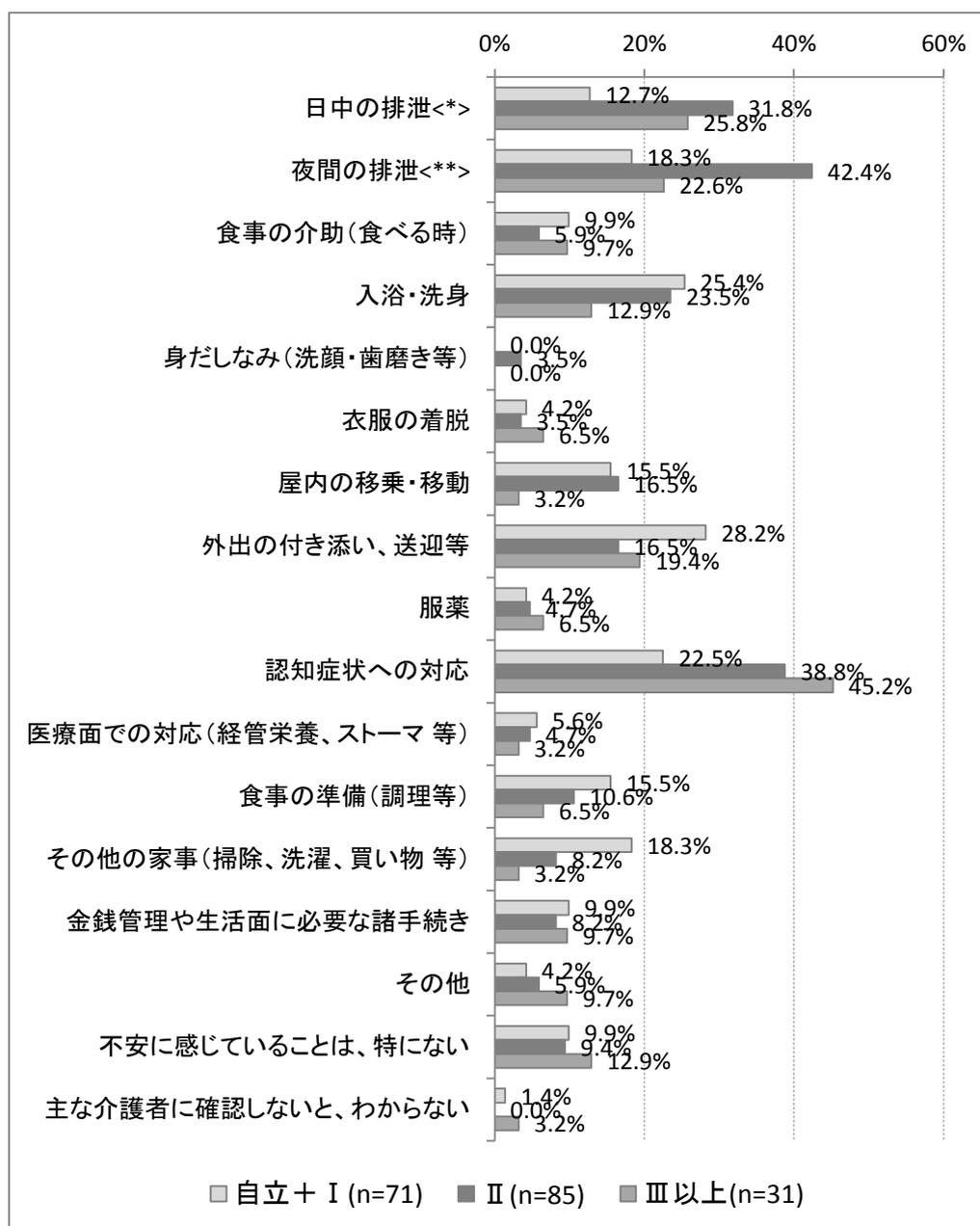
図表 1-4 要介護度別・介護者が不安に感じる介護



【認知症自立度別・介護者が不安を感じる介護】

介護者が不安を感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「外出の付き添い、送迎等」が28.2%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が25.4%、「認知症状への対応」が22.5%となっている。「Ⅱ」では「夜間の排泄」が42.4%ともっとも割合が高く、次いで「認知症状への対応」が38.8%、「日中の排泄」が31.8%となっている。「Ⅲ以上」では「認知症状への対応」が45.2%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が25.8%、「夜間の排泄」が22.6%となっている。

図表 1-5 認知症自立度別・介護者が不安を感じる介護



(3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

【着目すべきポイント】

- ここでは、要介護度・認知症自立度別の「サービス利用の組み合わせ」について、集計分析をしています（図表 1-6、図表 1-7）。
- 特に、重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。
- さらに、例えば今後の中重度の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。

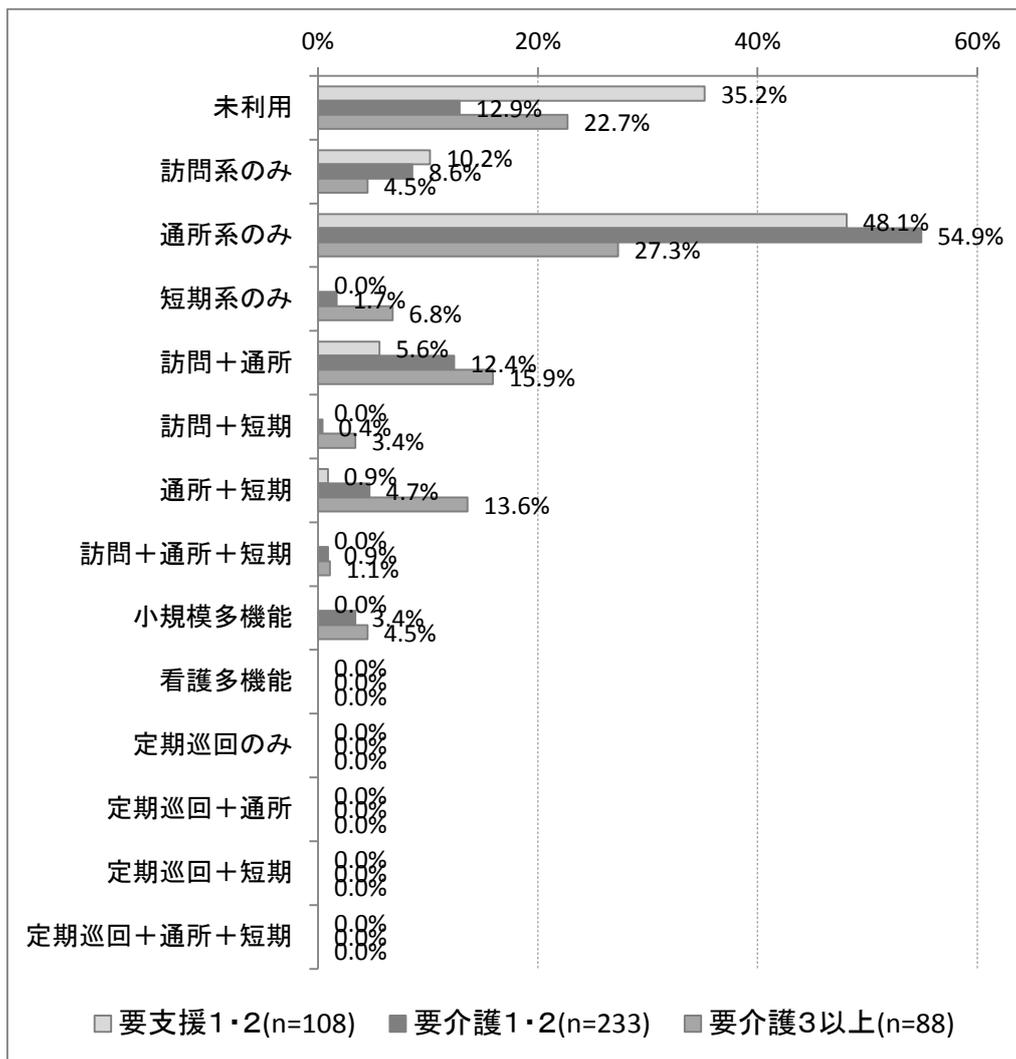
【留意事項】

- ただし、現在利用しているサービスが「地域目標を達成するためのサービス」であるとは限らない点には注意が必要です。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系のみ」が48.1%と最も割合が高く、次いで「未利用」が35.2%、「訪問系のみ」が10.2%となっている。「要介護1・2」では「通所系のみ」が54.9%と最も割合が高く、次いで「未利用」が22.7%、「訪問+通所」が12.4%となっている。「要介護3以上」では「通所系のみ」が27.3%と最も割合が高く、次いで「未利用」が22.7%、「訪問+通所」が15.9%となっている。

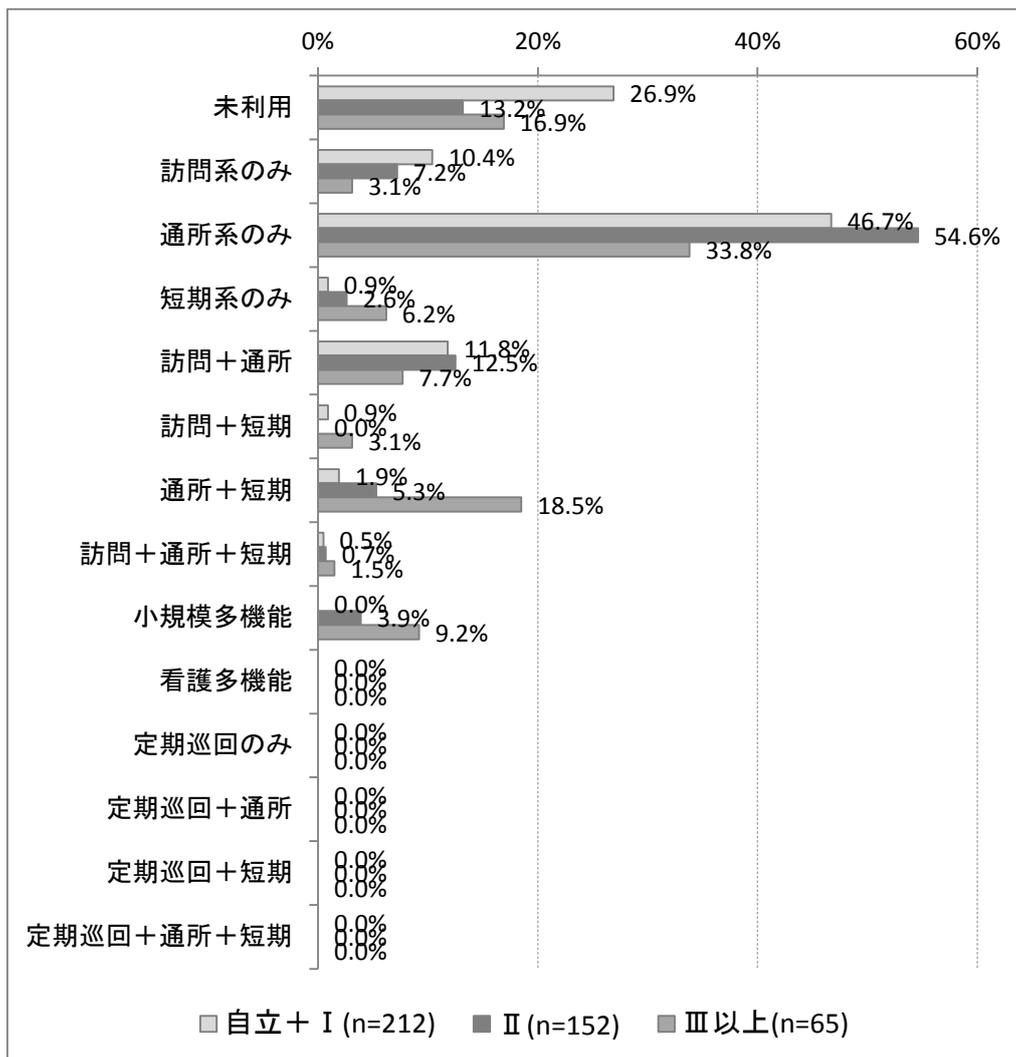
図表 1-6 要介護度別・サービス利用の組み合わせ<***>



認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「通所系のみ」が46.7%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が26.9%、「訪問＋通所」が11.8%となっている。「Ⅱ」では「通所系のみ」が54.6%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が13.2%、「訪問＋通所」が12.5%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系のみ」が33.8%ともっとも割合が高く、次いで「通所＋短期」が18.5%、「未利用」が16.9%となっている。

図表 1-7 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ<***>



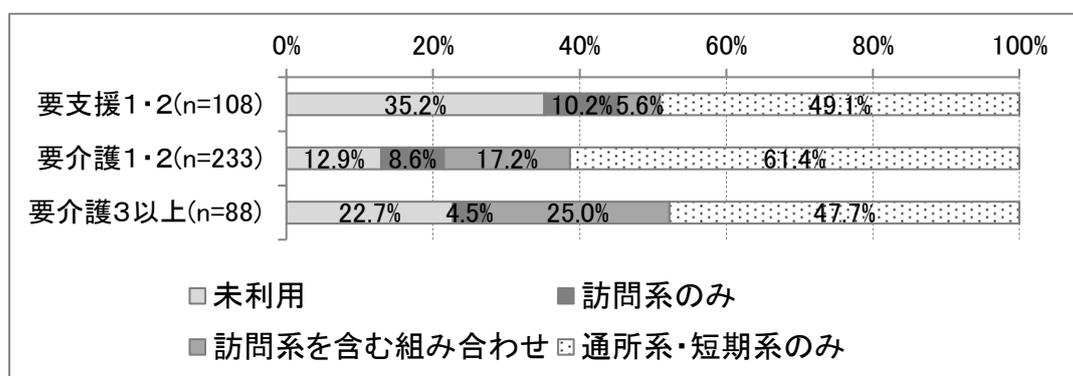
【着目すべきポイント】

- ここでは、要介護度・認知症自立度別の「サービス利用の組み合わせ」について、組み合わせのパターンを簡略化した集計分析をしています（図表 1-8、図表 1-9）。
- 具体的には、サービス利用の組み合わせを、「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイト機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその2つを組み合わせた「訪問系を含むサービス利用」の3種類（未利用除く）に分類したものです。
- 組み合わせのパターンが細分化された集計分析（図表 1-6、図表 1-7）と比較して、上記のような視点から、重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化の傾向等を分かりやすく示すことを目的としたものです。
- 前掲の集計分析（図表 1-6、図表 1-7）と同様に、重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。
- また、中重度の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が49.1%と最も割合が高く、次いで「未利用」が35.2%、「訪問系のみ」が10.2%となっている。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が61.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が17.2%、「未利用」が12.9%となっている。「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が47.7%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.0%、「未利用」が22.7%となっている。

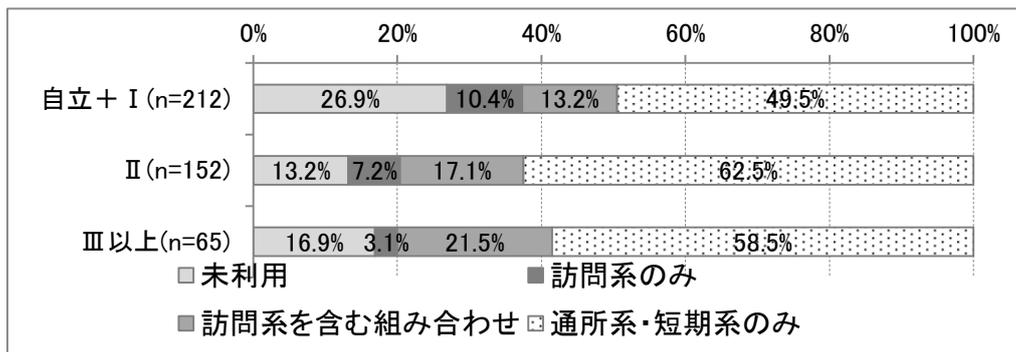
図表 1-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ<***>



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「通所系・短期系のみ」が49.5%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が26.9%、「訪問系を含む組み合わせ」が13.2%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が62.5%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が17.1%、「未利用」が13.2%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が58.5%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が21.5%、「未利用」が16.9%となっている。

図表 1-9 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ<**>



(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

【着目すべきポイント】

- ここでは、「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係について、集計分析をしています。それぞれ、要介護3以上と要介護4以上、認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅ケアとくらしの調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「サービス利用の組み合わせ」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることを想定しています。
- 図表 1-10～図表 1-12 は、「サービス利用の組み合わせ」別に「施設等検討の状況」の割合を集計分析したもので、特に「サービス利用の組み合わせ」ごとの「施設等検討の状況」の比較が容易です。
- また、図表 1-13～図表 1-15 は、表側と表頭を逆にして集計したもので、「施設等検討の状況」別の「サービス利用の組み合わせ」をみることができます。これにより、例えば施設等への入所・入居を「検討していない」ケースのような「適切な在宅生活の継続を実現している」と考えられる要介護者について、実際に「どのような組み合わせのサービスを利用しているか」を把握することができます。
- したがって、例えば「検討中」や「申請済み」と比較して、「検討していない」ケースで多くみられるような「サービス利用の組み合わせ」を推進するような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながるなどが期待されます。

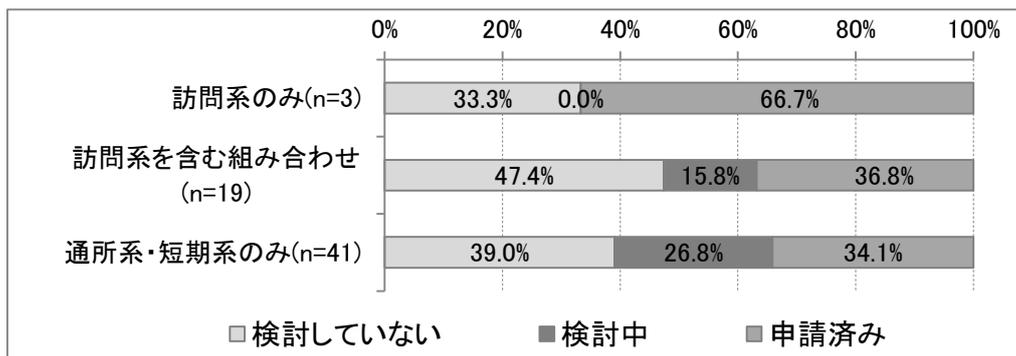
【留意事項】

- ただし、このような「サービス利用の組み合わせ」については、ケアマネジメントに直結する内容でもあることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論を交えながら、地域ごとにその効果等についての考察を深めていくことが重要となります。
- 例えば、「□□のサービスを利用しているケースでは、「検討していない」の割合が高い」といった傾向がみられたとしても、「何故、□□のサービスを利用しているケースでは、「検討していない」の割合が高いのか」といった解釈には、地域の特性や専門職の知見等を踏まえた個別の議論を行うことが必要になります。

【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護3以上)】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「申請済み」が66.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が33.3%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が47.4%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が36.8%、「検討中」が15.8%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が39.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が34.1%、「検討中」が26.8%となっている。

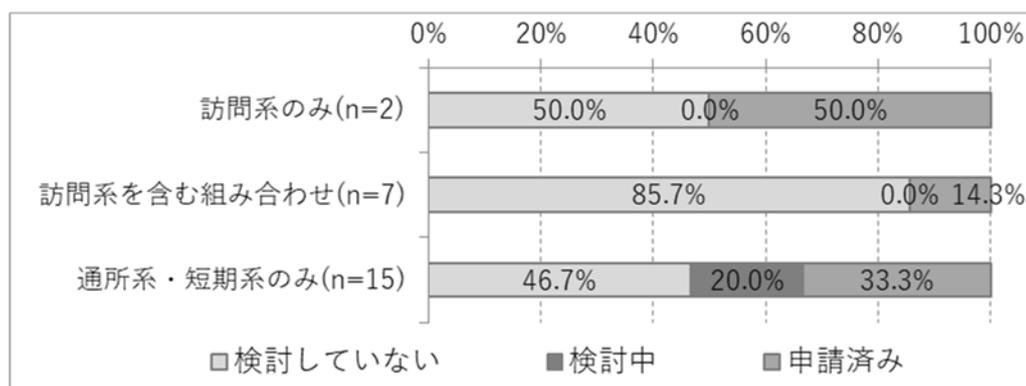
図表 1-10 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護4以上)】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」、「申請済み」が50.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が85.7%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が14.3%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が46.7%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が33.3%、「検討中」が20.0%となっている。

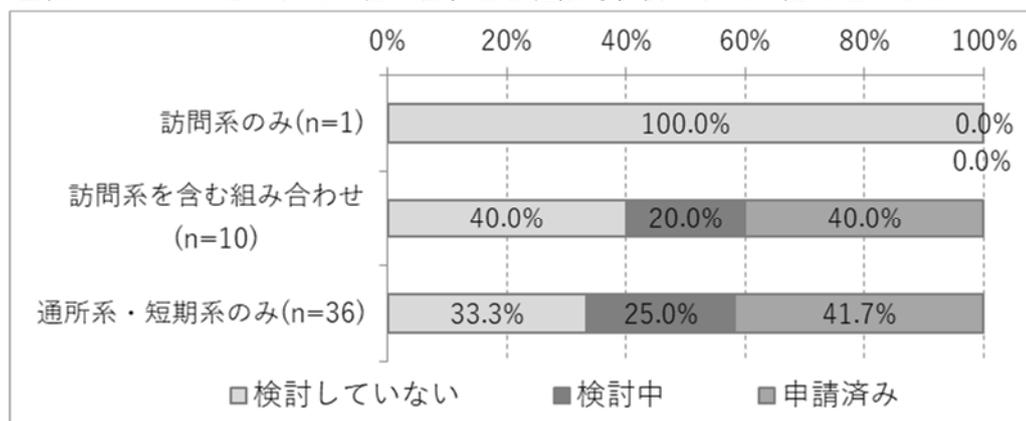
図表 1-11 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」、「申請済み」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が20.0%となっている。「通所系・短期系のみ」では「申請済み」が41.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が33.3%、「検討中」が25.0%となっている。

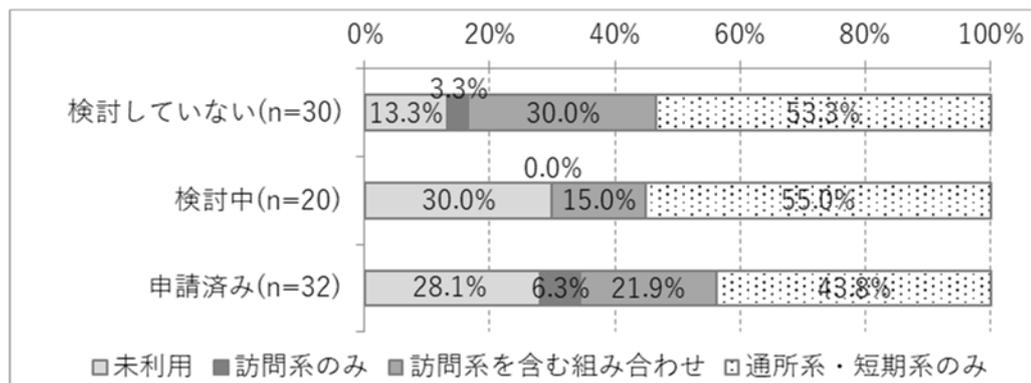
図表 1-12 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護3以上)】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「通所系・短期系のみ」が53.3%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が30.0%、「未利用」が13.3%となっている。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が55.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が30.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が15.0%となっている。「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が43.8%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が28.1%、「訪問系を含む組み合わせ」が21.9%となっている。

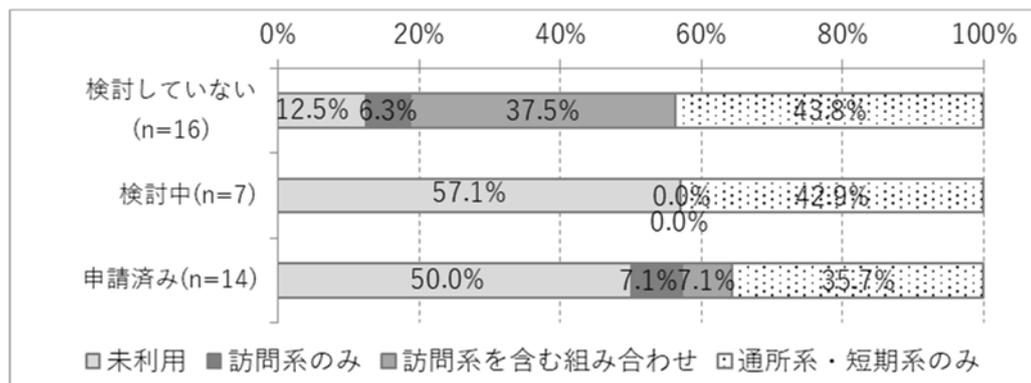
図表 1-13 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護4以上)】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「通所系・短期系のみ」が43.8%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が37.5%、「未利用」が12.5%となっている。「検討中」では「未利用」が57.1%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が42.9%となっている。「申請済み」では「未利用」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が35.7%、「訪問系のみ」が7.1%、「訪問系を含む組み合わせ」が7.1%となっている。

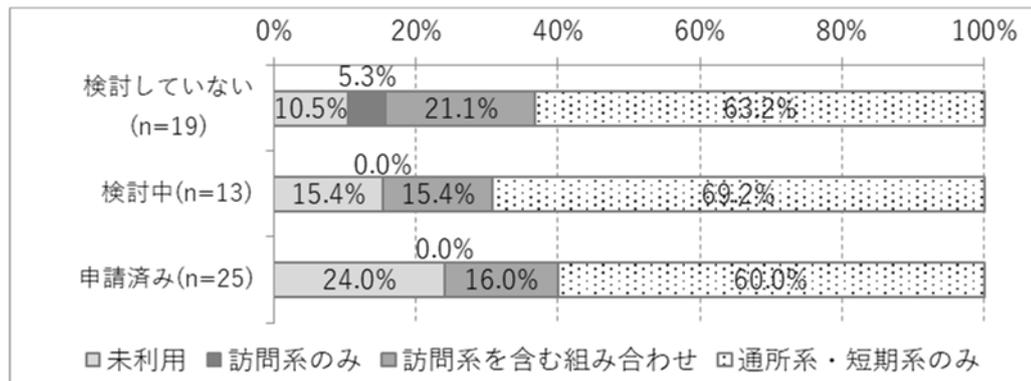
図表 1-14 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(認知症Ⅲ以上)】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「通所系・短期系のみ」が63.2%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が21.1%、「未利用」が10.5%となっている。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が69.2%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が15.4%となっている。「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が60.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が24.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が16.0%となっている。

図表 1-15 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）



(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

【着目すべきポイント】

- ここでは、「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係について、集計分析をしています（図表 1-16、図表 1-17）。それぞれ、要介護 3 以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 「在宅生活の継続に向けてポイントとなる介護（主な介護者の不安が大きな介護 等）」について、「主な介護者が不安に感じる」割合を下げることは、在宅ケアとくらしの調査で想定する「アウトカム」の 1 つです。
- ここでは「サービス利用の組み合わせ」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることを想定しています。
- したがって、「主な介護者の不安」が比較的小さくなるような「サービス利用の組み合わせ」を推進するようなサービス整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながるなどが期待されます。

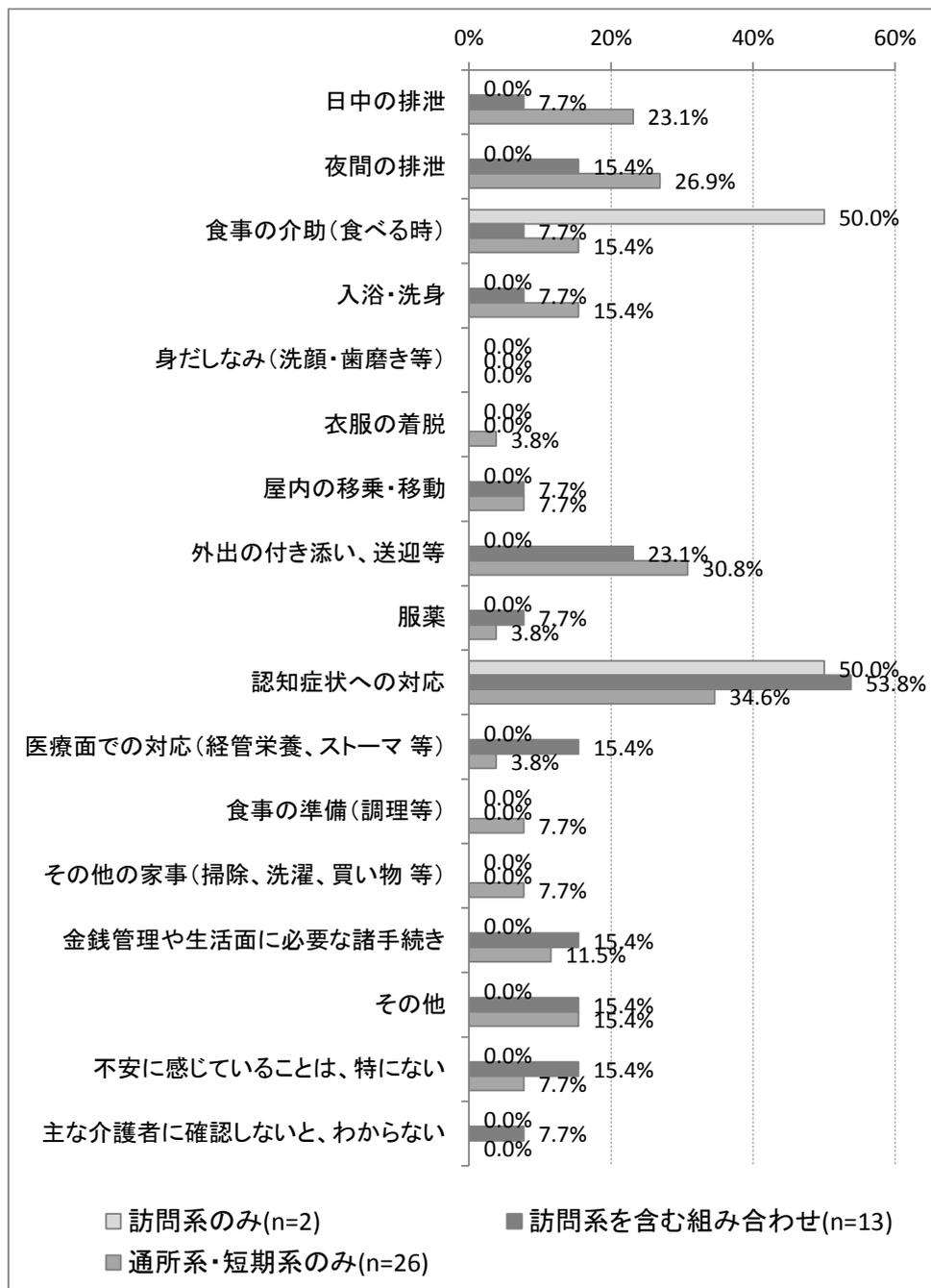
【留意事項】

- ただし、このような「サービス利用の組み合わせ」については、ケアマネジメントに直結する内容でもあることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。
- 例えば、「□□のサービスを利用しているケースでは、〇〇の介護について「主な介護者が不安に感じる」割合が低い」といった傾向がみられたとしても、「何故、□□のサービスを利用しているケースでは、〇〇の介護について「主な介護者が不安に感じる」割合が低いのか」といった解釈には、地域の特性や専門職の知見等を踏まえた個別の議論を行うことが必要になります。

【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護(要介護3以上)】

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「食事の介助(食べる時)」、「認知症状への対応」が50.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「認知症状への対応」が53.8%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が23.1%、「夜間の排泄」、「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」が15.4%となっている。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が34.6%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が30.8%、「夜間の排泄」が26.9%となっている。

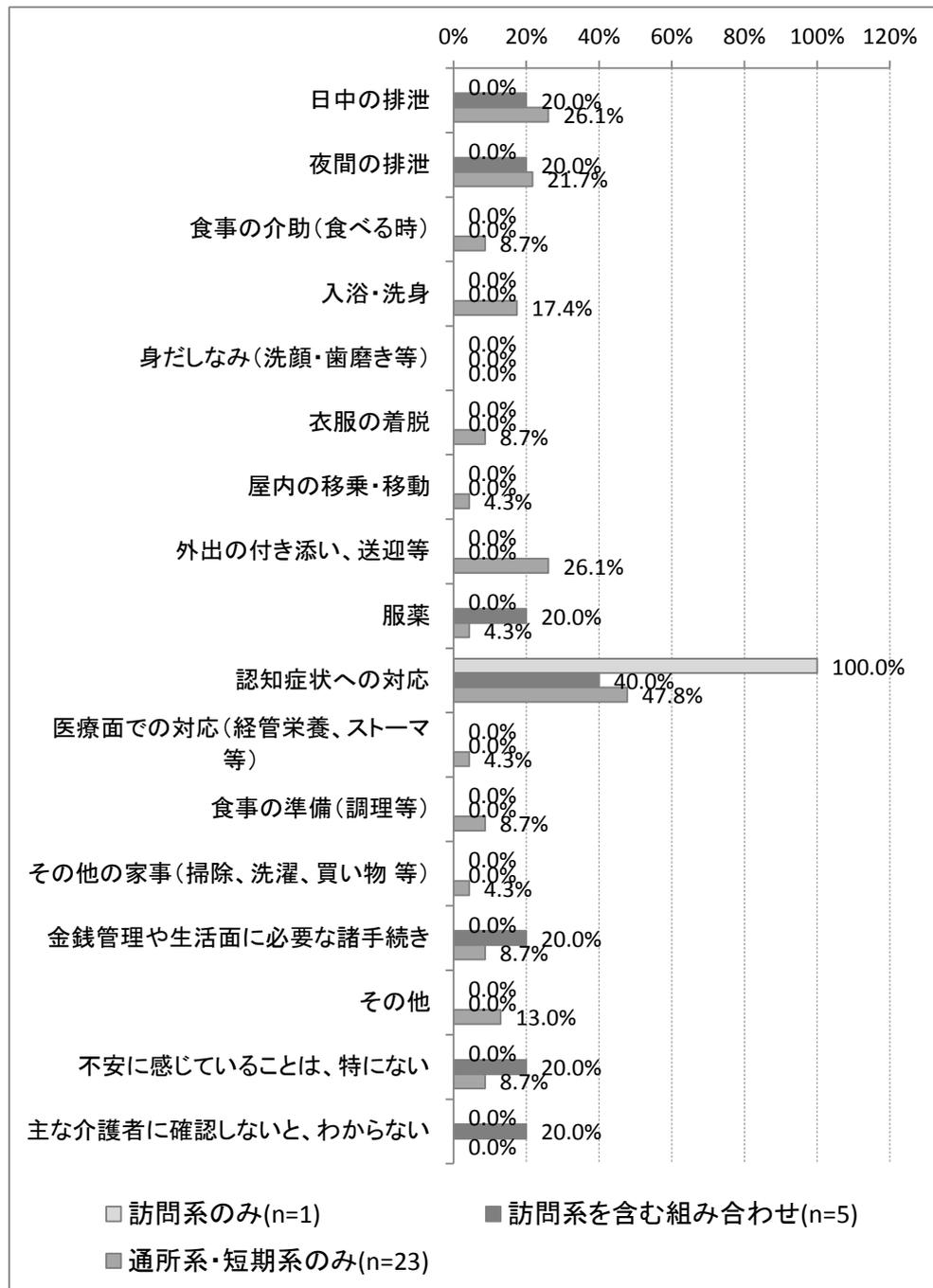
図表 1-16 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護(要介護3以上)



【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系を含む組み合わせ」では「認知症状への対応」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「服薬」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「不安を感じていることは、特にない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が20.0%となっている。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が47.8%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が26.1%、「夜間の排泄」が21.7%となっている。

図表 1-17 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）



(6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

【着目すべきポイント】

- (4)では、「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係を分析しましたが、ここでは「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」について、集計分析を行っています。それぞれ、要介護3以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅ケアとくらしの調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「サービス利用の回数」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。
- 図表 1-18 と図表 1-19 が訪問系、図表 1-20 と図表 1-21 通所系、図表 1-22 と図表 1-23 が短期系について集計分析した結果です。
- 「サービス利用の回数」の増加に伴い、施設等への入所・入居を「検討していない」割合が高くなるような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながるなどが期待されます。

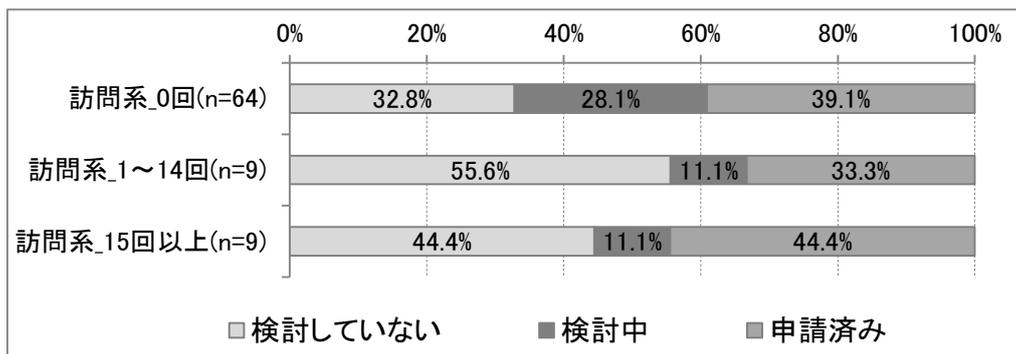
【留意事項】

- (4)の「サービス利用の組み合わせ」と、ここでの「サービス利用の回数」の2つの分析結果を参考に、在宅限界点の向上に資するサービス整備方針の検討につなげていくことが重要です。
- (4)の「サービス利用の組み合わせ」と同様、ケアマネジメントに直結する内容であることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。

【サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、要介護3以上)】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「申請済み」が39.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が32.8%、「検討中」が28.1%となっている。「訪問系_1～14回」では「検討していない」が55.6%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が33.3%、「検討中」が11.1%となっている。「訪問系_15回以上」では「検討していない」、「申請済み」が44.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が11.1%となっている。

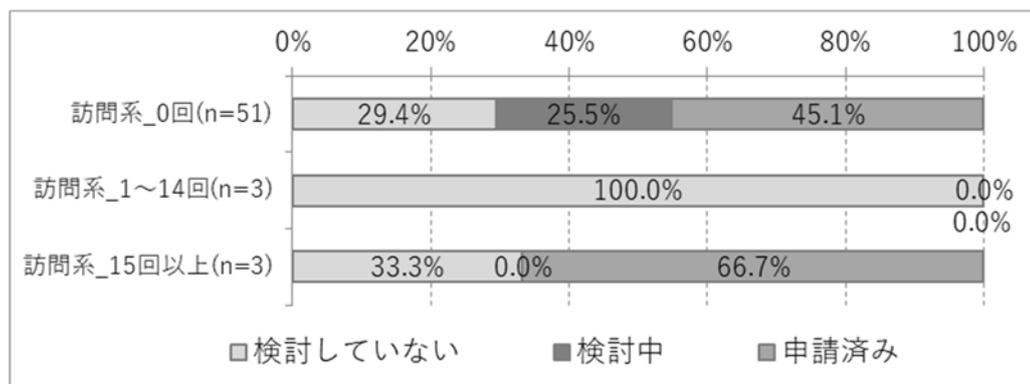
図表 1-18 サービス利用回数と施設等検討の状況 (訪問系、要介護3以上)



【サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「申請済み」が45.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が29.4%、「検討中」が25.5%となっている。「訪問系_1～14回」では「検討していない」が100.0%となっている。「訪問系_15回以上」では「申請済み」が66.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が33.3%となっている。

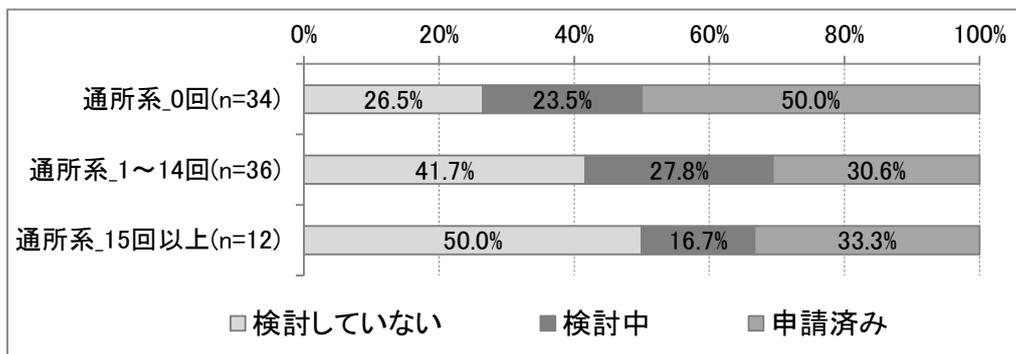
図表 1-19 サービス利用回数と施設等検討の状況 (訪問系、認知症Ⅲ以上)



【サービス利用回数と施設等検討の状況(通所系、要介護3以上)】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「申請済み」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が26.5%、「検討中」が23.5%となっている。「通所系_1～14回」では「検討していない」が41.7%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が30.6%、「検討中」が27.8%となっている。「通所系_15回以上」では「検討していない」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が33.3%、「検討中」が16.7%となっている。

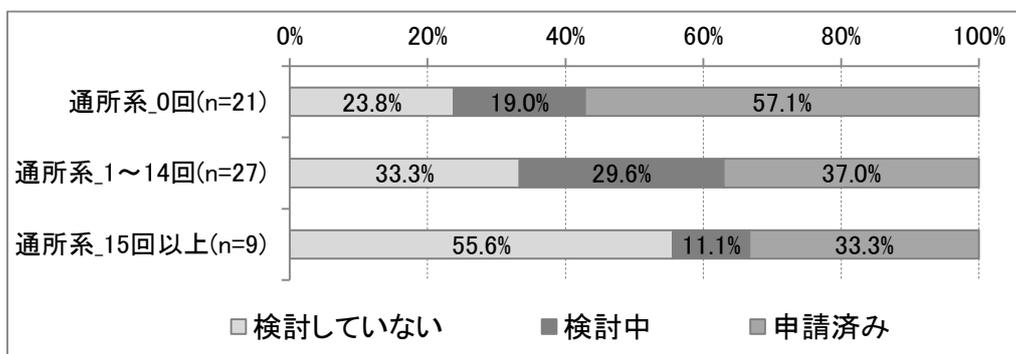
図表 1-20 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(通所系、認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「申請済み」が57.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が23.8%、「検討中」が19.0%となっている。「通所系_1～14回」では「申請済み」が37.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が33.3%、「検討中」が29.6%となっている。「通所系_15回以上」では「検討していない」が55.6%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が33.3%、「検討中」が11.1%となっている。

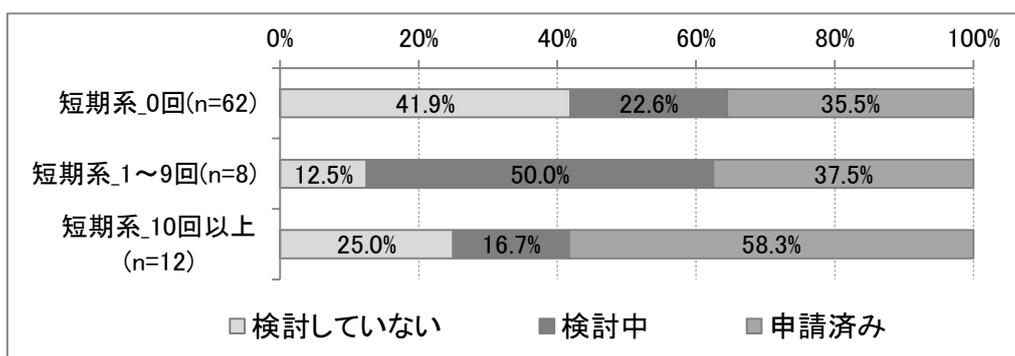
図表 1-21 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(短期系、要介護3以上)】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が41.9%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が35.5%、「検討中」が22.6%となっている。「短期系_1～9回」では「検討中」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が37.5%、「検討していない」が12.5%となっている。「短期系_10回以上」では「申請済み」が58.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が25.0%、「検討中」が16.7%となっている。

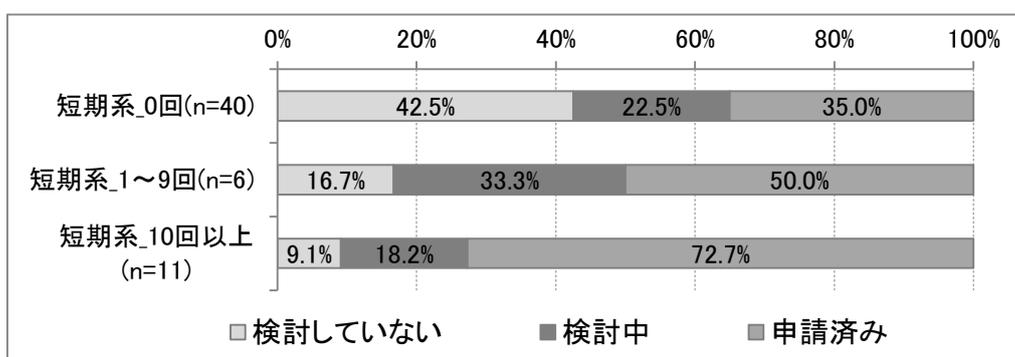
図表 1-22 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(短期系、認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が42.5%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が35.0%、「検討中」が22.5%となっている。「短期系_1～9回」では「申請済み」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「検討していない」が16.7%となっている。「短期系_10回以上」では「申請済み」が72.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が18.2%、「検討していない」が9.1%となっている。

図表 1-23 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）



(7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

【着目すべきポイント】

- (5)では、「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係を分析しましたが、ここでは「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」について、集計分析を行っています。
- 「在宅生活の継続に向けてポイントとなる介護（主な介護者の不安が大きな介護等）」について、「主な介護者が不安に感じる」割合を下げることは、在宅ケアとくらしの調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「サービス利用の回数」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。
- 図表 1-24 と図表 1-25 が訪問系、図表 1-26 と図表 1-27 が通所系、図表 1-28 と図表 1-29 が短期系について集計分析した結果です。それぞれ、要介護3以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 「サービス利用の回数」の増加に伴い、「主な介護者が不安に感じる」割合が低くなるような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながるなどが期待されます。

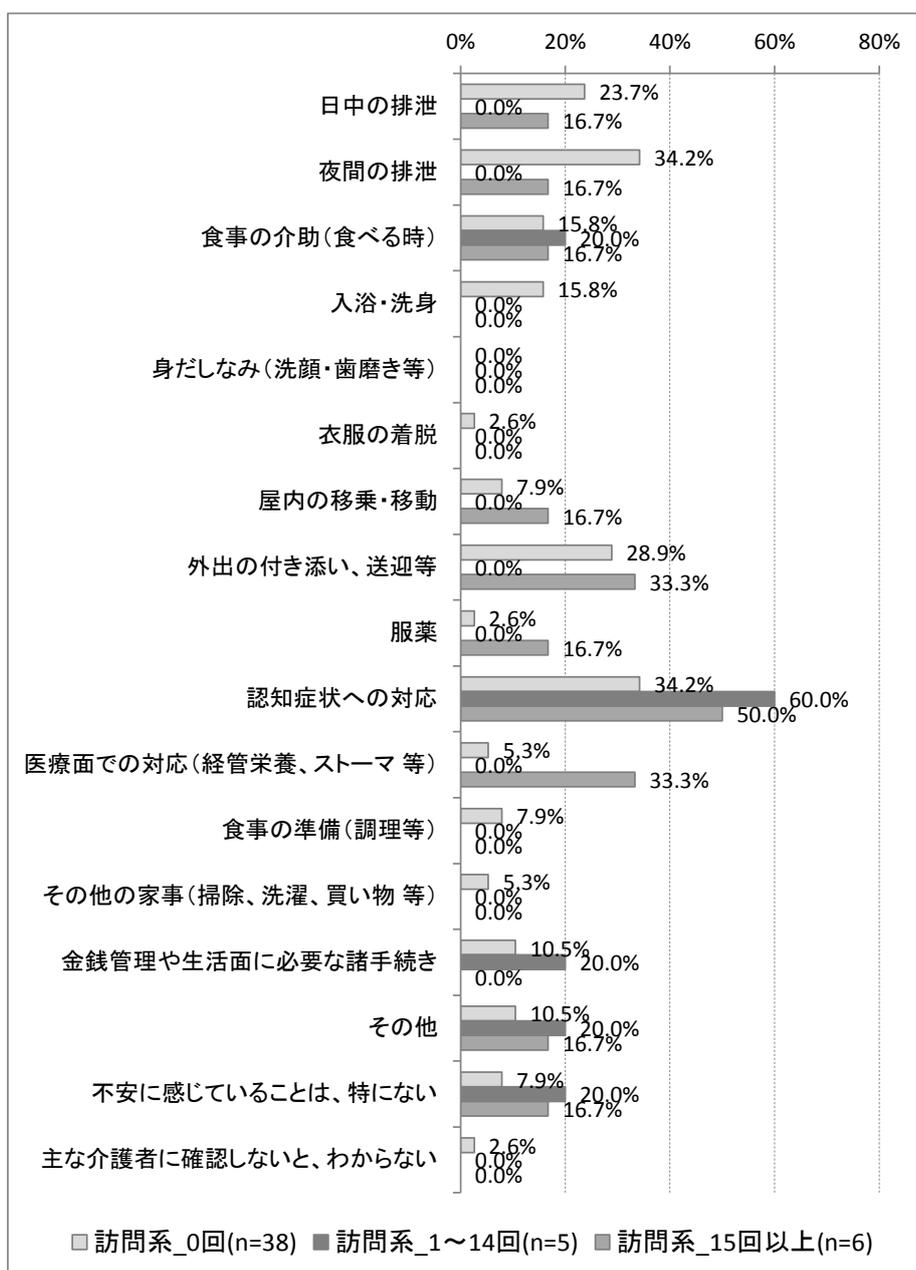
【留意事項】

- (5)の「サービス利用の組み合わせ」と、ここでの「サービス利用の回数」の2つの分析結果を参考に、介護者不安の軽減に資するサービス整備方針の検討につなげていくことが重要です。
- (5)の「サービス利用の組み合わせ」と同様、ケアマネジメントに直結する内容であることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）】

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が34.2%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が28.9%、「日中の排泄」が23.7%となっている。「訪問系_1～14回」では「認知症状への対応」が60.0%ともっとも割合が高く、次いで「食事の介助（食べる時）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」が20.0%となっている。「訪問系_15回以上」では「認知症状への対応」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が33.3%、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助（食べる時）」、「屋内の移乗・移動」、「服薬」、「その他」、「不安に感じていることは、特にない」が16.7%となっている。

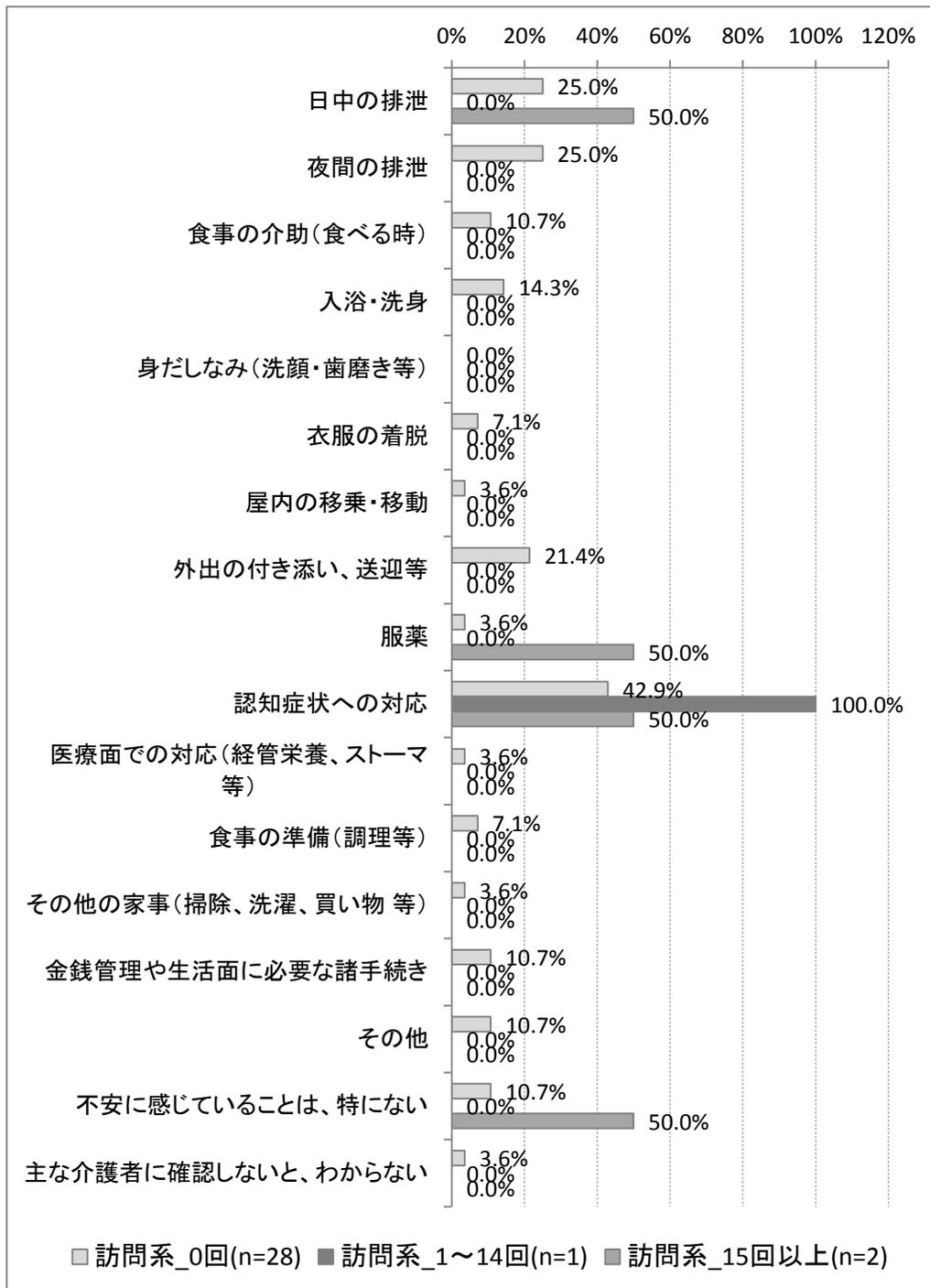
図表 1-24 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）】

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「認知症状への対応」が42.9%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」が25.0%、「外出の付き添い、送迎等」が21.4%となっている。「訪問系_15回以上」では「日中の排泄」、「服薬」、「認知症状への対応」、「不安に感じていることは、特にない」が50.0%となっている。

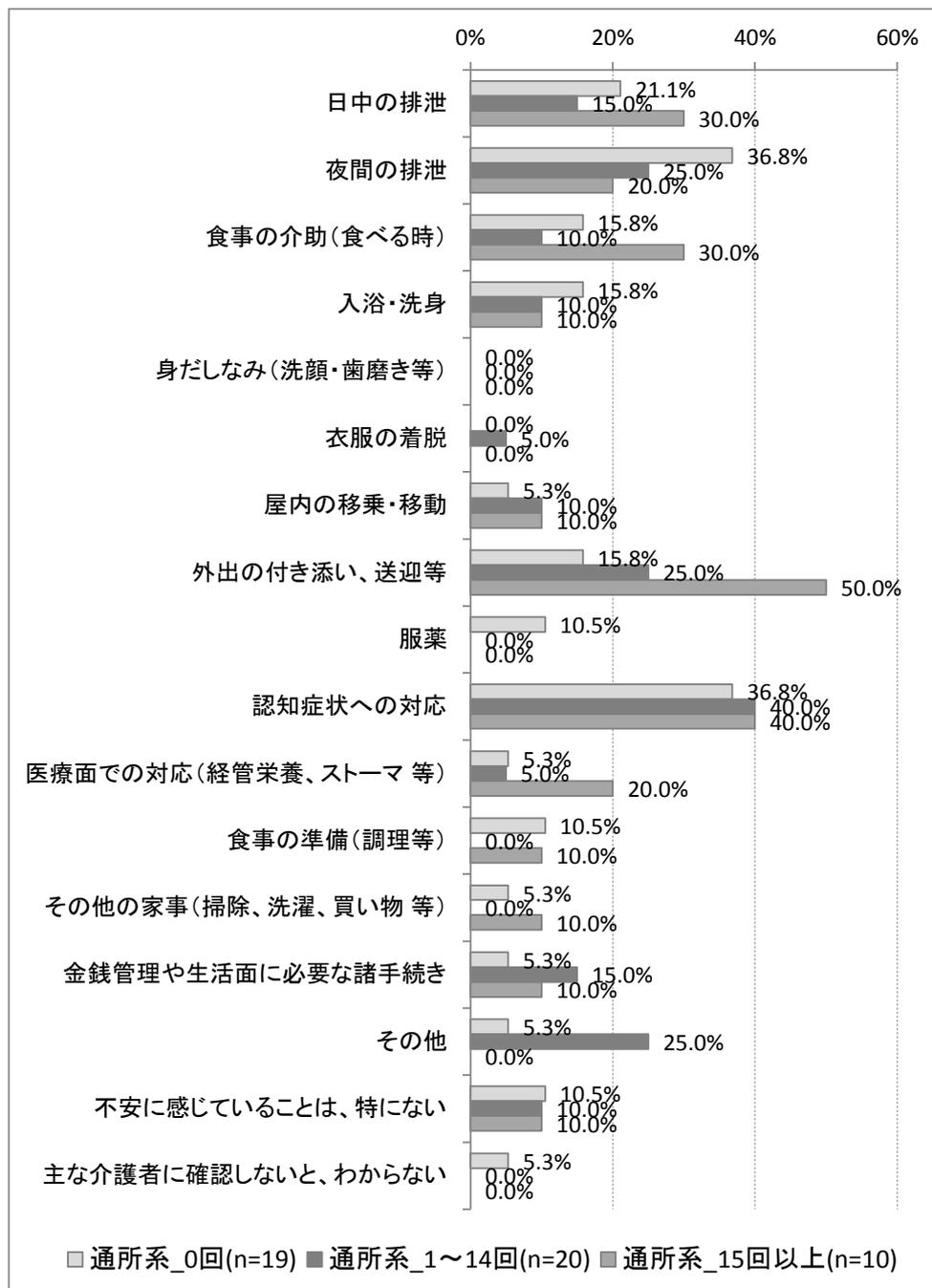
図表 1-25 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(通所系、要介護3以上)】

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が36.8%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が21.1%、「食事の介助(食べる時)」、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」が15.8%となっている。「通所系_1~14回」では「認知症状への対応」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」、「その他」が25.0%、「日中の排泄」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が15.0%となっている。「通所系_15回以上」では「外出の付き添い、送迎等」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「認知症状への対応」が40.0%、「日中の排泄」、「食事の介助(食べる時)」が30.0%となっている。

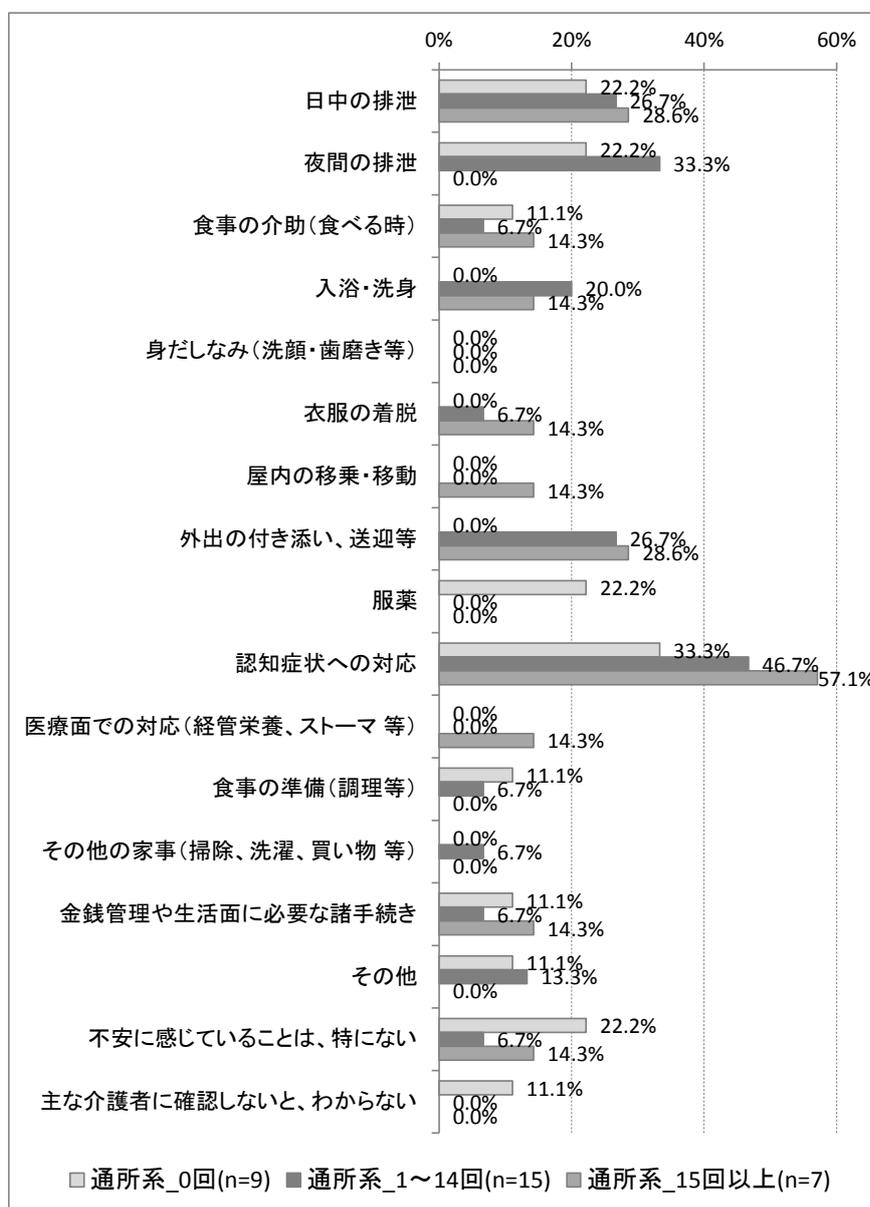
図表 1-26 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(通所系、要介護3以上)



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(通所系、認知症Ⅲ以上)】

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「認知症状への対応」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「服薬」、「不安に感じていることは、特にない」が22.2%、「食事の介助(食べる時)」、「食事の準備(調理等)」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「その他」、「主な介護者に確認しないと、わからない」が11.1%となっている。「通所系_1~14回」では「認知症状への対応」が46.7%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が33.3%、「日中の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が26.7%となっている。「通所系_15回以上」では「認知症状への対応」が57.1%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が28.6%、「食事の介助(食べる時)」、「入浴・洗身」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」、「不安に感じていることは、特にない」が14.3%となっている。

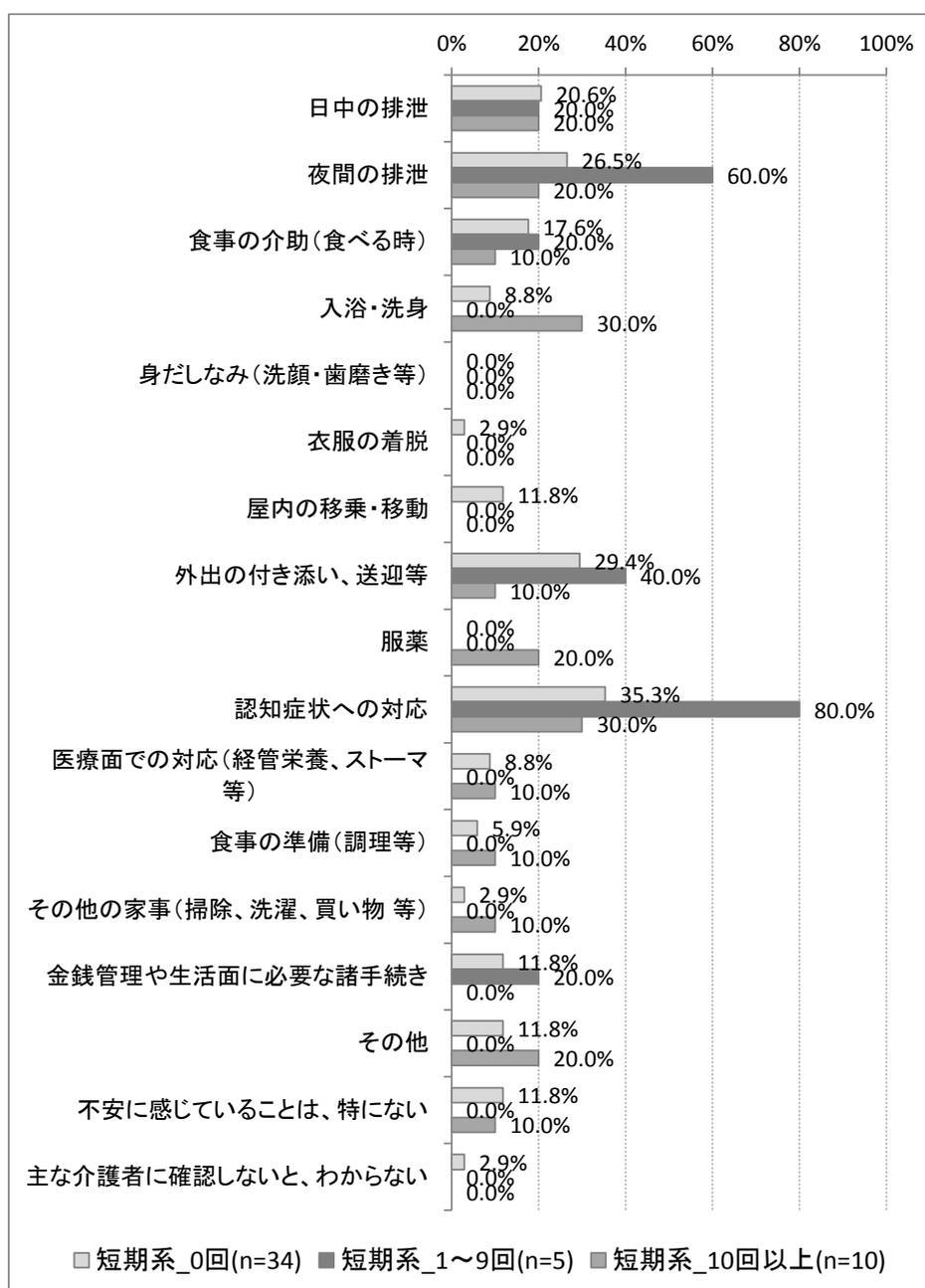
図表 1-27 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(通所系、認知症Ⅲ以上)



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(短期系、要介護3以上)】

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「認知症状への対応」が35.3%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が29.4%、「夜間の排泄」が26.5%となっている。「短期系_1~9回」では「認知症状への対応」が80.0%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が60.0%、「外出の付き添い、送迎等」が40.0%となっている。「短期系_10回以上」では「入浴・洗身」、「認知症状への対応」が30.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「服薬」、「その他」が20.0%、「食事の介助(食べる時)」、「外出の付き添い、送迎等」、「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」、「食事の準備(調理等)」、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」、「不安に感じていることは、特にない」が10.0%となっている。

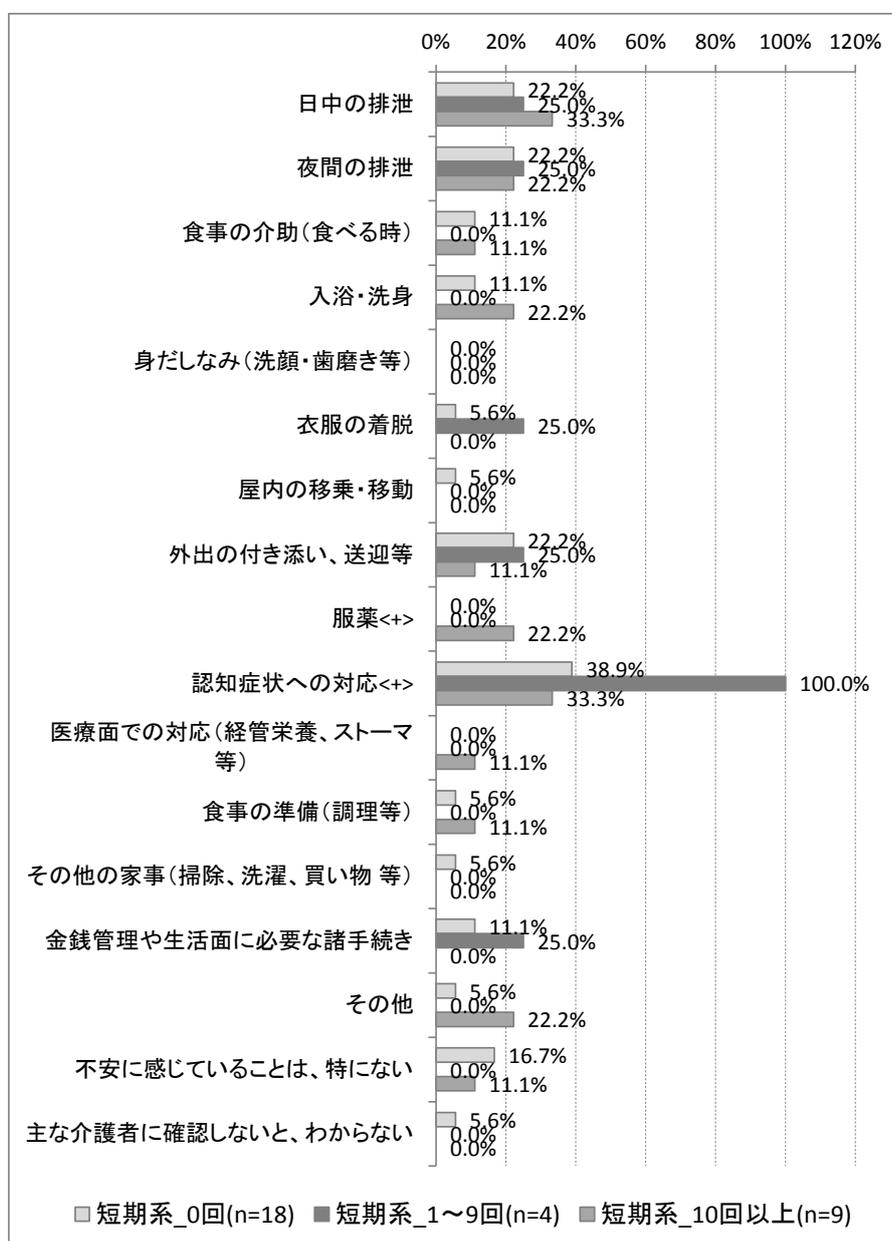
図表 1-28 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(短期系、要介護3以上)



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(短期系、認知症Ⅲ以上)】

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「認知症状への対応」が38.9%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が22.2%、「不安を感じていることは、特にない」が16.7%となっている。「短期系_1～9回」では「認知症状への対応」が100.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「衣服の着脱」、「外出の付き添い、送迎等」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が25.0%となっている。「短期系_10回以上」では「日中の排泄」、「認知症状への対応」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「服薬」、「その他」が22.2%、「食事の介助(食べる時)」、「外出の付き添い、送迎等」、「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」、「食事の準備(調理等)」、「不安を感じていることは、特にない」が11.1%となっている。

図表 1-29 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(短期系、認知症Ⅲ以上)



2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

2.1 集計・分析の狙い

- ここでは、介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の2つの視点からの集計を行っています。
- 具体的には、「就労している介護者（フルタイム勤務、パートタイム勤務）」と「就労していない介護者」の違いに着目し、就労している介護者の属性や介護状況の特徴別に、必要な支援を集計・分析しています。
- さらに、「どのようなサービス利用」や「働き方の調整・職場の支援」を受けている場合に、「就労を継続することができる」という見込みを持つことができるのかを分析するために、主な介護者の「就労継続見込み」と、「主な介護者が行っている介護」や「介護保険サービスの利用の有無」、「介護のための働き方の調整」などとのクロス集計を行っています。
- 上記の視点からの分析では、要介護度や認知症高齢者の日常生活自立度といった要介護者の状態別の分析も加え、要介護者の自立度が重くなっても、在宅生活や就労を継続できる支援のあり方を検討しています。

2.2 集計結果と着目すべきポイント

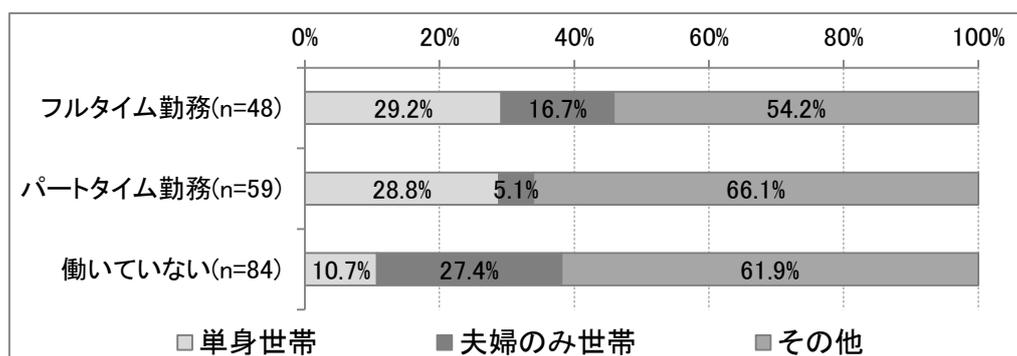
(1) 基本集計

- 主な介護者の就労状況（フルタイム勤務・パートタイム勤務・働いていない）別に、世帯や介護者の特徴などの基礎的な集計を行っています。
- 主な介護者の属性や、要介護者の要介護度・認知症自立度について、就労状況別にその状況を確認してください。

【就労状況別・世帯類型】

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他」が54.2%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が29.2%、「夫婦のみ世帯」が16.7%となっている。「パートタイム勤務」では「その他」が66.1%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が28.8%、「夫婦のみ世帯」が5.1%となっている。「働いていない」では「その他」が61.9%ともっとも割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が27.4%、「単身世帯」が10.7%となっている。

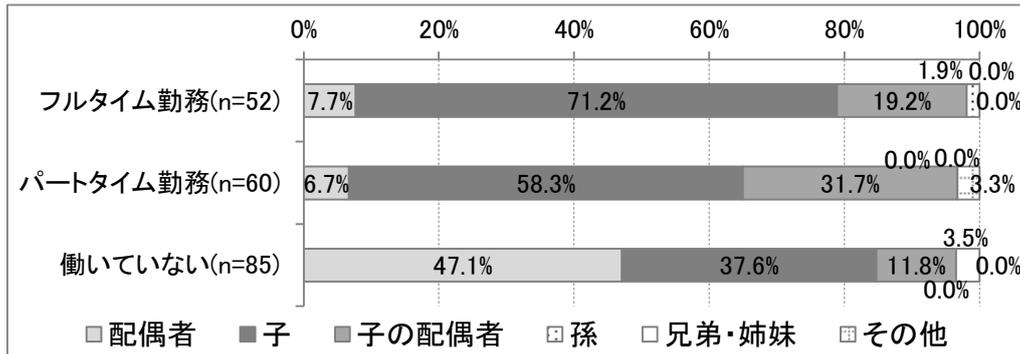
図表 2-1 就労状況別・世帯類型<**>



【就労状況別・★主な介護者の本人との関係】

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が71.2%ともっとも割合が高く、次いで「子の配偶者」が19.2%、「配偶者」が7.7%となっている。「パートタイム勤務」では「子」が58.3%ともっとも割合が高く、次いで「子の配偶者」が31.7%、「配偶者」が6.7%となっている。「働いていない」では「配偶者」が47.1%ともっとも割合が高く、次いで「子」が37.6%、「子の配偶者」が11.8%となっている。

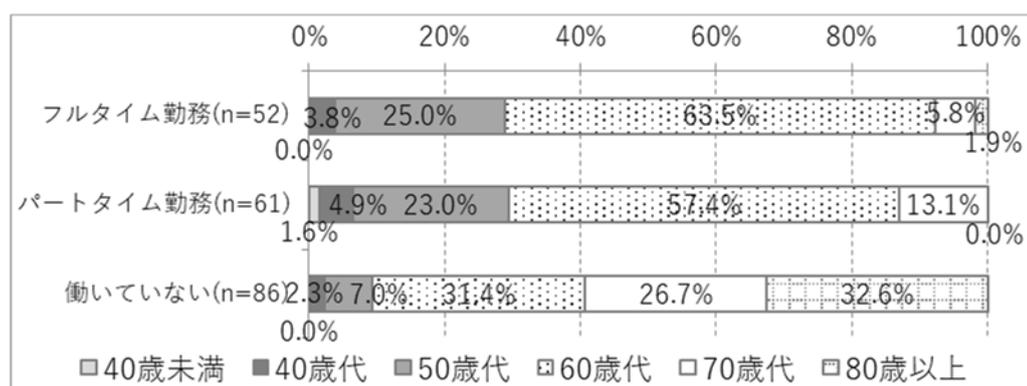
図表 2-2 就労状況別・★主な介護者の本人との関係<***>



【就労状況別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「60歳代」が63.5%と最も割合が高く、次いで「50歳代」が25.0%、「70歳代」が5.8%となっている。「パートタイム勤務」では「60歳代」が57.4%と最も割合が高く、次いで「50歳代」が23.0%、「70歳代」が13.1%となっている。「働いていない」では「80歳以上」が32.6%と最も割合が高く、次いで「60歳代」が31.4%、「70歳代」が26.7%となっている。

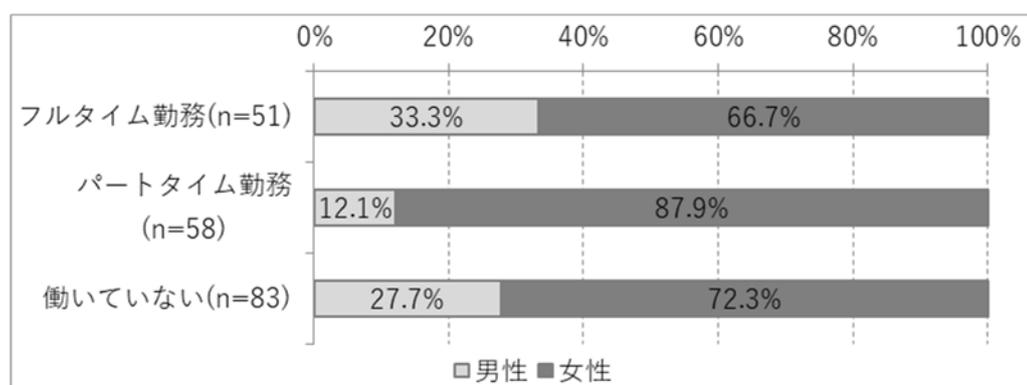
図表 2-3 就労状況別・主な介護者の年齢<***>



【就労状況別・主な介護者の性別】

介護者の性別を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「女性」が66.7%と割合が高く、「男性」が33.3%となっている。「パートタイム勤務」では「女性」が87.9%と割合が高く、「男性」が12.1%となっている。「働いていない」では「女性」が72.3%と割合が高く、「男性」が27.7%となっている。

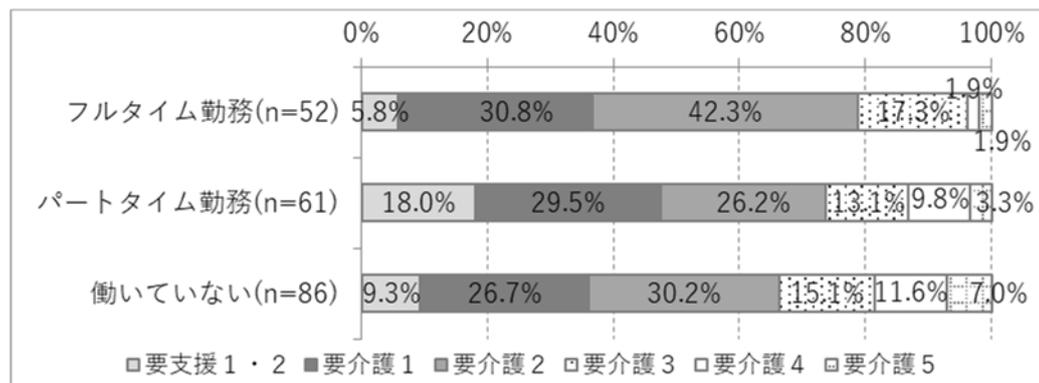
図表 2-4 就労状況別・主な介護者の性別<*>



【就労状況別・要介護度】

二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要介護2」が42.3%ともっとも割合が高く、次いで「要介護1」が30.8%、「要介護3」が17.3%となっている。「パートタイム勤務」では「要介護1」が29.5%ともっとも割合が高く、次いで「要介護2」が26.2%、「要支援1・2」が18.0%となっている。「働いていない」では「要介護2」が30.2%ともっとも割合が高く、次いで「要介護1」が26.7%、「要介護3」が15.1%となっている。

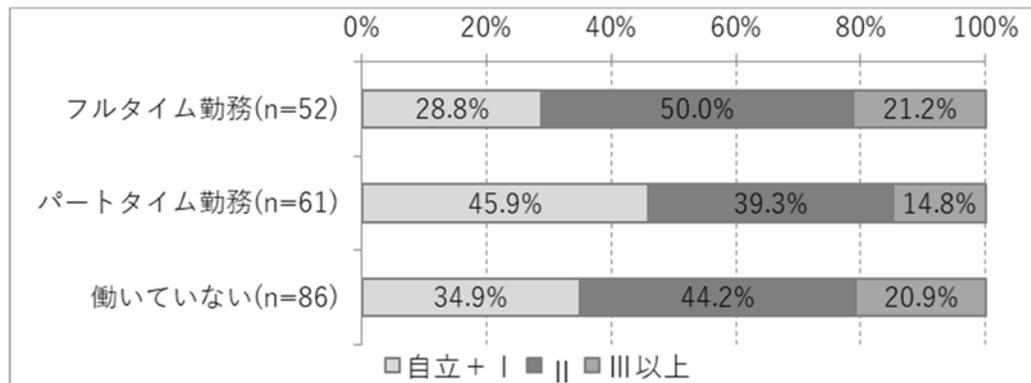
図表 2-5 就労状況別・要介護度



【就労状況別・認知症自立度】

認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「Ⅱ」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「自立+Ⅰ」が28.8%、「Ⅲ以上」が21.2%となっている。「パートタイム勤務」では「自立+Ⅰ」が45.9%ともっとも割合が高く、次いで「Ⅱ」が39.3%、「Ⅲ以上」が14.8%となっている。「働いていない」では「Ⅱ」が44.2%ともっとも割合が高く、次いで「自立+Ⅰ」が34.9%、「Ⅲ以上」が20.9%となっている。

図表 2-6 就労状況別・認知症自立度



(2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

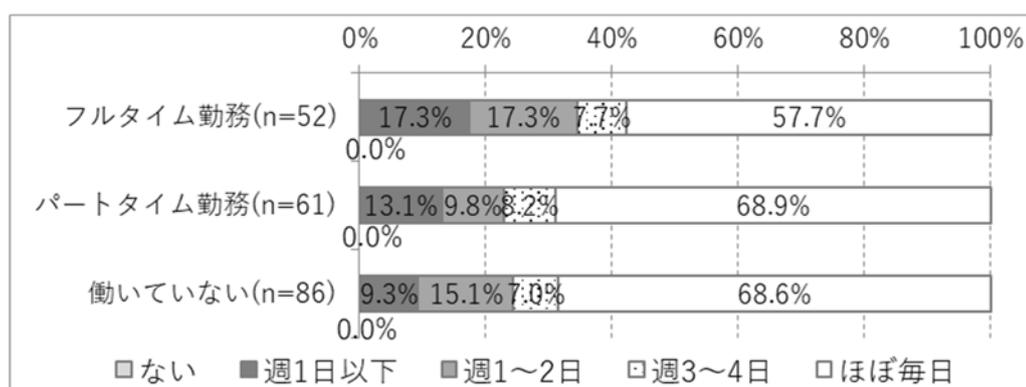
【着目すべきポイント】

- ここでは、「主な介護者が行っている介護」と「今後の就労継続見込み」について、主な介護者の就労状況別に集計分析をしています（図表 2-8、図表 2-9）。
- 「主な介護者が行っている介護」について、例えば、「働いていない」と比較して、「フルタイム勤務」や「パートタイム勤務」で少ない介護は、働いている介護者が、他の介護者や介護サービスの支援を必要としているものと考えられます。
- 「今後の就労継続見込み」については、「就労状況」との関係に加え、「要介護度」や「認知症自立度」別についても、集計分析を行っています。これにより、要介護者の重度化に伴って就労継続見込みを困難と考える人が増加するかどうかを把握することができます。
- なお、就労継続見込みの分析においては、「問題なく、続けていける」の割合と、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」をあわせた「続けていける」と考えている人の割合の2つの指標に着目しています（図表 2-10、図表 2-11）。

【就労状況別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 57.7% ともっとも割合が高く、次いで「週 1 日以下」、「週 1～2 日」が 17.3%、「週 3～4 日」が 7.7% となっている。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が 68.9% ともっとも割合が高く、次いで「週 1 日以下」が 13.1%、「週 1～2 日」が 9.8% となっている。「働いていない」では「ほぼ毎日」が 68.6% ともっとも割合が高く、次いで「週 1～2 日」が 15.1%、「週 1 日以下」が 9.3% となっている。

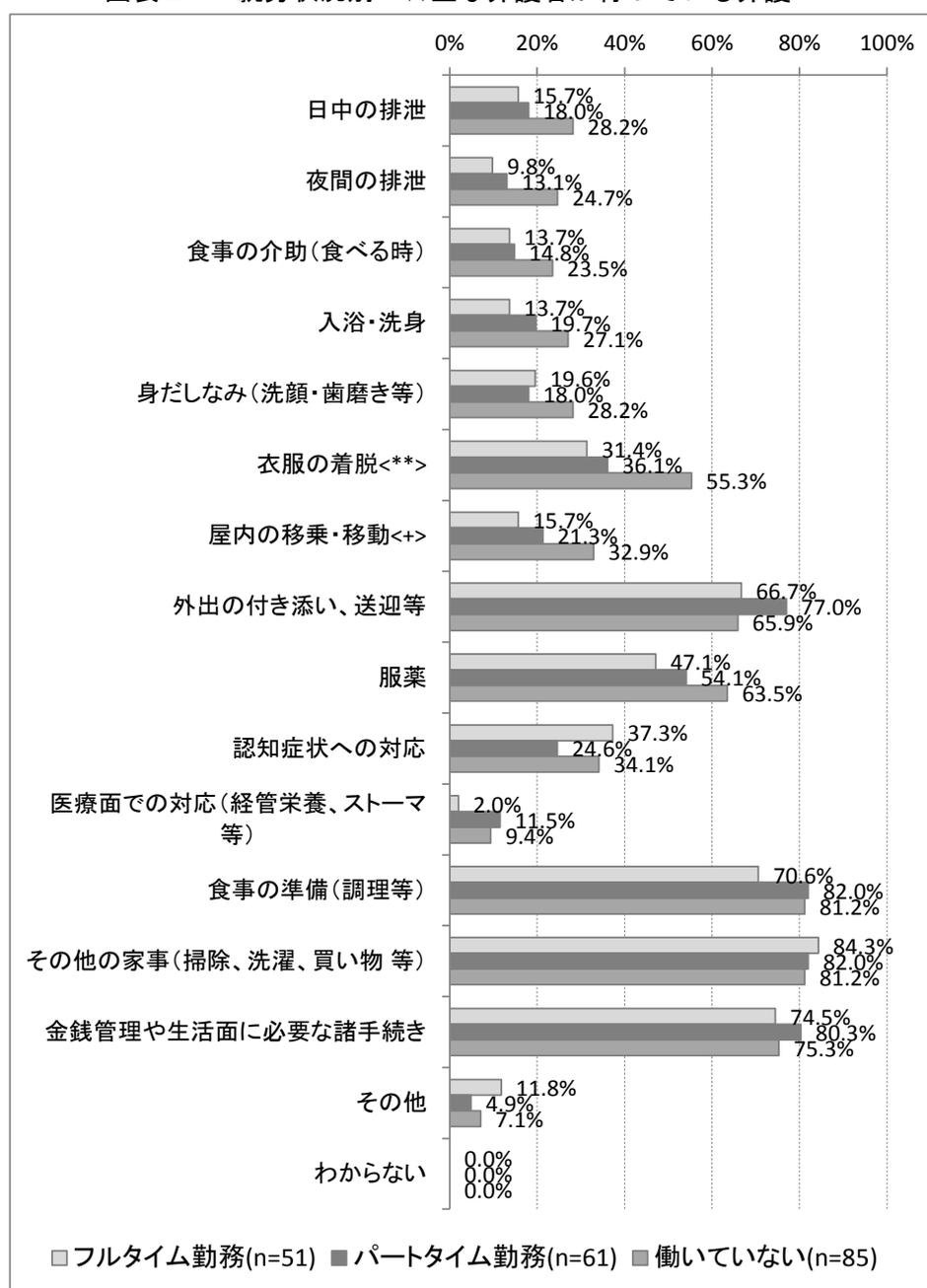
図表 2-7 就労状況別・家族等による介護の頻度



【就労状況別・★主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が84.3%ともっとも割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が74.5%、「食事の準備（調理等）」が70.6%となっている。「パートタイム勤務」では「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が82.0%ともっとも割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が80.3%、「外出の付き添い、送迎等」が77.0%となっている。「働いていない」では「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が81.2%ともっとも割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が75.3%、「外出の付き添い、送迎等」が65.9%となっている。

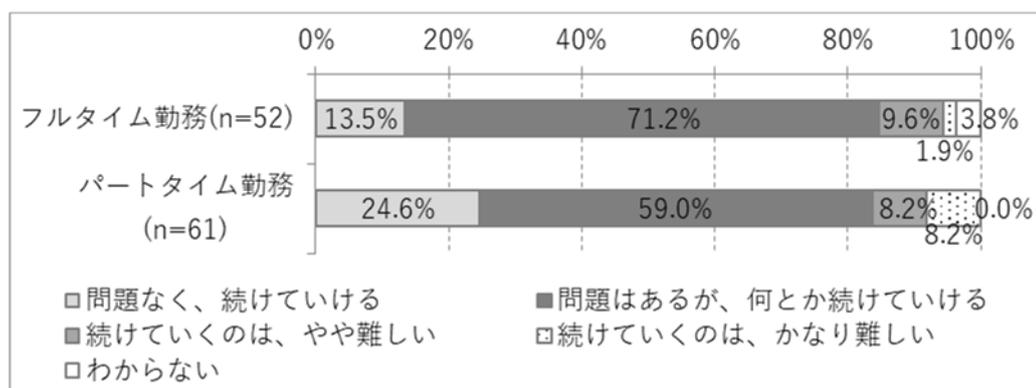
図表 2-8 就労状況別・★主な介護者が行っている介護



【就労状況別・就労継続見込み】

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が71.2%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が13.5%、「続けていくのは、やや難しい」が9.6%となっている。「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が59.0%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が24.6%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が8.2%となっている。

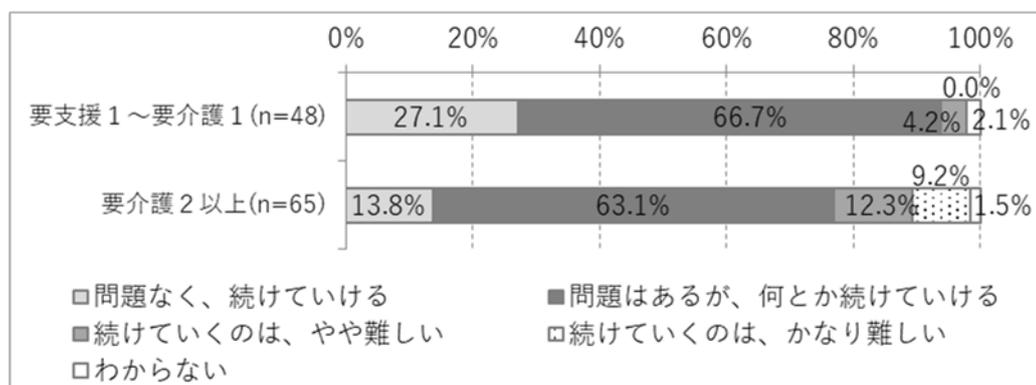
図表 2-9 就労状況別・就労継続見込み



【要介護度別・就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、「要支援1～要介護1」では「問題はあるが、何とか続けていける」が66.7%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が27.1%、「続けていくのは、やや難しい」が4.2%となっている。「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が63.1%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が13.8%、「続けていくのは、やや難しい」が12.3%となっている。

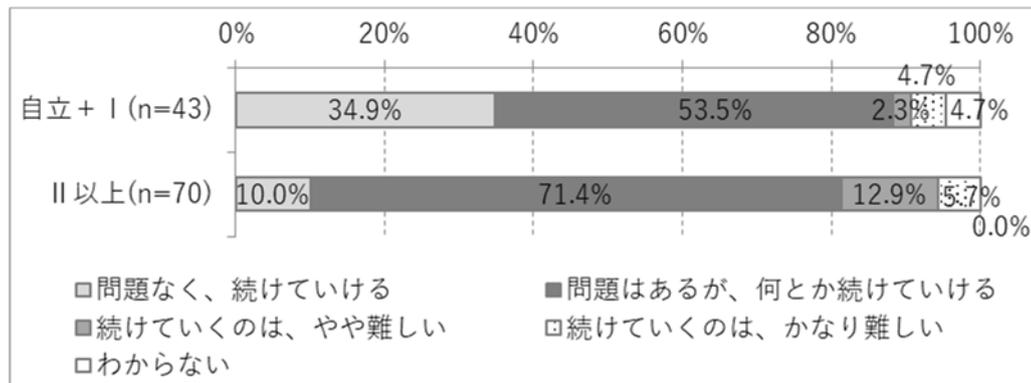
図表 2-10 要介護度別・就労継続見込み (フルタイム勤務+パートタイム勤務) <+>



【認知症自立度別・就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「問題はあるが、何とか続けていける」が53.5%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が34.9%、「続けていくのは、かなり難しい」、「わからない」が4.7%となっている。「Ⅱ以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が71.4%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が12.9%、「問題なく、続けていける」が10.0%となっている。

図表 2-11 認知症自立度別・就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務) <**>



(3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

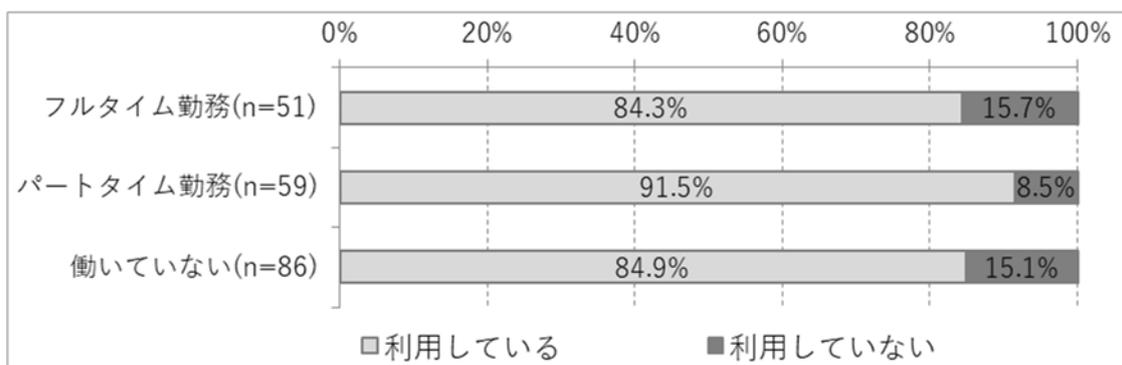
【着目すべきポイント】

- ここでは、「介護保険サービスの利用状況」と「主な介護者が不安に感じる介護」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-12～図表 2-15）。
- 「介護保険サービスの利用状況」と「就労継続見込み」の関係についての集計分析から、サービス利用による就労継続見込みへの影響を把握することができます。さらに、サービスを利用していない人の「サービス未利用の理由」について、就労継続が困難と考える人が、そうでない人と比較して特徴がみられる理由に着目することで、必要なサービス利用がなされているかどうかを推測することができます。
- 例えば、就労継続が困難と考える人において、サービスを「利用していない」割合が高く、かつサービスを利用していない理由として、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が低い割合にとどまっている場合には、サービス利用の必要性が低くないにも関わらず、サービスの利用がなされていないこととなります（図表 2-13、図表 2-14）。
- 「主な介護者が不安に感じる介護」については、就労継続見込みの困難化に伴い、どのような介護等で不安が増加しているかに着目することで、在宅生活を継続しながらの就労継続について、介護者がその可否を判断するポイントとなる可能性がある介護等を把握することができます。

【就労状況別・★介護保険サービス利用の有無】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用している」が 84.3%と割合が高く、「利用していない」が 15.7%となっている。「パートタイム勤務」では「利用している」が 91.5%と割合が高く、「利用していない」が 8.5%となっている。「働いていない」では「利用している」が 84.9%と割合が高く、「利用していない」が 15.1%となっている。

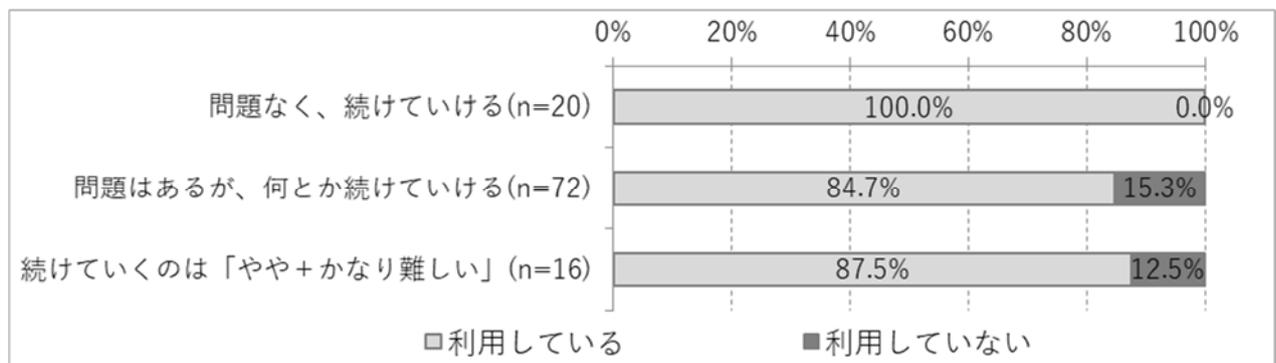
図表 2-12 就労状況別・★介護保険サービス利用の有無



【就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「利用している」が100.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が84.7%と割合が高く、「利用していない」が15.3%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「利用している」が87.5%と割合が高く、「利用していない」が12.5%となっている。

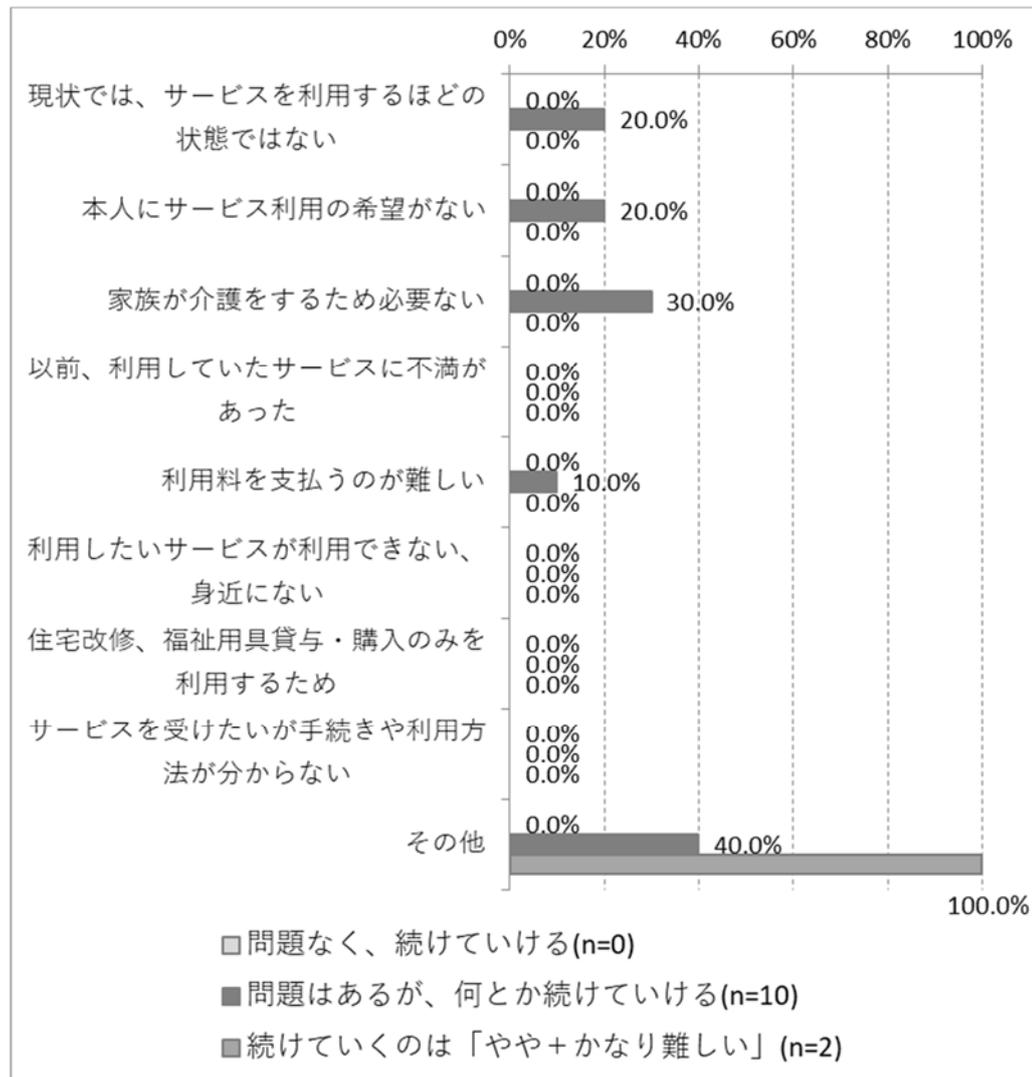
図表 2-13 就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



【就労継続見込み別・★サービス未利用の理由(フルタイム勤務+パート勤務)】

未利用の理由を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題はあるが、何とか続けていける」では「その他」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が30.0%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が20.0%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」では「その他」が100.0%となっている。

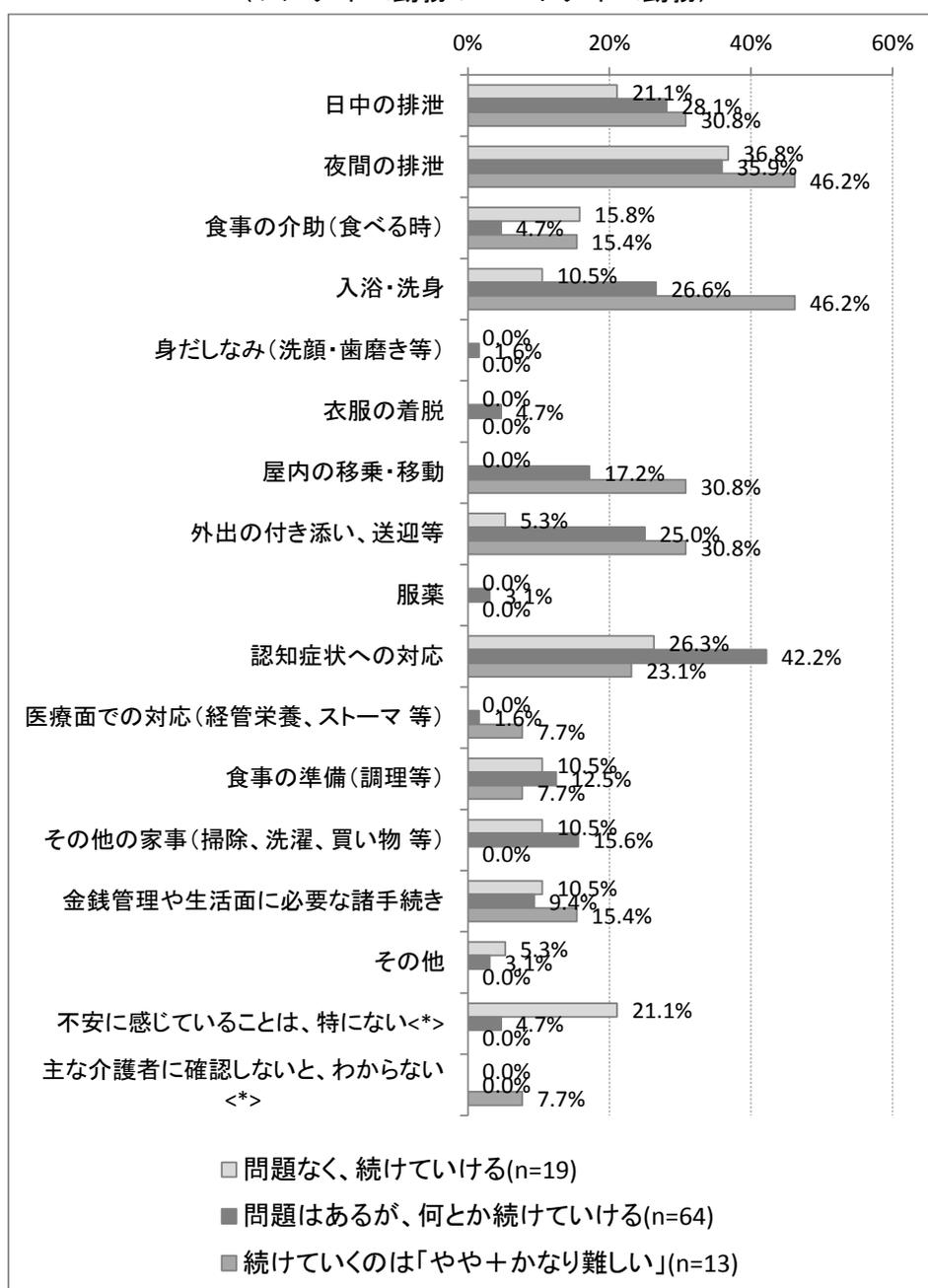
図表 2-14 就労継続見込み別・★サービス未利用の理由（フルタイム勤務+パート勤務）



【就労継続見込み別・介護者が不安を感じる介護(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者が不安を感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「夜間の排泄」が36.8%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が26.3%、「日中の排泄」、「不安を感じていることは、特にない」が21.1%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「認知症状への対応」が42.2%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が35.9%、「日中の排泄」が28.1%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「夜間の排泄」、「入浴・洗身」が46.2%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」が30.8%、「認知症状への対応」が23.1%となっている。

図表 2-15 就労継続見込み別・介護者が不安を感じる介護
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

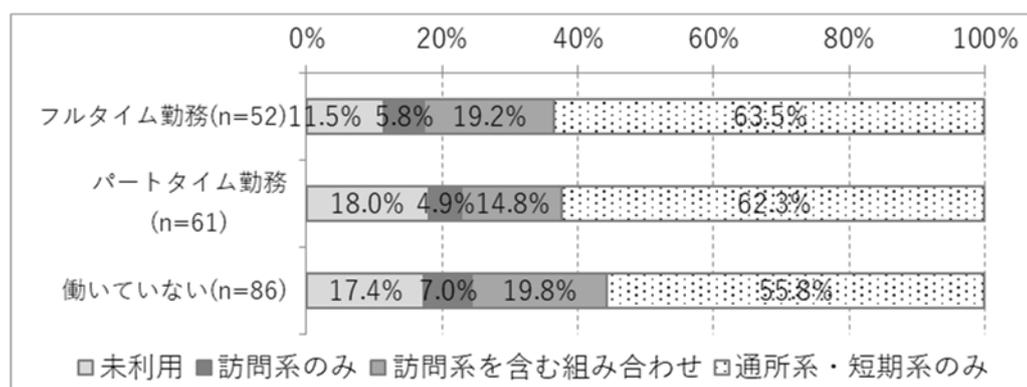
【着目すべきポイント】

- ここでは、「サービス利用の組み合わせ」について、組み合わせのパターンを簡略化し、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています。さらに、訪問系サービスについては、要介護2以上、認知症自立度Ⅱ以上に分けて集計分析を行っています（図表2-16～図表2-18）。
- ここから、主な介護者の就労状況によって、「サービス利用の組み合わせ」に差がみられるかどうかを把握することができます。
- また、「訪問系サービスの利用の有無」と「就労継続見込み」の関係を集計分析することで、訪問系サービスの利用が、就労継続見込みの「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の割合に影響を与えているかどうかを推測することが可能です。

【就労状況別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が63.5%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が19.2%、「未利用」が11.5%となっている。「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が62.3%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が18.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が14.8%となっている。「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が55.8%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が19.8%、「未利用」が17.4%となっている。

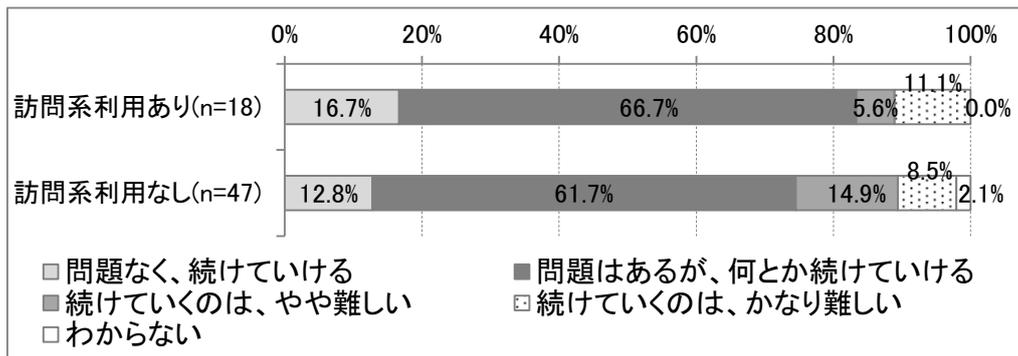
図表2-16 就労状況別・サービス利用の組み合わせ



【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が66.7%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が16.7%、「続けていくのは、かなり難しい」が11.1%となっている。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が61.7%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が14.9%、「問題なく、続けていける」が12.8%となっている。

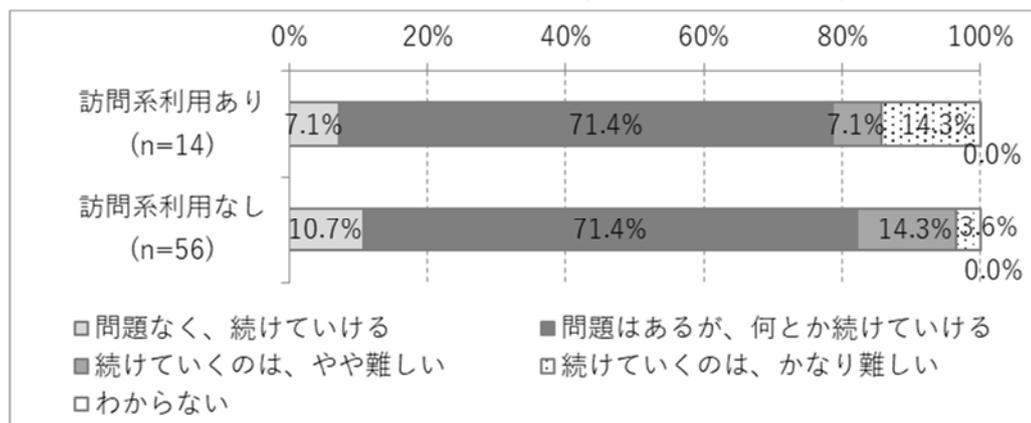
図表 2-17 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



**【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】**

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が71.4%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、かなり難しい」が14.3%、「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、やや難しい」が7.1%となっている。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が71.4%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が14.3%、「問題なく、続けていける」が10.7%となっている。

**図表 2-18 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）**



(5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

【着目すべきポイント】

- ここでは、「保険外の支援・サービスの利用状況」、「訪問診療の利用の有無」、「施設等検討の状況」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-19～図表 2-22）。
- 「利用している保険外の支援・サービス」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」の差をみることにより、働いている介護者が必要と感じているが、実際には利用されていない生活支援サービスを把握することができます。
- また、「訪問診療の利用の有無」と就労状況との関係を集計分析することで、訪問診療の利用が就労状況により異なるかどうかを把握することができます。
- 「施設等検討の状況」については、働いていない介護者に比べて、働いている介護者では、施設入所を必要と感じているかどうか分析することを目的としています。
- さらに、要介護2以上の中重度者については、就労継続見込みについて「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」と考える人のうち、どの程度の人が施設を検討しているかに着目しています。これにより、在宅での仕事と介護の両立が困難となった場合の対応として、施設対応の必要性と、在宅サービスや働き方の調整による対応の必要性のそれぞれについて、把握することができます。

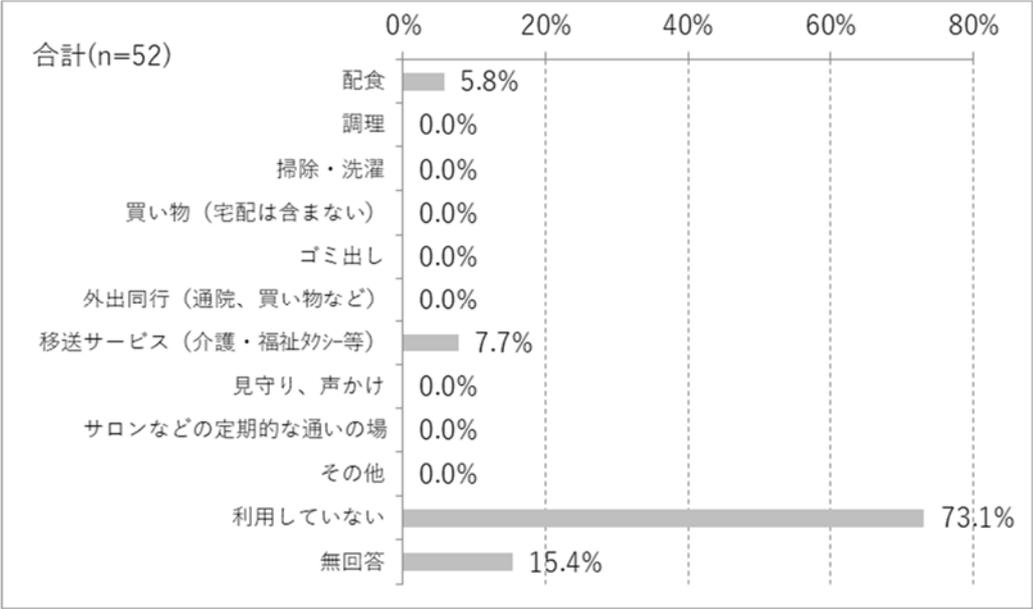
【留意事項】

- ここでの「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」とは、保険外の支援・サービスに限定されるものではありません。必要となる支援・サービスの整備方法については、必ずしも保険外のサービスに限定せず、幅広い視点から検討を進めることが重要です。
- アンケート調査の中で「必要な支援・サービス」を回答して頂くと、「無くても大丈夫であるが、無いよりはあった方が良い」といった回答も含まれることが想定されることから、回答結果は実際のニーズよりもやや過大となる可能性があります。

【★利用している保険外の支援・サービス(フルタイム勤務)】

「利用していない」の割合が最も高く 73.1%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（7.7%）」、「配食（5.8%）」となっている。

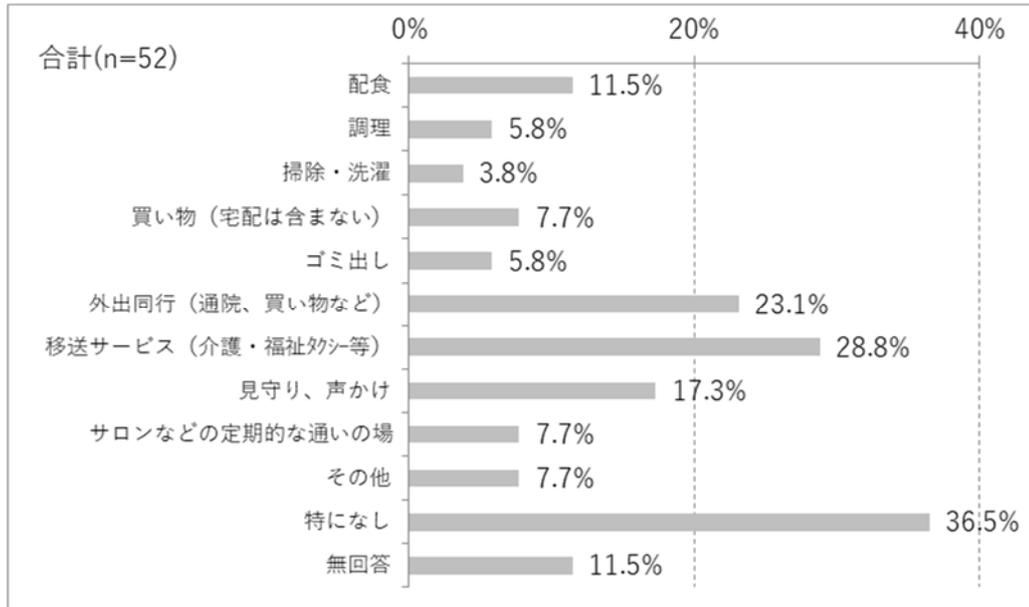
図表 2-19_1 ★利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）



【★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(フルタイム勤務)】

「特になし」の割合が最も高く 36.5%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（28.8%）」、「外出同行（通院、買い物など）（23.1%）」となっている。

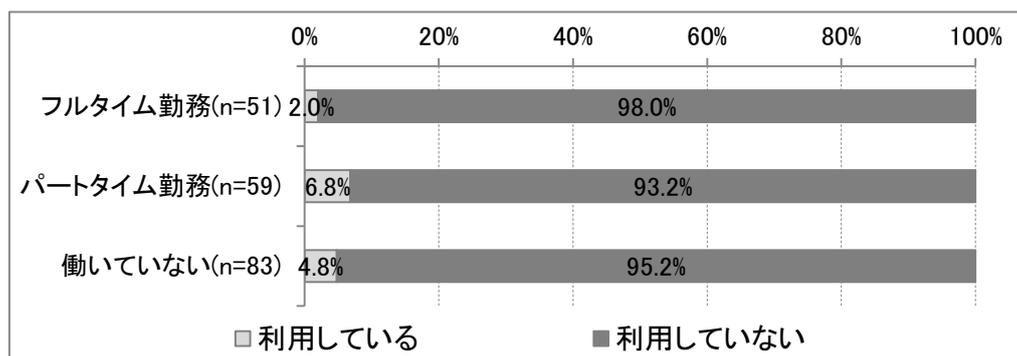
図表 2-19_2 ★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）



【就労状況別・★訪問診療の利用の有無】

訪問診療の利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用していない」が98.0%と割合が高く、「利用している」が2.0%となっている。「パートタイム勤務」では「利用していない」が93.2%と割合が高く、「利用している」が6.8%となっている。「働いていない」では「利用していない」が95.2%と割合が高く、「利用している」が4.8%となっている。

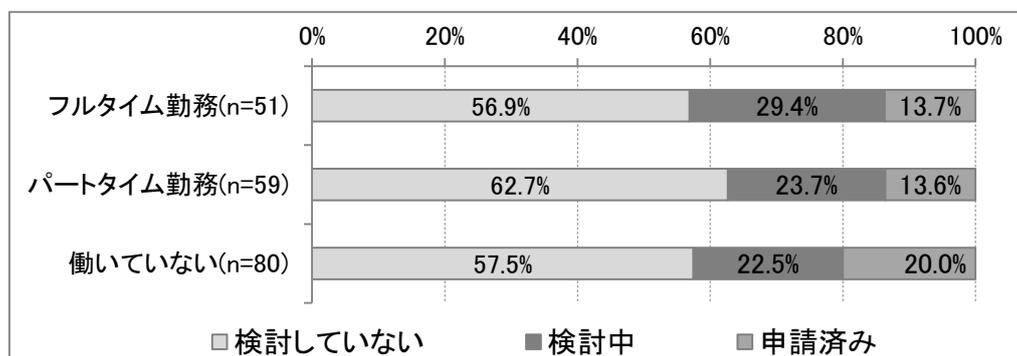
図表 2-20 就労状況別・★訪問診療の利用の有無



【就労状況別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が56.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が29.4%、「申請済み」が13.7%となっている。「パートタイム勤務」では「検討していない」が62.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が23.7%、「申請済み」が13.6%となっている。「働いていない」では「検討していない」が57.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が22.5%、「申請済み」が20.0%となっている。

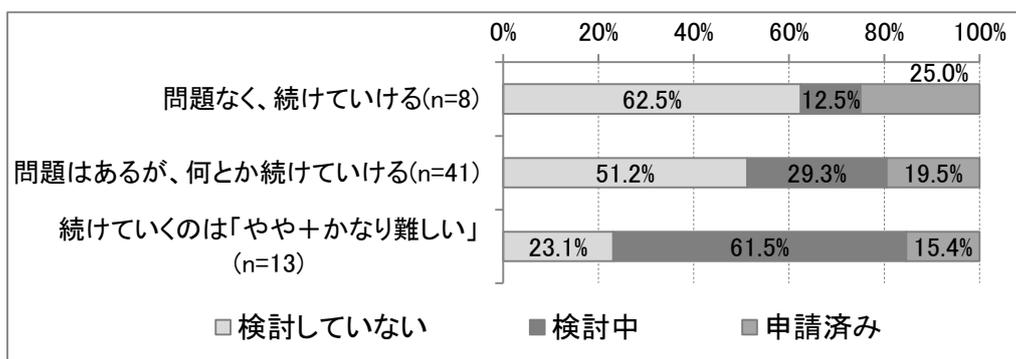
図表 2-21 就労状況別・施設等検討の状況



【就労継続見込み別・施設等検討の状況(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が62.5%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が25.0%、「検討中」が12.5%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が51.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が29.3%、「申請済み」が19.5%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「検討中」が61.5%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が23.1%、「申請済み」が15.4%となっている。

図表 2-22 就労継続見込み別・施設等検討の状況
(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

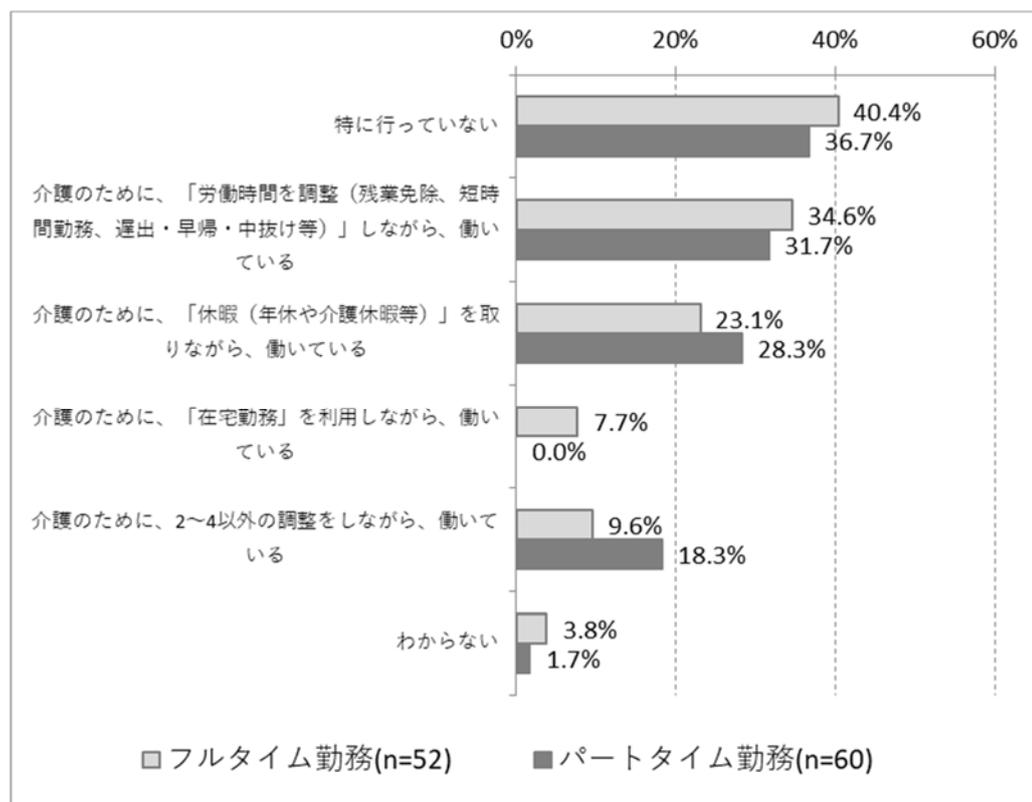
【着目すべきポイント】

- ここでは、「介護のための働き方の調整」と、「効果的な勤め先からの支援」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-23～図表 2-26）。
- 就労継続見込みによって、介護のために働き方を調整している割合や、効果的と考える勤め先の支援内容がどのように変化するかに着目して集計分析をしています。
- ただし、「問題なく、続けていける」とする人において、働き方の調整を「特に行っていない」割合、もしくは効果的な勤め先の支援として「特にない」が高いケースは、職場が恒常的な長時間労働や、休暇取得が困難といった状況にはなく、介護のために特段働き方の調整や勤め先からの支援を行わなくても、両立可能な職場であることが考えられます。
- このように、職場の状況や業務の内容によっても、必要な調整や支援の内容が異なることに留意することが必要です。

【就労状況別・介護のための働き方の調整】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が40.4%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が34.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が23.1%となっている。「パートタイム勤務」では「特に行っていない」が36.7%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が31.7%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が28.3%となっている。

図表 2-23 就労状況別・介護のための働き方の調整

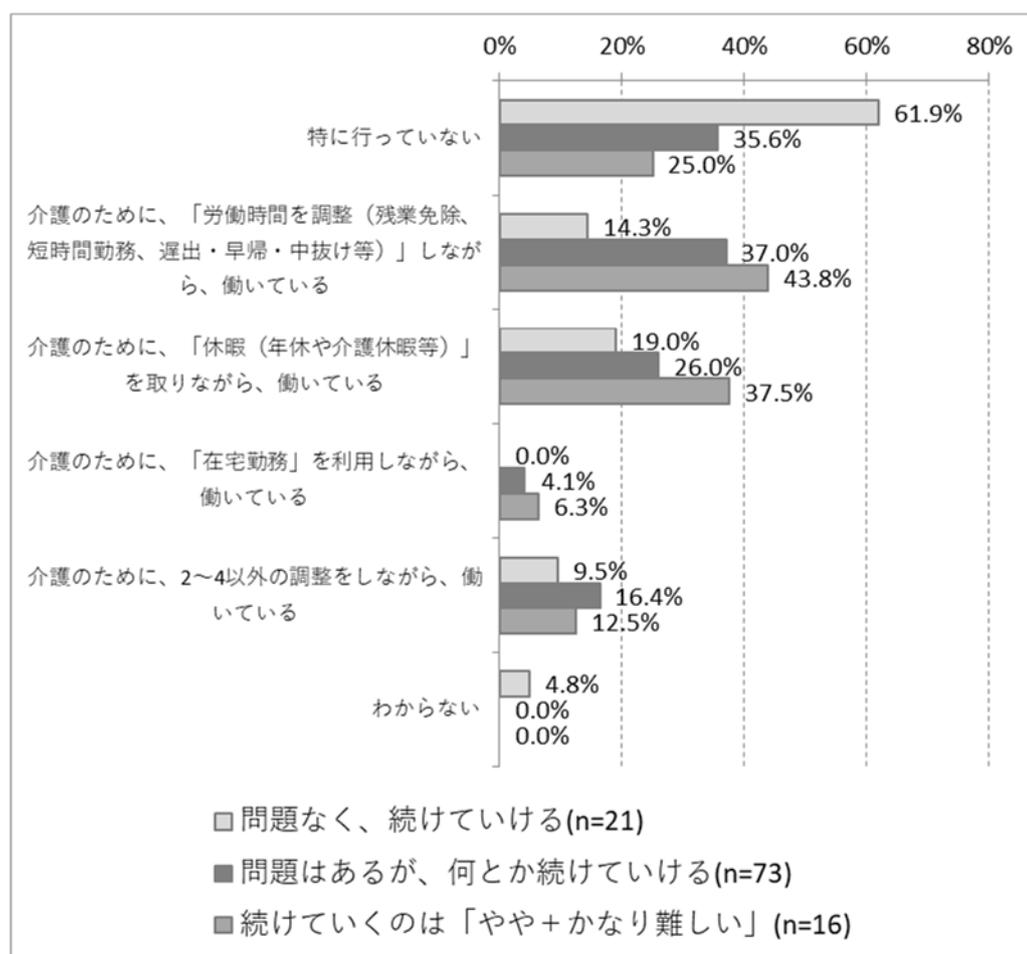


【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が61.9%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が19.0%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が14.3%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が37.0%ともっとも割合が高く、次いで「特に行っていない」が35.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が26.0%となっている。

「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が43.8%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が37.5%、「特に行っていない」が25.0%となっている。

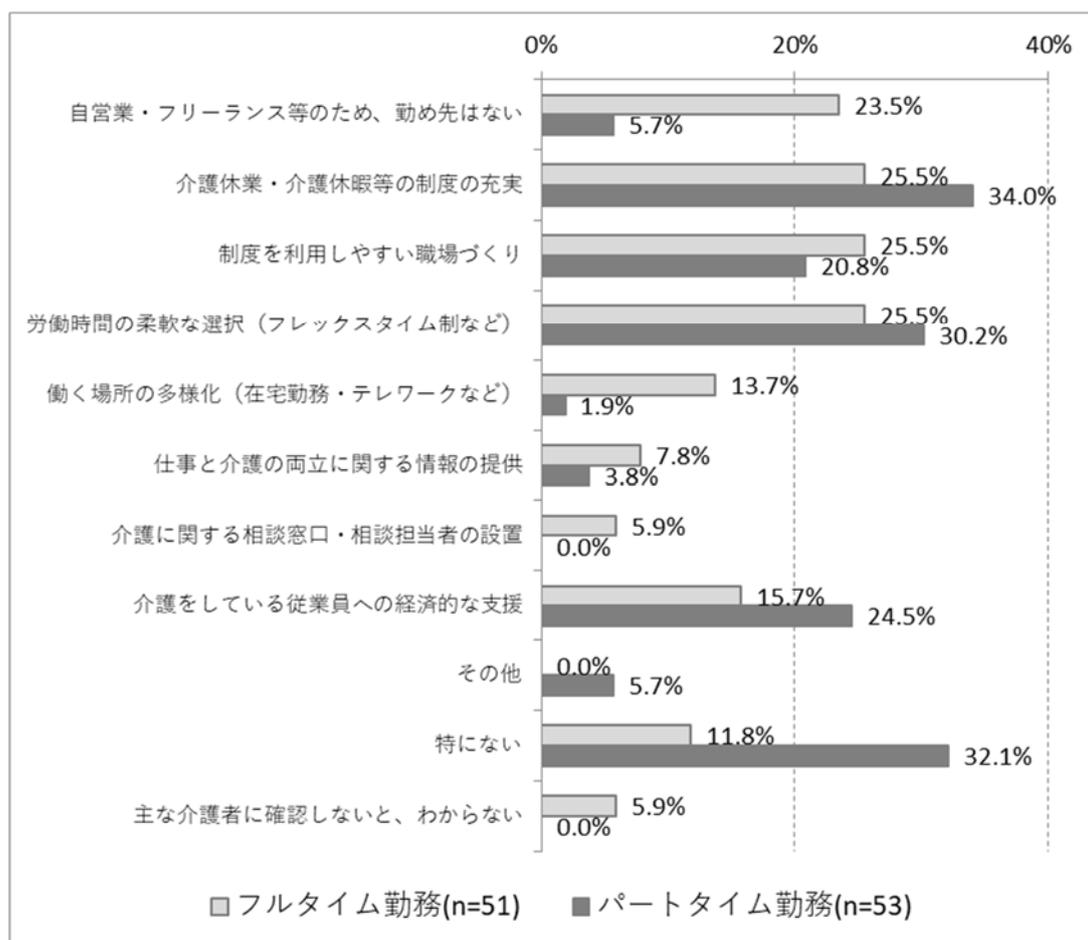
図表 2-24 就労継続見込み別・介護のための働き方の調整
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



【就労状況別・★効果的な勤め先からの支援】

効果的な勤め先からの支援を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が25.5%ともっとも割合が高く、次いで「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が23.5%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が15.7%となっている。「パートタイム勤務」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が34.0%ともっとも割合が高く、次いで「特にない」が32.1%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が30.2%となっている。

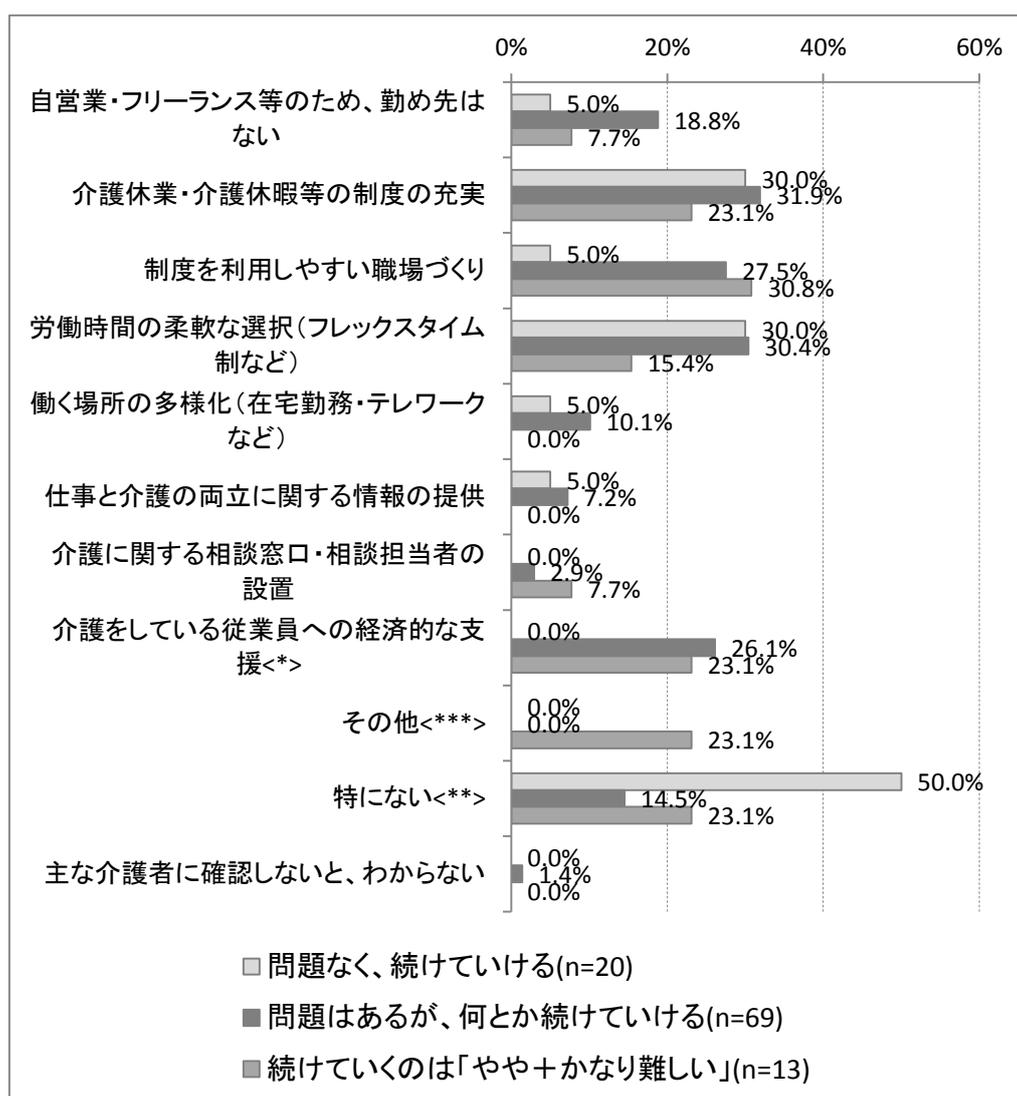
図表 2-25 就労状況別・★効果的な勤め先からの支援



【就労継続見込み別・★効果的な勤め先からの支援(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

効果的な勤め先からの支援を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特にない」が50.0%と最も割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、30.0%、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が30.0%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」、5.0%、「制度を利用しやすい職場づくり」、5.0%、「働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)」、5.0%、「仕事と介護の両立に関する情報の提供」が5.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が31.9%と最も割合が高く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が30.4%、「制度を利用しやすい職場づくり」が27.5%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「制度を利用しやすい職場づくり」が30.8%と最も割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、23.1%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が23.1%、「特にない」が23.1%、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が15.4%となっている。

図表 2-26 就労継続見込み別・★効果的な勤め先からの支援
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

3.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、特に「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行っています。ここで把握された現状やニーズは、生活支援体制整備事業の推進のために活用していくことなどが考えられます。
- 具体的には、「現在利用している保険外の支援・サービス」と「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）」について、要介護度別や世帯類型別のクロス集計を行い、現在の利用状況の把握と今後さらに充実が必要となる支援・サービスについての分析を行います。
- なお、調査の中では、総合事業に基づく支援・サービスは介護保険サービスに含めるとともに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、介護保険サービスか保険外の支援・サービスであるかは区別していません。

3.2 集計結果と着目すべきポイント

(1) 基礎集計

【着目すべきポイント】

- 「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-1、図表 3-2）。
- 例えば、「保険外の支援・サービスの利用状況」については、現状の把握のみでなく、保険外の支援・サービスの利用促進の取組に係るアウトプットとして、その「利用割合」を設定することで、経年的にその成果をモニタリングしていくことも可能になると考えられます。
- さらに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」からは、在宅限界点の向上という地域目標の達成に向けて、その地域において特に重要となる支援・サービスの種類を把握することができます。

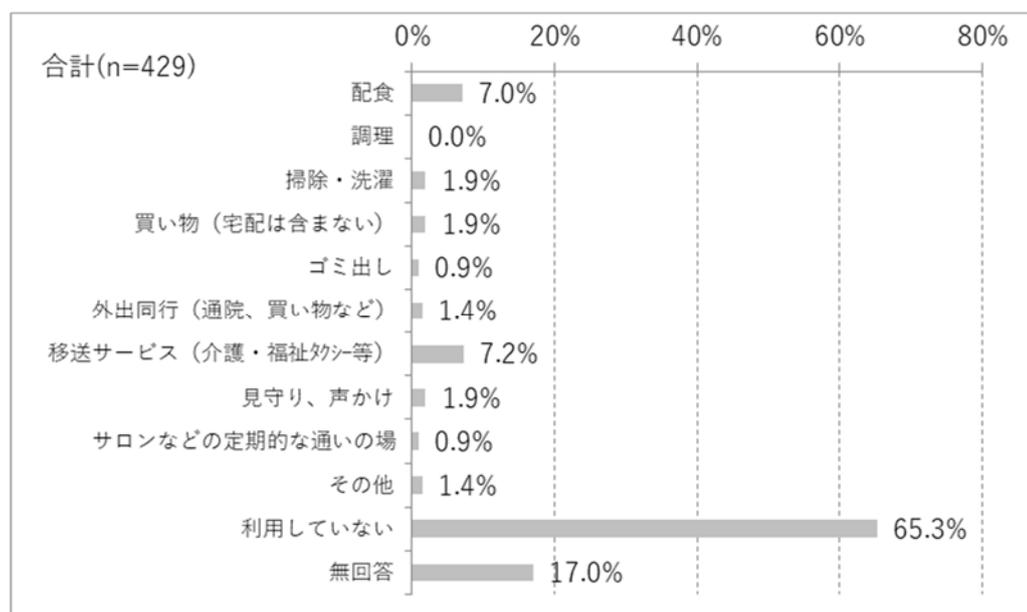
【留意事項】

- ここでの「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」とは、保険外の支援・サービスに限定されるものではありません。必要となる支援・サービスの整備方法については、必ずしも保険外のサービスに限定せず、幅広い視点から検討を進めることが重要です。

【★保険外の支援・サービスの利用状況】

「利用していない」の割合が最も高く 65.3%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（7.2%）」、「配食（7.0%）」となっている。

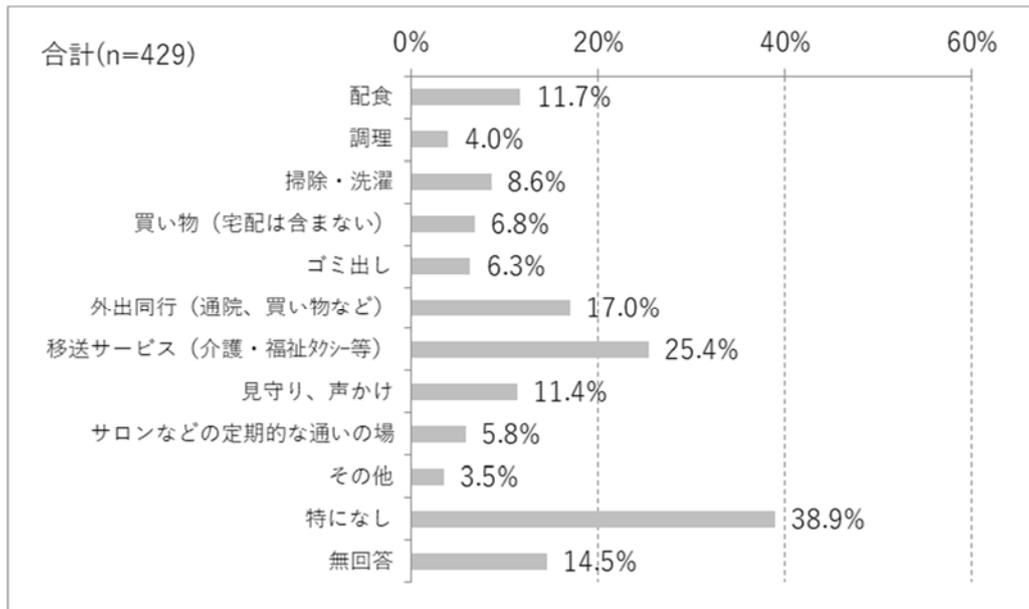
図表 3-1 ★保険外の支援・サービスの利用状況



【★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

「特になし」の割合が最も高く 38.9%となっている。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（25.4%）」、「外出同行（通院、買い物など）（17.0%）」となっている。

図表 3-2 ★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

【着目すべきポイント】

- 世帯類型別に「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-3、図表 3-4）。
- 「保険外の支援・サービスの利用割合」については、世帯類型別の割合をアウトプット指標としてモニタリングしていくも考えられます。
- また、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、世帯類型別に異なる傾向がみられた場合は、世帯類型に応じたアプローチを検討していくことが重要になると考えられます。

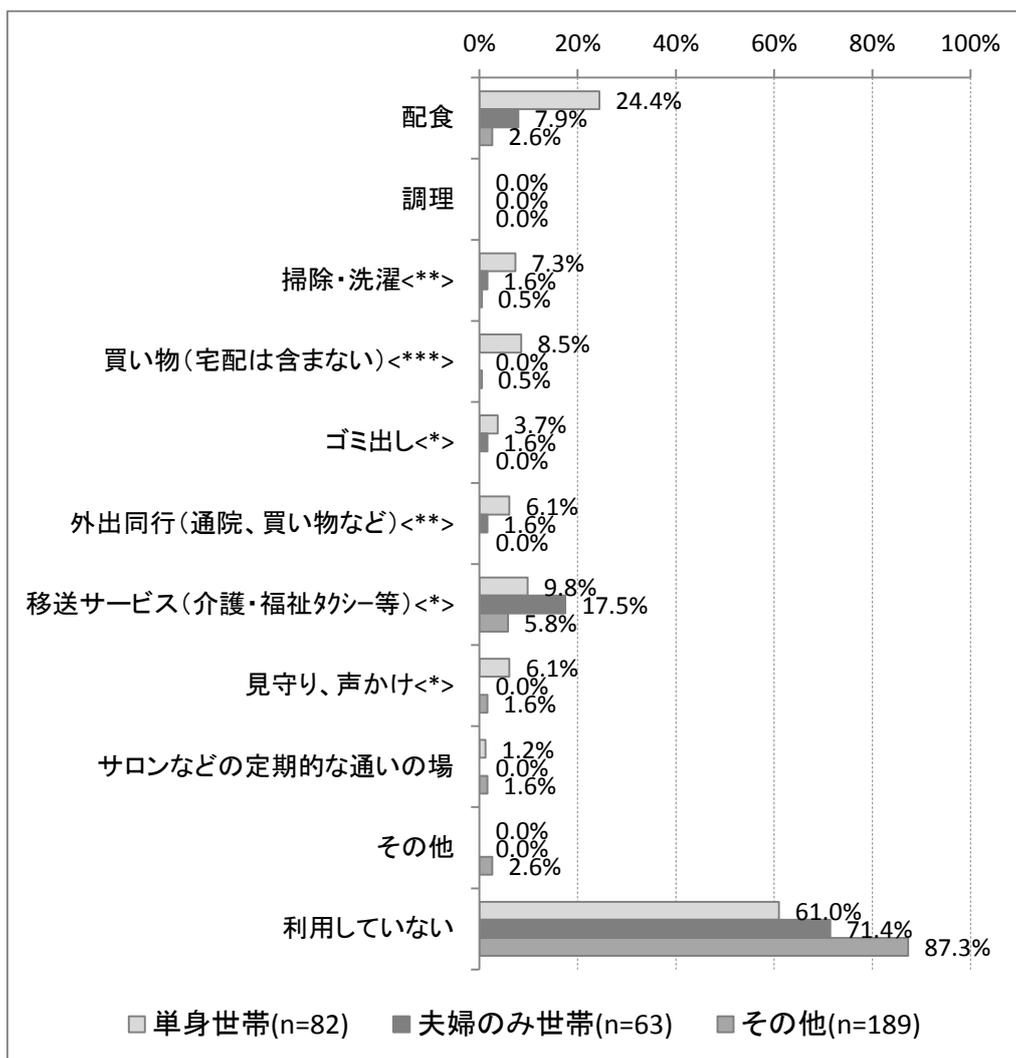
【留意事項】

- アンケート調査の中で「必要な支援・サービス」を回答して頂くと、「無くても大丈夫であるが、無いよりはあった方が良い」といった回答も含まれることが想定されることから、回答結果は実際のニーズよりもやや過大となる可能性があります。
- 「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、特に「複数の支援・サービスを比較して、より優先順位の高い支援・サービスを明らかにする」といった視点でみることが重要です。

【世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が61.0%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が24.4%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が9.8%となっている。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が71.4%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が17.5%、「配食」が7.9%となっている。「その他」では「利用していない」が87.3%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が5.8%、「配食」、「その他」が2.6%となっている。

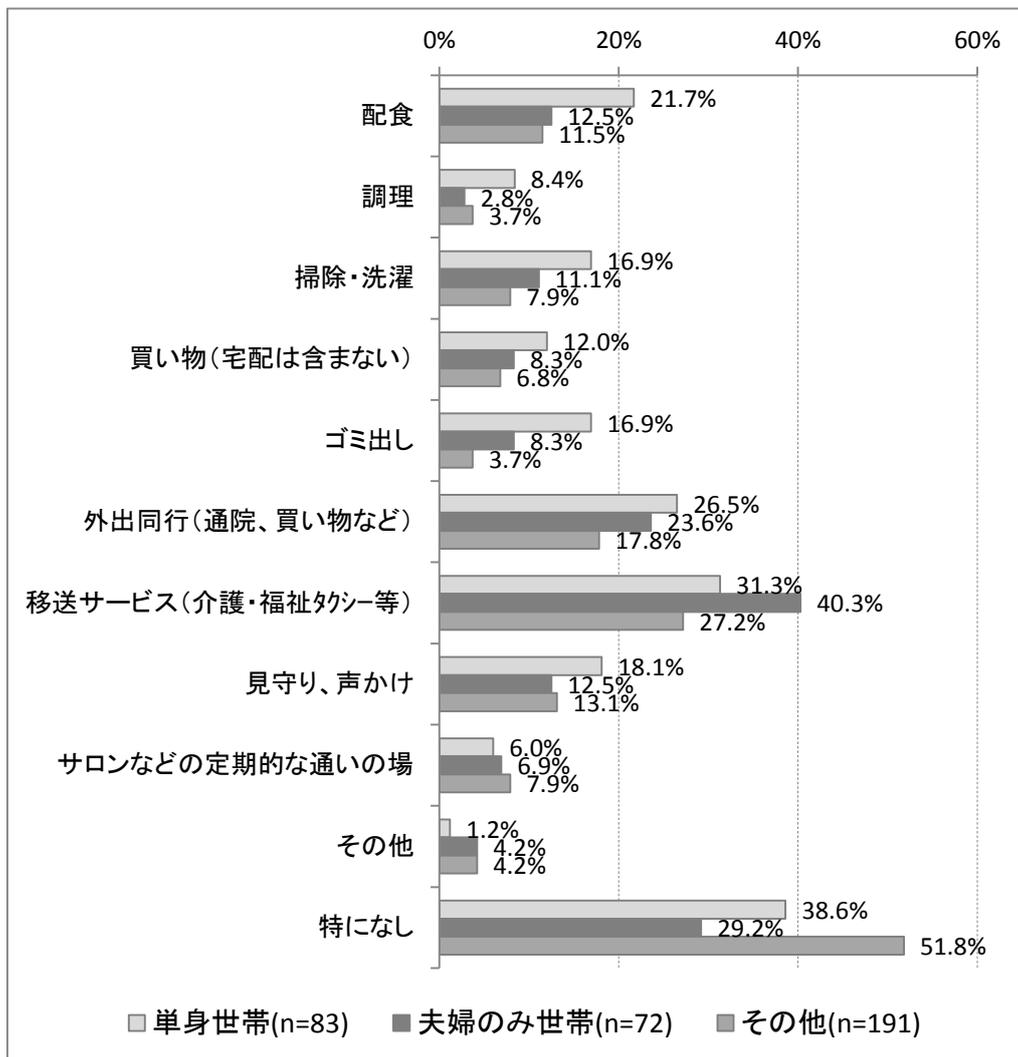
図表 3-3 世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況



【世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「特になし」が38.6%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.3%、「外出同行（通院、買い物など）」が26.5%となっている。「夫婦のみ世帯」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が40.3%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が29.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が23.6%となっている。「その他」では「特になし」が51.8%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.2%、「外出同行（通院、買い物など）」が17.8%となっている。

図表 3-4 世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(3) 「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

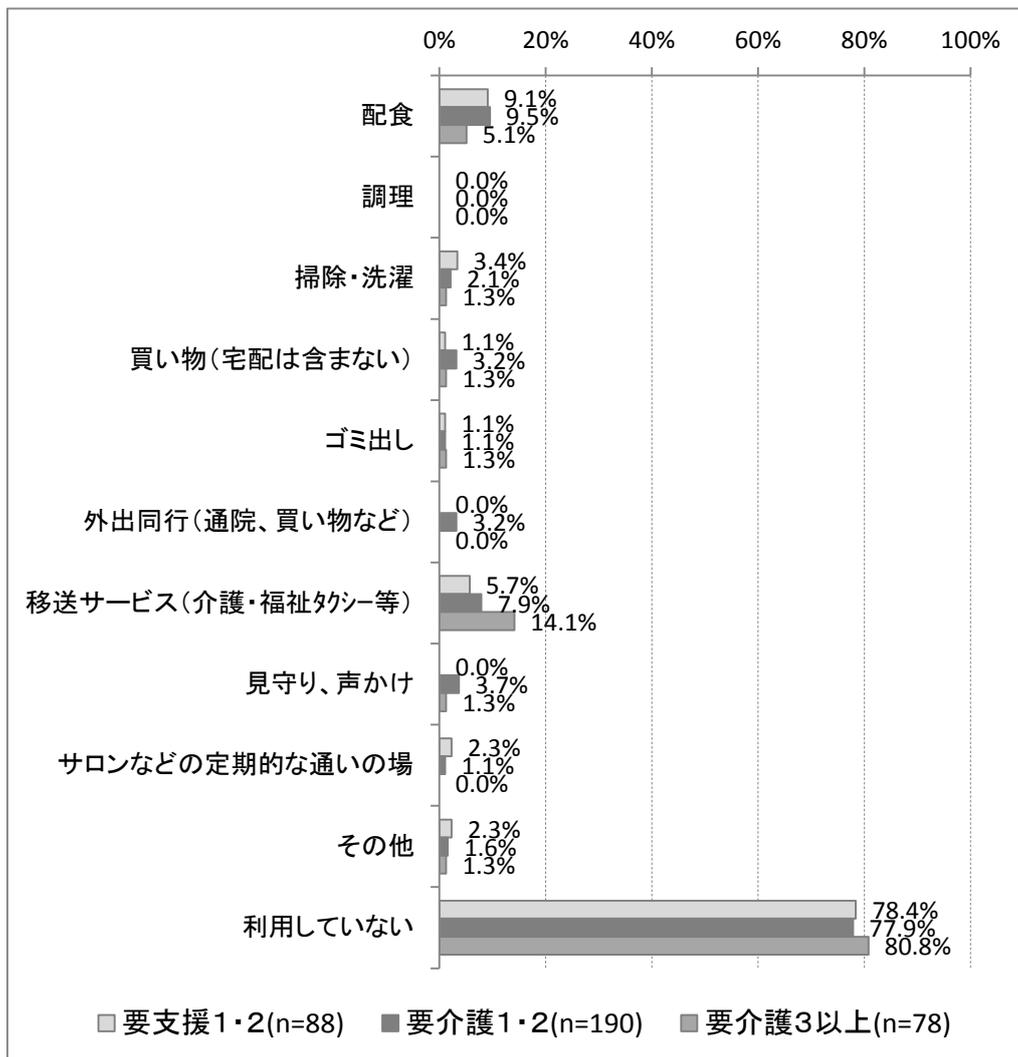
【着目すべきポイント】

- 世帯類型別・要介護度別に「保険外の支援・サービスの利用状況」について、集計分析をしています（図表 3-5～図表 3-8）。
- 利用割合の低い世帯類型であっても、要介護度の重度化に伴い利用割合が増加している支援・サービスがあることも考えられます。
- 介護保険サービスと同様、重度化に伴い、どのような支援・サービスの利用割合が増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような支援・サービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。

【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が78.4%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が9.1%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が5.7%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が77.9%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が9.5%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が7.9%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が80.8%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が14.1%、「配食」が5.1%となっている。

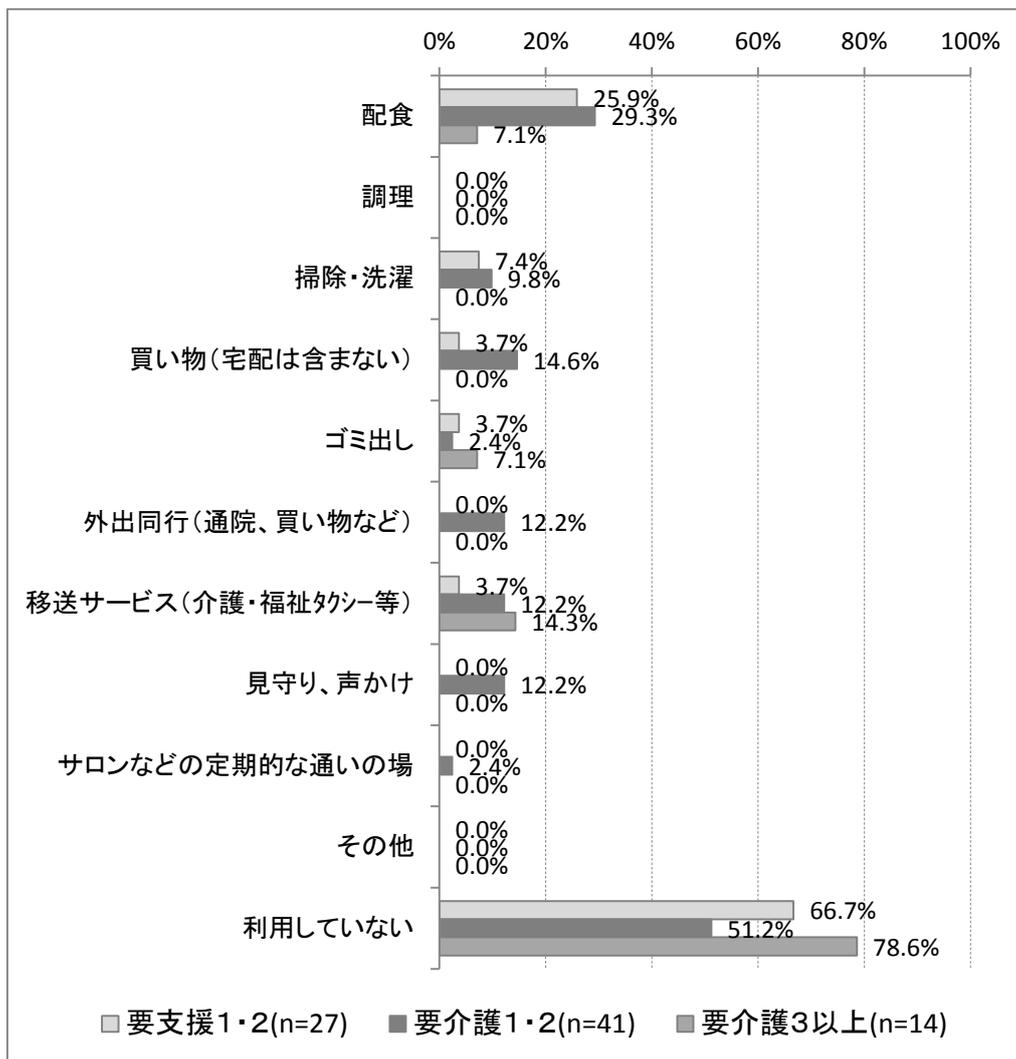
図表 3-5 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況(単身世帯)】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が66.7%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が25.9%、「掃除・洗濯」が7.4%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が51.2%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が29.3%、「買い物(宅配は含まない)」が14.6%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が78.6%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が14.3%、「配食」、「ゴミ出し」が7.1%となっている。

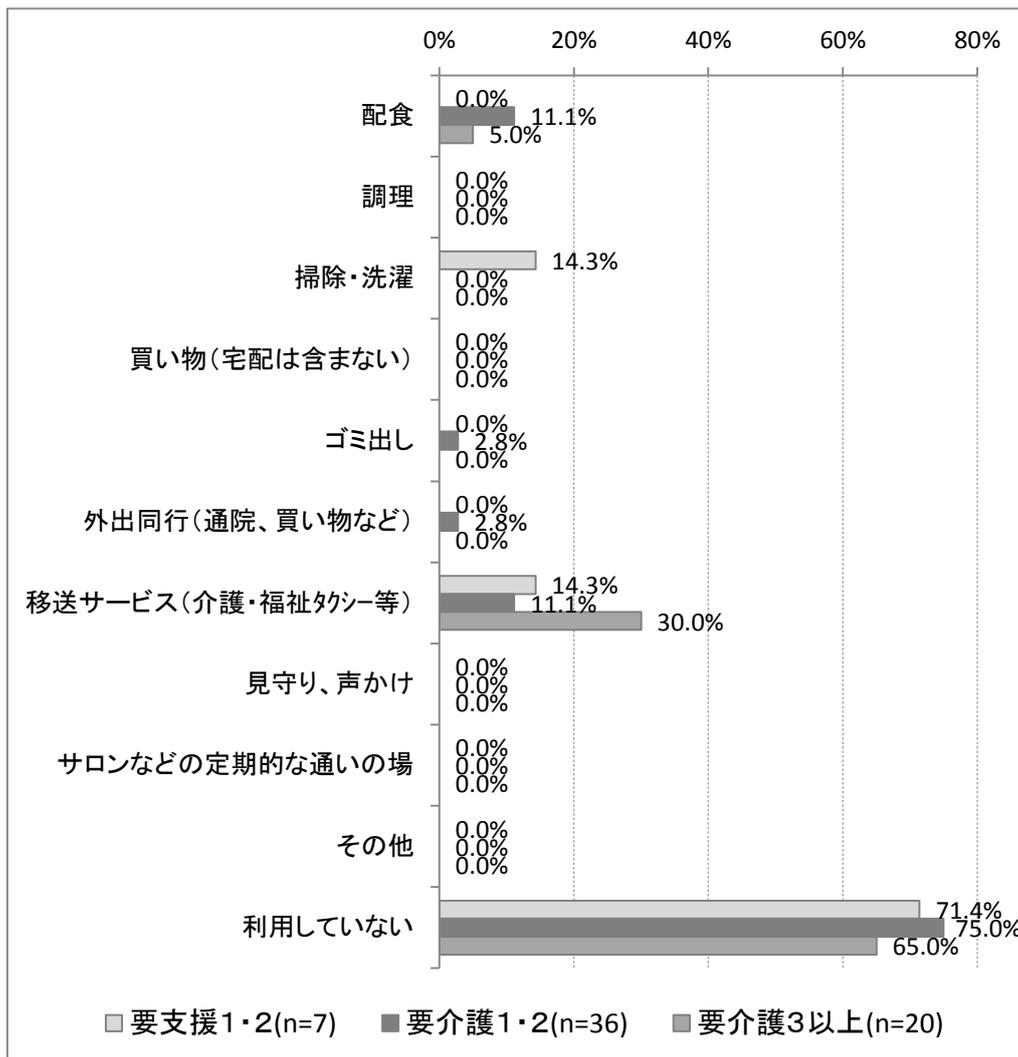
図表 3-6 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況(単身世帯)



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況(夫婦のみ世帯)】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が71.4%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が14.3%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が75.0%ともっとも割合が高く、次いで「配食」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が11.1%、「ゴミ出し」、「外出同行(通院、買い物など)」が2.8%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が65.0%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が30.0%、「配食」が5.0%となっている。

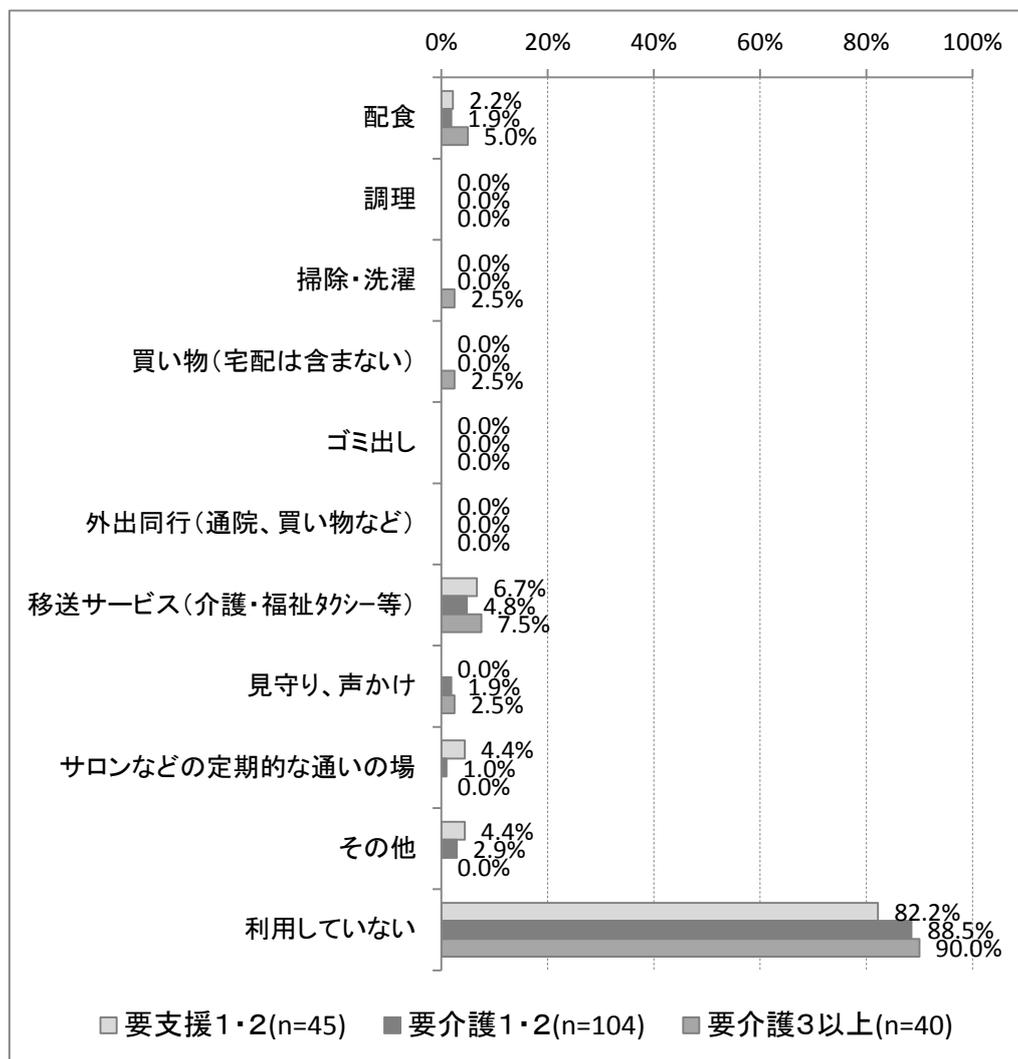
図表 3-7 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況(夫婦のみ世帯)



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況(その他世帯)】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が82.2%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が6.7%、「サロンなどの定期的な通いの場」、「その他」が4.4%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が88.5%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が4.8%、「その他」が2.9%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が90.0%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が7.5%、「配食」が5.0%となっている。

図表 3-8 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況(その他世帯)



(4) 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

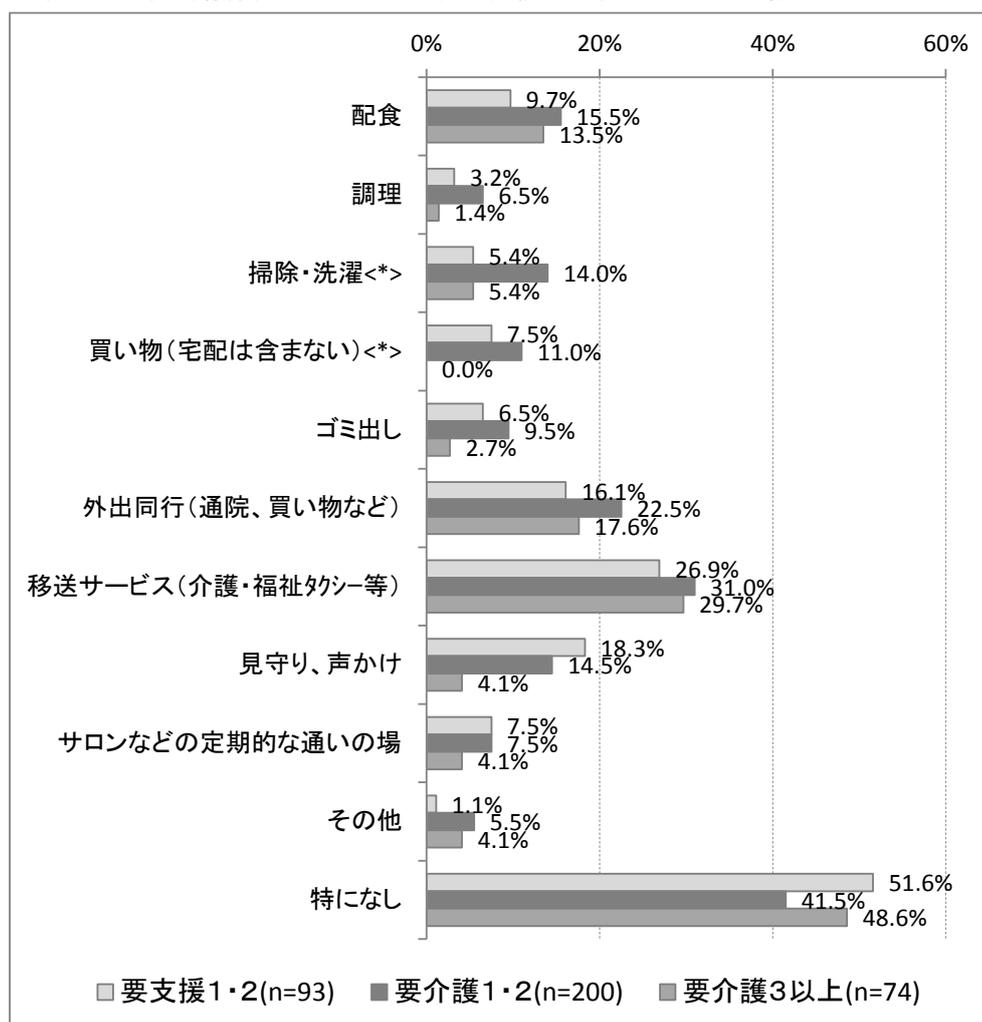
【着目すべきポイント】

- 世帯類型別・要介護度別に「必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-9～図表 3-12）。
- 特に、各世帯類型の要介護度別のニーズに着目しながら、各地域の実情に応じた取組を推進していくことが必要です。

【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が51.6%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.9%、「見守り、声かけ」が18.3%となっている。「要介護1・2」では「特になし」が41.5%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が22.5%となっている。「要介護3以上」では「特になし」が48.6%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が29.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が17.6%となっている。

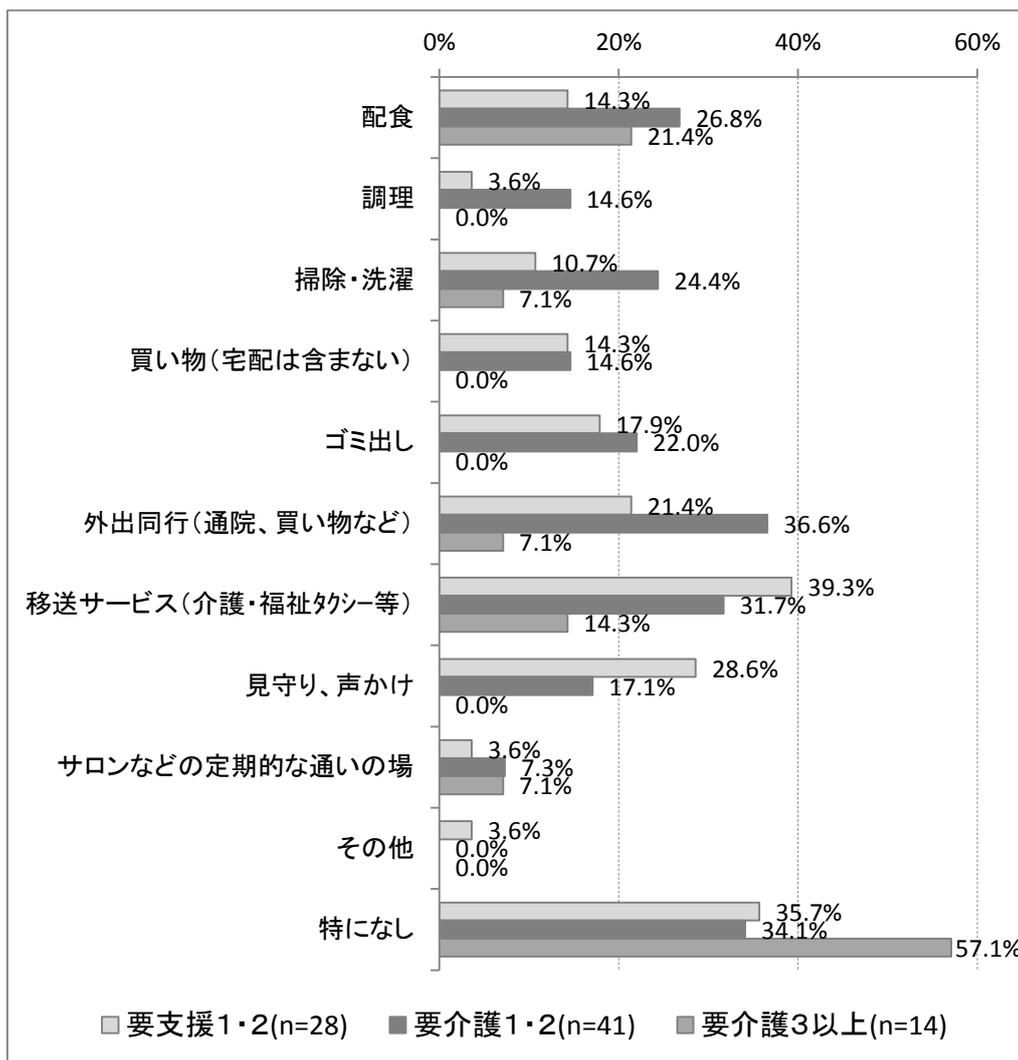
図表 3-9 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が39.3%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が35.7%、「見守り、声かけ」が28.6%となっている。「要介護1・2」では「外出同行(通院、買い物など)」が36.6%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が34.1%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が31.7%となっている。「要介護3以上」では「特になし」が57.1%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が21.4%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が14.3%となっている。

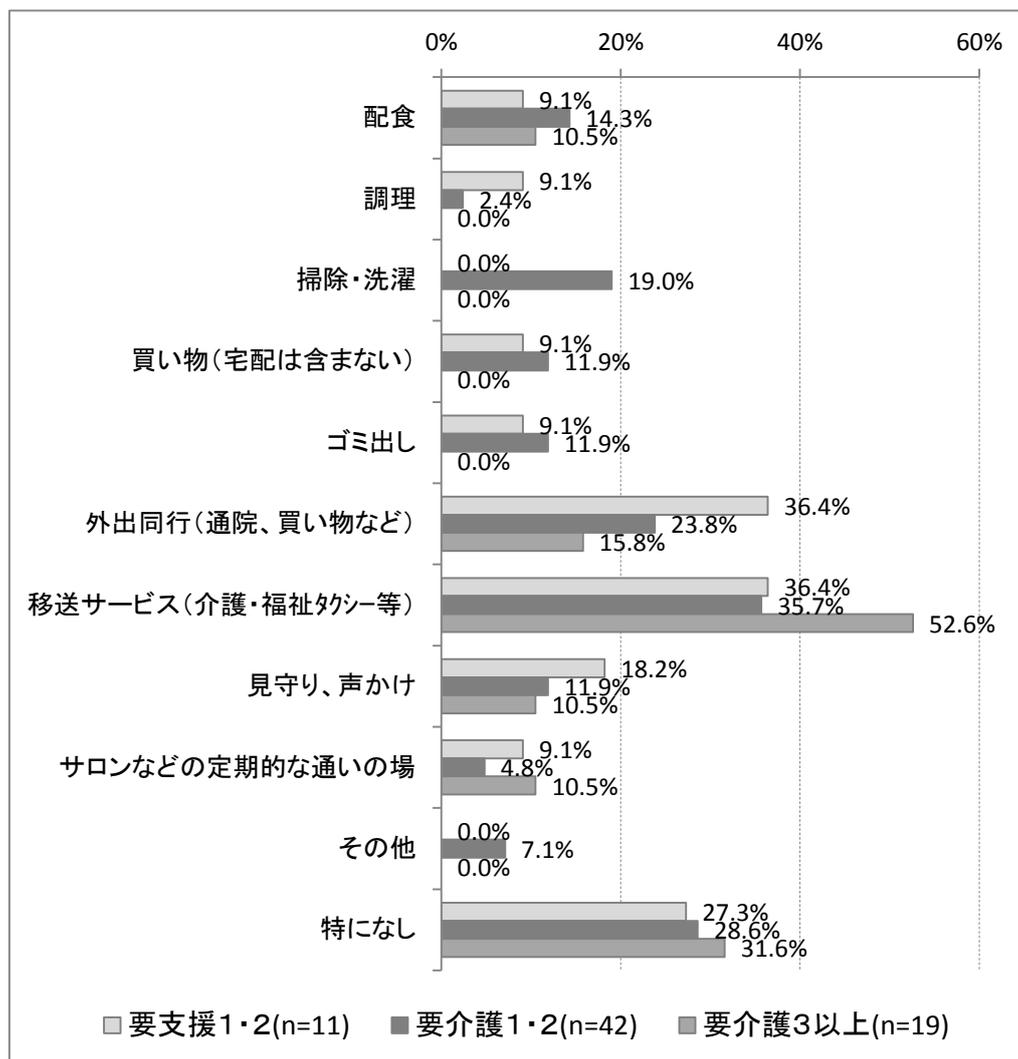
図表 3-10 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が36.4%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が27.3%、「見守り、声かけ」が18.2%となっている。「要介護1・2」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が35.7%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が28.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が23.8%となっている。「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が52.6%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が31.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が15.8%となっている。

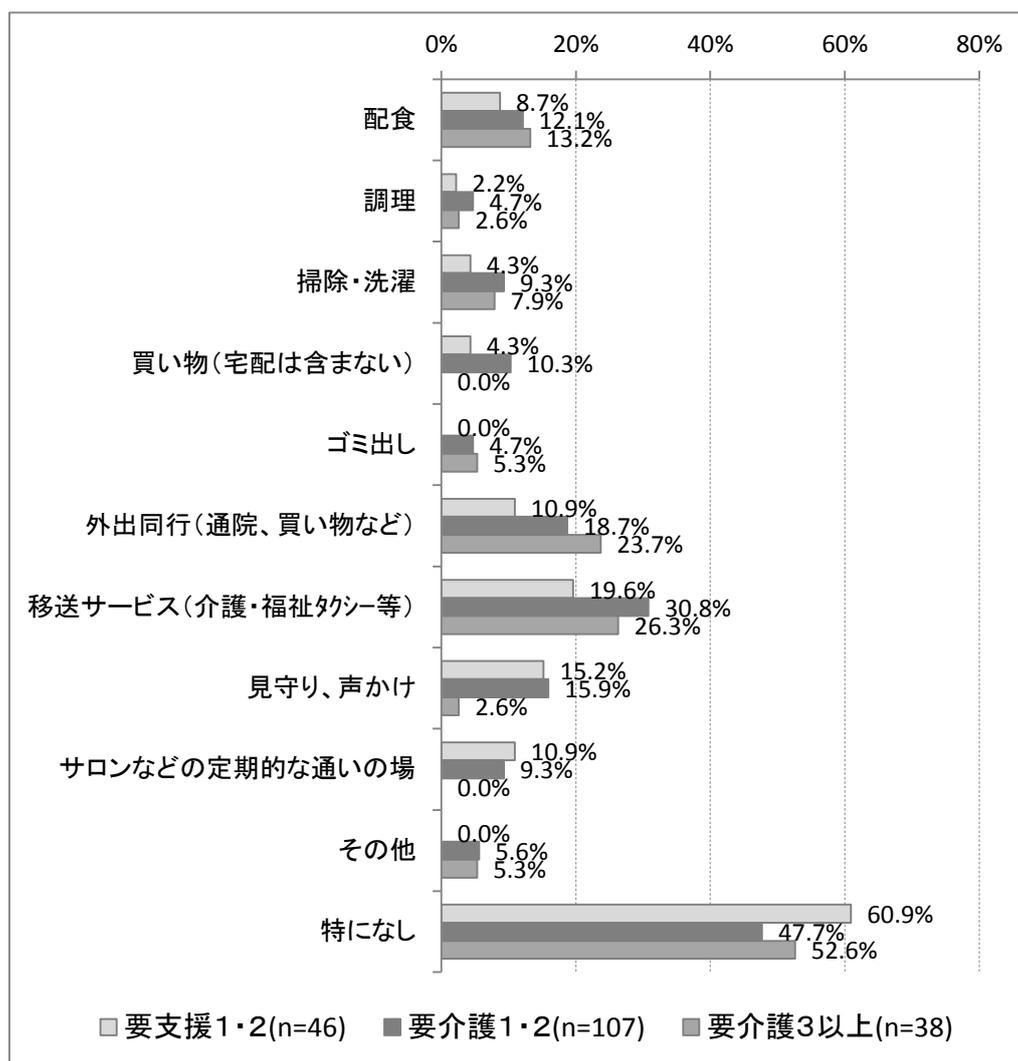
図表 3-11 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が60.9%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が19.6%、「見守り、声かけ」が15.2%となっている。「要介護1・2」では「特になし」が47.7%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が30.8%、「外出同行(通院、買い物など)」が18.7%となっている。「要介護3以上」では「特になし」が52.6%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が26.3%、「外出同行(通院、買い物など)」が23.7%となっている。

図表 3-12 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)



4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

4.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当てた集計を行っています。
- 具体的には、世帯類型別の「家族等による介護の頻度」、「サービス利用の組み合わせ」、「施設等検討の状況」などの分析を行います。
- 将来の高齢世帯の世帯類型の構成は、地域ごとに異なりますので、それぞれ地域の実情に応じた支援・サービスの検討につなげていくことが重要となります。

4.2 集計結果と着目すべきポイント

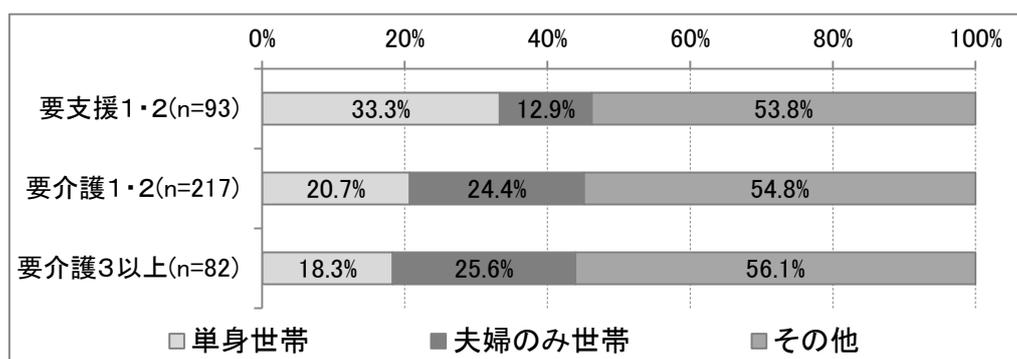
(1) 基礎集計

- 「要介護度別の世帯類型の割合」および「世帯類型別の要介護度の割合」を集計しています(図表 4-1、図表 4-2)。
- 要介護度の重度化に伴う、世帯類型の変化などを確認してください。

【要介護度別・世帯類型】

世帯類型を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「その他」が53.8%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が33.3%、「夫婦のみ世帯」が12.9%となっている。「要介護1・2」では「その他」が54.8%ともっとも割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が24.4%、「単身世帯」が20.7%となっている。「要介護3以上」では「その他」が56.1%ともっとも割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が25.6%、「単身世帯」が18.3%となっている。

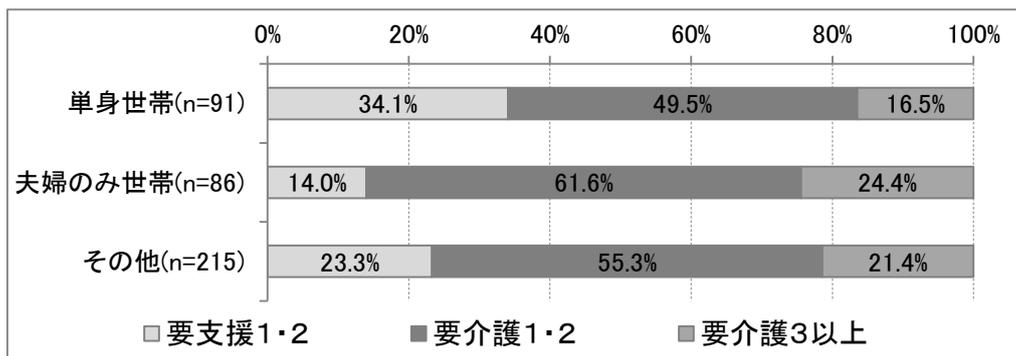
図表 4-1 要介護度別・世帯類型<*>



【世帯類型別・要介護度】

二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「要介護1・2」が49.5%ともっとも割合が高く、次いで「要支援1・2」が34.1%、「要介護3以上」が16.5%となっている。「夫婦のみ世帯」では「要介護1・2」が61.6%ともっとも割合が高く、次いで「要介護3以上」が24.4%、「要支援1・2」が14.0%となっている。「その他」では「要介護1・2」が55.3%ともっとも割合が高く、次いで「要支援1・2」が23.3%、「要介護3以上」が21.4%となっている。

図表 4-2 世帯類型別・要介護度<*>



(2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

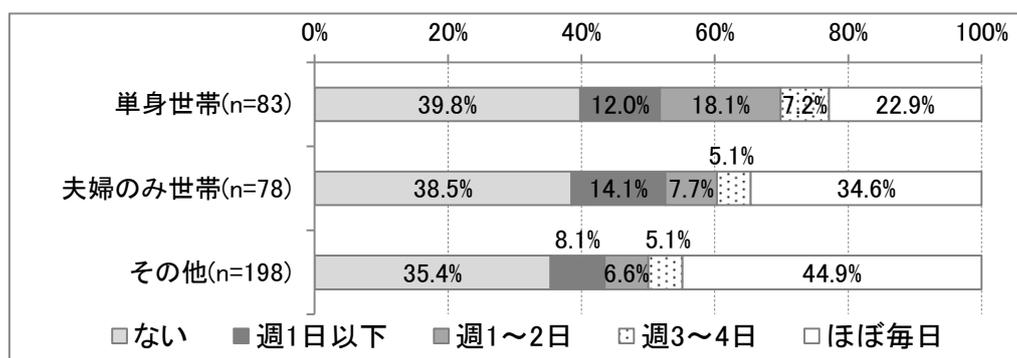
【着目すべきポイント】

- 図表 4-3 では、「世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」の割合を集計しています。また、図表 4-4～図表 4-6 では、世帯類型別に「要介護度別」の「家族等による介護の頻度」を集計しています。
- 「単身世帯」については、同居の家族等はいなくても、近居の家族等による介護が行われているケースも多いと考えられます。中重度の単身世帯のうち、家族等の介護がない中で在宅生活を送っているケースがどの程度あるかなど、現状についてご確認ください。

【世帯類型別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ない」が 39.8%ともっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が 22.9%、「週 1～2 日」が 18.1%となっている。「夫婦のみ世帯」では「ない」が 38.5%ともっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が 34.6%、「週 1 日以下」が 14.1%となっている。「その他」では「ほぼ毎日」が 44.9%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 35.4%、「週 1 日以下」が 8.1%となっている。

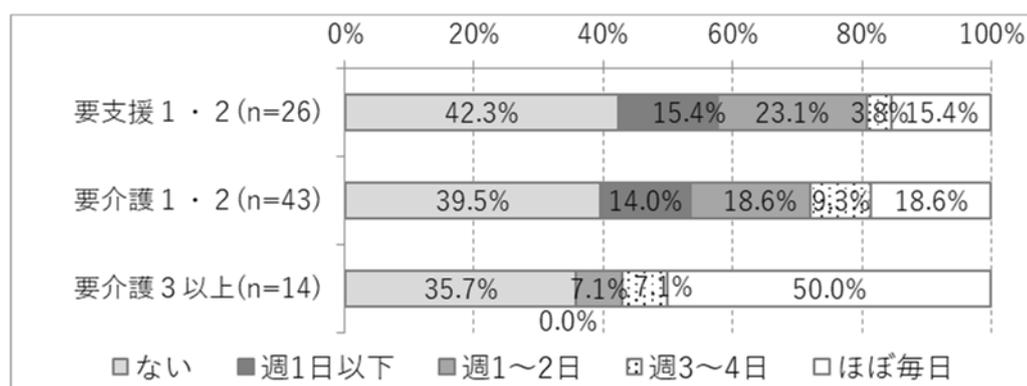
図表 4-3 世帯類型別・家族等による介護の頻度<*>



【要介護度別・家族等による介護の頻度(単身世帯)】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ない」が42.3%ともっとも割合が高く、次いで「週1～2日」が23.1%、「週1日以下」、「ほぼ毎日」が15.4%となっている。「要介護1・2」では「ない」が39.5%ともっとも割合が高く、次いで「週1～2日」、「ほぼ毎日」が18.6%、「週1日以下」が14.0%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が35.7%、「週1～2日」、「週3～4日」が7.1%となっている。

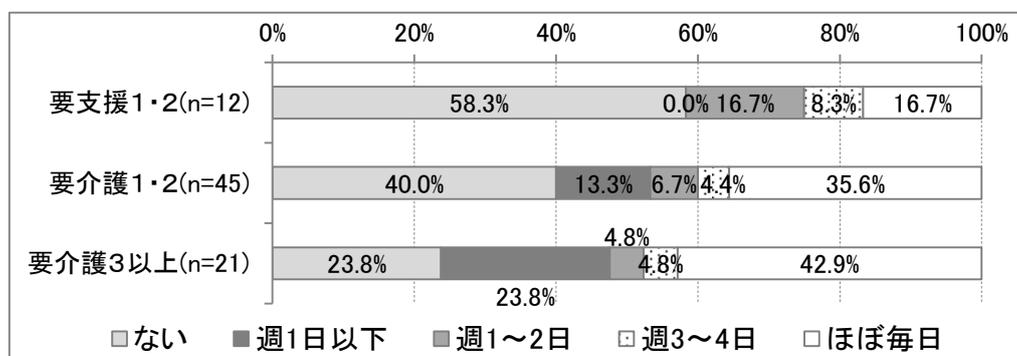
図表 4-4 要介護度別・家族等による介護の頻度(単身世帯)



【要介護度別・家族等による介護の頻度(夫婦のみ世帯)】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ない」が58.3%ともっとも割合が高く、次いで「週1～2日」、「ほぼ毎日」が16.7%、「週3～4日」が8.3%となっている。「要介護1・2」では「ない」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が35.6%、「週1日以下」が13.3%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が42.9%ともっとも割合が高く、次いで「ない」、「週1日以下」が23.8%、「週1～2日」、「週3～4日」が4.8%となっている。

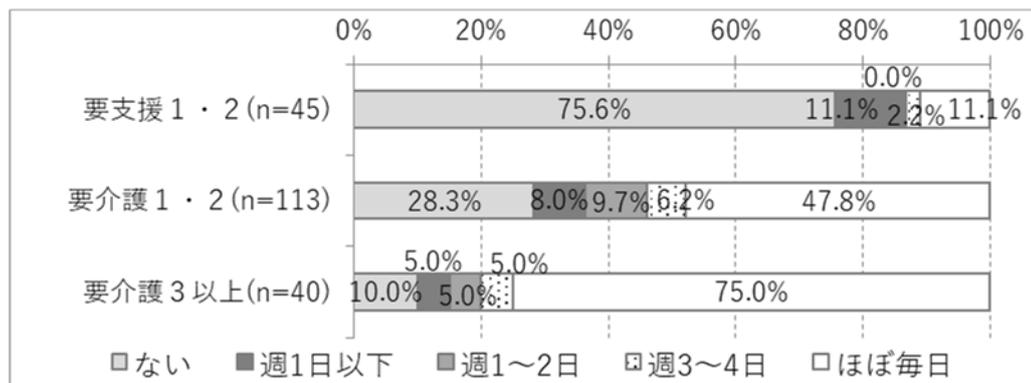
図表 4-5 要介護度別・家族等による介護の頻度(夫婦のみ世帯)



【要介護度別・家族等による介護の頻度(その他世帯)】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ない」が75.6%ともっとも割合が高く、次いで「週1日以下」、「ほぼ毎日」が11.1%、「週3～4日」が2.2%となっている。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が47.8%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が28.3%、「週1～2日」が9.7%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が75.0%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が10.0%、「週1日以下」、「週1～2日」、「週3～4日」が5.0%となっている。

図表 4-6 要介護度別・家族等による介護の頻度(その他世帯) <***>



(3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

【着目すべきポイント】

- 要介護度別・認知症自立度別の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」について、集計分析をしています（図表 4-7～図表 4-12）。
- サービス利用の組み合わせは、「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイト機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその2つを組み合わせた「訪問系を含むサービス利用」の3種類（未利用除く）に簡略化したものを使用しています。
- 重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを、世帯類型別に把握することができます。
- また、世帯類型別の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。
- 例えば、特に今後「要介護度が中重度の単身世帯」が増加すると見込まれる場合は、単身世帯の要介護者が要介護度の重度化に伴いどのようなサービス利用の組み合わせを増加させているかに着目し、推測することなどが考えられます。

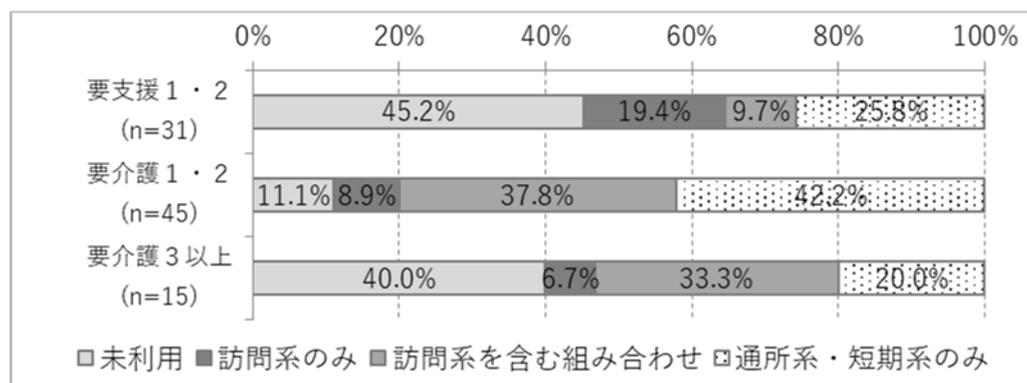
【留意事項】

- ただし、現在利用しているサービスが「地域目標を達成するためのサービス」であるとは限らない点には注意が必要です。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯)】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が45.2%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が25.8%、「訪問系のみ」が19.4%となっている。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が42.2%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が37.8%、「未利用」が11.1%となっている。「要介護3以上」では「未利用」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が33.3%、「通所系・短期系のみ」が20.0%となっている。

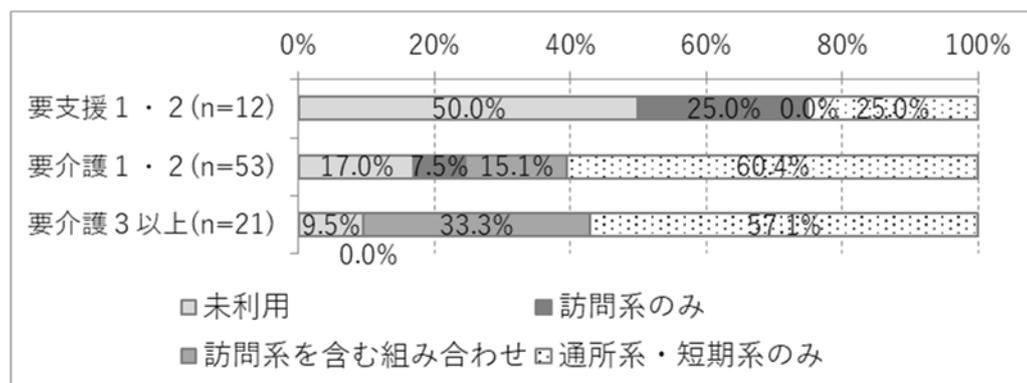
図表 4-7 要介護度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯) <**>



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が25.0%となっている。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が60.4%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が17.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が15.1%となっている。「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が57.1%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が33.3%、「未利用」が9.5%となっている。

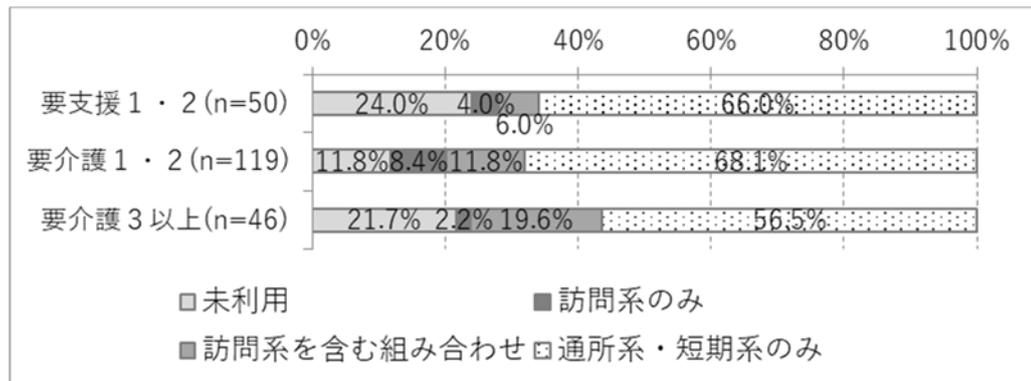
図表 4-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯) <**>



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯)】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が66.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が24.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が6.0%となっている。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が68.1%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が11.8%、「訪問系のみ」が8.4%となっている。「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が56.5%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が21.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が19.6%となっている。

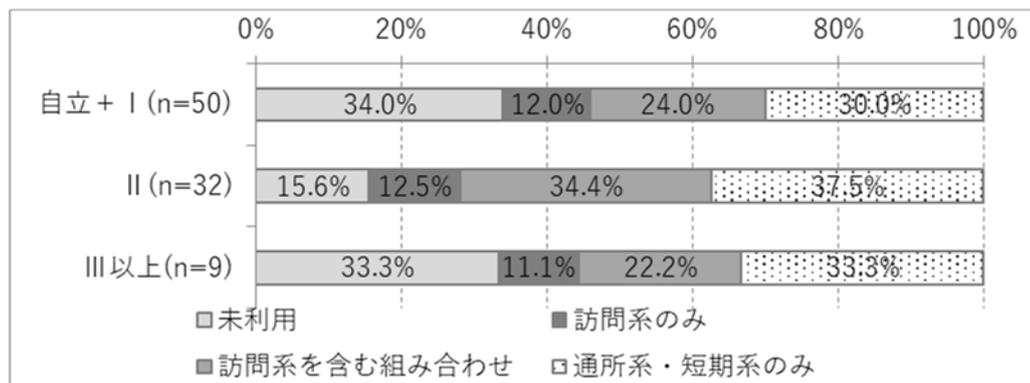
図表 4-9 要介護度別・サービス利用の組み合わせ (その他世帯) <+>



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯)】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「未利用」が34.0%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が30.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が24.0%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が37.5%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が34.4%、「未利用」が15.6%となっている。「Ⅲ以上」では「未利用」、「通所系・短期系のみ」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が22.2%、「訪問系のみ」が11.1%となっている。

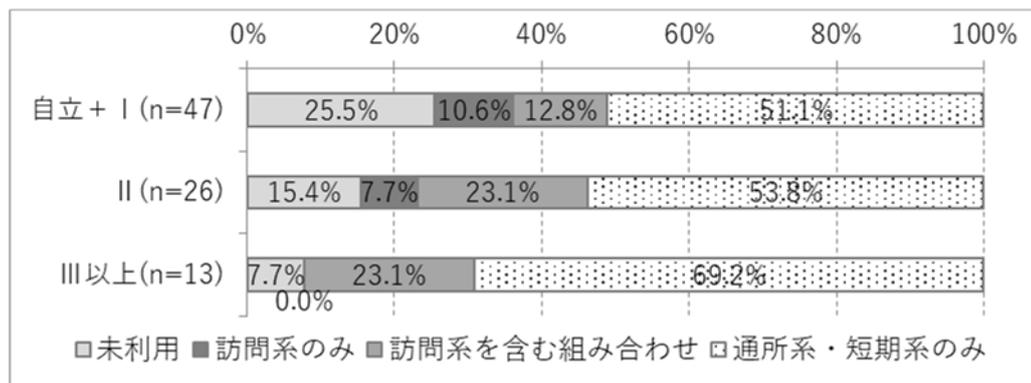
図表 4-10 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ (単身世帯)



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「通所系・短期系のみ」が51.1%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が25.5%、「訪問系を含む組み合わせ」が12.8%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が53.8%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.1%、「未利用」が15.4%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が69.2%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.1%、「未利用」が7.7%となっている。

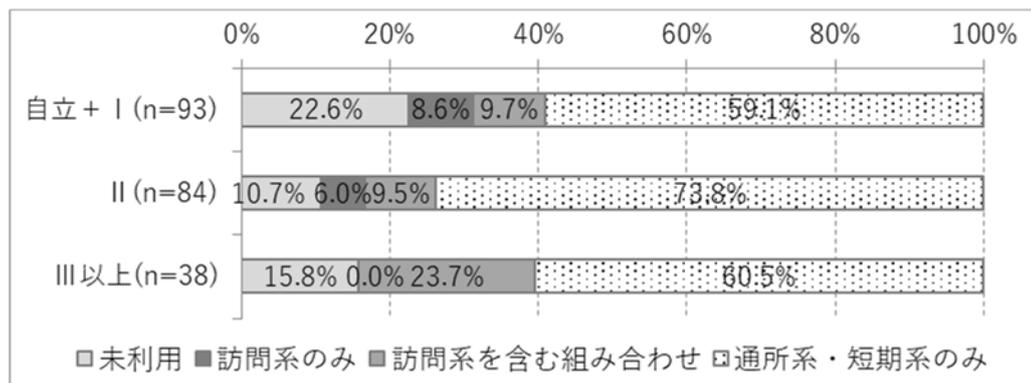
図表 4-11 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯)】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「通所系・短期系のみ」が59.1%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が22.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が9.7%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が73.8%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が10.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が9.5%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が60.5%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.7%、「未利用」が15.8%となっている。

図表 4-12 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯) <＊>



(4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

【着目すべきポイント】

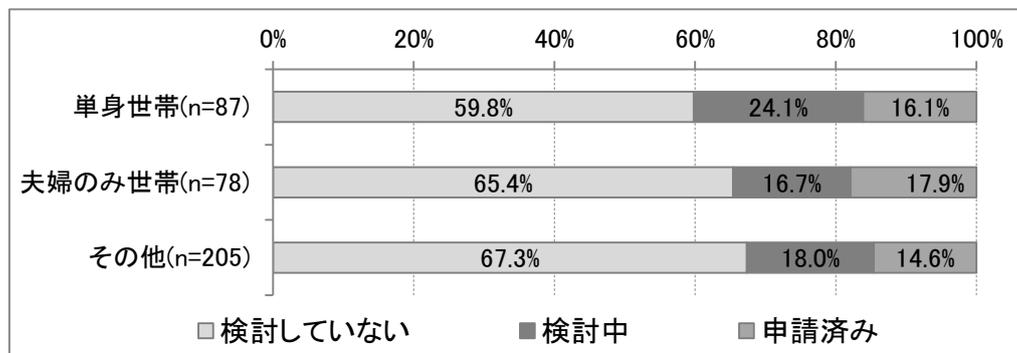
- ここでは、「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」について、集計分析をしています（図表 4-13～図表 4-19）。
- 「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅ケアとくらしの調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「世帯類型」ごとの特徴を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

【世帯類型別・施設等検討の状況(全要介護度)】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が59.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が24.1%、「申請済み」が16.1%となっている。

「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が65.4%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が17.9%、「検討中」が16.7%となっている。「その他」では「検討していない」が67.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が18.0%、「申請済み」が14.6%となっている。

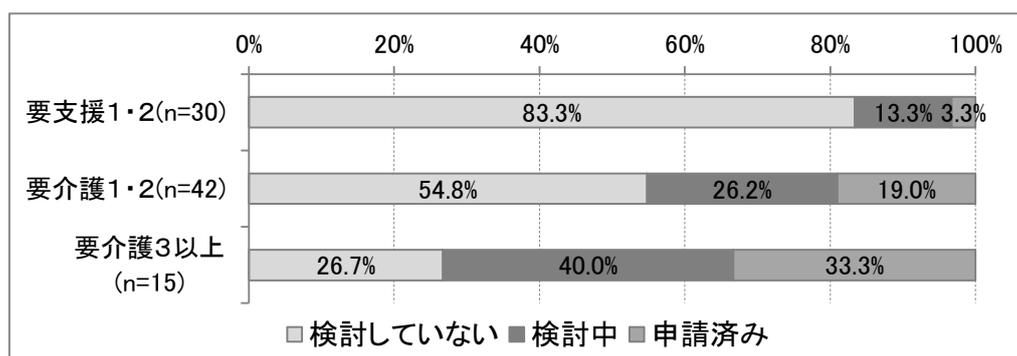
図表 4-13 世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）



【要介護度別・施設等検討の状況(単身世帯)】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が83.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が13.3%、「申請済み」が3.3%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が54.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が26.2%、「申請済み」が19.0%となっている。「要介護3以上」では「検討中」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が33.3%、「検討していない」が26.7%となっている。

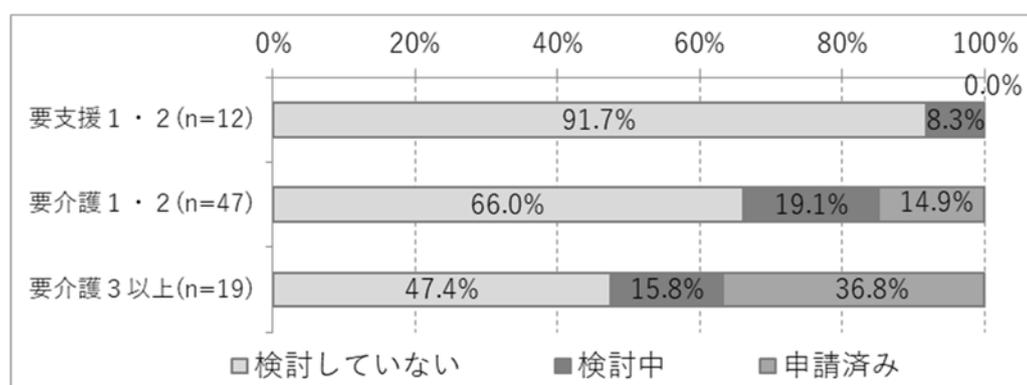
図表 4-14 要介護度別・施設等検討の状況(単身世帯) <**>



【要介護度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が91.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が8.3%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が66.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が19.1%、「申請済み」が14.9%となっている。「要介護3以上」では「検討中」が15.8%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が36.8%、「検討していない」が47.4%となっている。

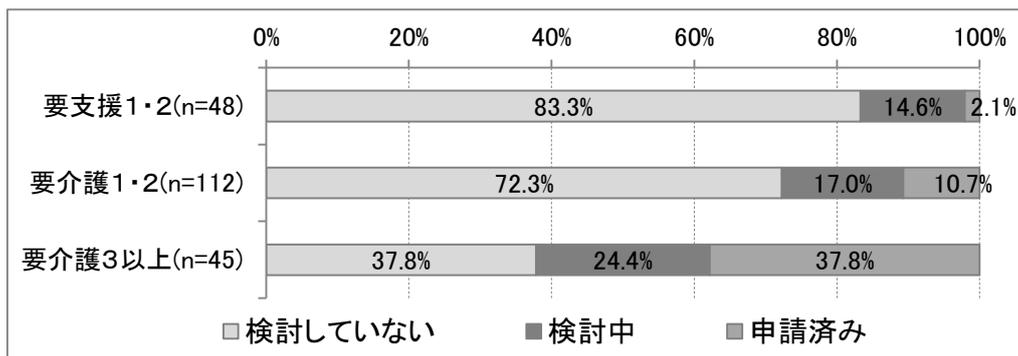
図表 4-15 要介護度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯) <+>



【要介護度別・施設等検討の状況(その他世帯)】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が83.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が14.6%、「申請済み」が2.1%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が72.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が17.0%、「申請済み」が10.7%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」、「申請済み」が37.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が24.4%となっている。

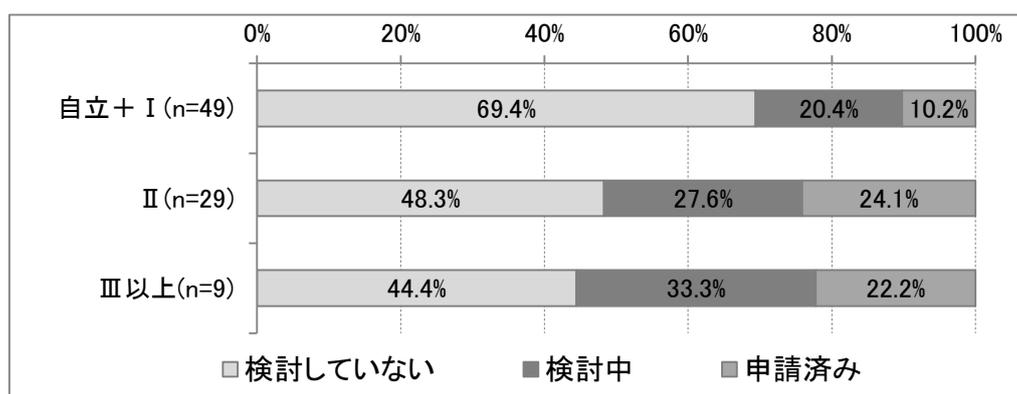
図表 4-16 要介護度別・施設等検討の状況(その他世帯) <***>



【認知症自立度別・施設等検討の状況(単身世帯)】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が69.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が20.4%、「申請済み」が10.2%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が48.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が27.6%、「申請済み」が24.1%となっている。「Ⅲ以上」では「検討していない」が44.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が22.2%となっている。

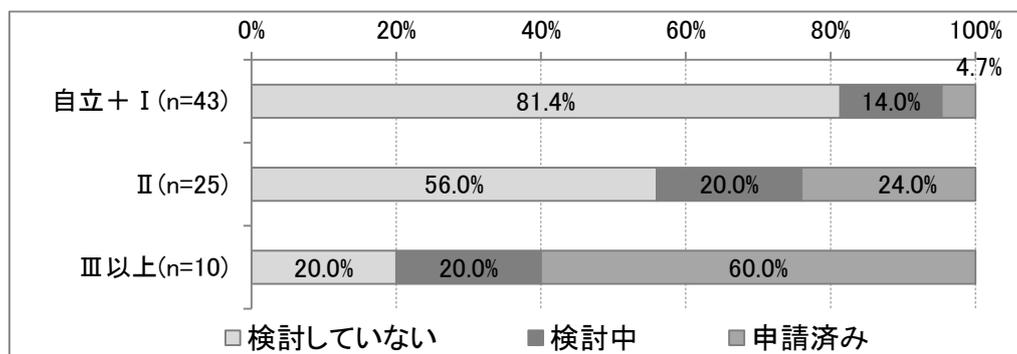
図表 4-17 認知症自立度別・施設等検討の状況 (単身世帯)



【認知症自立度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「検討していない」が81.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が14.0%、「申請済み」が4.7%となっている。「Ⅱ」では「検討していない」が56.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が24.0%、「検討中」が20.0%となっている。「Ⅲ以上」では「申請済み」が60.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」、「検討中」が20.0%となっている。

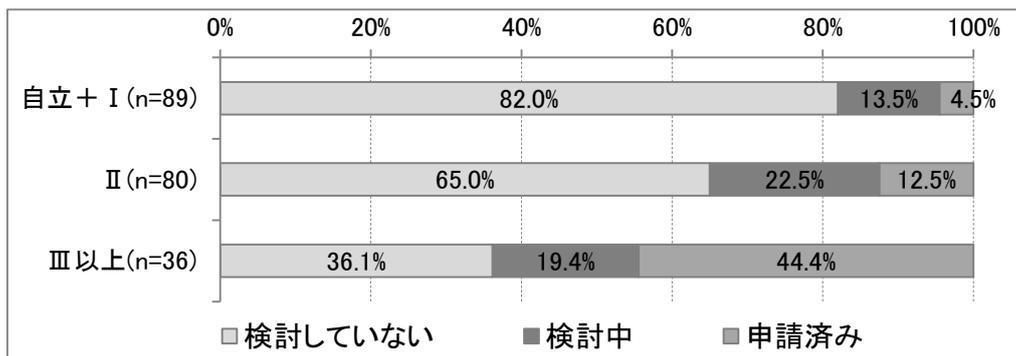
図表 4-18 認知症自立度別・施設等検討の状況 (夫婦のみ世帯) <***>



【認知症自立度別・施設等検討の状況(その他の世帯)】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「検討していない」が82.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が13.5%、「申請済み」が4.5%となっている。「II」では「検討していない」が65.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が22.5%、「申請済み」が12.5%となっている。「III以上」では「申請済み」が44.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が36.1%、「検討中」が19.4%となっている。

図表 4-19 認知症自立度別・施設等検討の状況 (その他の世帯) <***>



5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

5.1 集計・分析の狙い

- ここでは、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるための集計を行います。
- 具体的には、世帯類型別・要介護度別の「主な介護者が行っている介護」や「訪問診療の利用の有無」、「訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ」などの分析を行います。

5.2 集計結果と着目すべきポイント

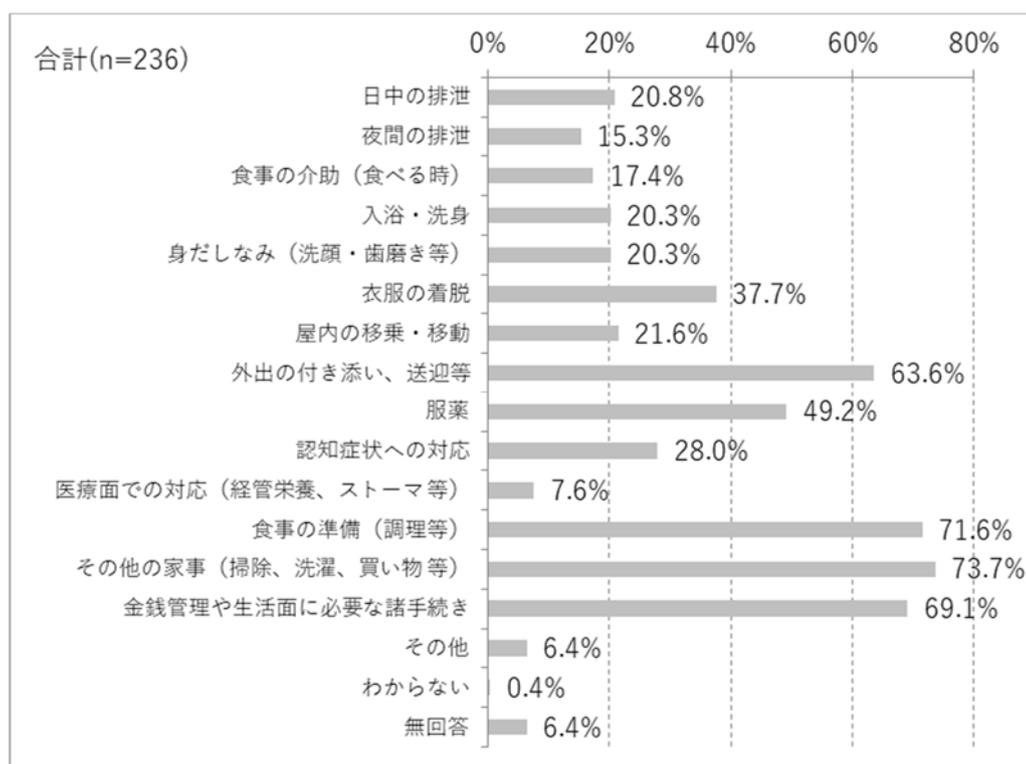
(1) 基礎集計

- 「主な介護者が行っている介護」について、要介護度別・世帯類型別の集計を行っています（図表 5-1～図表 5-3）。
- ここでは、特に「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」に着目し、家族等の主な介護者が「医療面での対応」を行っている割合を把握することができます。

【★主な介護者が行っている介護】

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が最も高く 73.7%となっている。次いで、「食事の準備（調理等）（71.6%）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（69.1%）」となっている。

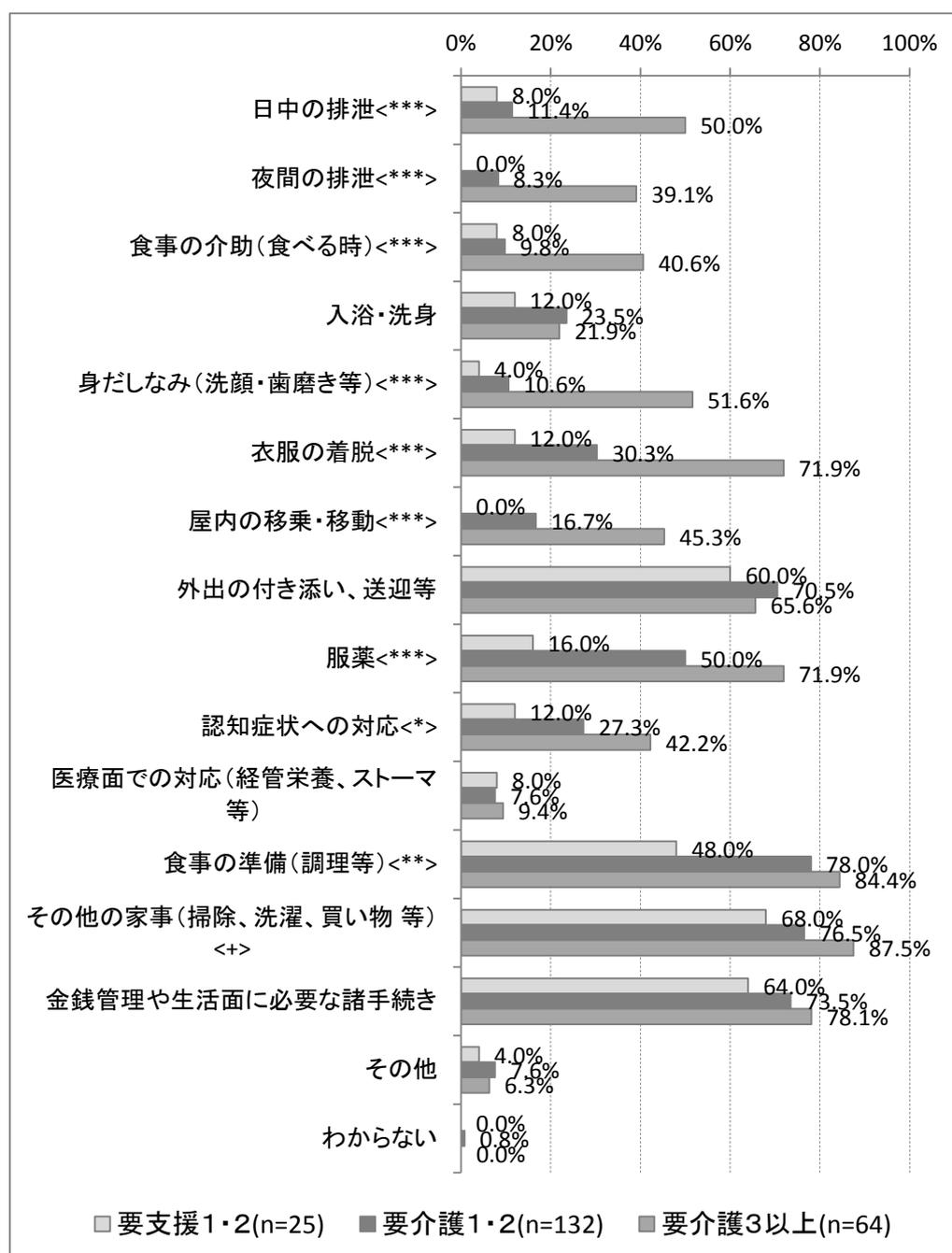
図表 5-1 ★主な介護者が行っている介護



【要介護度別・★主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が68.0%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が64.0%、「外出の付き添い、送迎等」が60.0%となっている。「要介護1・2」では「食事の準備（調理等）」が78.0%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が76.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が73.5%となっている。「要介護3以上」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が87.5%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が84.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が78.1%となっている。

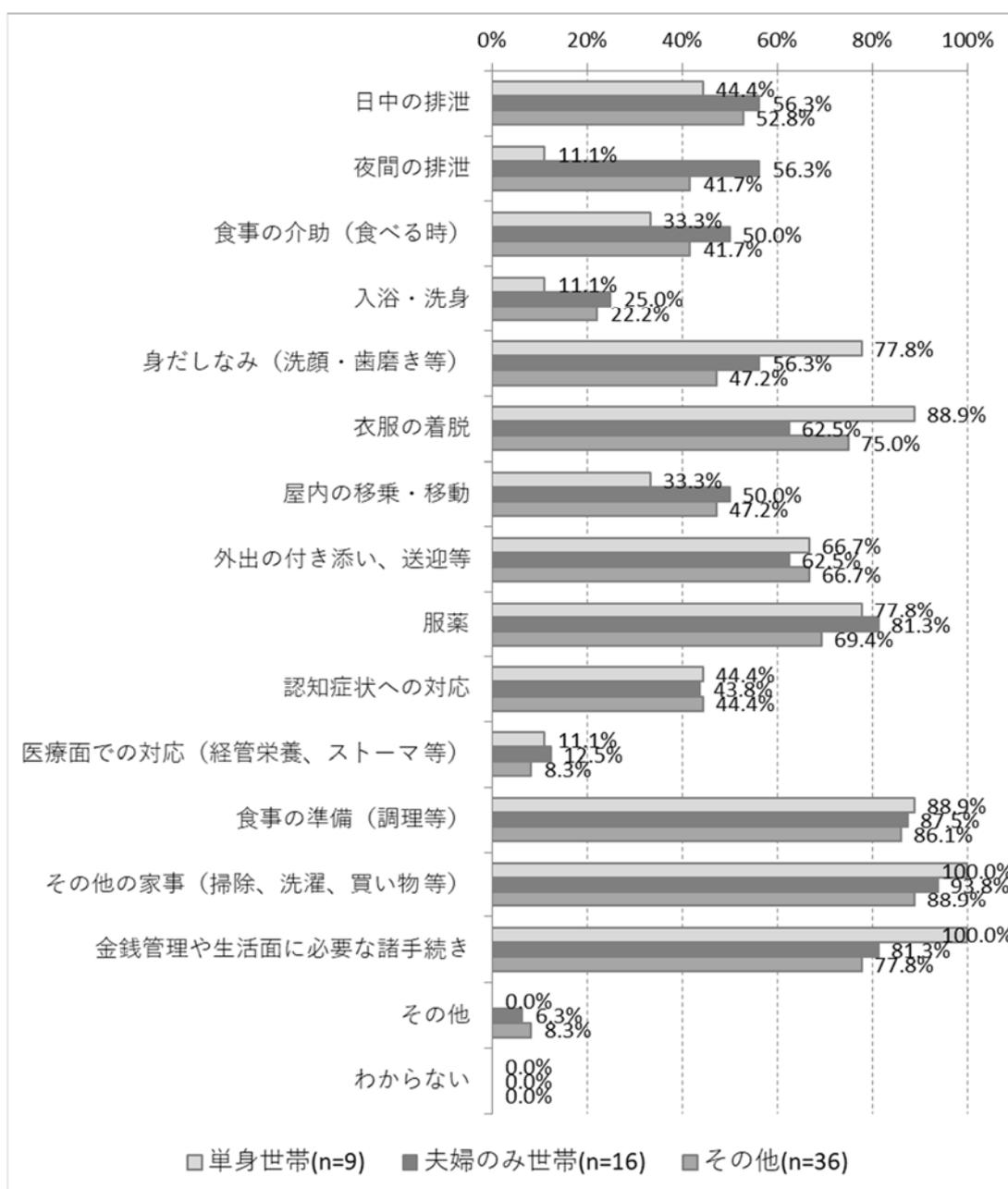
図表 5-2 要介護度別・★主な介護者が行っている介護



【世帯類型別・★主な介護者が行っている介護(要介護3以上)】

介護者が行っている介護を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が100.0%ともっとも割合が高く、次いで「衣服の着脱」、「食事の準備（調理等）」が88.9%、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「服薬」が77.8%となっている。「夫婦のみ世帯」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が93.8%ともっとも割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が87.5%、「服薬」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が81.3%となっている。「その他」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が88.9%ともっとも割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が86.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が77.8%となっている。

図表 5-3 世帯類型別・★主な介護者が行っている介護（要介護3以上）



(2) 訪問診療の利用割合

【着目すべきポイント】

- 「訪問診療の利用の有無」について、世帯類型別・要介護度別の集計を行っています（図表 5-4～図表 5-6）。
- 特に、「要介護度別の訪問診療の利用割合」を「将来の要介護度別の在宅療養者数」に乗じることによって、「将来の在宅における訪問診療の利用者数」の粗推計を行うことも可能です。

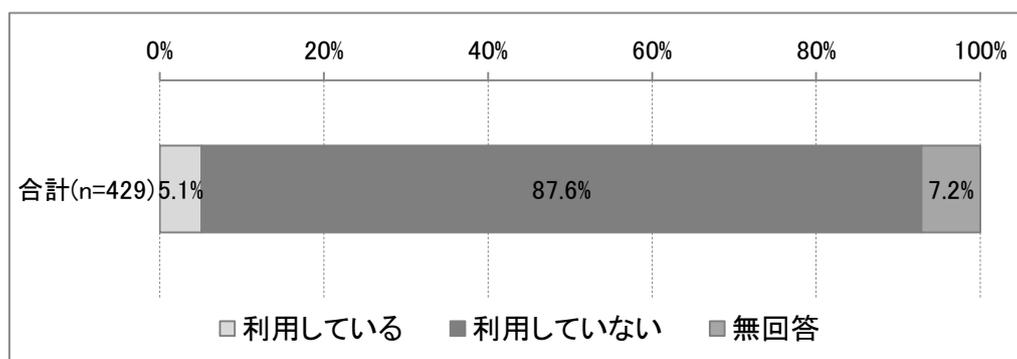
【留意事項】

- ここでの「訪問診療」には、訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含まれていません。
- また、上述の「将来の在宅における訪問診療の利用者数」を推計方法は、現在の訪問診療の利用割合を前提としたものであり、地域の状況の変化によっては誤差が大きくなることが想定されます。粗推計のための手法である点については、注意が必要です。
- 必要に応じて、地域医療構想の検討における「2025年の在宅医療等で対応が必要な医療需要」の需要量予測の結果等もご覧ください。

【★訪問診療の利用の有無】

「利用していない」の割合が高く 87.6%となっている。次いで、「利用している（5.1%）」となっている。

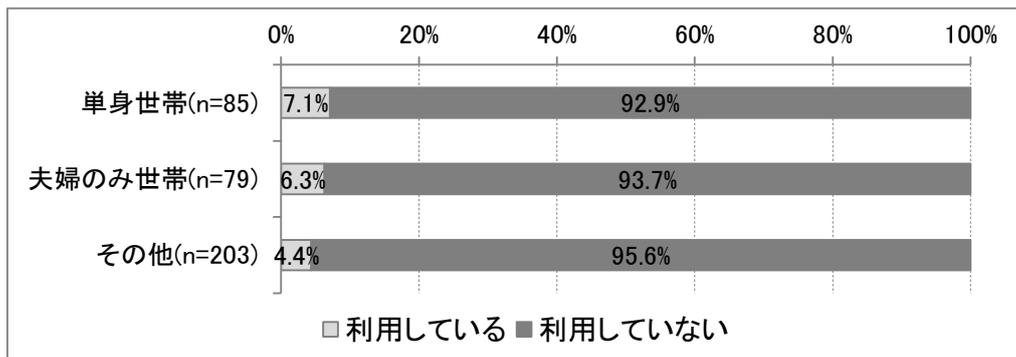
図表 5-4 ★訪問診療の利用の有無



【世帯類型別・★訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が92.9%と割合が高く、「利用している」が7.1%となっている。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が93.7%と割合が高く、「利用している」が6.3%となっている。「その他」では「利用していない」が95.6%と割合が高く、「利用している」が4.4%となっている。

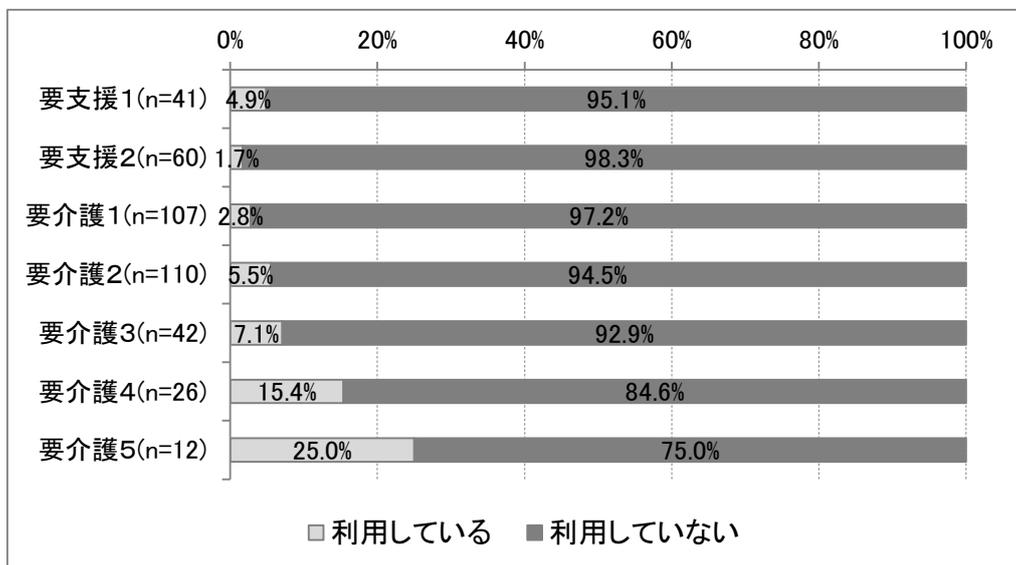
図表 5-5 世帯類型別・★訪問診療の利用割合



【要介護度別・★訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「要支援1」では「利用していない」が95.1%と割合が高く、「利用している」が4.9%となっている。「要支援2」では「利用していない」が98.3%と割合が高く、「利用している」が1.7%となっている。「要介護1」では「利用していない」が97.2%と割合が高く、「利用している」が2.8%となっている。「要介護2」では「利用していない」が94.5%と割合が高く、「利用している」が5.5%となっている。「要介護3」では「利用していない」が92.9%と割合が高く、「利用している」が7.1%となっている。「要介護4」では「利用していない」が84.6%と割合が高く、「利用している」が15.4%となっている。「要介護5」では「利用していない」が75.0%と割合が高く、「利用している」が25.0%となっている。

図表 5-6 要介護度別・★訪問診療の利用割合<**>



(3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

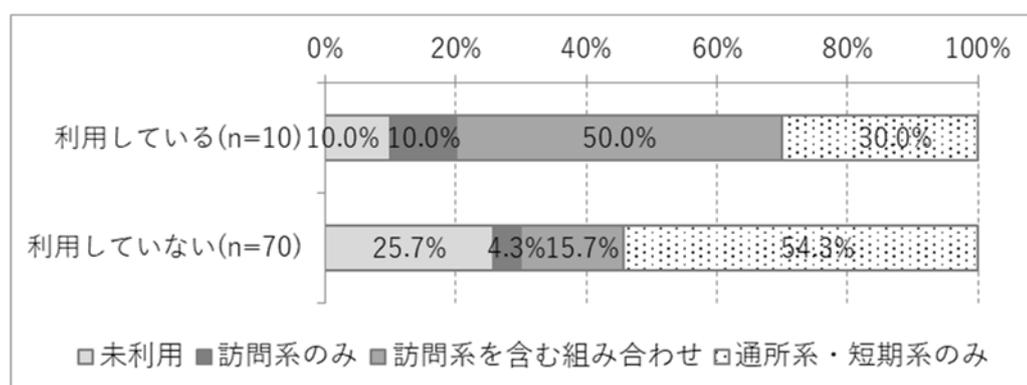
【着目すべきポイント】

- 訪問診療の利用の有無別に、要介護3以上の「サービス利用の組み合わせ」を集計していません（図表5-7）。
- 特に、今後在宅で療養生活を送る医療ニーズの高い中重度の要介護者の増加が見込まれる地域では、今後どのようなサービスに対する利用ニーズが高まるかを予測することにもつながります。

【★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ(要介護3以上)】

サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系を含む組み合わせ」が50.0%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が30.0%、「未利用」、「訪問系のみ」が10.0%となっている。「利用していない」では「通所系・短期系のみ」が54.3%と最も割合が高く、次いで「未利用」が25.7%、「訪問系を含む組み合わせ」が15.7%となっている。

図表 5-7 ★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）<+>



(4) 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

【着目すべきポイント】

- 訪問診療の利用の有無別に、要介護3以上について、訪問系・通所系・短期系のそれぞれのサービス利用の有無を集計しています（図表 5-8～図表 5-10）。
- 地域によっては、例えば「医療ニーズの高い要介護者」の受け入れが可能なショートステイが十分に整っていない場合に、訪問診療の利用の有無で短期系の利用割合が大きく異なることも想定されます。

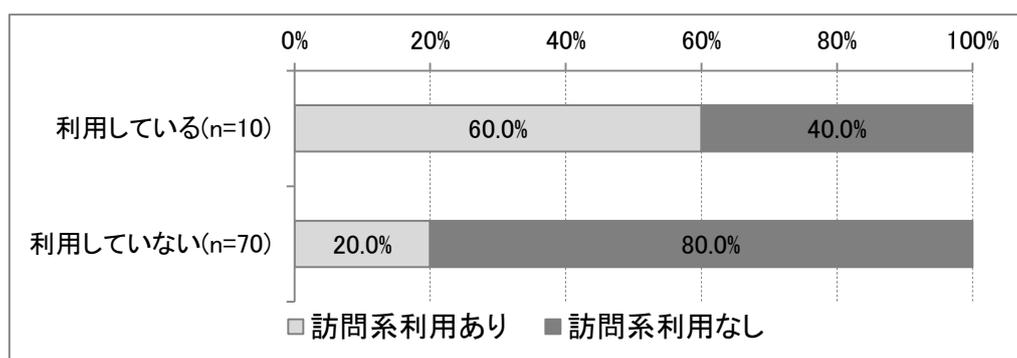
【留意事項】

- 上記の例のように、訪問診療の利用の有無で短期系の利用割合が大きく異なる場合についても、必ずしも「医療ニーズの高い要介護者」の受け入れが可能なショートステイが十分に整っていない」ことに原因があるとは限りません。
- 集計分析結果の解釈は、地域の実情等に照らし合わせながら、専門職を含む関係者間での議論・考察を経て行うことが必要です。

【★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）】

訪問系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系利用あり」が60.0%と割合が高く、「訪問系利用なし」が40.0%となっている。「利用していない」では「訪問系利用なし」が80.0%と割合が高く、「訪問系利用あり」が20.0%となっている。

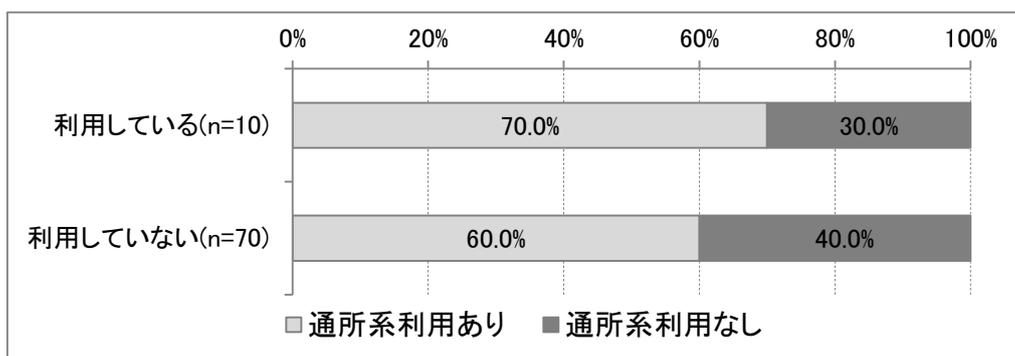
図表 5-8 ★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）〈**〉



【★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無(通所系、要介護3以上)】

通所系の利用の有無(定期巡回を除く)を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「通所系利用あり」が70.0%と割合が高く、「通所系利用なし」が30.0%となっている。「利用していない」では「通所系利用あり」が60.0%と割合が高く、「通所系利用なし」が40.0%となっている。

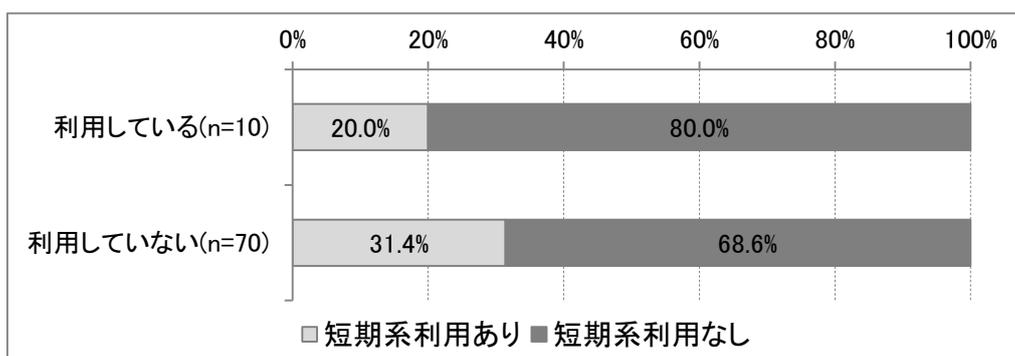
図表 5-9 ★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無(通所系、要介護3以上)



【★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無(短期系、要介護3以上)】

短期系の利用の有無(定期巡回を除く)を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「短期系利用なし」が80.0%と割合が高く、「短期系利用あり」が20.0%となっている。「利用していない」では「短期系利用なし」が68.6%と割合が高く、「短期系利用あり」が31.4%となっている。

図表 5-10 ★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無(短期系、要介護3以上)



6 サービス未利用の理由など

6.1 集計・分析の狙い

- ここでは、各地域において支援・サービスの提供体制の構築を含む各種の取組を検討する際に、参考になると考えられるいくつかの集計結果を整理しています。
- 主要なデータは、テーマ1～テーマ5において整理をしていますが、ここで整理する集計結果も必要に応じてご活用ください。

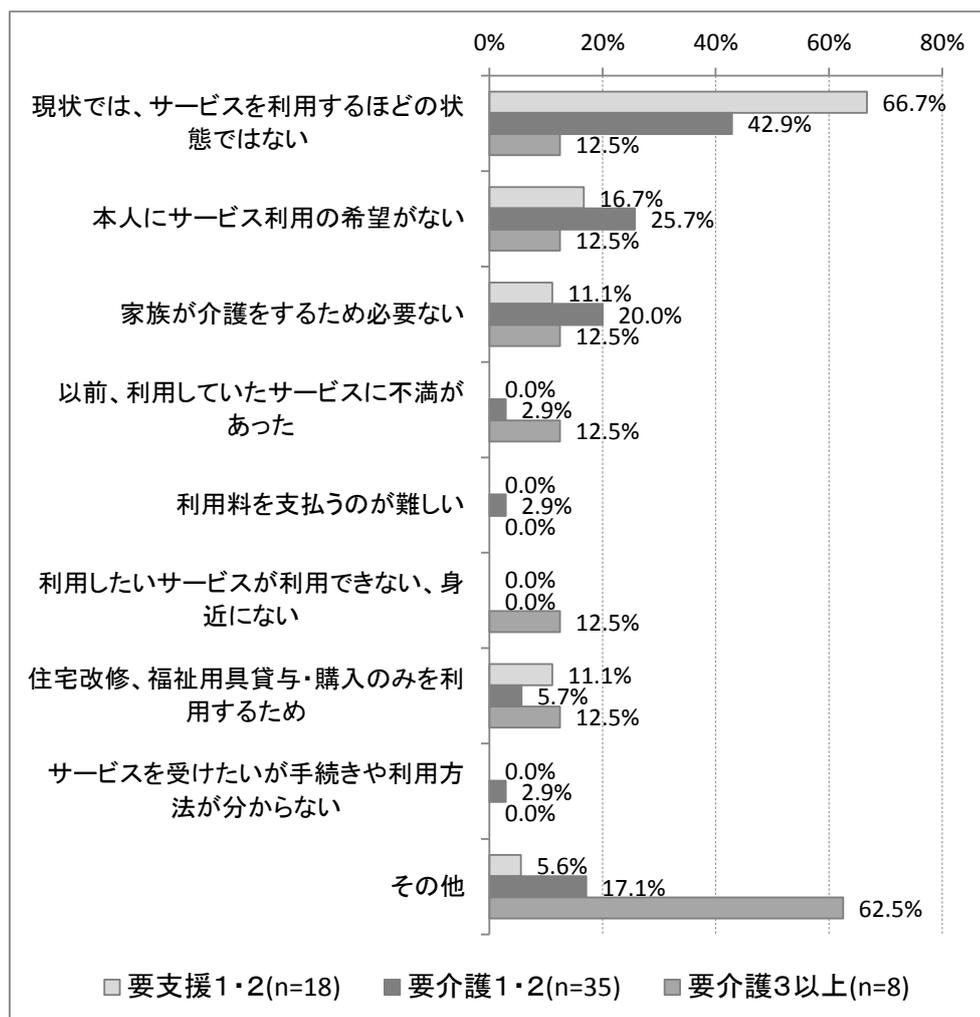
6.2 集計結果（参考）

(1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

【要介護度別の★サービス未利用の理由】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が16.7%、「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が11.1%となっている。「要介護1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が42.9%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が25.7%、「家族が介護をするため必要ない」が20.0%となっている。「要介護3以上」では「その他」が62.5%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が12.5%となっている。

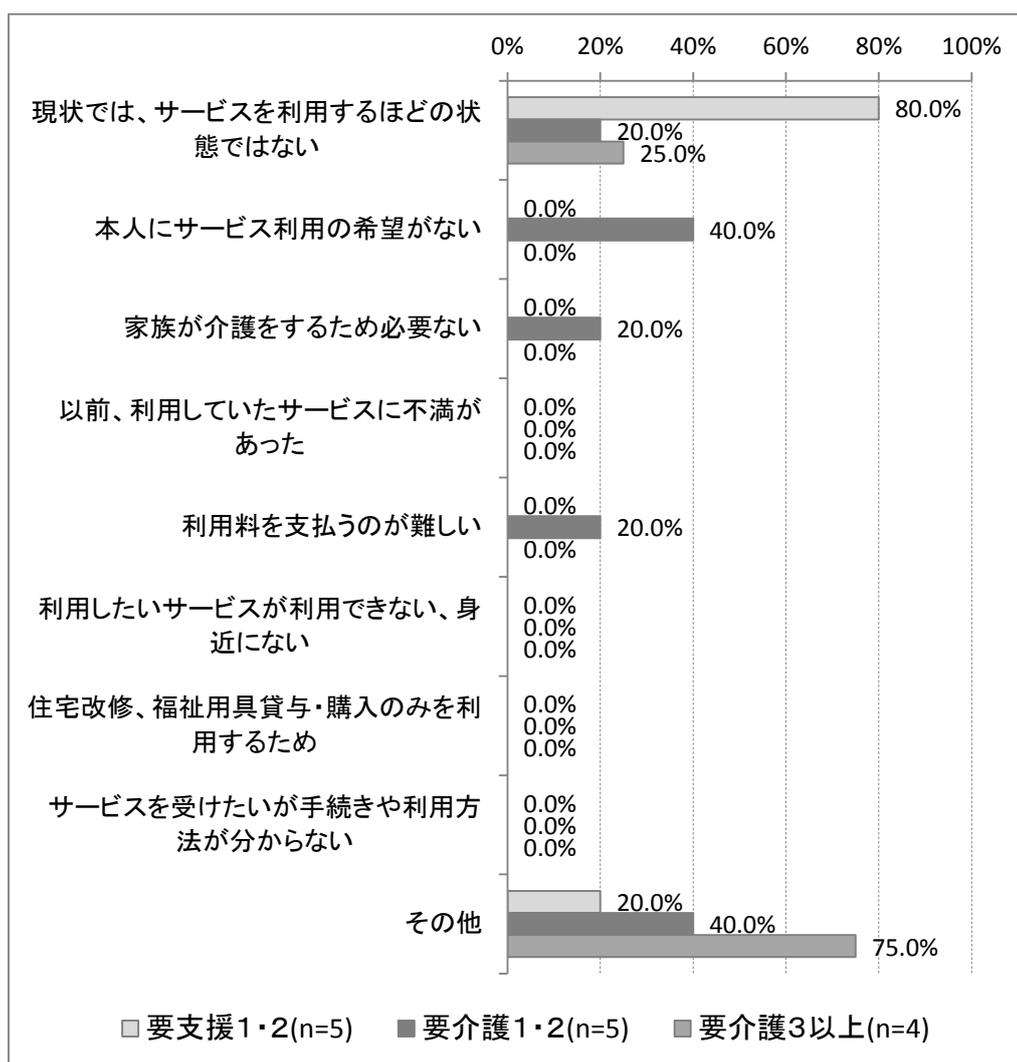
図表 6-1 要介護度別の★サービス未利用の理由



【要介護度別の★サービス未利用の理由(単身世帯)】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が80.0%ともっとも割合が高く、次いで「その他」が20.0%となっている。「要介護1・2」では「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」、「利用料を支払うのが難しい」が20.0%となっている。「要介護3以上」では「その他」が75.0%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が25.0%となっている。

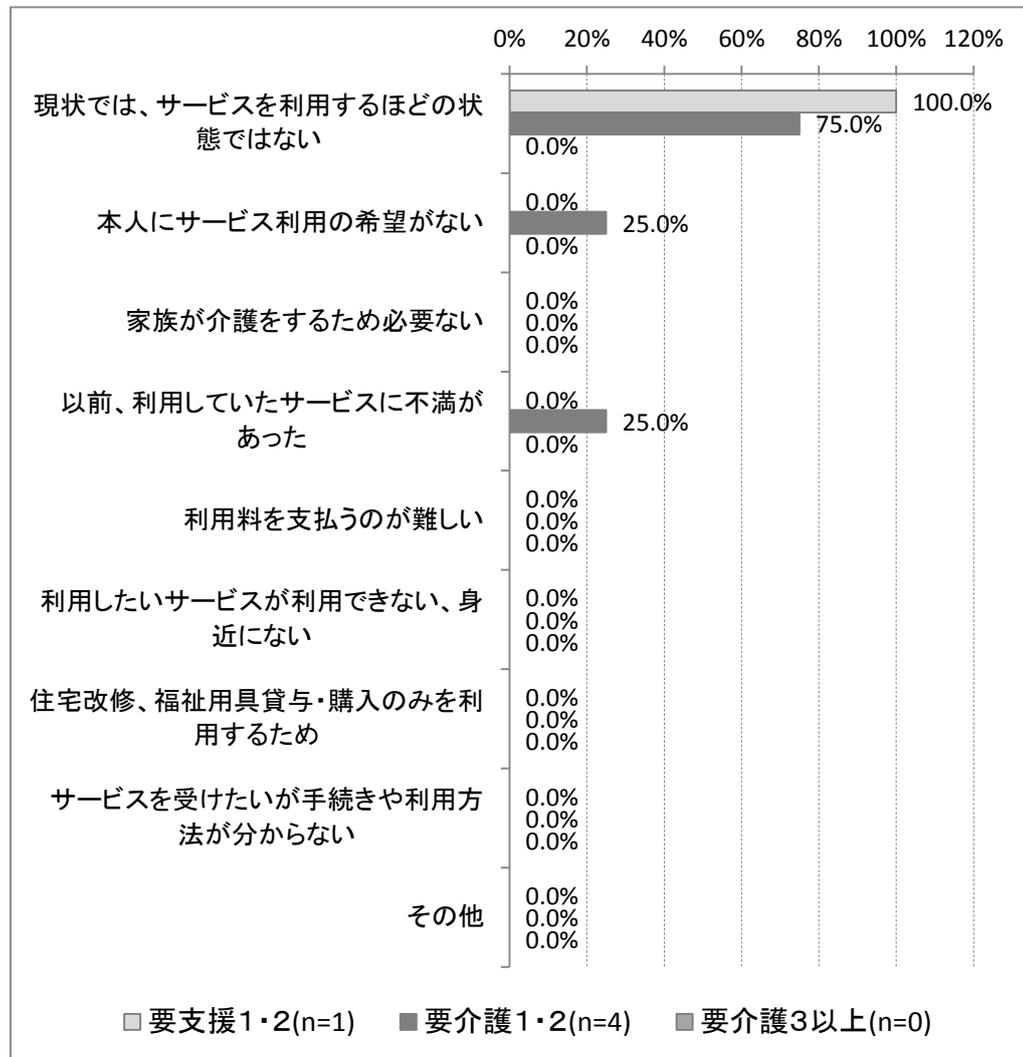
図表 6-2 要介護度別の★サービス未利用の理由 (単身世帯)



【要介護度別の★サービス未利用の理由(夫婦のみ世帯)】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要介護1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が75.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」が25.0%となっている。

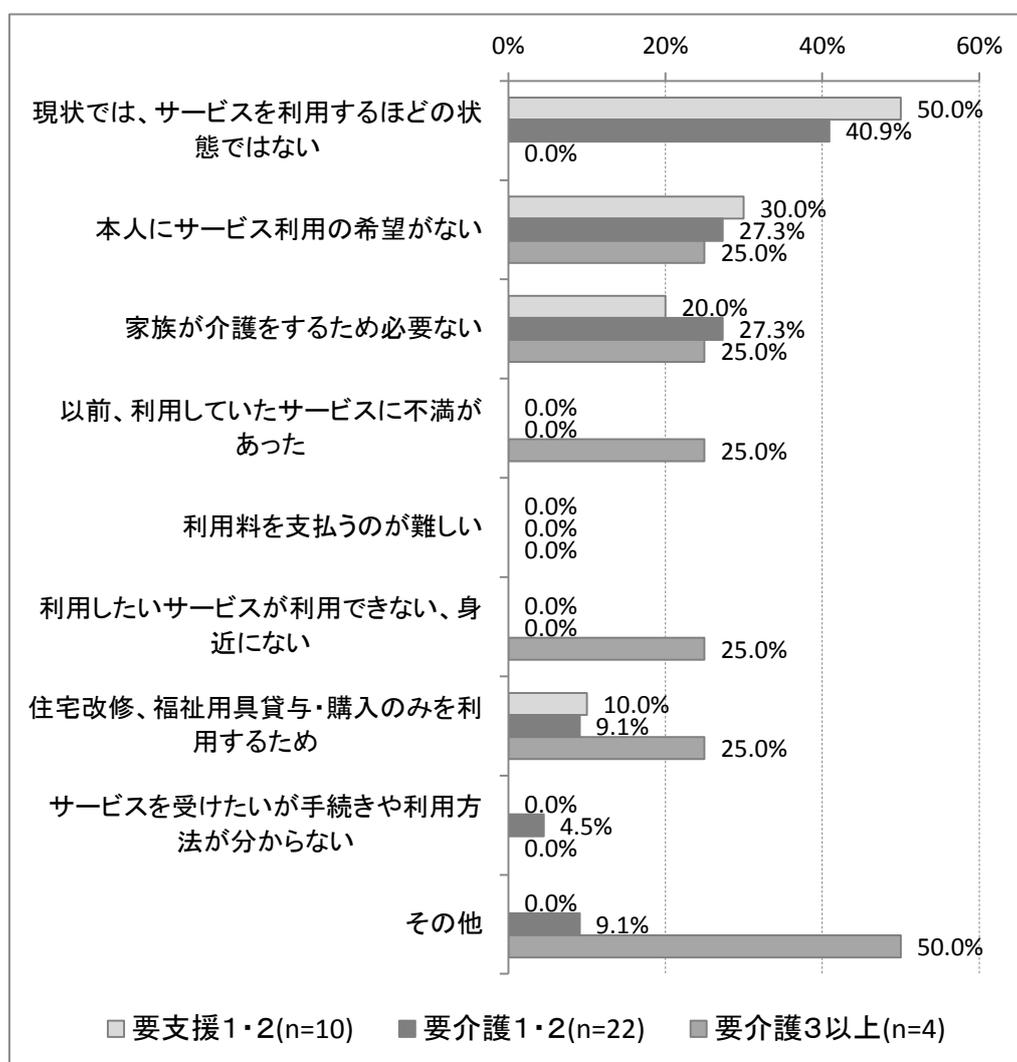
図表 6-3 要介護度別の★サービス未利用の理由 (夫婦のみ世帯)



【要介護度別の★サービス未利用の理由(その他世帯)】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が30.0%、「家族が介護をするため必要ない」が20.0%となっている。「要介護1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40.9%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が27.3%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「その他」が9.1%となっている。「要介護3以上」では「その他」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が25.0%となっている。

図表 6-4 要介護度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）



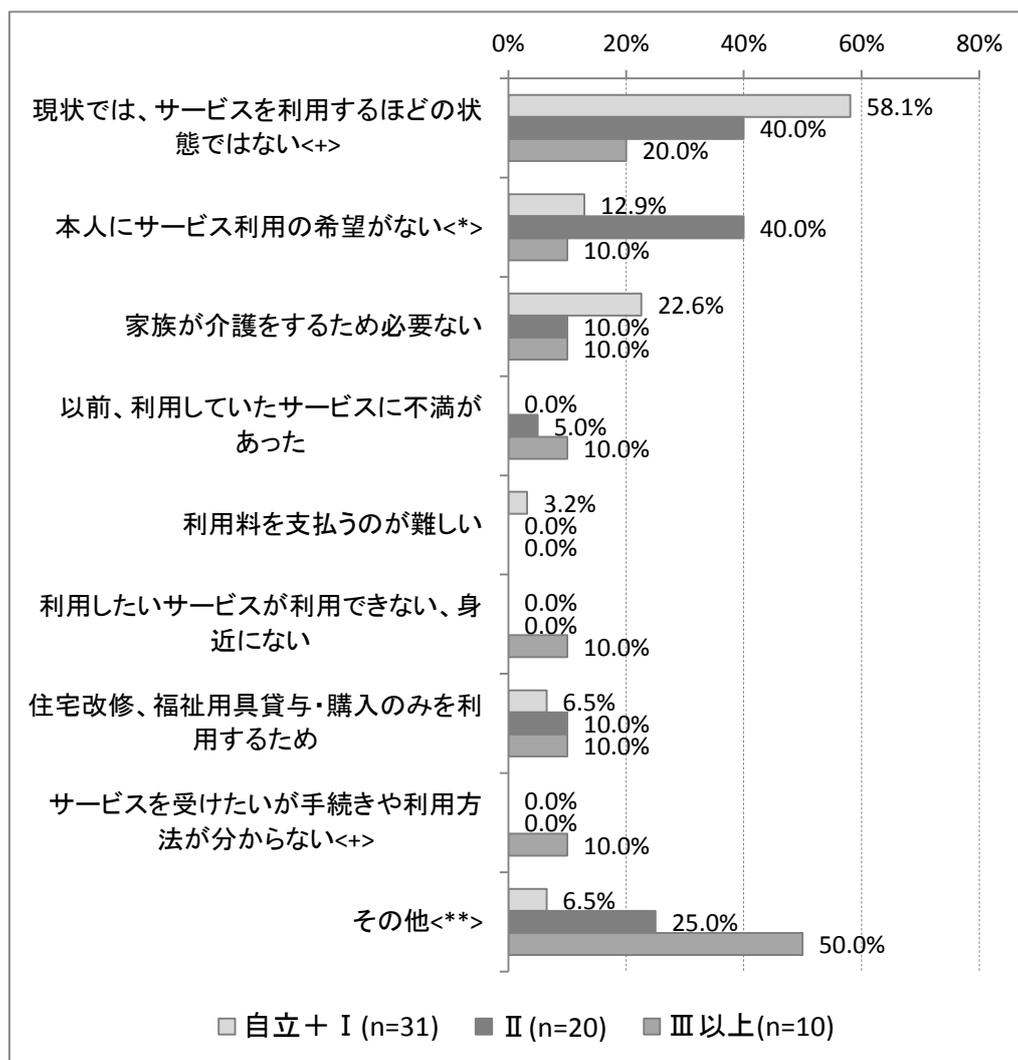
(2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

【認知症自立度別の★サービス未利用の理由】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が58.1%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が22.6%、「本人にサービス利用の希望がない」が12.9%となっている。

「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「その他」が25.0%、「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が10.0%となっている。「Ⅲ以上」では「その他」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が20.0%、「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が10.0%となっている。

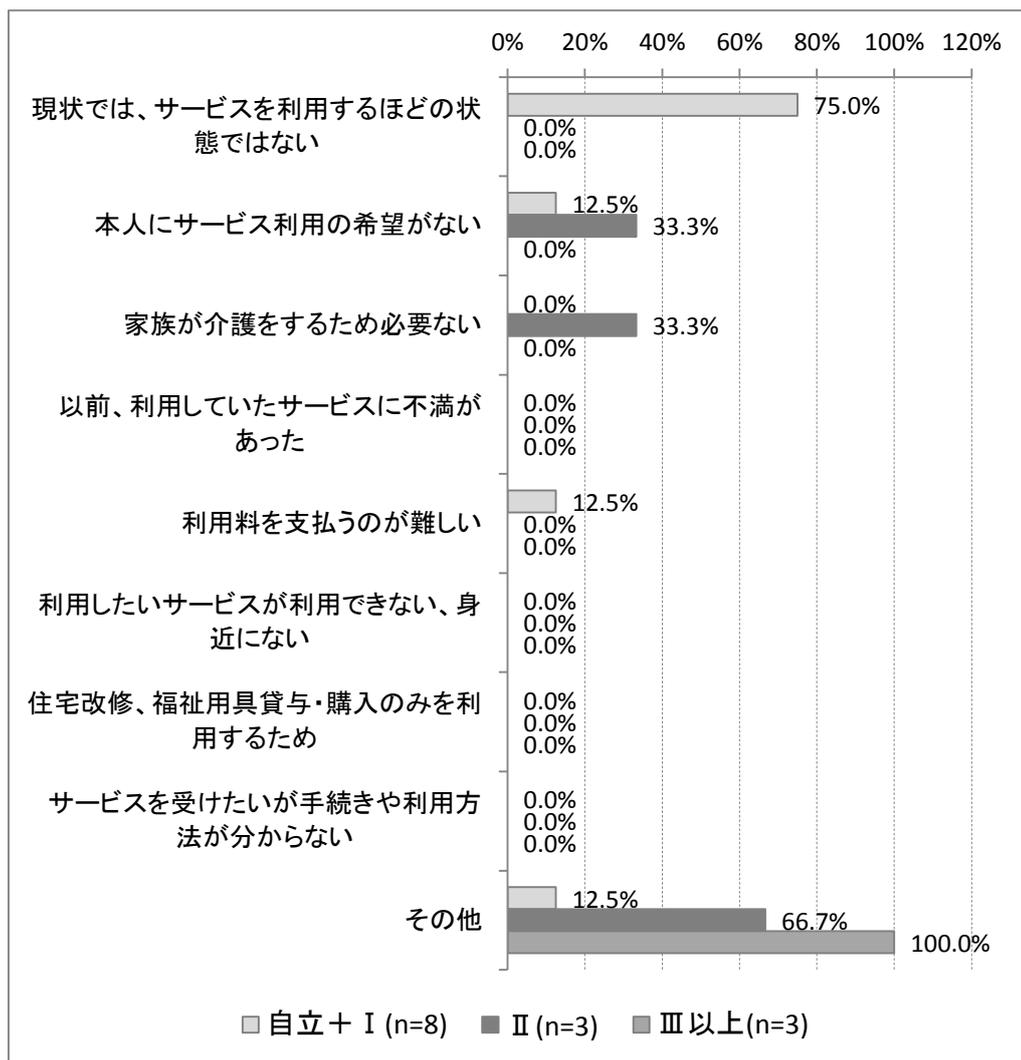
図表 6-5 認知症自立度別の★サービス未利用の理由



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由(単身世帯)】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が75.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「利用料を支払うのが難しい」、「その他」が12.5%となっている。「Ⅱ」では「その他」が66.7%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」が33.3%となっている。「Ⅲ以上」では「その他」が100.0%となっている。

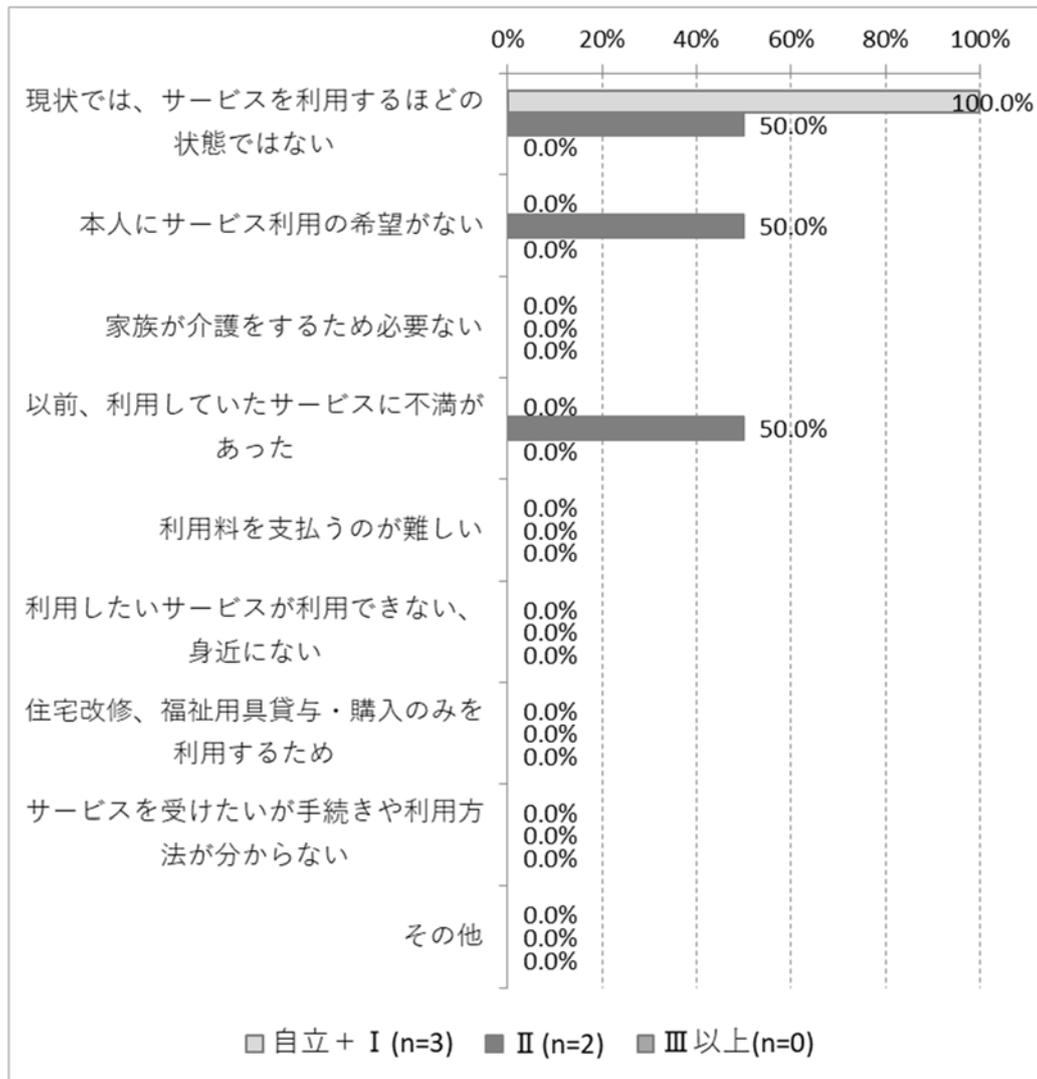
図表 6-6 認知症自立度別の★サービス未利用の理由 (単身世帯)



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由(夫婦のみ世帯)】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 100.0%となっている。「II」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」が 50.0%となっている。

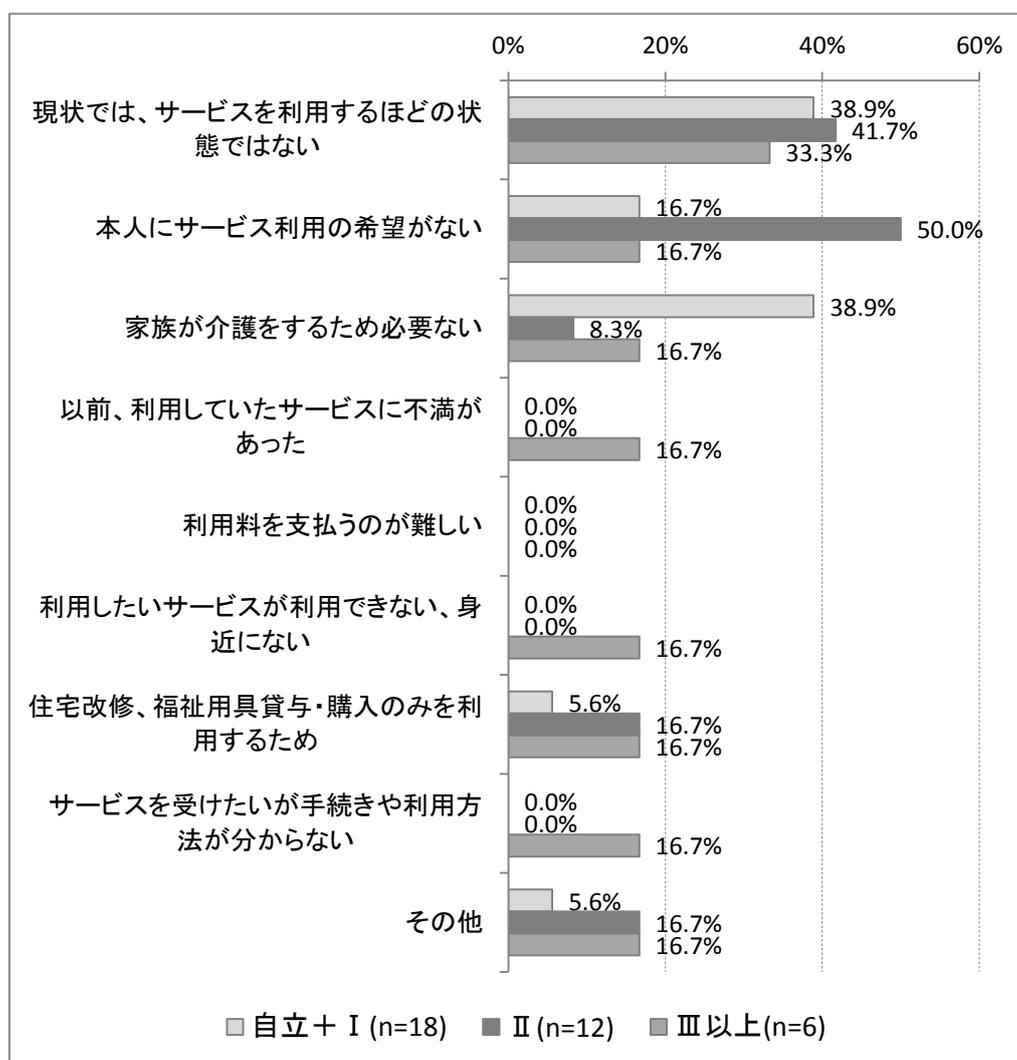
図表 6-7 認知症自立度別の★サービス未利用の理由 (夫婦のみ世帯)



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由(その他世帯)】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が38.9%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が16.7%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「その他」が5.6%となっている。「Ⅱ」では「本人にサービス利用の希望がない」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.7%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「その他」が16.7%となっている。「Ⅲ以上」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が16.7%となっている。

図表 6-8 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）

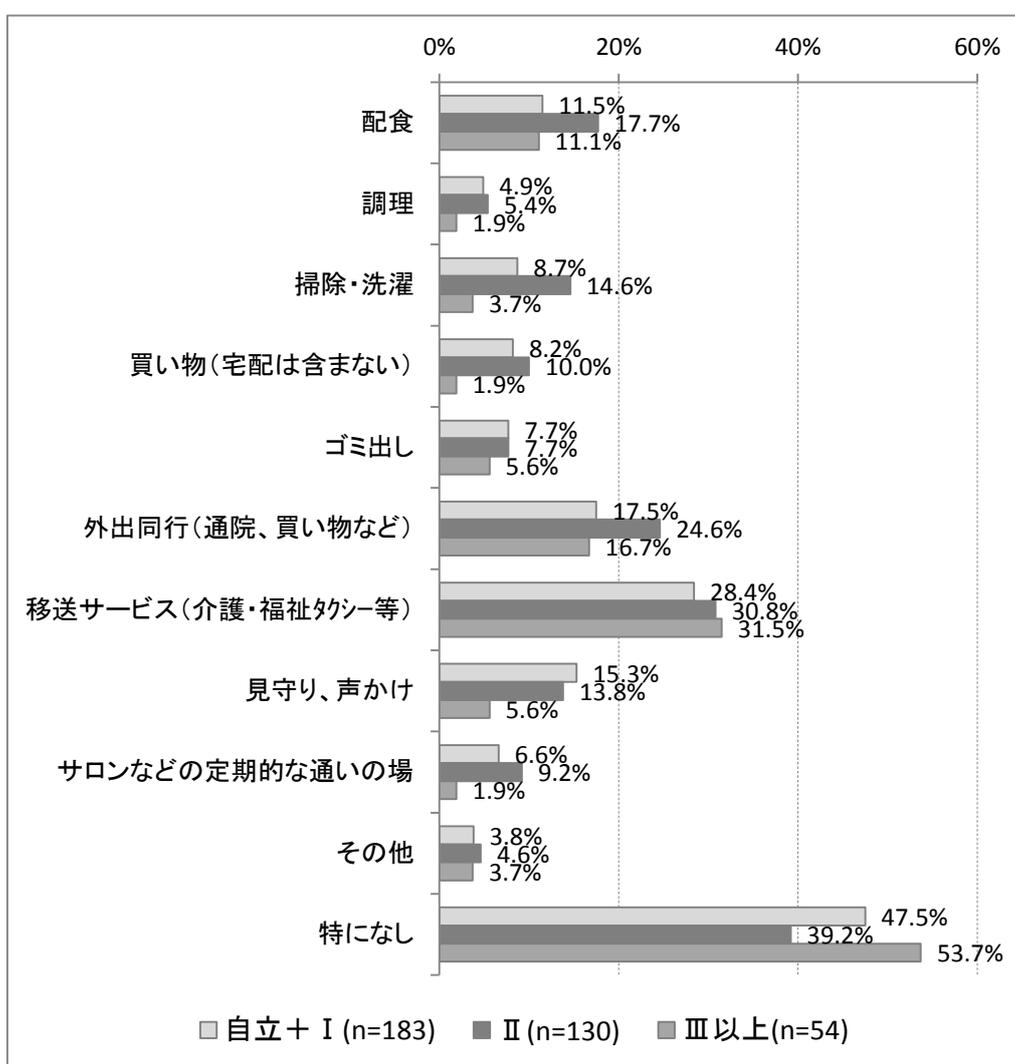


(3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス

【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「特になし」が47.5%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.4%、「外出同行（通院、買い物など）」が17.5%となっている。「Ⅱ」では「特になし」が39.2%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が24.6%となっている。「Ⅲ以上」では「特になし」が53.7%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が16.7%となっている。

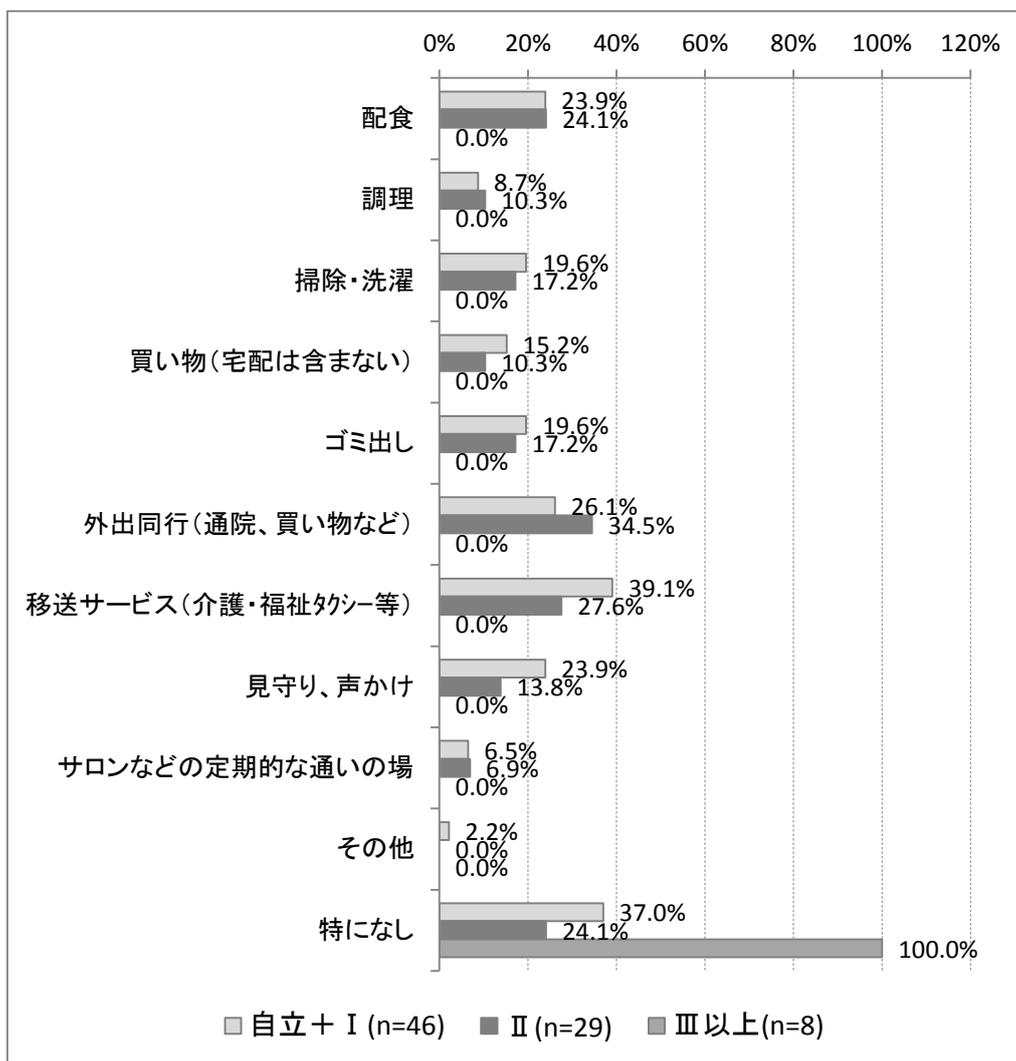
図表 6-9 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が39.1%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が37.0%、「外出同行(通院、買い物など)」が26.1%となっている。「Ⅱ」では「外出同行(通院、買い物など)」が34.5%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が27.6%、「配食」、「特になし」が24.1%となっている。「Ⅲ以上」では「特になし」が100.0%となっている。

図表 6-10 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)

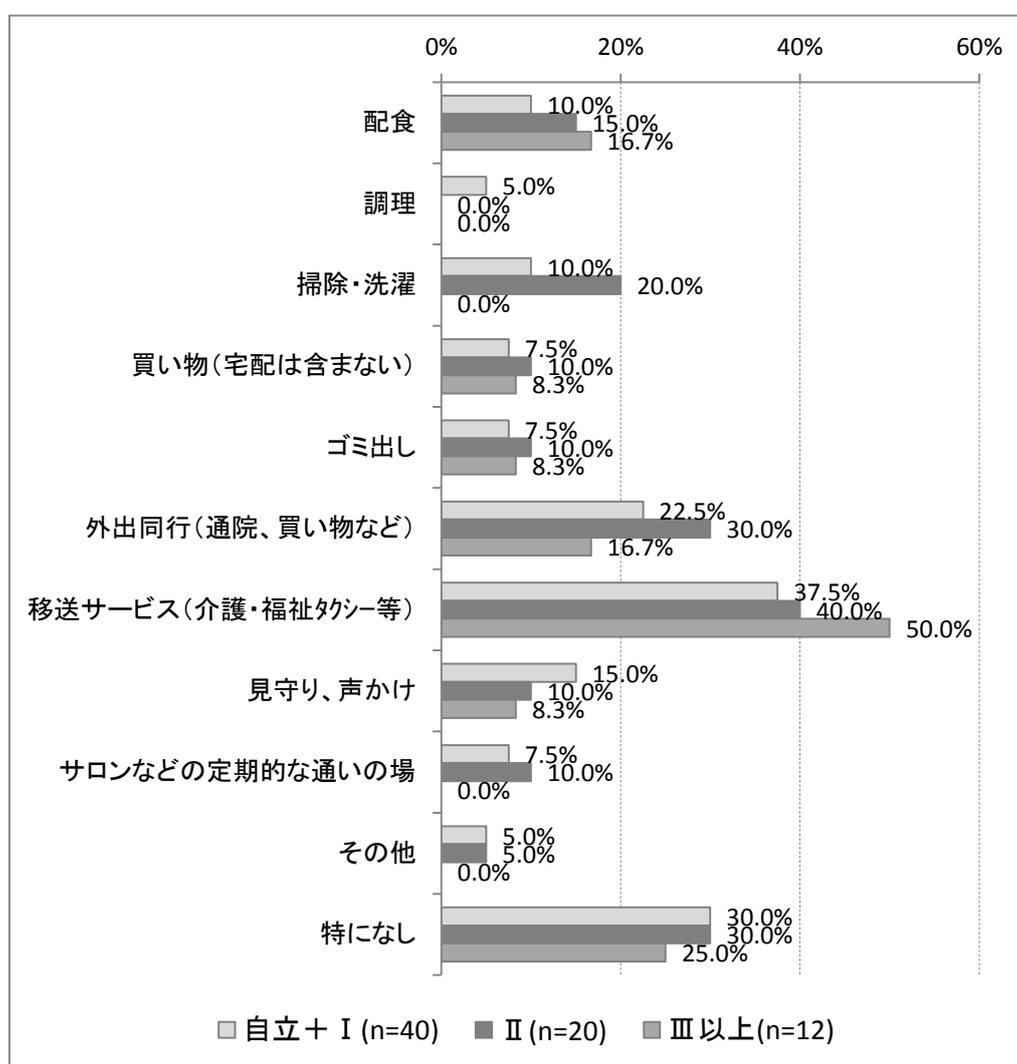


【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が37.5%と最も割合が高く、次いで「特になし」が30.0%、「外出同行(通院、買い物など)」が22.5%となっている。「Ⅱ」では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が40.0%と最も割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」、「特になし」が30.0%、「掃除・洗濯」が20.0%となっている。「Ⅲ以上」では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が50.0%と最も割合が高く、次いで「特になし」が25.0%、「配食」、「外出同行(通院、買い物など)」が16.7%となっている。

図表 6-11 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

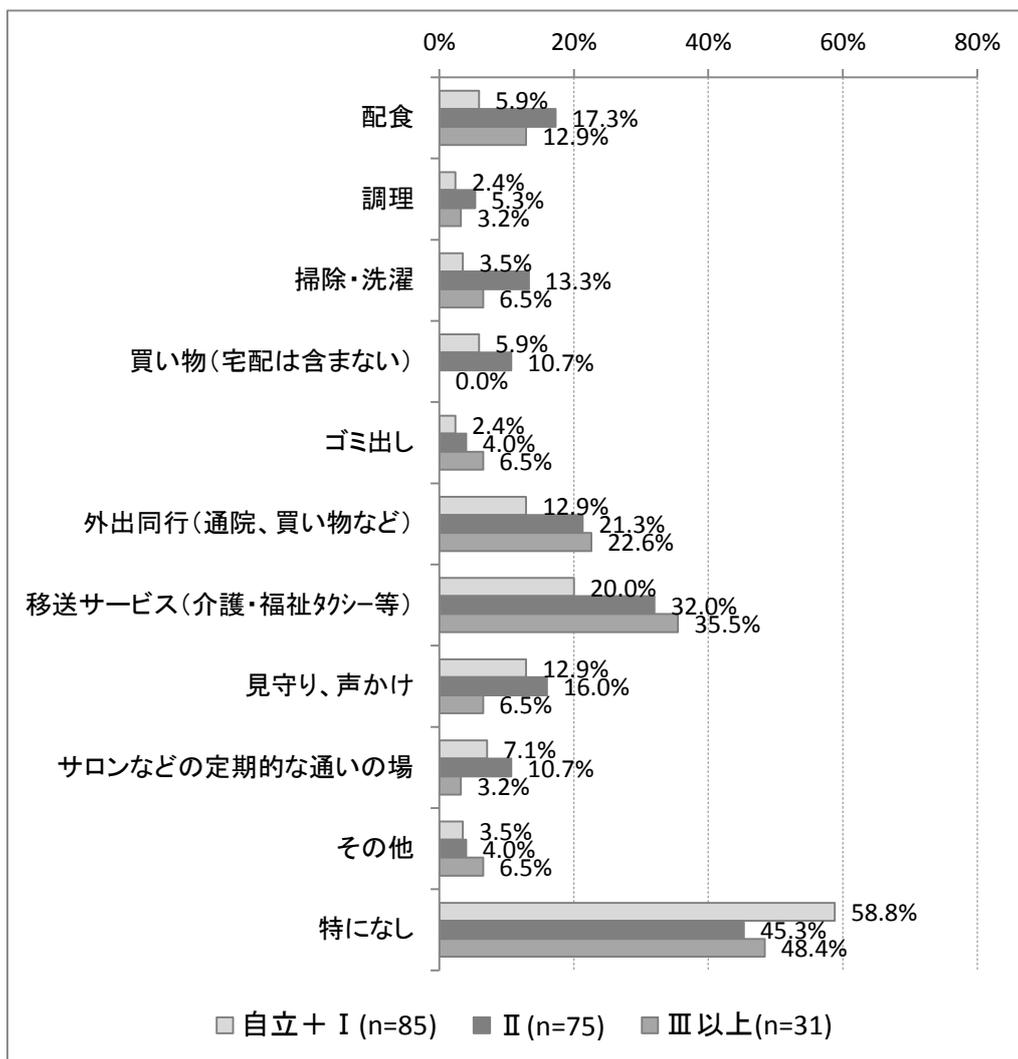
(夫婦のみ世帯)



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「特になし」が58.8%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が20.0%、「外出同行(通院、買い物など)」、「見守り、声かけ」が12.9%となっている。「Ⅱ」では「特になし」が45.3%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が32.0%、「外出同行(通院、買い物など)」が21.3%となっている。「Ⅲ以上」では「特になし」が48.4%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が35.5%、「外出同行(通院、買い物など)」が22.6%となっている。

図表 6-12 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)

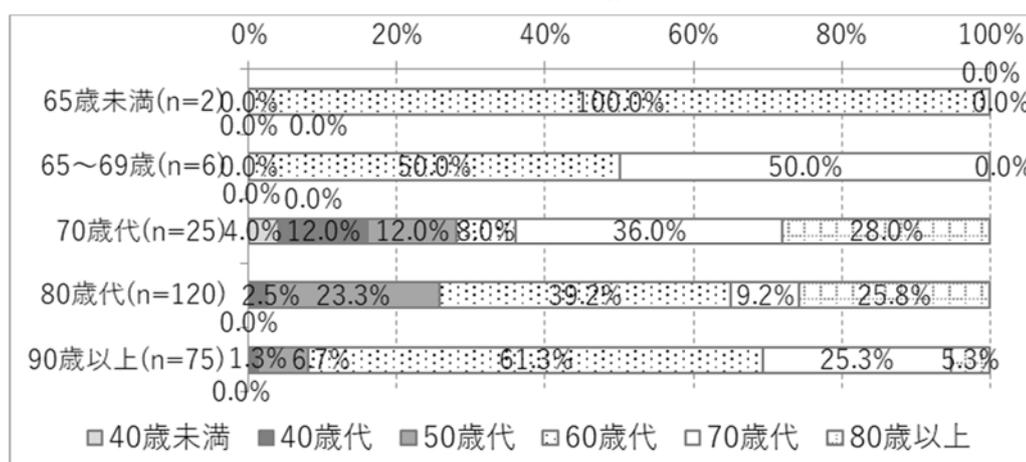


(4) 本人の年齢別・主な介護者の年齢

【本人の年齢別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を本人年齢別にみると、「65歳未満」では「60歳代」が100.0%となっている。「65～69歳」では「60歳代」、「70歳代」が50.0%となっている。「70歳代」では「70歳代」が36.0%ともっとも割合が高く、次いで「80歳以上」が28.0%、「40歳代」、「50歳代」が12.0%となっている。「80歳代」では「60歳代」が39.2%ともっとも割合が高く、次いで「80歳以上」が25.8%、「50歳代」が23.3%となっている。「90歳以上」では「60歳代」が61.3%ともっとも割合が高く、次いで「70歳代」が25.3%、「50歳代」が6.7%となっている。

図表 6-13 本人の年齢別・主な介護者の年齢<***>

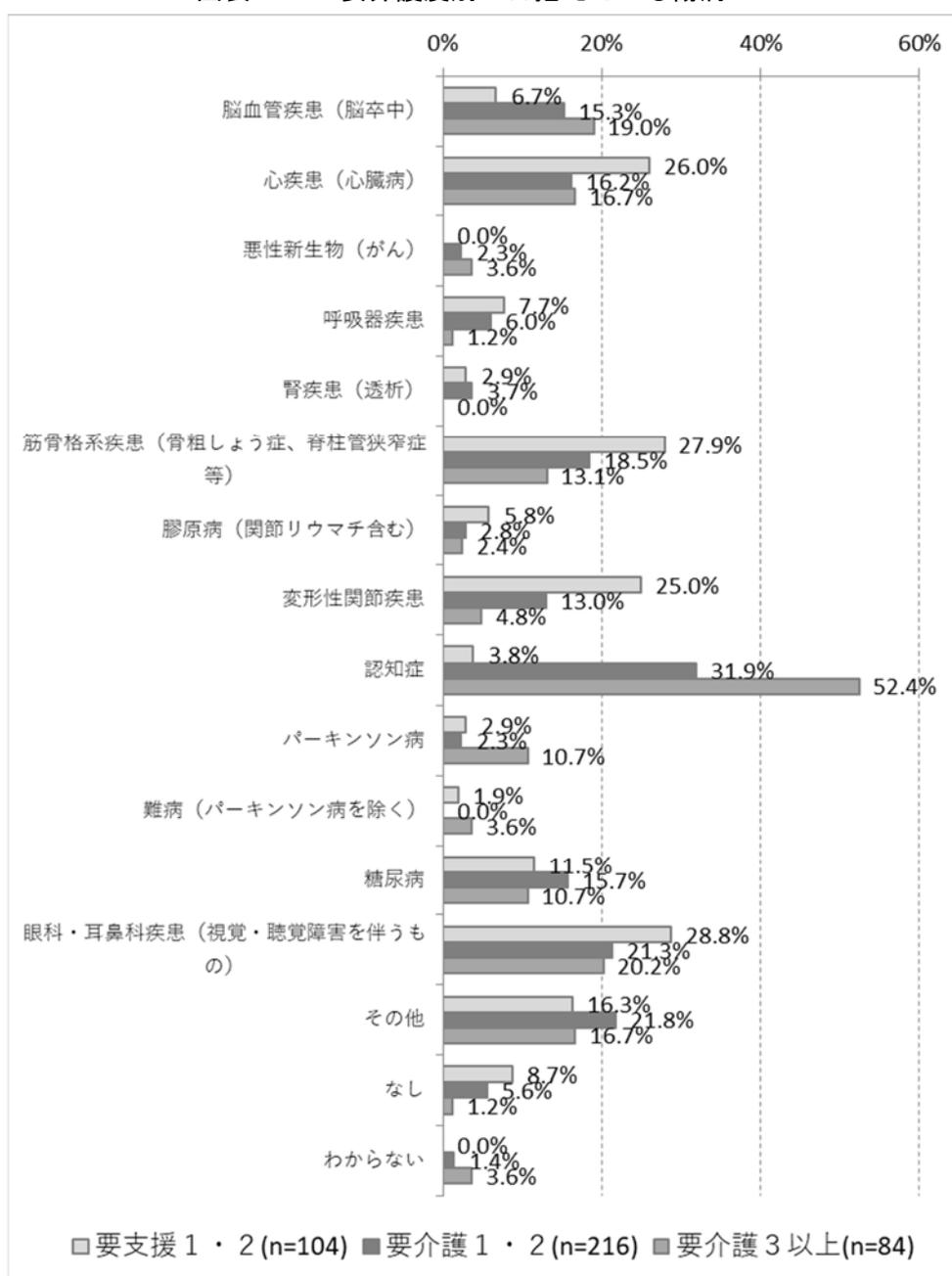


(5) 要介護度別の抱えている傷病

【要介護度別・★抱えている傷病】

抱えている傷病を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が28.8%ともっとも割合が高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が27.9%、「心疾患（心臓病）」が26.0%となっている。「要介護1・2」では「認知症」が31.9%ともっとも割合が高く、次いで「その他」が21.8%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が21.3%となっている。「要介護3以上」では「認知症」が52.4%ともっとも割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が20.2%、「脳血管疾患（脳卒中）」が19.0%となっている。

図表 6-14 要介護度別・★抱えている傷病

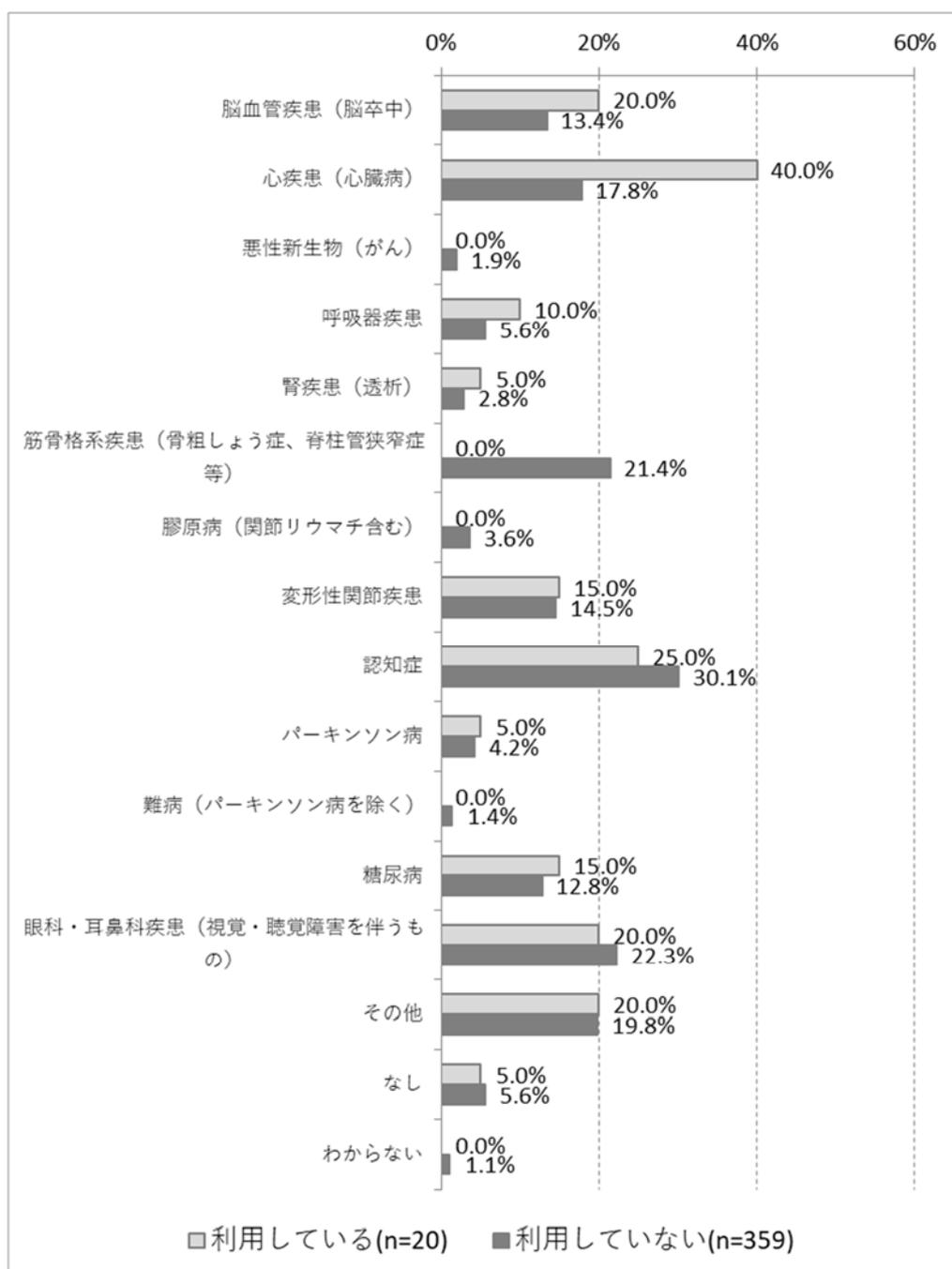


(6) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

【★訪問診療の利用の有無別・★抱えている傷病】

抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「心疾患（心臓病）」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「認知症」が25.0%、「脳血管疾患（脳卒中）」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」、「その他」が20.0%となっている。「利用していない」では「認知症」が30.1%ともっとも割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が22.3%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が21.4%となっている。

図表 6-15 ★訪問診療の利用の有無別・★抱えている傷病



第4章

独自項目の集計

(日本老年学的評価研究 (JAGES) による追加設問の集計結果)

1. 認知症自立度別における主観的ウェルビーイングの検討

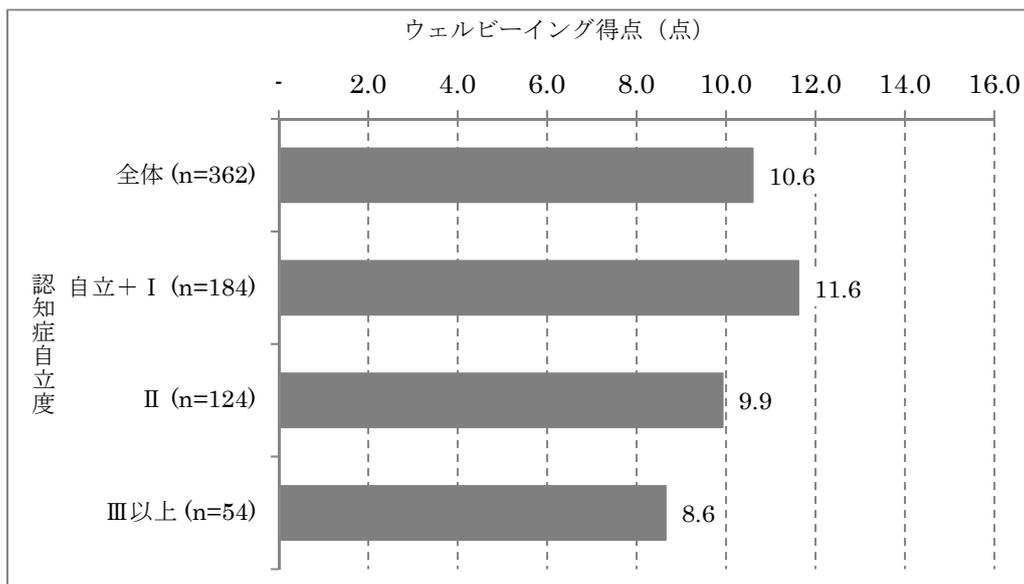
1.1 集計・分析のねらい

- 要介護状態にある高齢者において、身体的な健康だけではなく、心理・社会的な健康も重要な課題です。ここでは、調査対象者の主観的ウェルビーイング（幸せ、充実感、満足感）得点を集計しています。
- さらに、生活自立度と主観的ウェルビーイングの関係を検証するため、「認知症高齢者の日常生活自立度」別に主観的ウェルビーイング得点のクロス集計を行っています。

1.2 集計結果と着目すべきポイント

- 認知症自立度別にみると、重度化するにつれて「ウェルビーイング得点」が減少する傾向がみられました（図表 1-1）。

図表 1-1 ウェルビーイング得点



2. 認知症自立度別における孤立に関する検討

2.1 集計・分析のねらい

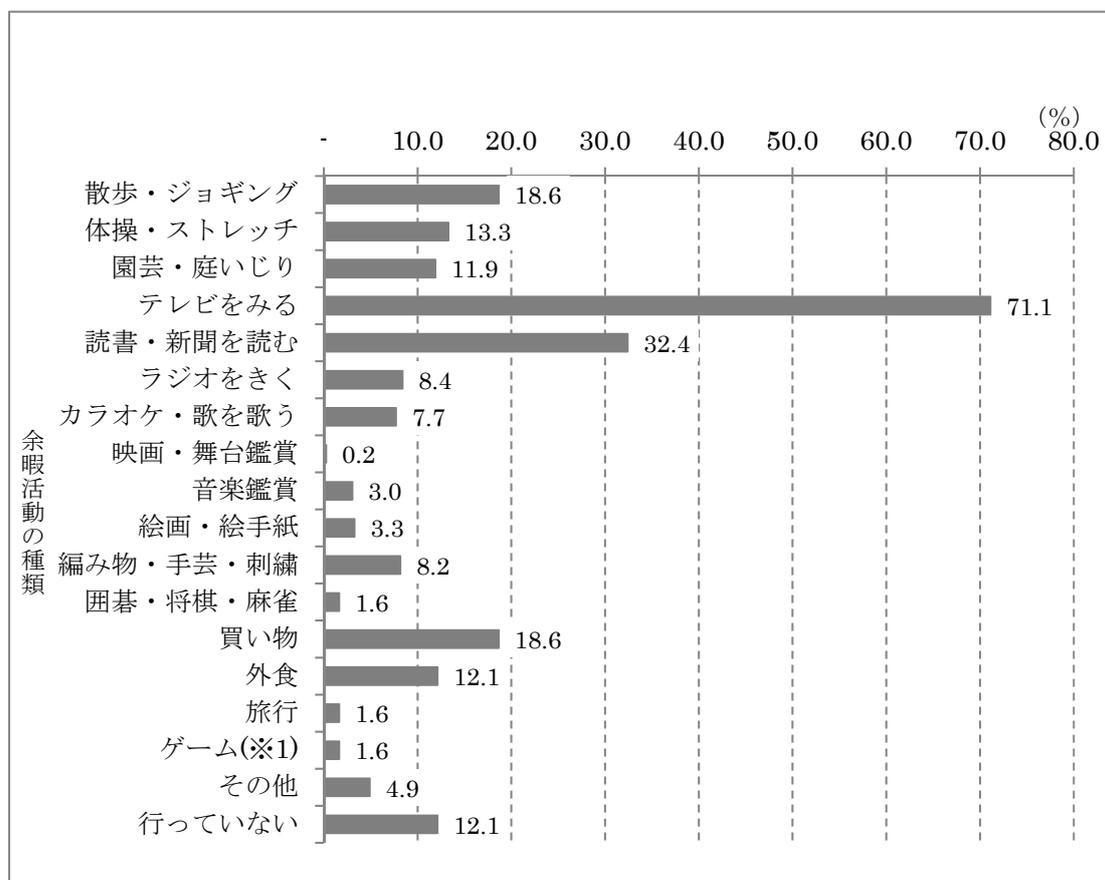
- 要介護状態にある高齢者の孤立は社会的な課題でもあります。ここでは、孤立の中でも、1) 余暇活動、2) 地域への参加、3) 交流という指標に着目し、それぞれの活動の参加割合を集計しています。
- さらに、生活自立度と孤立の程度の関係を検証するため、「認知症高齢者の生活自立度」別にそれぞれの活動の参加者割合のクロス集計を行っています。

2.2 集計結果と着目すべきポイント

1) 余暇活動

- 余暇活動の種類別に見ると、「テレビをみる」が71.1%と最も高く、次いで「読書・新聞を読む」が32.4%、「散歩・ジョギング」「買い物」が18.6%と続きました。余暇活動を行っていないは12.1%という結果でした。(図表 2-1)。

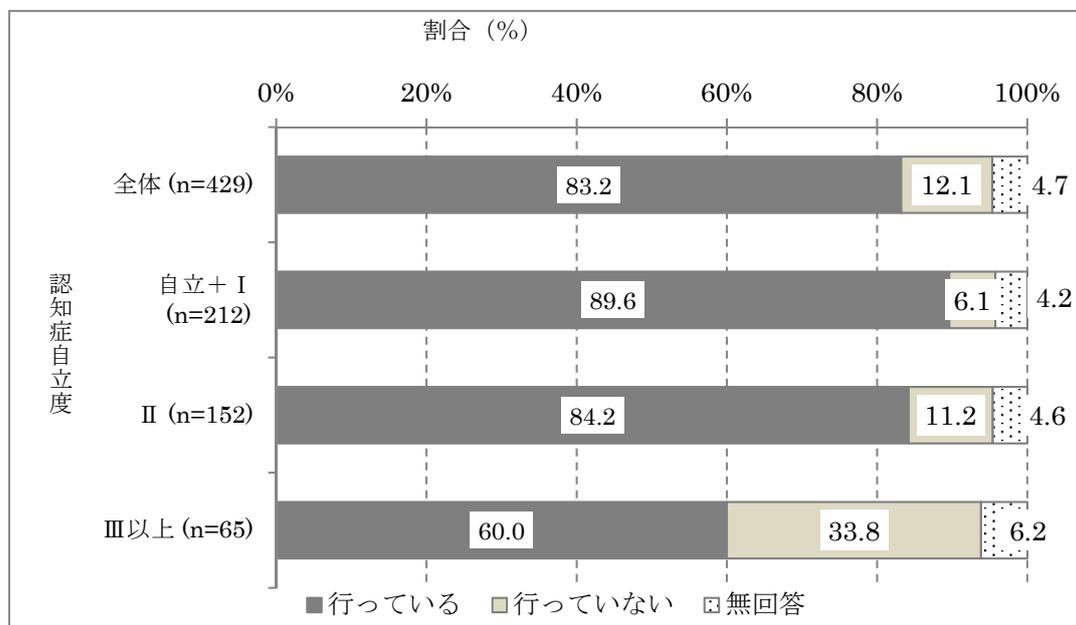
図表 2-1 余暇活動(複数回答 n=429)



(※1) ゲーム(テレビ・スマホ・パソコン)

- 認知症自立度別にみると、重度化するにつれて余暇活動を「行なっている」者が減少し、認知症自立度が自立+ I の者では余暇活動を「行なっている」者が 89.6% だったのに対し、II では 84.2%、III 以上では 60.0% と減少する傾向がみられました(図表 2-2)。

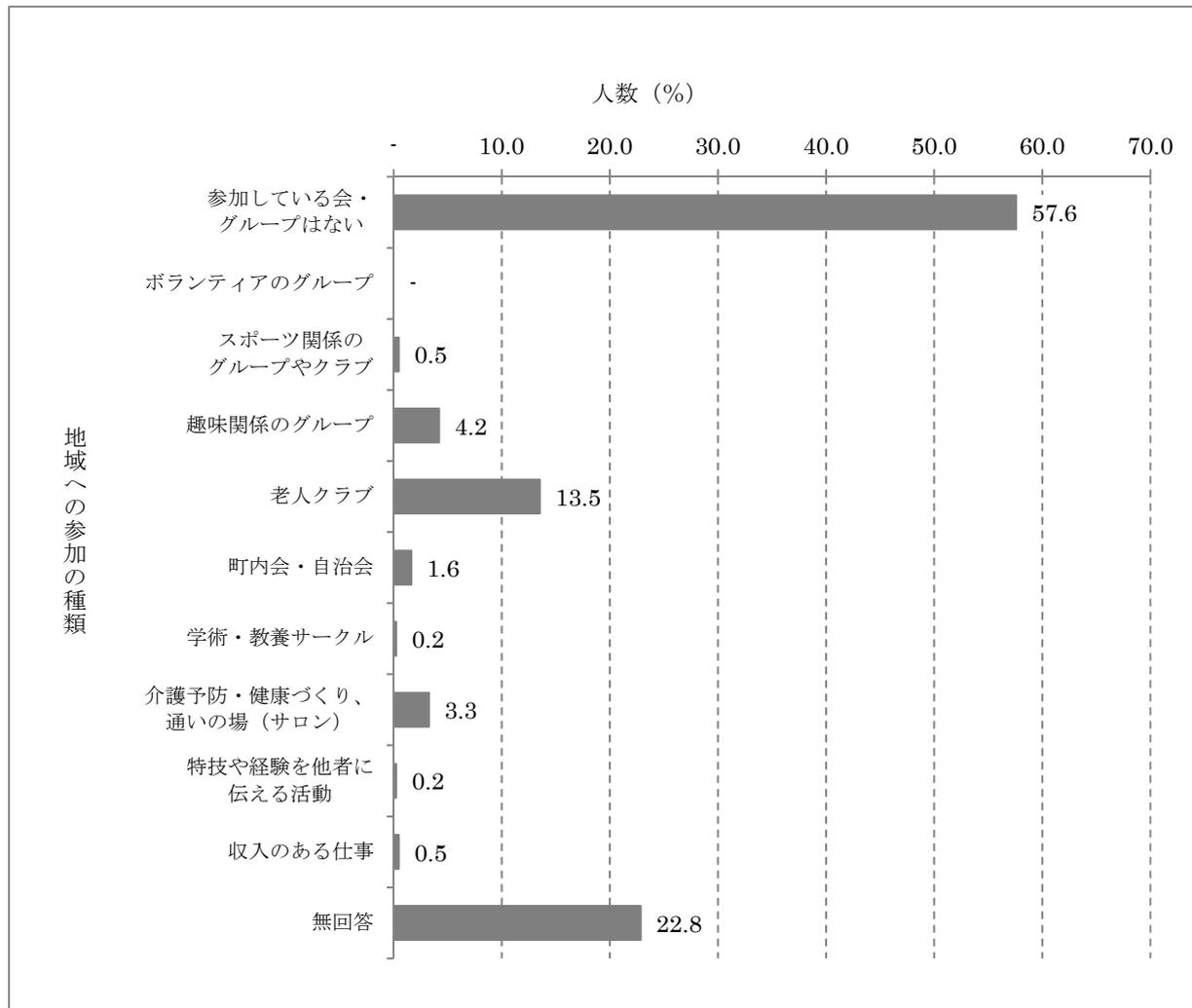
図表 2-2 余暇活動(認知症自立度)



2) 地域への参加

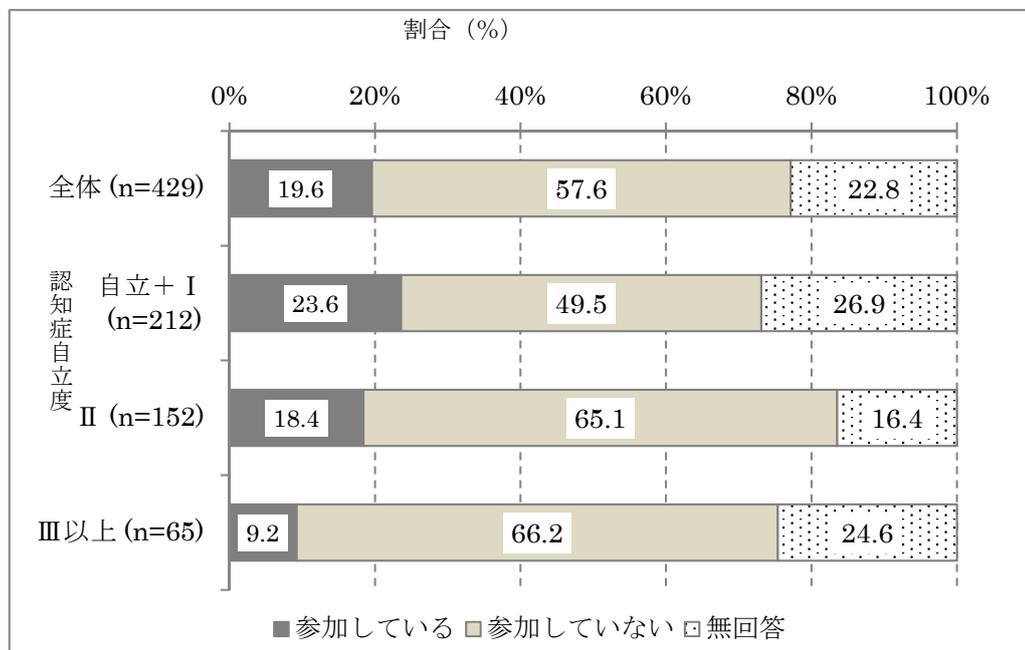
○ 地域への参加を種類別に見ると、「老人クラブ」が13.5%と最も高く、次いで「趣味関係のグループ」が4.2%と続きました。一方で「参加している会・グループはない」者は57.6%という結果となりました。(図表 2-3)。

図表 2-3 地域への参加(複数回答 n=429)



- 認知症自立度別にみると、重度化するにつれて地域への参加を「している」者が減少し、認知症自立度が自立+Ⅰの者では「参加している」者が23.6%だったのに対し、Ⅱでは18.4%、Ⅲ以上では9.2%と減少する傾向がみられました(図表 2-4)。

図表 2-4 地域への参加(認知症自立度別)

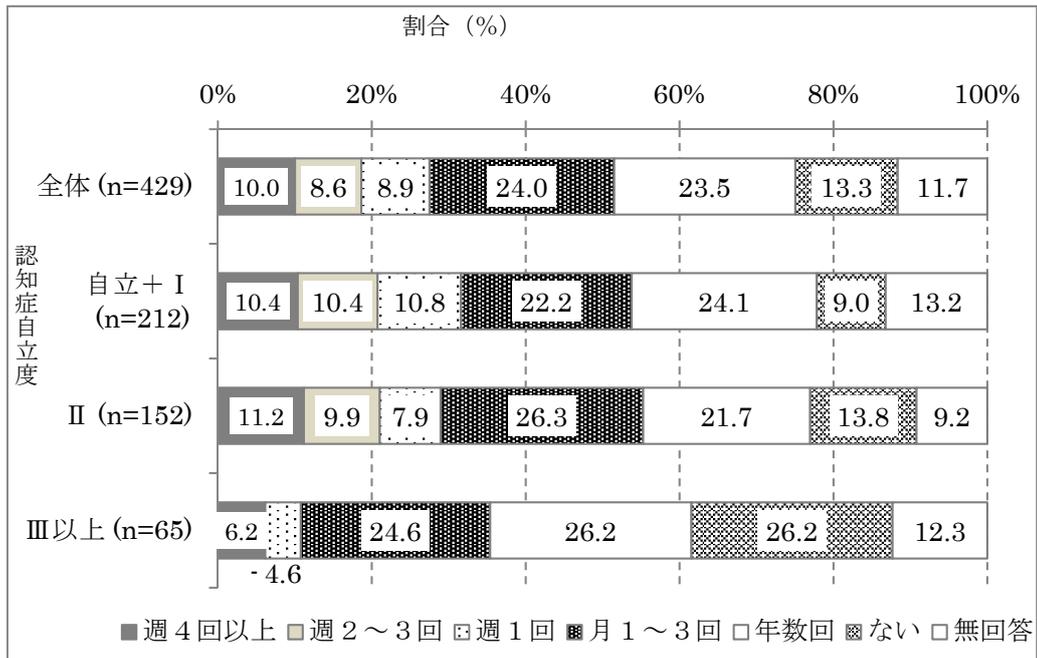


3) 交流

3-1) 別居の家族や親戚と会う機会

○ 別居の家族や親戚と会う機会が最も多い頻度は、「月1～3回」でした。認知症自立度別にみると、「週4回以上」「週2～3回」「週1回」では、重度化するにつれて会う頻度が低くなる傾向がみられ、会う機会が「ない」については、重度化するにつれて高くなる傾向がみられました（図表 2-5）。

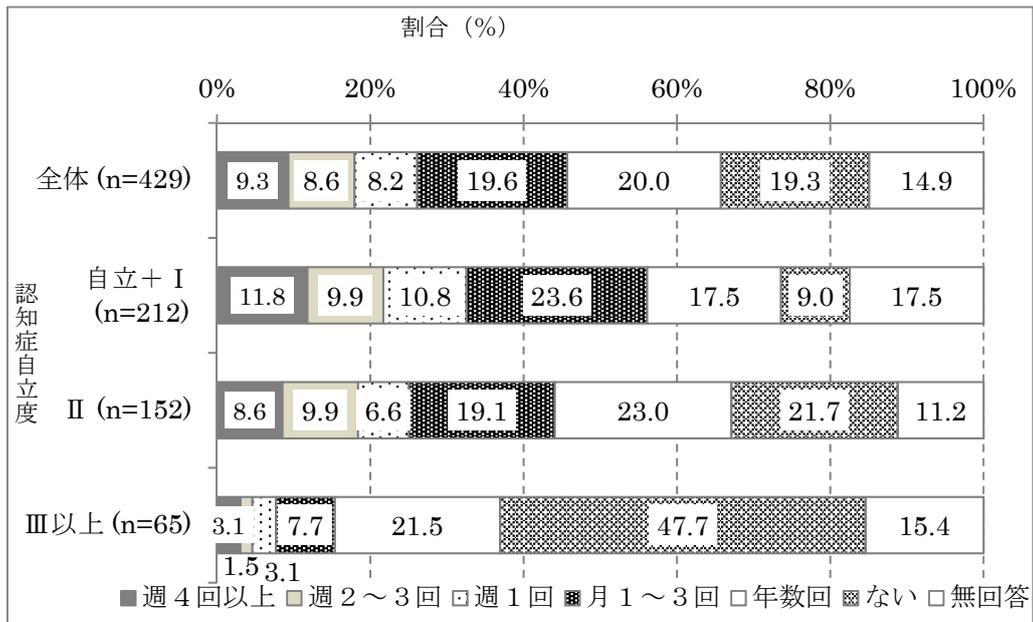
図表 2-5 別居の家族や親戚と会う機会（認知症自立度別）



3-2) 別居の家族や親戚と連絡をとる機会

○ 別居の家族や親戚と連絡をとる機会が最も多い頻度は、「年数回」でした。認知症自立度別にみると、「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」では、重度化するにつれて連絡をとる機会は低くなり、連絡をとる機会が「ない」では、重度化するにつれて高くなる傾向がみられました（図表 2-6）。

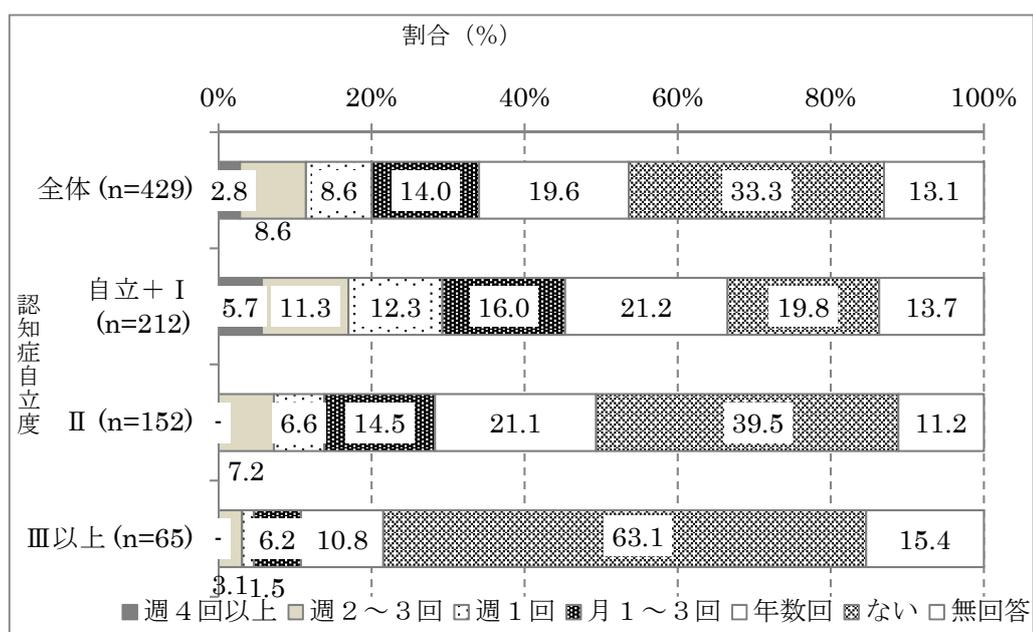
図表 2-6 別居の家族や親戚と連絡をとる機会（認知症自立度別）



3-3) 友人や知人と会う機会

- 友人や知人と会う機会が最も多い頻度は、「ない」でした。認知症自立度別にみると、重度化するにつれて会う頻度は低くなり、会う機会が「ない」では、重度化するにつれて高くなる傾向がみられました（図表 2-7）。

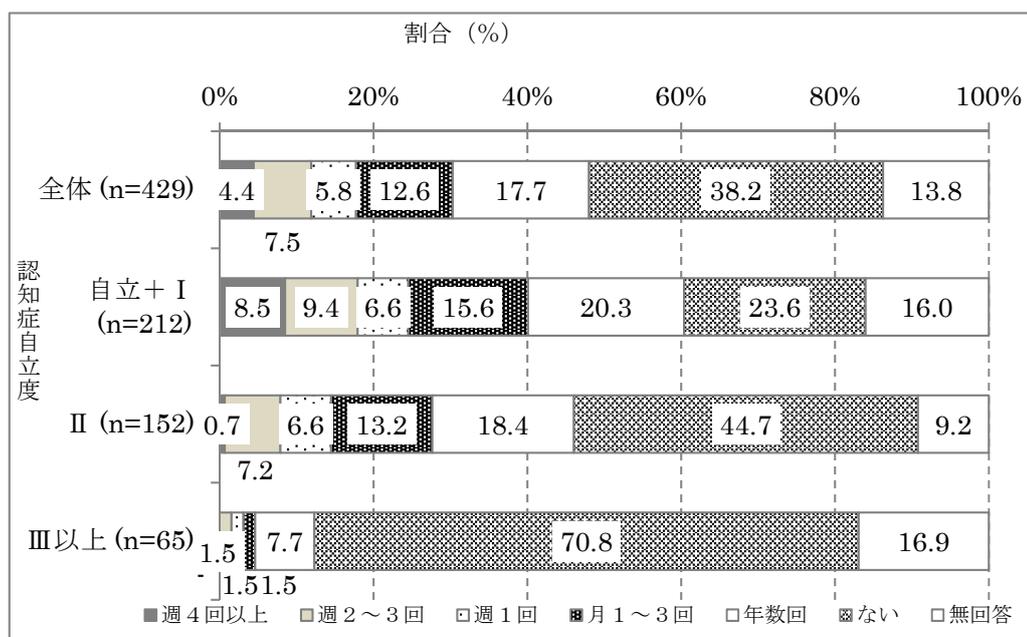
図表 2-7 友人や知人と会う機会（認知症自立度別）



3-4) 友人や知人と連絡をとる機会

○ 友人や知人と連絡をとる機会が最も多い頻度は、「ない」でした。認知症自立度別にみると、重度化するにつれて連絡をとる頻度は低くなり、会う機会が「ない」では、重度化するにつれて高くなる傾向がみられました(図表 2-8)。

図表 2-8 友人や知人と連絡をとる機会(認知症自立度別)



3. 認知症自立度別における意思決定の検討

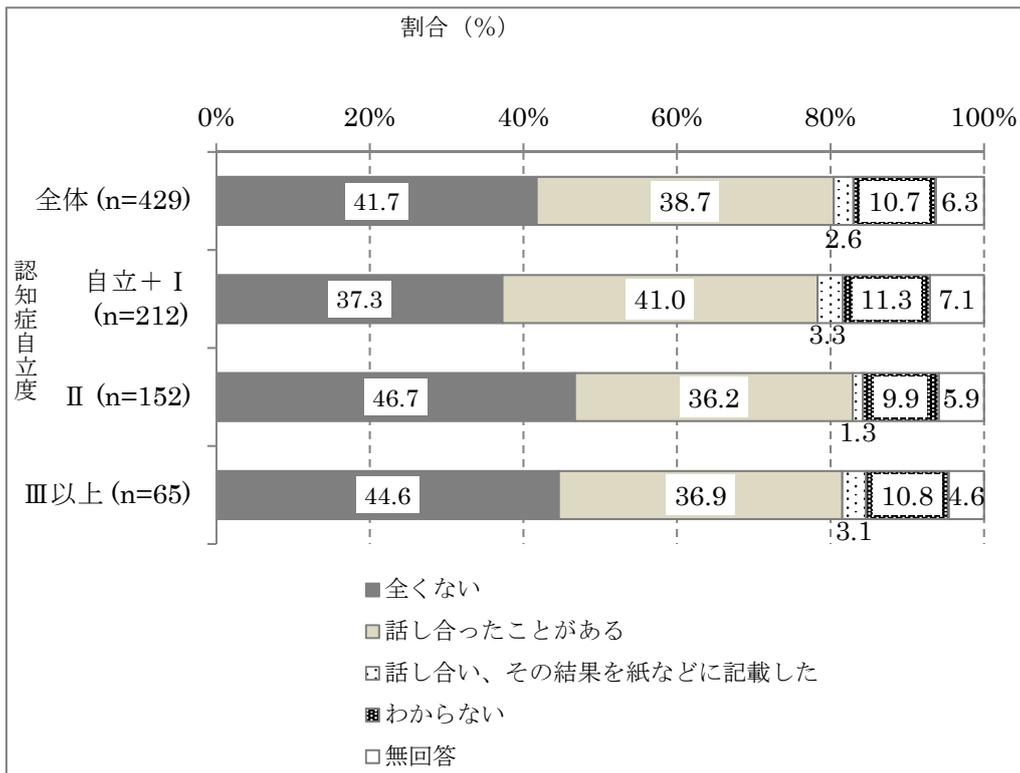
3.1 集計・分析のねらい

- 要介護状態にある高齢者にとって、理解力不足や認知機能の低下、孤立など多様な要因により、医療やケアに関する意思決定のチャンスが失われている可能性があります。そのため、要介護状態にある高齢者がどのように話し合いを行っているかについて現状を把握することが重要です。
- 「最期を迎えたい場所について、誰かと話し合いをしていますか」という質問に対して、「全くない」「話し合ったことがある」「話し合い、その結果を紙などに記載した」「わからない」の選択肢を設け、それぞれの選択肢について集計を行なっています。
- また、認定調査対象者の「認知症高齢者の生活自立度」立度」別に、それぞれの選択肢の回答者割合についてクロス集計を行っています。

3.2 集計結果と着目すべきポイント

- 全体では、話し合ったことが「全くない」が41.7%、「話し合ったことがある」が38.7%となっています。
- 認知症自立度別にみると、「全くない」については、自立+Ⅰが37.3%であるのに対し、ⅡやⅢ以上では46.7%、44.6%と高くなっていました（図表 3-1）。

図表 3-1 最期を迎える場所について話し合いをしたこと（認知症自立度別）



4. 介護者の介護負担感の検討

4.1 集計・分析のねらい

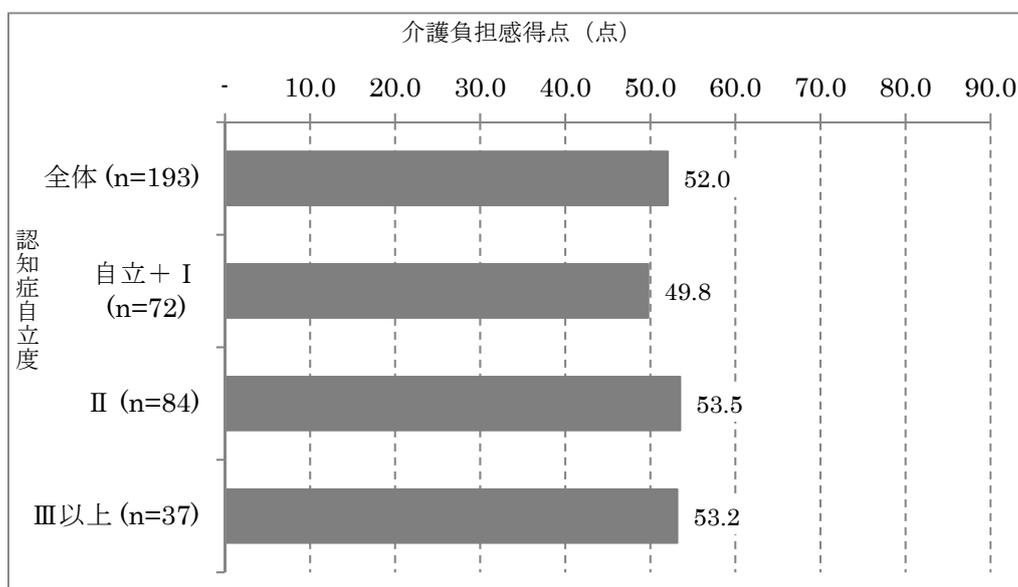
- 要介護状態にある高齢者が生活の質を良好に保ちながら在宅で生活をするためには、介護者による援助が重要であり、介護者が持続的に介護に携われることが必要です。ここでは、介護者の介護負担感がどの程度であるかについて現状を把握するため、介護負担感得点および介護負担感を高める可能性の高いケアとして代表的な4項目を用いて集計しています。
- さらに、認定調査対象者の「認知症高齢者の生活自立度」別に、介護者の介護負担感得点のクロス集計を行っています。

4.2 集計結果と着目すべきポイント

1) 介護負担感点数

- 介護負担感得点は18点から90点で算出され、得点が高い程負担感が大きいことを示します。全体では、介護負担感が52.0点でした。
- 認知症自立度別にみると、重度化するにつれて「介護負担感得点」が増加し、介護者の介護負担感が増す傾向がみられました（図表 4-1）。

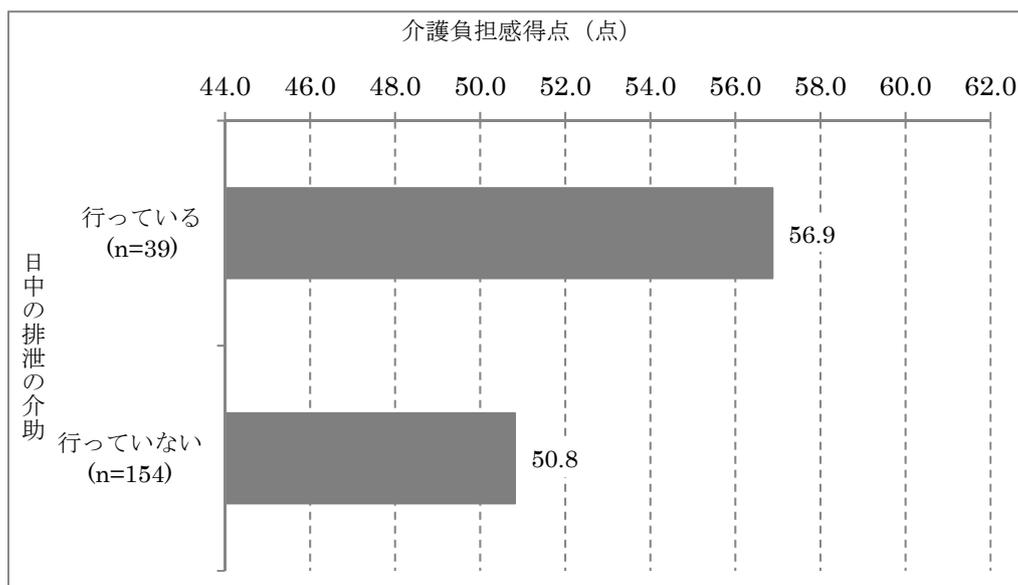
図表 4-1 介護負担感得点(認知症自立度別)



2) 介護の種類「日中の排泄」と介護負担感点数

- 日中の排泄を行なっている者は39名、行なっていない者は154名でした。
- 日中の排泄を介助していない者の介護負担感が50.8点であったのに対し、介助を行なっている者の介護負担感は56.9点でした。日中の排泄の介助を行う者の介護負担感が増す傾向がみられました(図表 4-2)。

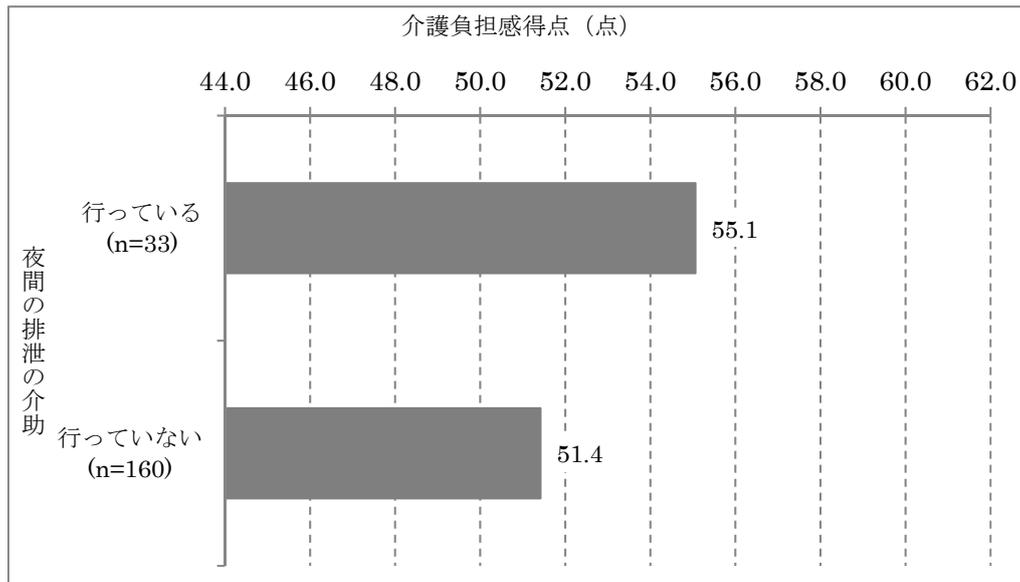
図表 4-2 介護負担感得点(日中の排泄)



3) 介護の種類「夜間の排泄」と介護負担感点数

- 夜間の排泄を行なっている者は33名、行なっていない者は160名でした。
- 夜間中の排泄を介助していない者の介護負担感が51.4点であったのに対し、介助を行なっている者の介護負担感は55.1点でした。夜間の排泄の介助を行う者の介護負担感が増す傾向がみられました(図表 4-3)。

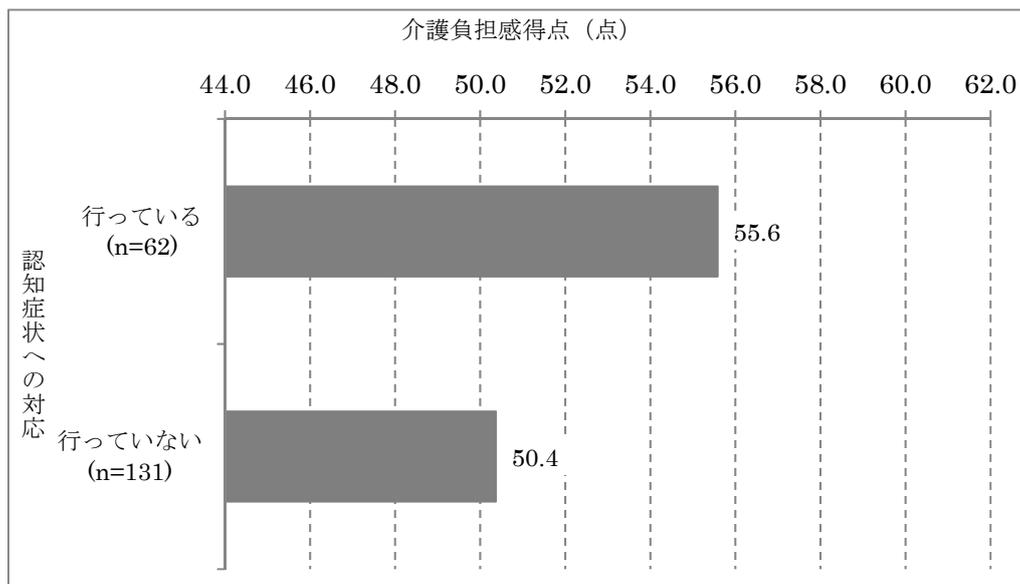
図表 4-3 介護負担感得点(夜間の排泄)



4) 介護の種類「認知症状への対応」と介護負担感点数

- 認知症状への対応を行なっている者は62名、行なっていない者は131名でした。
- 認知症状への対応を介助していない者の介護負担感が50.4点であったのに対し、介助を行なっている者の介護負担感は55.6点でした。認知症状への対応の介助を行う者の介護負担感が増す傾向がみられました(図表 4-4)。

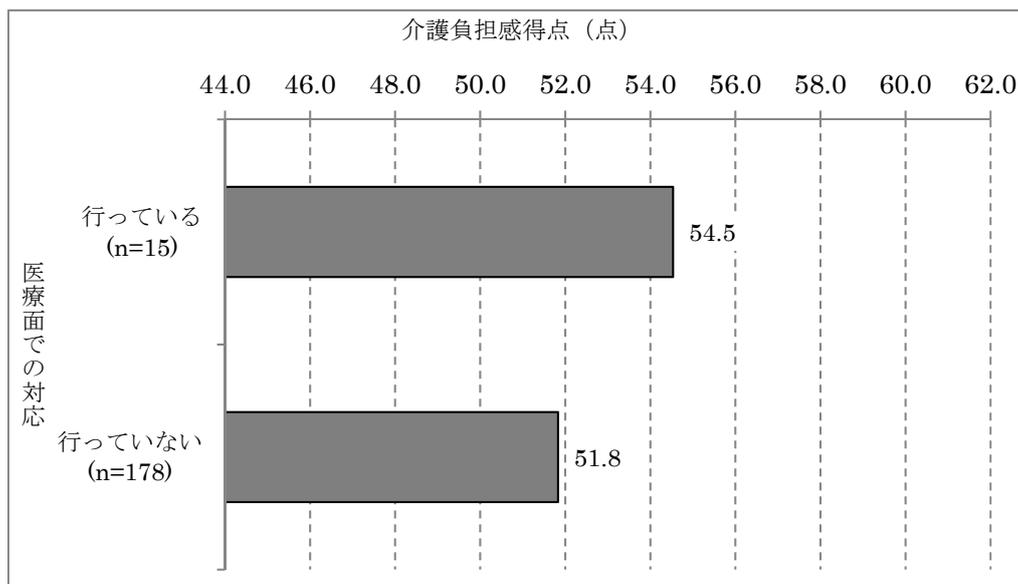
図表 4-4 介護負担感得点 (認知症状への対応)



5) 介護の種類「医療面(経管栄養、ストーマ等)」と介護負担感点数

- 医療面での対応を行なっている者は15名、行なっていない者は178名でした。
- 医療面での対応を行っていない者の介護負担感が51.8点であったのに対し、行なっている者の介護負担感は54.5点でした。医療面での対応を行う者の介護負担感が増す傾向がみられました(図表 4-5)。

図表 4-5 介護負担感得点(医療面での対応)



5. 介護者の介護負担感を軽減する手がかりの検討

5.1 集計・分析のねらい

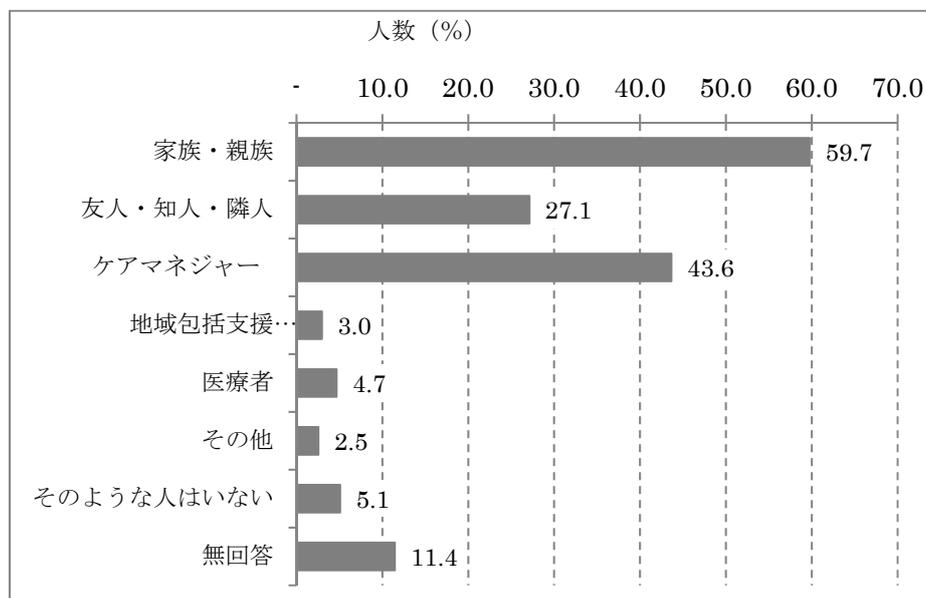
- 要介護状態にある高齢者が生活の質を良好に保ちながら在宅で生活をするためには、介護者による援助が重要であり、介護者が持続的に介護に携われることが必要です。前項では、介護者の介護負担感の現状を示しました。ここでは、介護者の介護負担感を軽減する手がかりを検討するために、介護者に「介護の心配ごとや悩みごとを聞いてくれる人」、「介護で困ったときに相談できる人」の存在を尋ねた結果を集計しています。
- 「介護の心配ごとや悩みごとを聞いてくれる人」については、選択肢「家族・親族」、「友人・知人・近隣」、「その他」、「介護で困ったときに相談できる人」については、選択肢「ケアマネジャー」、「地域包括支援センター・役所」、「医療者」それぞれに回答した割合を集計しています。
- さらに、「介護の心配ごとや悩みごとを聞いてくれる人」、「介護で困ったときに相談できる人」の有無別に、介護負担感得点のクロス集計を行っています。

5.2 集計結果と着目すべきポイント

1) 心配ごとや悩みごとを聞いてくれる人

- 介護の心配ごとや悩みごとを聞いてくれる人は「家族・親族」が最も多く 59.7%でした。次いで「ケアマネジャー」が 43.6%、「友人・知人・近隣」が 27.1%という結果でした。
- 介護の心配ごとや悩みごとを聞いてくれる人が「いない」と回答した者は 5.1%であることがわかりました。(図表 5-1)。

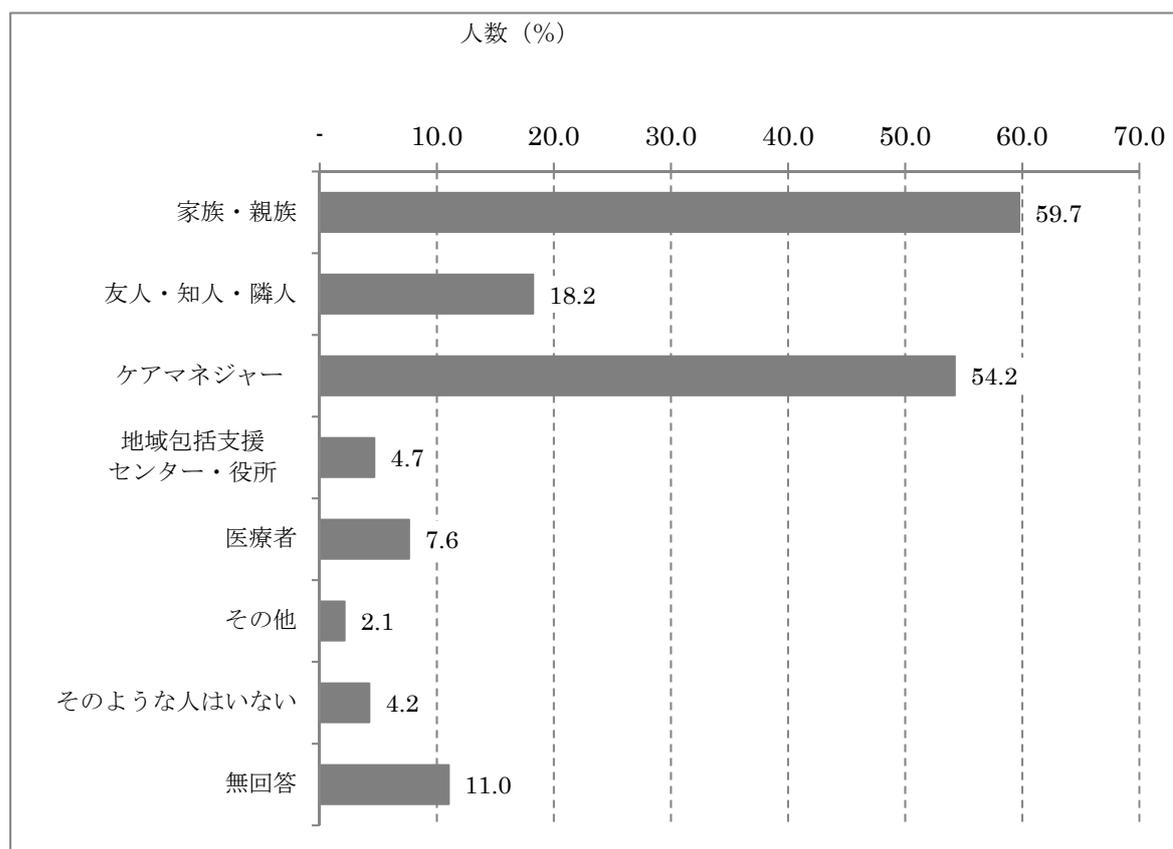
図表 5-1 心配ごとや悩みごとを聞いてくれる人(複数回答 n=236)



2) 介護で困ったときに相談できる人

- 介護で困ったときに相談できる人は「家族・親族」が59.7%と最も多く、次いで「ケアマネジャー」が54.2%でした。
- 介護で困ったときに相談できる人が「いない」と回答した者が4.2%であることがわかりました。(図表 5-2)。

図表 5-2 介護で困ったときに相談できる人(複数回答 n=236)



第5章

【資料】 独自項目の単純集計結果

（日本老年学的評価研究（JAGES）による追加設問の単純集計結果表）

A票

調査対象者様ご本人についてお伺いします

本調査のご回答を、行政の施策立案や学術研究に利用してもよろしいですか。

（個人情報には匿名化し、集計された平均値や分析結果のみが公表されます）

	総数	はい（研究利用してよい）	いいえ	無回答
【総数】	429 100.0	357 83.2	12 2.8	60 14.0

問3 ご本人（認定調査対象者）を含めて何人で暮らしていますか

	総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上
【総数】	429 100.0	69 16.1	131 30.5	94 21.9	80 18.6	32 7.5	10 2.3	8 1.9	2 0.5	-	-

問3 ご本人（認定調査対象者）を含めて何人で暮らしていますか

	無回答	平均（人）
【総数】	3 0.7	1225 2.9

問4 ご本人（認定調査対象者）と同居されている方はどなたですか（複数選択可）

	総数	いない	配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答	回答計
【総数】	429 100.0	64 14.9	157 36.6	165 38.5	73 17.0	148 34.5	90 21.0	3 0.7	14 3.3	16 3.7	730 170.2

問5 問3で答えた世帯全体の合計収入額（年金を含みます）は、昨年の1年間で、次のうちどれにあてはまりますか（税引き前で）（1つを選択）

	総数	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満
【総数】	429 100.0	17 4.0	45 10.5	25 5.8	45 10.5	43 10.0	26 6.1	45 10.5	34 7.9	9 2.1	21 4.9

問5 問3で答えた世帯全体の合計収入額（年金を含みます）は、昨年の1年間で、次のうちどれにあてはまりますか（税引き前で）（1つを選択）

	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1000万円未満	1000～1200万円未満	1200万円以上	無回答
【総数】	20 4.7	7 1.6	8 1.9	7 1.6	6 1.4	71 16.6

問6 ご本人（認定調査対象者）の現在の身長と体重を教えてください（おおよその数値で結構です）。

〔身長〕

	総数	140cm未満	140cm～144cm	145cm～149cm	150cm～154cm	155cm～159cm	160cm～164cm	165cm～169cm	170cm～174cm	175cm～179cm	180cm以上
【総数】	429 100.0	24 5.6	60 14.0	89 20.7	82 19.1	49 11.4	47 11.0	27 6.3	13 3.0	7 1.6	2 0.5

問6 ご本人（認定調査対象者）の現在の身長と体重を教えてください（おおよその数値で結構です）。

〔身長〕

	無回答	平均（cm）
【総数】	29 6.8	60628 151.6

問6 ご本人（認定調査対象者）の現在の身長と体重を教えてください（おおよその数値で結構です）。

〔体重〕

	総数	40kg未満	40kg～ 44kg	45kg～ 49kg	50kg～ 54kg	55kg～ 59kg	60kg～ 64kg	65kg～ 69kg	70kg～ 74kg	75kg～ 79kg	80kg～ 84kg
【総数】	429 100.0	42 9.8	65 15.2	84 19.6	79 18.4	41 9.6	47 11.0	24 5.6	11 2.6	5 1.2	3 0.7

問6 ご本人（認定調査対象者）の現在の身長と体重を教えてください（おおよその数値で結構です）。

〔体重〕

	85kg～ 89kg	90kg～ 94kg	95kg～ 99kg	100kg 以上	無回答	平均 (kg)
【総数】	1 0.2	2 0.5	-	-	25 5.8	20618 51.0

問7 ご本人（認定調査対象者）は、5分前のことが思い出せますか（1つを選択）

	総数	はい	いいえ	無回答
【総数】	429 100.0	296 69.0	110 25.6	23 5.4

問8 ご本人（認定調査対象者）は、その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか（1つを選択）

	総数	困難なく できる	いくらか 困難である が、でき る	判断する ときに、 合図や見 守り必要	ほとんど 判断でき ない	無回答
【総数】	429 100.0	168 39.2	154 35.9	60 14.0	43 10.0	4 0.9

問9 ご本人（認定調査対象者）は、人に自分の考えをうまく伝えられますか（1つを選択）

	総数	伝えられ る	いくらか 困難である が、伝え られる	あまり伝 えられな い	ほとんど 伝えられ ない	無回答	伝えられ る(計)	伝えられ ない (計)
【総数】	429 100.0	189 44.1	159 37.1	50 11.7	25 5.8	6 1.4	348 81.1	75 17.5

問10 ご本人（認定調査対象者）は、食事は自分で食べられますか（1つを選択）

	総数	できる	一部介助 があれば できる	できない	無回答
【総数】	429 100.0	338 78.8	77 17.9	14 3.3	-

問11 ご本人（認定調査対象者）は、排尿や排便の失敗はありますか（1つを選択）

	総数	はい	いいえ	無回答
【総数】	429 100.0	233 54.3	173 40.3	23 5.4

問12 次の中で介助が必要なものはどれですか（複数選択可）

	総数	入浴	着替え	トイレ	家の中で の移動	身だしな みを整え る	無回答	回答計
【総数】	429 100.0	236 55.0	130 30.3	103 24.0	86 20.0	133 31.0	126 29.4	814 189.7

問13 ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つを選択）

	総数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
【総数】	429 100.0	65 15.2	73 17.0	77 17.9	93 21.7	42 9.8	29 6.8	14 3.3	6 1.4	30 7.0

問14 ご本人（認定調査対象者）の家から徒歩圏内（10～15分以内で歩ける範囲）に、次のような場所はどのくらいありますか（それぞれ1つを選択）

1) 車いす・杖・歩行器などを利用される方でも、歩行に支障のない通り（道路）

	総数	たくさんある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
【総数】	429 100.0	44 10.3	157 36.6	101 23.5	65 15.2	22 5.1	40 9.3	201 46.9	166 38.7

2) 電車・地下鉄などの駅やバス停

	総数	たくさんある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
【総数】	429 100.0	13 3.0	45 10.5	101 23.5	186 43.4	17 4.0	67 15.6	58 13.5	287 66.9

3) 坂や段差など、歩くのが大変なところ

	総数	たくさんある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
【総数】	429 100.0	85 19.8	146 34.0	85 19.8	38 8.9	13 3.0	62 14.5	231 53.8	123 28.7

4) 運動や散歩に適した公園や歩道

	総数	たくさんある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
【総数】	429 100.0	24 5.6	114 26.6	126 29.4	88 20.5	18 4.2	59 13.8	138 32.2	214 49.9

問15 ご本人（認定調査対象者）が、外出する時に利用している交通手段はどれですか（複数選択可）

	総数	なし	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院・施設のバス	タクシー	介護タクシー
【総数】	429 100.0	13 3.0	5 1.2	1 0.2	35 8.2	308 71.8	-	10 2.3	64 14.9	60 14.0	35 8.2

問15 ご本人（認定調査対象者）が、外出する時に利用している交通手段はどれですか（複数選択可）

	コミュニティバス	その他	無回答	回答計
【総数】	2 0.5	16 3.7	12 2.8	561 130.8

問18 ご本人（認定調査対象者）に見られる症状は次のうちどれですか（複数選択可）

	総数	徘徊	失禁・便秘	怒りっぽい・興奮する	幻覚・幻視	暴言・暴力行為	介護拒否	食べ物以外を口に	不眠・昼夜逆転	物を盗られたなどの妄想	その他
【総数】	429 100.0	17 4.0	53 12.4	53 12.4	34 7.9	17 4.0	15 3.5	4 0.9	44 10.3	28 6.5	51 11.9

問18 ご本人（認定調査対象者）に見られる症状は次のうちどれですか（複数選択可）

	なし	無回答	回答計
【総数】	185 43.1	57 13.3	558 130.1

問19 ご本人（認定調査対象者）の今日の健康状態についておうかがいします

1) 健康状態はいかがですか（1つを選択）

	総数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	よい(計)	よくない(計)
【総数】	429 100.0	28 6.5	298 69.5	75 17.5	14 3.3	14 3.3	326 76.0	89 20.7

2) 「移動の程度」はどれにあてはまりますか（1つを選択）

	総数	歩き回るのが問題はない	歩き回るのが少し問題がある	歩き回るのが中程度の問題がある	歩き回るのがかなり問題がある	歩き回ることができない	無回答
【総数】	429 100.0	45 10.5	104 24.2	68 15.9	119 27.7	72 16.8	21 4.9

3) 「身の回りの管理（自分で身体を洗ったり着替えをすること）」はどれにあてはまりますか（1つを選択）

	総数	問題はない	少し問題がある	中程度の問題がある	かなり問題がある	身体を洗ったり着替えができない	無回答
【総数】	429 100.0	101 23.5	109 25.4	74 17.2	67 15.6	68 15.9	10 2.3

4) 「ふだんの活動（例：仕事、勉強、家事、家族・余暇活動）」はどれにあてはまりますか（1つを選択）

	総数	問題はない	少し問題がある	中程度の問題がある	かなり問題がある	ふだんの活動を行うことができない	無回答
【総数】	429 100.0	56 13.1	89 20.7	76 17.7	84 19.6	88 20.5	36 8.4

5) 「痛み／不快感」はどれにあてはまりますか（1つを選択）

	総数	痛みや不快感はない	少し痛みや不快感がある	中程度の痛みや不快感がある	かなり痛みや不快感がある	極度の痛みや不快感がある	無回答
【総数】	429 100.0	68 15.9	165 38.5	98 22.8	64 14.9	7 1.6	27 6.3

6) 「不安／ふさぎ込み」はどれにあてはまりますか（1つを選択）

	総数	不安でもふさぎ込んでいない	少し不安あるいはふさぎ込んでいる	中程度不安あるいはふさぎ込んでいる	かなり不安あるいはふさぎ込んでいる	極度に不安あるいはふさぎ込んでいる	無回答
【総数】	429 100.0	216 50.3	118 27.5	45 10.5	24 5.6	1 0.2	25 5.8

問20 以下の5つの各項目について、最近2週間のご本人（認定調査対象者）の状態に最も近いものに○をつけてください（1つを選択）※数値が高いほど精神的健康状態が高いことを示していますのでご注意ください。

1) 明るく、楽しい気分で過ごした

	総数	まったくない	ほんのたまに	半分以下の期間を	半分以上の期間を	ほとんどいつも	いつも	無回答
【総数】	429 100.0	39 9.1	97 22.6	63 14.7	80 18.6	75 17.5	26 6.1	49 11.4

2) 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした

	総数	まったく ない	ほんのた まに	半分以下 の期間を	半分以上 の期間を	ほとんど いつも	いつも	無回答
【総数】	429 100.0	29 6.8	72 16.8	77 17.9	84 19.6	88 20.5	23 5.4	56 13.1

3) 意欲的で、活動的に過ごした

	総数	まったく ない	ほんのた まに	半分以下 の期間を	半分以上 の期間を	ほとんど いつも	いつも	無回答
【総数】	429 100.0	99 23.1	105 24.5	64 14.9	42 9.8	47 11.0	14 3.3	58 13.5

4) ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた

	総数	まったく ない	ほんのた まに	半分以下 の期間を	半分以上 の期間を	ほとんど いつも	いつも	無回答
【総数】	429 100.0	35 8.2	81 18.9	75 17.5	79 18.4	80 18.6	29 6.8	50 11.7

5) 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

	総数	まったく ない	ほんのた まに	半分以下 の期間を	半分以上 の期間を	ほとんど いつも	いつも	無回答
【総数】	429 100.0	94 21.9	126 29.4	64 14.9	43 10.0	32 7.5	16 3.7	54 12.6

問2-1 ご本人（認定調査対象者）のご自宅の状況についておうかがいします。

1) ご自宅の状況についてお答えください（それぞれ1つを選択）

1) 築年数

	総数	5年未満	5～9年	10～19年	20～29年	30～39年	40年以上	無回答
【総数】	429 100.0	4 0.9	6 1.4	21 4.9	57 13.3	58 13.5	266 62.0	17 4.0

2) 広さ

	総数	とても広 い	広い	普通	狭い	とても狭 い	無回答	広い (計)	狭い (計)
【総数】	429 100.0	56 13.1	130 30.3	203 47.3	26 6.1	3 0.7	11 2.6	186 43.4	29 6.8

3) 住宅構造

	総数	木造	鉄骨造	鉄筋コン クリート 造	その他	無回答
【総数】	429 100.0	393 91.6	16 3.7	5 1.2	1 0.2	14 3.3

4) 住宅形態

	総数	持家（一 戸建て）	持家（集 合住宅）	旧公団（ UR）分 譲住宅	旧公団（ UR）賃 貸住宅	公営賃貸 住宅	民間賃貸 住宅（一 戸建て）	民間賃貸 住宅（集 合住宅）	借家	その他	無回答
【総数】	429 100.0	396 92.3	6 1.4	1 0.2	- -	8 1.9	1 0.2	- -	3 0.7	5 1.2	9 2.1

2) 日中、普段よく過ごす部屋（主として介護を行う部屋）についてお答えください（それぞれ1つを選択）

1) 夏、冷房が効かずに暑いと感じることはありますか？

	総数	よくある	たまにある	めったにない	ない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
【総数】	429 100.0	55 12.8	91 21.2	86 20.0	163 38.0	14 3.3	20 4.7	146 34.0	249 58.0

2) 冬、暖房が効かずに寒いと感じることはありますか？

	総数	よくある	たまにある	めったにない	ない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
【総数】	429 100.0	69 16.1	100 23.3	84 19.6	151 35.2	10 2.3	15 3.5	169 39.4	235 54.8

3) 窓・ドアを閉めても、室内や外の音・振動が気になることはありますか？

	総数	よくある	たまにある	めったにない	ない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
【総数】	429 100.0	26 6.1	70 16.3	99 23.1	204 47.6	11 2.6	19 4.4	96 22.4	303 70.6

4) においがこもることはありますか？

	総数	よくある	たまにある	めったにない	ない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
【総数】	429 100.0	33 7.7	73 17.0	97 22.6	185 43.1	18 4.2	23 5.4	106 24.7	282 65.7

5) 夜、照明が足りずに暗いと感じることはありますか？

	総数	よくある	たまにある	めったにない	ない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
【総数】	429 100.0	14 3.3	34 7.9	77 17.9	275 64.1	11 2.6	18 4.2	48 11.2	352 82.1

6) 防犯に不安を感じることはありますか？

	総数	よくある	たまにある	めったにない	ない	わからない	無回答	ある(計)	ない(計)
【総数】	429 100.0	33 7.7	91 21.2	88 20.5	181 42.2	15 3.5	21 4.9	124 28.9	269 62.7

問22 住宅の改修工事やリフォームをしましたか（複数選択可）

	総数	していない	玄関の拡大	屋外にスロープ設置	門扉・玄関扉の取り替え	駐車場の改修	その他屋外の改修	階段や廊下の手すりの設置	屋内の段差解消	台所・トイレ・浴室・洗面所の改修	階段昇降機の設置
【総数】	429 100.0	127 29.6	9 2.1	44 10.3	19 4.4	10 2.3	18 4.2	187 43.6	79 18.4	145 33.8	15 3.5

問22 住宅の改修工事やリフォームをしましたか（複数選択可）

	その他屋内の改修	無回答	回答計
【総数】	42 9.8	16 3.7	711 165.7

問23 ご本人（認定調査対象者）が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいと思いますか（1つを選択）

	総数	病院	ホスピス・緩和ケア病棟	老人ホームなどの福祉施設	高齢者向けのケア付き集合住宅	自宅（子供など家族宅も含む）	わからない	無回答
【総数】	429 100.0	68 15.9	6 1.4	54 12.6	6 1.4	151 35.2	124 28.9	20 4.7

問24 上記質問について、誰かと話し合いをしていますか（1つを選択）

	総数	全くない	話し合ったことがある	話し合い、その結果を紙などに記載	わからない	無回答
【総数】	429 100.0	179 41.7	166 38.7	11 2.6	46 10.7	27 6.3

※以降の該当数確認のため表示

問25 令和4年9月の1ヶ月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

	総数	利用した	利用していない	無回答
【総数】	429 100.0	354 82.5	64 14.9	11 2.6

問26 問25で「1」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和4年9月の1か月の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください（それぞれ1つに○）。

1週間あたりの利用回数（1つを選択）

1) 訪問介護（ホームヘルプサービス）

	該当数	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
【総数】	354 100.0	132 37.3	7 2.0	16 4.5	8 2.3	1 0.3	11 3.1	179 50.6

2) 訪問入浴介護

	該当数	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
【総数】	354 100.0	149 42.1	1 0.3	5 1.4	8 2.3	-	3 0.8	188 53.1

3) 訪問看護

	該当数	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
【総数】	354 100.0	139 39.3	10 2.8	9 2.5	3 0.8	5 1.4	5 1.4	183 51.7

4) 訪問リハビリテーション

	該当数	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
【総数】	354 100.0	137 38.7	12 3.4	10 2.8	3 0.8	4 1.1	5 1.4	183 51.7

5) 通所介護（デイサービス）

	該当数	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
【総数】	354 100.0	75 21.2	28 7.9	51 14.4	31 8.8	22 6.2	56 15.8	91 25.7

6) 通所リハビリテーション（デイケア）

	該当数	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
【総数】	354 100.0	100 28.2	13 3.7	36 10.2	15 4.2	12 3.4	29 8.2	149 42.1

7) 夜間対応型訪問介護（訪問のあった回数）

	該当数	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
【総数】	354 100.0	159 44.9	3 0.8	-	-	1 0.3	1 0.3	190 53.7

利用の有無（1つを選択）

8) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

	該当数	利用していない	利用した	無回答
【総数】	354 100.0	218 61.6	19 5.4	117 33.1

9) 小規模多機能型居宅介護

	該当数	利用していない	利用した	無回答
【総数】	354 100.0	209 59.0	19 5.4	126 35.6

10) 看護小規模多機能型居宅介護

	該当数	利用していない	利用した	無回答
【総数】	354 100.0	219 61.9	5 1.4	130 36.7

1ヶ月あたりの利用日数・利用回数（1つを選択）

11) ショートステイ

	該当数	月0日	月1～7日	月8～14日	月15～21日	月22日以上	無回答
【総数】	354 100.0	160 45.2	40 11.3	22 6.2	7 2.0	16 4.5	109 30.8

12) 居宅療養管理指導

	該当数	月0回	月1回	月2回	月3回	月4回	無回答
【総数】	354 100.0	190 53.7	17 4.8	1 0.3	3 0.8	-	143 40.4

問27 この1年間に、経済的な理由で上記のサービスの利用を制限・変更した経験はありますか？（1つを選択）

	該当数	ある	ない	無回答
【総数】	354 100.0	16 4.5	311 87.9	27 7.6

問28 ご家族の事情などにより予定外で緊急ショートステイを利用したことがありますか（1つを選択）

	該当数	利用した ことがある	利用した ことはない	無回答
【総数】	354 100.0	72 20.3	265 74.9	17 4.8

問29 緊急のショートステイの利用を希望したが、断られたことはありますか（1つを選択）

	該当数	ある	ない	無回答
【総数】	354 100.0	11 3.1	271 76.6	72 20.3

問34 ご本人（認定調査対象者）の外出する頻度はどのくらいですか（畑や隣近所へ行く、買い物、通院、デイケア・デイサービスなどを含む）（1つを選択）

総数	週に5回 以上	週4回	週2～3 回	週1回	月1～3 回	年に数回	してない	無回答	
【総数】	429 100.0	71 16.6	49 11.4	154 35.9	41 9.6	34 7.9	10 2.3	35 8.2	35 8.2

問35 ご本人（認定調査対象者）は、下記のような活動を行っていますか（複数選択可）

総数	散歩・ジ ョギング	体操・ス トレッチ	園芸・庭 いじり	テレビを みる	読書・新 聞を読む	ラジオを きく	カラオケ ・歌を歌 う	映画・舞 台鑑賞	音楽鑑賞	絵画・絵 手紙	
【総数】	429 100.0	80 18.6	57 13.3	51 11.9	305 71.1	139 32.4	36 8.4	33 7.7	1 0.2	13 3.0	14 3.3

問35 ご本人（認定調査対象者）は、下記のような活動を行っていますか（複数選択可）

総数	編み物・ 手芸・刺 繍	囲碁・将 棋・麻雀	買い物	外食	旅行	ゲーム（ テレビ・ スマホ等 ）	その他	行ってい ない	無回答	行ってい る（計）	回答計
【総数】	35 8.2	7 1.6	80 18.6	52 12.1	7 1.6	7 1.6	21 4.9	52 12.1	20 4.7	357 83.2	1010 235.4

問36 ご本人（認定調査対象者）は、下記のような地域の会・グループに参加していますか（複数選択可）

総数	参加して いる会グ ループは ない	ポランテ ィアのグ ループ	スポーツ 関係のグ ループや クラブ	趣味関係 のグルー プ	老人クラ ブ	町内会・ 自治会	学術・教 養サーク ル	介護予防 ・健康づ くり、通 いの場	特技や経 験を他者 に伝える 活動	収入のあ る仕事	
【総数】	429 100.0	247 57.6	- -	2 0.5	18 4.2	58 13.5	7 1.6	1 0.2	14 3.3	1 0.2	2 0.5

問36 ご本人（認定調査対象者）は、下記のような地域の会・グループに参加していますか（複数選択可）

	無回答	行ってい る（計）	回答計
【総数】	98 22.8	84 19.6	448 104.4

問37 ご本人（認定調査対象者）が、人と会ったり、手紙、電話、メールなどで連絡をとりあったりする機会
はどれくらいありますか（それぞれ1つを選択）

1) 別居の家族や親戚と会う機会（相手が訪ねてくる機会も含む）

総数	週4回以 上	週2～3 回	週1回	月1～3 回	年数回	ない	無回答	
【総数】	429 100.0	43 10.0	37 8.6	38 8.9	103 24.0	101 23.5	57 13.3	50 11.7

2) 別居の家族や親戚と連絡をとる機会（相手から連絡をもらう機会も含む）

	総数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年数回	ない	無回答
【総数】	429 100.0	40 9.3	37 8.6	35 8.2	84 19.6	86 20.0	83 19.3	64 14.9

3) 友人や知人と会う機会（相手が訪ねてくる機会も含む）

	総数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年数回	ない	無回答
【総数】	429 100.0	12 2.8	37 8.6	37 8.6	60 14.0	84 19.6	143 33.3	56 13.1

4) 友人や知人と連絡をとる機会（相手から連絡をもらう機会も含む）

	総数	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年数回	ない	無回答
【総数】	429 100.0	19 4.4	32 7.5	25 5.8	54 12.6	76 17.7	164 38.2	59 13.8

問38 ご本人（認定調査対象者）の婚姻状態は、次のうちどれにあてはまりますか（1つを選択）

	総数	配偶者がいる（内縁を含む）	死別	離別	未婚	その他	無回答
【総数】	429 100.0	167 38.9	225 52.4	7 1.6	5 1.2	5 1.2	20 4.7

問39 ご本人（認定調査対象者）が受けられた学校教育は何年間でしたか（1つを選択）

	総数	6年未満	6～9年	10～12年	13年以上	その他	無回答
【総数】	429 100.0	25 5.8	219 51.0	106 24.7	48 11.2	4 0.9	27 6.3

※以降の該当数確認のため表示

問40 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

	総数	ない	介護はあるが週に1日より少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
【総数】	429 100.0	149 34.7	37 8.6	39 9.1	20 4.7	140 32.6	44 10.3

B票

主な介護者の方について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか（複数回答可）

	該当数	調査対象者本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	その他	無回答	回答計
【総数】	236 100.0	29 12.3	190 80.5	12 5.1	1 0.4	9 3.8	241 102.1

問6 主な介護者の方が受けられた学校教育は何年間でしたか（1つを選択）

	該当数	6年未満	6～9年	10～12年	13年以上	その他	無回答
【総数】	236 100.0	1 0.4	37 15.7	104 44.1	84 35.6	-	10 4.2

問7 主な介護者の方の介護状況についておうかがいします

1) 主な介護者の方が介護を始めてどれくらい経ちますか（1つを選択）

	該当数	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10年以上	無回答
【総数】	236 100.0	4 1.7	11 4.7	114 48.3	62 26.3	34 14.4	11 4.7

2) 主な介護者の方の平均的な介護頻度はどのくらいですか（1つを選択）

	該当数	ほぼ毎日	週2～4日	週1日	月に1～3日以下	無回答
【総数】	236 100.0	159 67.4	26 11.0	19 8.1	15 6.4	17 7.2

3) 一日の介護時間はどれくらいですか（1つを選択）

	該当数	ほとんど終日	半日程度	2～3時間程度	必要な時に手を貸す程度	その他	無回答
【総数】	236 100.0	46 19.5	22 9.3	39 16.5	106 44.9	8 3.4	15 6.4

4) 過去1ヶ月間の睡眠時間について教えてください（1つを選択）

	該当数	十分だった	少し足りなかった	かなり足りなかった	全く足りなかった、眠れなかった	無回答
【総数】	236 100.0	108 45.8	81 34.3	30 12.7	5 2.1	12 5.1

5) 主な介護者の方は、ご本人（認定調査対象者）と、同居していますか（1つを選択）

	該当数	同居している	同居していない	無回答
【総数】	236 100.0	178 75.4	51 21.6	7 3.0

6) ご本人（認定調査対象者）と主な介護者宅までのおよその距離をご回答ください

	該当数	4キロ以下	5～9キロ	10～19キロ	20キロ以上	無回答	平均（キロ）
【総数】	51 100.0	16 31.4	4 7.8	7 13.7	15 29.4	9 17.6	986 23.5

7) 主な介護者の方は、自身を含めて何人で暮らしていますか

	該当数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上
【総数】	51 100.0	3 5.9	26 51.0	8 15.7	4 7.8	4 7.8	2 3.9	-	-	-	-

7) 主な介護者の方は、自身を含めて何人で暮らしていますか

	無回答	平均（人）
【総数】	4 7.8	127 2.7

8) 7) で答えた世帯全体の合計収入額（年金を含みます）は、昨年の1年間で、次のうちどれにあてはまりますか（税引き前で）（1つを選択）

	該当数	50万円未満	50～100万円未満	100～150万円未満	150～200万円未満	200～250万円未満	250～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満
【総数】	51 100.0	-	1 2.0	1 2.0	4 7.8	6 11.8	3 5.9	7 13.7	5 9.8	4 7.8	3 5.9

8) 7) で答えた世帯全体の合計収入額（年金を含みます）は、昨年の1年間で、次のうちどれにあてはまりますか（税引き前で）（1つを選択）

	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1000万円未満	1000～1200万円未満	1200万円以上	無回答
【総数】	2 3.9	2 3.9	-	5 9.8	-	8 15.7

問8 主な介護者の方の外出する頻度はどのくらいですか（畑や隣近所へ行く、買い物、通院などを含む）（1つを選択）

	該当数	週に5回以上	週4回	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	していない	無回答
【総数】	236 100.0	104 44.1	24 10.2	50 21.2	27 11.4	13 5.5	2 0.8	3 1.3	13 5.5

問9 主な介護者の方は、介護教室や家族会（介護の学習、介護者の交流）に参加していますか（1つを選択）

	該当数	参加している	参加していたがやめた	参加したことがない	わからない	無回答
【総数】	236 100.0	11 4.7	5 2.1	196 83.1	9 3.8	15 6.4

問12 主な介護者の方の人生に対する考え方についてうかがいます。それぞれ1～7までのうち、主な介護者の方の感じ方をもっともよくあらわしている数字に1つ○をつけてください

1) 私は、日常生活する困難や問題の解決策を見つけることができる

	該当数	1 よくあてはまる	2	3	4	5	6	7 まったくあてはまらない	無回答
【総数】	236 100.0	27 11.4	29 12.3	36 15.3	60 25.4	14 5.9	13 5.5	12 5.1	45 19.1

2) 私は、人生で生じる困難や問題のいくつかは、向き合い、取り組む価値があると思う

	該当数	1 よくあてはまる	2	3	4	5	6	7 まったくあてはまらない	無回答
【総数】	236 100.0	28 11.9	27 11.4	39 16.5	62 26.3	11 4.7	12 5.1	11 4.7	46 19.5

3) 私は、日常生活する困難や問題を理解したり予測したりできる

	該当数	1 よくあてはまる	2	3	4	5	6	7 まったくあてはまらない	無回答
【総数】	236 100.0	22 9.3	30 12.7	42 17.8	49 20.8	13 5.5	12 5.1	17 7.2	51 21.6

問13 主な介護者の方の状況について教えてください（それぞれ1つを選択）

1) 介護を始めてから、親戚や友人を訪ねる機会が減った

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	28 11.9	40 16.9	67 28.4	65 27.5	15 6.4	21 8.9	68 28.8	80 33.9

2) 今の活動の中心は、介護である

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	19 8.1	50 21.2	70 29.7	55 23.3	18 7.6	24 10.2	69 29.2	73 30.9

3) 介護を始めてから、自分の予定や計画が減った

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	14 5.9	27 11.4	50 21.2	100 42.4	20 8.5	25 10.6	41 17.4	120 50.8

4) 介護をするために仕事や他の活動を途中でやめなければならない

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	18 7.6	52 22.0	54 22.9	79 33.5	11 4.7	22 9.3	70 29.7	90 38.1

5) 介護のせいで、自分がかつろぐ暇がない

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	19 8.1	53 22.5	73 30.9	55 23.3	13 5.5	23 9.7	72 30.5	68 28.8

6) 家族の介護ができることを誇りに思う

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	28 11.9	46 19.5	98 41.5	29 12.3	9 3.8	26 11.0	74 31.4	38 16.1

7) 介護は私にとって大切なことである

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	12 5.1	27 11.4	80 33.9	79 33.5	13 5.5	25 10.6	39 16.5	92 39.0

8) 率先して介護をしたいと願っている

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	20 8.5	52 22.0	106 44.9	28 11.9	6 2.5	24 10.2	72 30.5	34 14.4

9) 介護することで、自分も幸せになることができる

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	24 10.2	53 22.5	101 42.8	30 12.7	6 2.5	22 9.3	77 32.6	36 15.3

10) 介護に楽しさを感じている

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	36 15.3	78 33.1	89 37.7	9 3.8	2 0.8	22 9.3	114 48.3	11 4.7

11) 他の家族（兄弟姉妹、子どもたち）は、自分ひとりに介護をさせている

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	36 15.3	71 30.1	64 27.1	32 13.6	9 3.8	24 10.2	107 45.3	41 17.4

12) 誰もが私だけに介護を押し付けている

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	42 17.8	83 35.2	63 26.7	14 5.9	9 3.8	25 10.6	125 53.0	23 9.7

13) 介護を始めてから、他の家族に見放されたような気がする。

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	61 25.8	99 41.9	48 20.3	2 0.8	2 0.8	24 10.2	160 67.8	4 1.7

14) 介護するにあたり、他の家族から援助を受けることはとても難しい

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	31 13.1	71 30.1	57 24.2	44 18.6	9 3.8	24 10.2	102 43.2	53 22.5

15) 介護を始めてから、自分の健康状態が悪くなった

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	30 12.7	69 29.2	81 34.3	29 12.3	5 2.1	22 9.3	99 41.9	34 14.4

16) 介護を始めてからは、いつも疲れている

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	18 7.6	58 24.6	74 31.4	49 20.8	14 5.9	23 9.7	76 32.2	63 26.7

17) 介護により、金銭的負担を強いられている

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	30 12.7	77 32.6	62 26.3	32 13.6	14 5.9	21 8.9	107 45.3	46 19.5

1 8) 介護のための費用を払うことが難しい

	該当数	全く思わない	思わない	どちらでもない	思う	いつも思う	無回答	思わない(計)	思う(計)
【総数】	236 100.0	32 13.6	83 35.2	58 24.6	30 12.7	11 4.7	22 9.3	115 48.7	41 17.4

問1 4 以下の5つの各項目について、最近2週間の主な介護者の方の状態に最も近いものに○をつけてください
(1つを選択) ※数値が高いほど精神的健康状態が高いことを示していますのでご注意ください。

1) 明るく、楽しい気で過ごした

	該当数	まったくない	ほんのたまに	半分以下の期間を	半分以上の期間を	ほとんどいつも	いつも	無回答
【総数】	236 100.0	17 7.2	56 23.7	40 16.9	50 21.2	39 16.5	2 0.8	32 13.6

2) 落ち着いた、リラックスした気で過ごした

	該当数	まったくない	ほんのたまに	半分以下の期間を	半分以上の期間を	ほとんどいつも	いつも	無回答
【総数】	236 100.0	15 6.4	49 20.8	44 18.6	53 22.5	40 16.9	4 1.7	31 13.1

3) 意欲的で、活動的に過ごした

	該当数	まったくない	ほんのたまに	半分以下の期間を	半分以上の期間を	ほとんどいつも	いつも	無回答
【総数】	236 100.0	28 11.9	51 21.6	38 16.1	47 19.9	34 14.4	3 1.3	35 14.8

4) ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた

	該当数	まったくない	ほんのたまに	半分以下の期間を	半分以上の期間を	ほとんどいつも	いつも	無回答
【総数】	236 100.0	22 9.3	43 18.2	44 18.6	46 19.5	44 18.6	8 3.4	29 12.3

5) 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

	該当数	まったくない	ほんのたまに	半分以下の期間を	半分以上の期間を	ほとんどいつも	いつも	無回答
【総数】	236 100.0	29 12.3	67 28.4	39 16.5	37 15.7	30 12.7	4 1.7	30 12.7

問1 5 主な介護者の方とまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。次のような人はまわりにいますか（複数選択可）

1) 介護をねぎらってくれる人

	該当数	家族・親族	友人・知人・近隣	ケアマネジャー	地域包括支援センター・役所	医療者	その他	そのような人はいない	無回答	いる(計)	回答計
【総数】	236 100.0	147 62.3	74 31.4	84 35.6	8 3.4	25 10.6	8 3.4	16 6.8	24 10.2	196 83.1	386 163.6

2) 介護の心配ごとや悩みごとを聞いてくれる人

	該当数	家族・親族	友人・知人・近隣	ケアマネジャー	地域包括支援センター・役所	医療者	その他	そのような人はいない	無回答	いる(計)	回答計
【総数】	236 100.0	141 59.7	64 27.1	103 43.6	7 3.0	11 4.7	6 2.5	12 5.1	27 11.4	197 83.5	371 157.2

3) くつろいだ気分にしてくれる人

	該当数	家族・親族	友人・知人・近隣	ケアマネジャー	地域包括支援センター・役所	医療者	その他	そのような人はいない	無回答	いる(計)	回答計
【総数】	236 100.0	132 55.9	76 32.2	22 9.3	3 1.3	4 1.7	6 2.5	25 10.6	32 13.6	179 75.8	300 127.1

4) 介護で困ったときに相談できる人

	該当数	家族・親族	友人・知人・近隣	ケアマネジャー	地域包括支援センター・役所	医療者	その他	そのような人はいない	無回答	いる(計)	回答計
【総数】	236 100.0	141 59.7	43 18.2	128 54.2	11 4.7	18 7.6	5 2.1	10 4.2	26 11.0	200 84.7	382 161.9

5) 代わりに介護をしてくれる人

	該当数	家族・親族	友人・知人・近隣	その他	そのような人はいない	無回答	回答計
【総数】	236 100.0	150 63.6	2 0.8	9 3.8	51 21.6	26 11.0	238 100.8

6) 介護にかかわることを手伝ってくれる人

	該当数	家族・親族	友人・知人・近隣	その他	そのような人はいない	無回答	回答計
【総数】	236 100.0	171 72.5	3 1.3	8 3.4	30 12.7	26 11.0	238 100.8

7) 介護以外のちょっとした用事を手伝ってくれる人

	該当数	家族・親族	友人・知人・近隣	その他	そのような人はいない	無回答	回答計
【総数】	236 100.0	175 74.2	35 14.8	3 1.3	17 7.2	24 10.2	254 107.6

問16 主な介護者の方の健康状態はいかがですか（1つを選択）

	該当数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	よい(計)	よくない(計)
【総数】	236 100.0	14 5.9	147 62.3	47 19.9	5 2.1	23 9.7	161 68.2	52 22.0

問17 主な介護者の方で何か困りごとがあったときに相談できる人や窓口はありますか（複数選択可）

	該当数	同居家族	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣・友人	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	ない
【総数】	236 100.0	118 50.0	73 30.9	101 42.8	33 14.0	-	16 6.8	138 58.5	22 9.3	26 11.0	5 2.1

問17 主な介護者の方で何か困りごとがあったときに相談できる人や窓口はありますか（複数選択可）

	無回答	回答計
【総数】	20 8.5	552 233.9

問18 主な介護者の方は、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、仕事を辞めたことがありますか。

	該当数	ある	ない	無回答
【総数】	236	43	166	27
	100.0	18.2	70.3	11.4

問19 問18で「1. ある」と回答した方にお尋ねします。

1) 主な介護者の方が、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、仕事を辞めたのは何年前くらいのことですか？複数ある方は、もっとも最近のことについてお聞かせください。

	該当数	0～4年前	5～9年前	10～19年前	20年以上前	無回答	平均（年前）
【総数】	43	13	10	5	-	15	156
	100.0	30.2	23.3	11.6	-	34.9	5.6

2) 主な介護者は、やむを得ない離職でしたか？

	該当数	全くそう 思わない	あまりそう 思わない	ややそう 思う	非常にそ う思う	無回答	そう思わ ない (計)	そう思う (計)
【総数】	43	4	4	12	11	12	8	23
	100.0	9.3	9.3	27.9	25.6	27.9	18.6	53.5

3) 主な介護者が仕事を辞めた主な理由について、ご回答ください（1つを選択）

	該当数	自分以外 介護を担 う人がい なかった	自分が主 となり介 護を担い たかった	業務や職 場の都合 のため	心身の負 担や健康 問題のため	その他	無回答
【総数】	43	22	4	2	1	4	10
	100.0	51.2	9.3	4.7	2.3	9.3	23.3

4) 主な介護者の方は、勤め先においてどのような支援が充実していれば、離職に至らなかったと思いますか？
（3つまで選択可）

	該当数	自営業等 のため、 勤め先は ない	介護休業 ・介護休 暇等の制 度の充実	制度を利 用しやす い職場づ くり	労働時間 の柔軟な 選択	働く場所 の多様化	仕事と介 護の両立 に関する 情報提供	介護に関 する相談 窓口の設 置	介護をし ている従 業員への 支援	その他	特になし
【総数】	43	1	9	4	4	-	4	2	7	4	11
	100.0	2.3	20.9	9.3	9.3	-	9.3	4.7	16.3	9.3	25.6

4) 主な介護者の方は、勤め先においてどのような支援が充実していれば、離職に至らなかったと思いますか？
（3つまで選択可）

	介護者に 確認しな いと、わ からない	無回答	回答計
【総数】	2	10	58
	4.7	23.3	134.9

5) 主な介護者の方は、どのような支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）があれば、離職に至らなかったと思いますか？（3つまで選択可）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともを含みます。

	該当数	配食	調理	掃除・洗 濯	買い物（ 宅配は含 まない）	ゴミ出し	外出同行 （通院、 買い物な ど）	移送サー ビス	見守り、 声かけ	サロンな どの定期 的な通い の場	訪問介護 （ホーム ヘルプサ ービス）
【総数】	43	2	1	2	-	1	5	4	1	-	4
	100.0	4.7	2.3	4.7	-	2.3	11.6	9.3	2.3	-	9.3

5) 主な介護者の方は、どのような支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）があれば、離職に至らなかったと思いますか？（3つまで選択可）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

	通所介護 (デイサ ービス)	シヨート ステイ	その他	特になし	介護者に 確認しな いと、わ からない	無回答	回答計
【総数】	4 9.3	5 11.6	6 14.0	9 20.9	3 7.0	9 20.9	56 130.2

※以降の該当数確認のため表示

問20 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

該当数	フルタイ ムで働い ている	パートタ イムで働 いている	働いてい ない	介護者に 確認しな いと、わ からない	無回答	
【総数】	236 100.0	52 22.0	61 25.8	86 36.4	2 0.8	35 14.8

問21 問20で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方におうかがいします。

1) 主な介護者の方の業種は何ですか（1つを選択）

該当数	専門・技 術職	管理職	事務	販売	サービ ス業	保安職	農業漁業	運輸・通 信	生産工程 ・労務	その他	
【総数】	113 100.0	23 20.4	10 8.8	18 15.9	3 2.7	19 16.8	- -	1 0.9	2 1.8	17 15.0	19 16.8

問21 問20で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方におうかがいします。

1) 主な介護者の方の業種は何ですか（1つを選択）

無回答	
【総数】	1 0.9

2) 主な介護者の方が勤めている会社・組織全体には、何人ぐらいが働いていますか（1つを選択）

該当数	1～9人	10～49人	50～499 人	500～ 4999人	5000～ 9999人	1万人以 上	わからな い	無回答	
【総数】	113 100.0	37 32.7	28 24.8	27 23.9	4 3.5	1 0.9	3 2.7	10 8.8	3 2.7

問25 介護する前に比べ、介護によって現在ほどの程度の仕事量ですか。

就業開始から通常就業時間の間（残業になる前の時間帯）に、以前にできた仕事量のうち、どの程度の仕事量を行えたか、もっとも当てはまる数字をお選びください。

該当数	0 (全くで きない)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
【総数】	113 100.0	- -	- -	4 3.5	3 2.7	7 6.2	10 8.8	8 7.1	14 12.4	23 20.4	21 18.6

問25 介護する前に比べ、介護によって現在ほどの程度の仕事量ですか。

就業開始から通常就業時間の間（残業になる前の時間帯）に、以前にできた仕事量のうち、どの程度の仕事量を行えたか、もっとも当てはまる数字をお選びください。

10 (以前と 同等の仕 事量)	無回答	
【総数】	15 13.3	8 7.1

問26 介護する前に比べ、介護によって現在ほどの程度の仕事の質ですか。もっとも当てはまる数字をお選びください。

	該当数	0 (全くできない)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
【総数】	113 100.0	- -	-	7 6.2	3 2.7	4 3.5	9 8.0	5 4.4	15 13.3	20 17.7	21 18.6

問26 介護する前に比べ、介護によって現在ほどの程度の仕事の質ですか。もっとも当てはまる数字をお選びください。

	10 (以前と同等の仕事量)	無回答
【総数】	20 17.7	9 8.0

問27 主な介護者の方は、昨年1年間に、介護が理由で何日仕事を休みましたか。

該当数	0日	1～4日	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答	平均 (日)	
【総数】	113 100.0	23 20.4	10 8.8	27 23.9	22 19.5	4 3.5	8 7.1	19 16.8	916 9.7